

## 鄭 美京

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・4時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

古典は文字通り古いもので、ずいぶん昔に作られたものです。その古いものが今も読まれているということは、そのように長い間韓国・朝鮮の人々に親しまれ、愛されてきたからです。最近、さまざまな韓国の大衆文化が紹介されています。韓国の大衆文化をより正しく理解するためには、歴史・政治・経済などの要素とともに文学的な知識も必要です。古典文学は韓国・朝鮮社会のルーツを理解する手段にもなります。作品を通じて韓国・朝鮮社会の諸相を体験し、日本にない感情、美的世界に触れてみましょう。

この授業では、韓国・朝鮮文学の中で古典文学に関する概略的な知識と理解を得ることを目指します。古代から朝鮮時代にかけての韓国・朝鮮文学の流れを学び、各時期の韓国・朝鮮文学作品の内容と、その作品が置かれた歴史・社会・文化的な背景について知識と理解を得られるように学習していきます。また、理解力を高めるために各時期の主な韓国・朝鮮文学テキストと関連する視聴覚資料を取り入れています。

## - - - 到達目標 - - -

韓国・朝鮮における古典文学の成立、動向、時代背景、作品など基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

文学を通して、異文化の理解を高めるとともに日韓・日朝関係について新たな観点を持つことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・次回に扱う作品を事前知識として読んで内容を把握しておくこと。(30分)  
 ・配布したプリントを再読し、不明な点については、参考文献の学習や次回の講義での質問など、解決に努めること。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

韓国・朝鮮古典文学に関する基礎知識を習得しているのか、またその知識をもって正確に韓国・朝鮮古典文学の特徴と内容を説明することができるかを評価基準とし、以下の割合で総合的に判断する。

・定期試験：50%  
 ・作品の感想文：30% (視聴覚資料・映画鑑賞なども含む)  
 ・授業への取り組み：20% (参加度、積極性、授業内容に対する感想や質問)

## - - - テキスト - - -

プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

鄭美京著『日本における韓国古典小説の受容』(比較社会文化叢書23、花書院、2012年) ISBN 9784905324263  
 染谷智幸・鄭炳説編『韓国の古典小説』(ペリカン社、2008年) ISBN 9784831512239  
 申明直・張世眞・権昶奎著、浦川登久恵・野口なごみ訳『韓国文学ノート』(白帝社、2008年) ISBN 9784891749491

## - - - 履修上の留意点 - - -

・配布されたプリントは必ず持参すること。  
 ・授業中に鑑賞する視聴覚資料(50分以上の動画や映画)についての感想文を提出すること。  
 ・毎回の授業の最後に感想や質問などを記入し提出すること。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(動画配信)
2. 神話
3. 説話
4. 古代歌謡
5. 郷歌
6. 高麗俗謡
7. 時調(1)
8. 時調(2)
9. ハングルの誕生
10. 古典小説(1)
11. 古典小説(2)
12. パンソリ(1)
13. パンソリ(2)
14. 仮面劇(タルチュム)
15. 全体のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/235f61pof5e4asaicl5yj70xe3xxnck)

## チョウ イェラ

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

この授業では、日本文学との比較文学的観点から、韓国・朝鮮の文学と文化・社会・歴史を理解することを目指します。また、講義で得た知識をもとにグループ・ディスカッションを行うことで、分析的に文学を読むことにも触れることができます。

具体的には、19世紀末から2010年代までの韓国・朝鮮文学を6つのトピックに分け、各時代について講義とグループ・ディスカッションを交互に行います。講義では、各時代における文学作品の内容と特徴、時代的背景などについて概略的に説明した後、各時代を代表する作家を1人だけ取り上げ、その作家の伝記と作品解説を行います。グループ・ディスカッションでは、講義で学んだ内容を踏まえて、与えられたテーマについてディスカッションを行います。それを通じて作品理解はもちろん韓国・朝鮮の文化・社会・歴史をより深く理解することを目指します。

## - - - 到達目標 - - -

韓国・朝鮮の近現代文学について基礎的な知識を身につけることができる。(知識・理解)

韓国・朝鮮の文化、社会、歴史について基礎的な知識を身につけることができる。(知識・理解)

比較文学的方法に基づいて、分析的に文学を読む力を養うことができる。(技能)

作品の理解を広め、異文化理解を高める眼差しを持つために努める。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に課題小説を読んで、読書ノートの様式に基づいて、自分の意見や考えなどをまとめておくこと。(60分)

ディスカッションする前に、ディスカッション・テーマに関する資料を事前に調べて、わかりやすくまとめておくこと。(60分)

配布資料をよく読んだり自分でも関連資料を調べて読んだりするなど、さらに理解を深めることができるようにすること。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

グループ発表：20% (ディスカッション内容のまとめと発表)

授業への取り組み：30% (読書ノートやディスカッション資料の提出、毎回の授業で感想や意見、質問などを書いて提出)

レポート：20% (1200字程度)

定期試験：30% (韓国・朝鮮文学の基礎的な知識を習得、理解しているかを評価)

## - - - テキスト - - -

随時プリントを配布

## - - - 参考書 - - -

随時プリントを配布

## - - - 履修上の留意点 - - -

課題小説は、必ず事前に読んで、自分の考えを整理しておくこと。(文学を分析的に読むことに慣れていない人でも興味を持って学べるように、本講義で取り扱う課題小説はすべて短編小説にしています。必ず事前に読み、自分の考えや意見をまとめておいてください。)

ディスカッションに積極的に参加すること。(テーマを事前に教えますので、各自関連資料を前もって調べておき、ディスカッションの際すぐ参照できるようにまとめておいてください。)

学内の無線LANに接続したスマートフォン、タブレット端末またはノートPCを持参すること。(議論をより深くするために、授業中に資料調査を行うことがあります。全員、スマートフォン、タブレット端末またはノートPCのいずれかを必ず持参してください。)

遅刻・欠席しないこと。(遅刻・欠席をすると、成績評価に関する課題を提出できないことがあり、減点の対象になります。)

## - - - 授業計画 - - -

1回目 ガイダンス(スタートアップ授業、オンデマンド式講義)

2回目 韓国・朝鮮文学の時代区分、植民地時代(1)

3回目 植民地時代(2)

4回目 植民地時代(3)

5回目 朝鮮戦争(1)

6回目 朝鮮戦争(2)

7回目 産業化時代(1)

8回目 産業化時代(2)

9回目 民主化運動(1)

10回目 民主化運動(2)

11回目 グローバル社会(1)

12回目 グローバル社会(2)

13回目 多様化(1)

14回目 多様化(2)

15回目 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/gu6ik7s8bgsikaw5qu6mmyt5syhfzm7w>)

## 岡村 真寿美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・1時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、明・馮夢龍『喻世明言（古今小説）』巻31「闇陰司司馬貌断獄」を読む。

『喻世明言』を含むいわゆる「三言」は、「話本」の体裁をとって様々な物語を収録する。「闇陰司...」は三国時代に取材しつつ、現在通行する小説『三国志演義』には見えない「三国時代が始まった理由」を語る。今期は、この物語を丁寧に読み、あわせて三国故事の様々な文献を参考にしつつ、中国の通俗小説に関する知識を深めていきたい。

## - - - 到達目標 - - -

「闇陰司司馬貌断獄」について理解する(知識・理解)

馮夢龍の「三言」について理解する(知識・理解)

三国故事の成長過程について理解する(知識・理解)

中国の通俗文芸の世界について理解を深める(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(予習) 作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと(60分)

(復習) その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 80% (到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解)

平常点 20% (講義のポイントについての小テストまたはレポート) の割合で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

講義中にプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

高校漢文の知識があることが望ましいが、無くても履修できる。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回 受講ガイダンス(スタートアップ授業)
- 第2回 馮夢龍と「三言」
- 第3回 「闇陰司司馬貌断獄」について
- 第4回 「闇陰司司馬貌断獄」講読 司馬貌
- 第5回 講読 鬼卒の出現
- 第6回 講読 玉帝の命令
- 第7回 講読 森羅殿へ
- 第8回 講読 裁判
- 第9回 講読 韓信の告発
- 第10回 講読 彭越・英布の審問
- 第11回 講読 次の告発
- 第12回 講読 判決(前)
- 第13回 講読 判決(後)
- 第14回 話本の源流
- 第15回 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/w86ppkfoewlrtxpmw75p1wstma6a6e1c>)

## 甲斐 勝二

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・1時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

アジアの一角を占める中国に伝えられてきた短編の物語を皆さんと読みながら、その物語が語る事象について皆さんとともに考えてみたい。

今では小説や詩文はもちろんのこと映像までも含めて、絵本・小説、漫画・テレビドラマ・映画といった様々な表現形態を通じて、様々な物語が作られ、時には世を騒がすほどの大ヒット作が生まれているが、そもそも物語は遙か昔からつくられ、また語られてきたであろう事は想像に難くない。

ではこのような物語はいかにして生まれ、そして伝えられたのか。それはおそらく生活上に起こる各種の出来事に興味を覚えた人物が、その出来事を記録しておきたい、あるいはその出来事を誰かと共有したいという思いがあったに違いない。その思いが多くの人を共感させられるならば、それは人から人へと伝えられていくだろう。やがてその物語は作者の名も消えて伝え続けられる。日本で言えば、「さるかに合戦」とか「わらしべ長者」などの昔話がそれである。それらの物語は、現在でも興味を抱かせる内容を持つ。

この授業では、中国の漢魏晋南北朝にのこる物語、特に「志怪小説」(不思議な話)と呼ばれるものを主に読みながら「物語」の視点から皆さんと考えてみたい。また、外国文学の理解から、我々とは違った異文化の社会や考え方を考える視点も持てるようにしたい。

授業のやり方は、私の方から関係資料を事前に配布するので、あらかじめ読み概要と感想をまとめて予習課題として提出する。授業ではこの教材を理解し、授業後には授業内容に沿って示された課題作業を行い期限までに提出する。受講者は、これによって資料のまとめ方やレポートの書き方を練習してもらいたい。(課題提出の回数は受講者数によるが、基本的には毎回提出)。

## - - - 到達目標 - - -

中国の物語を通して「物語」の特徴を知る(知識・理解)

資料の内容の大略を理解し簡明にまとめられる(技能)

自分の考えと理由とともに簡明にまとめられる(技能)

外国文学を異文化理解に役立てようとする(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

配布教材に基づく予習レポートの提出(90分)  
 授業内容に基づく課題レポートの作成および提出(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業の理解度と提出される予習・復習課題内容に示される到達目標の達成度を評価の基準とする。割合は以下の通り

- 定期試験(上限50%)
  - 予習レポート(上限20%)
  - 課題レポート(上限30%)
- これらを加えて総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

授業にて配布

## - - - 参考書 - - -

平凡社『中国古典文学大系』  
 明治書院『新釈漢文大系』  
 学研版『中国の古典』  
 必要なものは授業中に提示する。  
 レポートの書き方については、市販のものや、福大ナビなどを参考されたい。  
 なお中国文学の作品の翻訳書はあちこちで出ているので参考にされたい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

各種連絡・課題の提出はmoodleを利用する予定なので注意されたい(moodleの使い方については、2回目の授業時間で説明予定)。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業(動画配信)  
 講師紹介・シラバス解説・授業(物語を巡って)
- 2 moodleの紹介・  
 漢末の物語詩を読む  
 焦仲卿妻詩
- 3 北朝の物語詩を読む  
 木蘭詩
- 4 魏晋南朝の志怪小説1  
 拾遺記より
- 5 魏晋南朝の志怪小説2  
 拾遺記より
- 6 魏晋南朝の詩秋小説3  
 搜神記より
- 7 魏晋南朝の志怪小説4  
 搜神記より
- 8 魏晋南朝の志怪小説5  
 搜神記より
- 9 魏晋南朝の志怪小説6  
 博物志より
- 10 魏晋南朝の志怪小説7  
 搜神後記より
- 11 魏晋南朝の志怪小説8  
 搜神後記より
- 12 魏晋南朝の志怪小説9  
 異苑より
- 13 魏晋南朝の志怪小説を読む10  
 異苑より
- 14 魏晋南朝の志人小説を読む  
 世説新語より
- 15 まとめ  
 物語を考える

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ch2dirhq5iun6sagpyhaxhb5z5sensge>

## 東 英寿

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・1 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

## - - - 概要 - - -

本授業は、中国の三国時代に関する文学をテーマとします。魏・呉・蜀という三つの国が鼎立した三国時代は、曹操、劉備、関羽、張飛、諸葛孔明など個性のある様々な人物が登場し、知略をめぐる作戦や壮絶な戦いが行われました。これらの史実を記録したのが陳寿編纂の歴史書『三国志』です。さらに後世、『三国志』に基づいた小説である『三国志演義』が刊行されました。

本授業では、主として『三国志』と『三国志演義』を取り扱い、三国時代の情勢、三国志に登場する人物、三国時代に関連する詩文の読解などの視点から多面的に考察します。

さらに、三国時代を記録した正史『三国志』と、その後に編纂された小説『三国志演義』を比較しその違いについて分析することを通して、三国志の物語の伝承関係や、現在三国志の史実といわれているものは、どちらに基づいているのか等についても考察します。

適宜、授業に関連する映画DVDや三国志のアニメDVDの鑑賞を通して、三国志について、一層の理解を深めます。

三国時代の英傑の生き方は、現代人の生き方に通じるものがあり、それらを理解することを通して、中国人の考え方・思想を学ぶという観点からも授業を展開します。

以上を通して、三国志について総合的に学ぶことを目指します。

## - - - 到達目標 - - -

中国の三国時代に関連する文学について、基本的知識を身につけ、説明することができる。(知識・理解)

『三国志』と『三国志演義』の共通点と相違点を明らかにすることができる。(知識・理解)

三国時代の英雄を通して、現代人に通じる生き方を学ぶ態度を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

三国志に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい(指定されたものを読んでおくのに30分程度はかけましょう)。授業の内容については、授業後に見直し確認をするなどの復習をすることが大切となります(振り返って知識を定着させるのに30分程度はかけましょう)。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい(週に平均して1時間程度はかけましょう)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

三国時代の文学や時代情勢に関する知識を身につけ、授業の内容をきちんと理解できているかを評価の基準とします。

定期試験の評価(80%)と課題提出(20%)によって総合的に評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

三国志について詳しく知らなくても、授業中に適宜、三国志に関するDVDや横山光輝のアニメ『三国志』を見るので、三国という時代を理解できると思います。なお、遅刻をしないようにして注意して下さい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 三国志の時代
- 3 三国志の登場人物 - 魏の曹操、蜀の劉備
- 4 三国志の登場人物 - 呉の孫権
- 5 三国時代の概観
- 6 邪馬台国について
- 7 桃園の結義
- 8 督郵の視察
- 9 三顧の礼
- 10 苦肉の計
- 11 赤壁の戦い
- 12 赤壁の戦い
- 13 三国志の諸相
- 14 現代人と三国志
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/cgyp3ctxz5ug2ubr5gcf9ve2nxa7igt>

## 朴 順伊

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

この講義では、韓国・朝鮮文学の知識を学び、異文化というものを理解することを目的とする。

具体的には、近代文学の作品を中心に作品を読むことに焦点を置く。例えば、近年以後、異文化に接する機会が多い現在、私達は、東アジア文化圏の中で生活していながらもいかにそれらの社会や文化を正しく理解していないところがある。そこで本講義では、韓国文学に焦点を合わせ、その作品の背景にある社会的構造を含め、歴史、文化などを学ぶことができる。そして登場する人物を通して、心理的な観点から価値観・行動様式などのバロメーターを総合的に幅広く紹介する。それに基づく画像資料などの副教材も使用する。

## - - - 到達目標 - - -

韓国文学についての基礎知識とその背景にある社会的な風習・道徳・慣習などの差異を考えることができる。  
 (知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：次回の授業に備えて分からない単語などを事前に調べてくること。(30分)

復習：毎回、授業で習ったことを読み、理解すること。(40分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

韓国文学に関する基礎知識を習得しているのか、またその知識を活かしてその時代の背景にある歴史、文化、人々の価値観の違いを理解しているのか等を基準にし、以下の割合で判断する。

- ・定期テスト(50%)
- ・小テスト(30%)
- ・授業への参加度・積極性・質問や感想(20%)

## - - - テキスト - - -

『アジア文化と文学思想 - 日韓比較の視点から -』朴順伊著、文眞堂

ISBN 978 4 8309 4664 6

## - - - 履修上の留意点 - - -

- ・遅刻しないこと。

## - - - 授業計画 - - -

第1回の授業は「動画」を配信します。  
 2回の授業からは対面授業になります。

- 1 スタートアップ授業  
 (オリエンテーション・韓国・朝鮮文学とは?)  
 (動画配信)
- 2 韓国文学と儒教思想(1)
- 3 韓国文学と儒教思想(2)
- 4 李光洙の「反儒教思想」と近代思想
- 5 三綱五常と「忠」思想
- 6 三綱五常と「孝」思想
- 7 三綱五常と「貞」思想
- 8 『無常』における「家」思想
- 9 『無常』における「妓生」概念
- 10 作品と関連する映画感想
- 11 『無常』における「婚姻制度」と新女性
- 12 『再生』における「恋愛観」
- 13 『再生』における「男性観」
- 14 『再生』における「教育観」
- 15 総まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/1vj0coe9833a8cr8rttum41tfqwfqmt)

## 柳 忠熙

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・1時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

みなさんは 韓流 という言葉をよく耳にしているかもしれませんが。最近、日本では、K-popやドラマや映画など、さまざまな韓国のコンテンツが紹介され、みなさんにも親しみのあるものになっていると思います。これまでの記憶と経験を思い出しなが、韓国・朝鮮の文学作品と映画の内容を確認し、韓国・朝鮮文化を考える新しい経験をしてみませんか。

この授業では、日本の隣の国である韓国・朝鮮の文学に関する概略的な知識と理解を得ることを目指します。

古代から現代にかけての韓国・朝鮮文学の流れを学び、各時代の韓国・朝鮮文学作品の内容と、その作品が置かれた歴史・社会・文化的な背景についての概略的な知識と理解を得ることができます。

そして、各時代の主な韓国・朝鮮文学テキストと関連映画に触れてみる(原文や日本語翻訳や映画の鑑賞など)ことを通じて、朝鮮半島に生きた人々の社会や歴史の変化を理解し、現在の韓国・朝鮮の歴史・社会・文化の特徴に対する自分なりの観点を持つこととなります。

## - - - 到達目標 - - -

韓国・朝鮮文学についての基礎知識を身につけることができる(知識・理解)

日韓・日朝関係についての自分なりの観点を得ることができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・復習時にプリントを再読し、不明な点については、参考文献の学習や次回の講義での質問など、解決に努めること。(30分)

・授業後、授業の内容についての感想と疑問を授業感想文として作成すること。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

韓国・朝鮮文学に関する基礎知識を習得しているのか、またその知識をもって具体的な例をあげながら韓国・朝鮮文学の特徴と内容を説明することができるかを評価基準とし、以下の割合で総合的に判断する。

- ・定期試験：40%
- ・映画鑑賞の感想文：30%(A4の1頁程度×3回提出)
- ・作品の感想文：10%(A4の2頁程度)
- ・授業への取り組み：20%(授業の内容に対する感想や質問、教員の質問に対する返答。)

## - - - テキスト - - -

プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

李光鎬編、尹相仁・渡辺直紀訳『韓国の近現代文学』(法政大学出版局、2001年)ISBN:4588080083

野崎充彦『朝鮮の物語』(大修館書店、1998)ISBN:9784469231427

染谷智幸・鄭炳説編『韓国の古典小説』(ペリかん社、2008年)ISBN:9784831512239

申明直・張世眞・権昶奎著、浦川登久恵・野口なごみ訳『韓国文学ノート』(白帝社、2008年)ISBN:9784891749491

権寧珉編、田尻浩幸訳『韓国近現代文学事典』(明石書店、2012年)ISBN:9784750331683

小倉紀蔵『朝鮮思想全史』(ちくま新書、2017年)ISBN:9784480071040

秋月望監修『韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史』(キネマ旬報ムック、2015年)ISBN:4873768179

斎藤真理子編『韓国・フェミニズム・日本 完全版』(河出書房新社、2019年)ISBN:9784309028378

韓国映像資料院編・桑畑優香訳『韓国映画100選』(クオン、2019年)ISBN:9784904855935

波田野節子・斎藤真理子編著ほか『韓国文学を旅する60章』(明石書店、2020年)ISBN:9784750351070

## - - - 履修上の留意点 - - -

- ・配布されたプリントを毎回すべて持参すること。
- ・授業中に鑑賞する映画(3本)についての感想文を提出すること(3回)。
- ・韓国・朝鮮文学(日本語訳)の課題リストから1作品を選んで読んで、その感想文を提出すること。
- ・毎回授業後、指定の締切まで感想や質問などを記入し、FUポータルの課題に提出すること。
- ・授業の内容や評価方法は状況(例：遠隔授業など)によって変更の可能性がある。

## - - - 授業計画 - - -

1. オリエンテーション(スタートアップ授業)
2. 韓国・朝鮮の文学とは
3. 韓国・朝鮮の古典文学(1)
4. 韓国・朝鮮の古典文学(2)
5. 古典文学関連映画の鑑賞(1)
6. 古典文学関連映画の鑑賞(2)解説
7. 開化期・植民地期の文学(1)
8. 開化期・植民地期の文学(2)
9. 近代文学関連映画の鑑賞(1)
10. 近代文学関連映画の鑑賞(2)解説
11. 韓国・朝鮮の現代文学(1)
12. 現代文学関連映画の鑑賞(1)
13. 現代文学関連映画の鑑賞(2)解説
14. 現代文学関連映画の鑑賞(2)解説
15. 韓国・朝鮮の現代文学(2)、全体のまとめ

## ・時期区分とその内容

韓国・朝鮮の古典文学：古代～朝鮮時代、例)神話・郷歌・時調・漢詩文・パンソリ・古小説など)

開化期・植民地期の文学：19世紀末～20世紀半ば、例)新小説・翻訳翻案物・新体詩・代小説・日本語創作など)

韓国・朝鮮の現代文学：20世紀半ば～現在、例)高度成長期の文学、今日の韓国文学など。

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/bmsfeasewoff614eqzta93623a38eh8e>)

## 岡村 真寿美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・1時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、悲劇の女性として知られる王昭君にスポットをあてます。

漢代の実在の人物である王昭君の物語は、様々に形を変えて語り継がれました。本講義は彼女を取り上げた作品の一つ「漢宮秋」の講読を通して、王昭君故事の受容や時代背景、また通俗文芸についての基礎知識を学んでいきます。

## - - - 到達目標 - - -

『漢書』『元帝紀』『西京雜記』の記事を理解する(知識・理解)

「元雜劇」と『元曲選』について理解する(知識・理解)

「漢宮秋」の内容を理解する(知識・理解)

王昭君故事の変遷について理解する(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(予習) 作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと(60分)

(復習) その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 80% (到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解)

平常点 20% (講義のポイントについての小テストまたはレポート) の割合で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

講義中にプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

漢文の知識が無くても履修可能。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 第2回 『漢書』『西京雜記』の王昭君
- 第3回 元雜劇と「漢宮秋」について
- 第4回 「漢宮秋」講読 楔子
- 第5回 「漢宮秋」講読 第1折
- 第6回 「漢宮秋」講読 第1折
- 第7回 「漢宮秋」講読 第2折
- 第8回 「漢宮秋」講読 第2折
- 第9回 「漢宮秋」講読 第3折
- 第10回 「漢宮秋」講読 第3折
- 第11回 「漢宮秋」講読 第4折
- 第12回 「漢宮秋」講読 第4折
- 第13回 「漢宮秋」講読 第4折
- 第14回 王昭君故事の発展
- 第15回 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/1smq5tcotqb5zpu2bmvxbxv5pbdospez>)



## 間 ふさ子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

台湾の作家・三毛（サンマウ、1943-1991）は、1974年から翌75年までスペイン人の夫・ホセと共に北アフリカの西サハラに住み、そこで見聞きし経験したことを綴って台湾の新聞の文芸欄に発表しました。その文章は当時簡単には海外に行けなかった台湾の人々の心をつかみ、『サハラの物語』としてまとめられた単行本が一大ベストセラーとなりました。

その後1980年代には、中国大陸でも三毛の一大ブームが巻き起こり、没後30年となる今年に至るまで三毛を愛好する読者は後を絶ちません。その多くは彼女が遺した作品のみならず、人となりや生き方に魅了された人々です。

『サハラの物語』でデビューした三毛は、一人で異郷を旅し、見知らぬ世界の扉を果敢に押し開けた女性として認識されがちですが、実は非常に繊細で傷つきやすい心を持った人でした。

中国の伝統的道德観が強調される台湾で少女期を過ごした三毛は、中学二年のとき、教師の心ない仕打ちのために不登校となりますが、その後自力で古今東西の文学作品を読破、絵画や音楽の世界に触れることでようやく世間に足を踏み出す勇氣を持つに至ります。

その後、閉塞的な台湾社会を逃れてスペインへ遊学し、のちに夫となる七歳年下のホセと出会います。ドイツ、アメリカで学んだのち台湾に戻り、母校の教壇に立ったものの、ドイツ人の婚約者の急死にうちのめされた彼女は、傷心を抱いて再びスペインに赴き、そこでホセと再会し、ついに結婚を決意します。砂漠での激動の日々を経て、カナリア諸島に居を構えた三毛を待っていたのは、ホセの事故死という苛酷な現実でした。

彼女はホセの死後、1985年に「回聲」（こだま）という音楽アルバム制作に参加し自分の半生を振り返る11篇の歌詞を書きました。

本講義では、その「回聲」に収められた11の楽曲やその他彼女に関わる楽曲を手がかりとしながら三毛の一生をたどり、これらの楽曲と関連する彼女の代表的作品を鑑賞して、今もなお中国語圏の人びとに愛され続ける作家・三毛の作品とその生き方について学びます。

## - - - 到達目標 - - -

台湾の作家・三毛の生涯を知る(知識・理解)

台湾の作家・三毛の作品に触れる(知識・理解)

三毛の生き方と中国社会の関係を知る(知識・理解)

異なる文化圏の価値観を積極的に理解しようとする態度を持つ(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(予習) 配付された資料について前もって理解を深めておく(30分)  
 (復習) 講義内容をまとめ、それについて考えたことをフィードバックする(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

本科目は以下の方法と割合で成績を評価します。

- (1)定期試験：55%  
 (2)平常点：45%

定期試験は、三毛についての知識と理解、講義で紹介した三毛作品についての理解、三毛と中国社会の関係についてなど講義で取り扱う諸問題についての理解度が評価の基準となります。平常点は、その日の講義内容について問題意識を持ち検討を行っているかどうかを評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

資料を配布します

## - - - 参考書 - - -

サハラの歳月 ISBN 978-4-88344-289-8

## - - - 履修上の留意点 - - -

大学が提供するmoodleシステムを利用して授業資料の配布やフィードバックの入力を行います。

## - - - 授業計画 - - -

- 01 イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 02 「橄欖樹」：華人社会と三毛
- 03 「軌外」：不登校時代
- 04 「謎」：母への思い
- 05 「七点鐘（今生）」：初恋
- 06 「飛」：海外へ
- 07 「曉夢蝴蝶」：遊学の日々
- 08 「沙漠」：サハラへ
- 09 「今世」：ホセの死
- 10 「孀」：孤独
- 11 「説給自己聽」：死の誘惑
- 12 「遠方」：旅に出る
- 13 「夢田」：新しい人生
- 14 「滾滾紅塵」：世紀の恋を描く
- 15 「追夢人」：まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/qivlltr7dtihpaul80vigenbsv4lsve4>)

## 東 英寿

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

中国の古典文献と唐時代（618～907）宋時代（960～1279）の詩人について講義します。

本授業の前半では、中国古典に見られる思想と現代の繋がりについて見ていきます。その後、唐時代に活躍した詩人の詩を取り上げ講義します。孟浩然、王維、杜甫、杜牧等の唐代の詩人の詩を読解し、さらにそれぞれに関連したDVD（漢詩紀行）を鑑賞しながら、いわば唐詩が作られた場所に旅をすることを通して、その詩が作られた経緯や当時の状況を理解します。

本授業の後半では、宋の時代に活躍した文人である蘇軾と歐陽脩の二人に焦点を当てて講義します。授業では、適宜、授業の内容と関連したDVD（漢詩紀行）や『宋代の都市文化』等を鑑賞して、映像を通して理解を深めます。この授業は、これまで中国の文学について知識がなかった人に対しても、わかりやすく理解できるよう進めていきます。

以上を通して、中国の古典や唐・宋時代の文学を様々な角度から理解することを目指します。

## - - - 到達目標 - - -

中国の古典や唐代、宋代の文人の詩について、基本的知識を身につけ、説明することができる。(知識・理解)

唐代の詩人のDVDを鑑賞して、その詩の作成された具体的状況等を理解できる。(知識・理解)

宋代の歐陽脩が発想の達人と考えられる理由や要因を理解することができる。(知識・理解)

中国の古典に見られる思想を踏まえて、現代の生き方、考え方について学ぶ態度を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

中国古典や唐詩、宋詩に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい(指定されたものを読んでおくのに30分程度はかけましょう)。授業の内容については、授業後に見直し確認をするなどの復習をして下さい(振り返って知識を定着させるのに30分程度はかけましょう)。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい(週に平均して1時間程度はかけましょう)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中国古典や唐代、宋代の文学に対する知識を確実に身につけ、授業の内容を理解できているかを評価の基準とします。

定期試験の評価(80%)と課題の提出(20%)によって総合的に評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

新しい知識を積極的に吸収しようと意欲をもって授業に出て下さい。なお、遅刻をしないように注意して下さい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 中国古典と現代
- 3 中国古典と現代の繋がり
- 4 中国古典文献に見られる思想
- 5 中国古典から現代を考える
- 6 唐代の詩人—王維・孟浩然
- 7 王翰と楼蘭王国
- 8 張籍と杜牧の詩
- 9 杜甫の詩
- 10 魚玄機について
- 11 森鷗外「魚玄機」
- 12 宋という時代
- 13 蘇軾とトンポーロー
- 14 歐陽脩について
- 15 宋代のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/n4i35y4o39t2hc1jypy6ua8m41kqvtkd>

## 甲斐 勝二

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・1 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

## - - - 概要 - - -

アジアの一角を占める中国に伝えられてきた短編の物語を皆さんと読みながら、その物語が語る事象について皆さんとともに考えてみたい。

今では小説や詩文はもちろんのこと映像までも含めて、絵本・小説、漫画・テレビドラマ・映画といった様々な表現形態を通じて、様々な物語が作られ、時には世を騒がすほどの大ヒット作が生まれているが、そもそも物語は遙か昔からつくられ、また語られてきたであろう事は想像に難くない。

ではこのような物語はいかにして生まれ、そして伝えられたのか。それはおそらく生活上に起こる各種の出来事に興味を覚えた人物が、その出来事を記録しておきたい、あるいはその出来事を誰かと共有したいという思いがあったに違いない。その思いが多くの人を共感させられるならば、それは人から人へと伝えられていくだろう。やがてその物語は作者の名も消えて伝え続けられる。日本で言えば、「さるかに合戦」とか「わらしべ長者」などの昔話がそれである。それらの物語は、現在でも興味を抱かせる内容を持つ。

この授業では、中国の漢魏晋南北朝にのこる物語、特に「志怪小説」(不思議な話)と呼ばれるものを主に読みながら「物語」の視点から皆さんと考えてみたい。また、外国文学の理解から、我々とは違った異文化の社会や考え方を考える視点も持てるようにしたい。

授業のやり方は、私の方から関係資料を事前に配布するので、あらかじめ読み概要と感想をまとめて予習課題として提出する。授業ではこの教材を理解し、授業後には授業内容に沿って示された課題作業を行い期限までに提出する。受講者は、これによって資料のまとめ方やレポートの書き方を練習してもらいたい。(課題提出の回数は受講者数によるが、基本的には毎回提出)。

## - - - 到達目標 - - -

中国の物語を通して「物語」の特徴を知る(知識・理解)

資料の内容の大略を理解し簡明にまとめられる(技能)

自分の考えと理由とともに簡明にまとめられる(技能)

外国文学を異文化理解に役立てようとする(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

配布教材に基づく予習レポートの提出(90分)  
 授業内容に基づく課題レポートの作成および提出(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業の理解度と提出される予習・復習課題内容に示される到達目標の達成度を評価の基準とする。割合は以下の通り

- 定期試験(上限50%)
  - 予習レポート(上限20%)
  - 課題レポート(上限30%)
- これらを加えて総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

授業にて配布

## - - - 参考書 - - -

平凡社『中国古典文学大系』  
 明治書院『新釈漢文大系』  
 学研版『中国の古典』  
 必要なものは授業中に提示する。  
 レポートの書き方については、市販のものや、福大ナビなどを参考されたい。  
 なお中国文学の作品の翻訳書はあちこちで出ているので参考にされたい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

各種連絡・課題の提出はmoodleを利用する予定なので注意されたい(moodleの使い方については、2回目の授業時間で説明予定)。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業(動画配信)  
 講師紹介・シラバス解説・授業(物語を巡って)
- 2 moodleの紹介・  
 漢末の物語詩を読む  
 焦仲卿妻詩
- 3 北朝の物語詩を読む  
 木蘭詩
- 4 魏晋南朝の志怪小説1  
 拾遺記より
- 5 魏晋南朝の志怪小説2  
 拾遺記より
- 6 魏晋南朝の詩秋小説3  
 搜神記より
- 7 魏晋南朝の志怪小説4  
 搜神記より
- 8 魏晋南朝の志怪小説5  
 搜神記より
- 9 魏晋南朝の志怪小説6  
 博物志より
- 10 魏晋南朝の志怪小説7  
 搜神後記より
- 11 魏晋南朝の志怪小説8  
 搜神後記より
- 12 魏晋南朝の志怪小説9  
 異苑より
- 13 魏晋南朝の志怪小説を読む10  
 異苑より
- 14 魏晋南朝の志人小説を読む  
 世説新語より
- 15 まとめ  
 物語を考える

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ms2i49ah2zkn6kd3gz89riuwhdkjhxh>

## 東 英寿

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・1 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

## - - - 概要 - - -

本授業は、中国の三国時代に関する文学をテーマとします。魏・呉・蜀という三つの国が鼎立した三国時代は、曹操、劉備、関羽、張飛、諸葛孔明など個性のある様々な人物が登場し、知略をめぐらせた作戦や壮絶な戦いが行われました。これらの史実を記録したのが陳寿編纂の歴史書『三国志』です。さらに後世、『三国志』に基づいた小説である『三国志演義』が刊行されました。

本授業では、主として『三国志』と『三国志演義』を取り扱い、三国時代の情勢、三国志に登場する人物、三国時代に関連する詩文の読解などの視点から多面的に考察します。

さらに、三国時代を記録した正史『三国志』と、その後に編纂された小説『三国志演義』を比較しその違いについて分析することを通して、三国志の物語の伝承関係や、現在三国志の史実といわれているものは、どちらに基づいているのか等についても考察します。

適宜、授業に関連する映画DVDや三国志のアニメDVDの鑑賞を通して、三国志について、一層の理解を深めます。

三国時代の英傑の生き方は、現代人の生き方に通じるものがあり、それらを理解することを通して、中国人の考え方・思想を学ぶという観点からも授業を展開します。

以上を通して、三国志について総合的に学ぶことを目指します。

## - - - 到達目標 - - -

中国の三国時代に関連する文学について、基本的知識を身につけ、説明することができる。(知識・理解)

『三国志』と『三国志演義』の共通点と相違点を明らかにすることができる。(知識・理解)

三国時代の英雄を通して、現代人に通じる生き方を学ぶ態度を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

三国志に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい(指定されたものを読んでおくのに30分程度はかけましょう)。授業の内容については、授業後に見直して確認をするなどの復習をすることが大切となります(振り返って知識を定着させるのに30分程度はかけましょう)。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい(週に平均して1時間程度はかけましょう)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

三国時代の文学や時代情勢に関する知識を身につけ、授業の内容をきちんと理解できているかを評価の基準とします。

定期試験の評価(80%)と課題提出(20%)によって総合的に評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

三国志について詳しく知らなくても、授業中に適宜、三国志に関するDVDや横山光輝のアニメ『三国志』を見るので、三国という時代を理解できると思います。なお、遅刻をしないようにして注意して下さい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 三国志の時代
- 3 三国志の登場人物 - 魏の曹操、蜀の劉備
- 4 三国志の登場人物 - 呉の孫権
- 5 三国時代の概観
- 6 邪馬台国について
- 7 桃園の結義
- 8 督郵の視察
- 9 三顧の礼
- 10 苦肉の計
- 11 赤壁の戦い
- 12 赤壁の戦い
- 13 三国志の諸相
- 14 現代人と三国志
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/rku3dn5f7chafbf9zkvlwygusl9qxtcw>

## 岡村 真寿美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・1時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、明・馮夢龍『喻世明言（古今小説）』巻31「闇陰司司馬貌断獄」を読む。

『喻世明言』を含むいわゆる「三言」は、「話本」の体裁をとって様々な物語を収録する。「闇陰司...」は三国時代に取材しつつ、現在通行する小説『三国志演義』には見えない「三国時代が始まった理由」を語る。今期は、この物語を丁寧に読み、あわせて三国故事の様々な文献を参考にしつつ、中国の通俗小説に関する知識を深めていきたい。

## - - - 到達目標 - - -

「闇陰司司馬貌断獄」について理解する(知識・理解)

馮夢龍の「三言」について理解する(知識・理解)

三国故事の成長過程について理解する(知識・理解)

中国の通俗文芸の世界について理解を深める(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(予習) 作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと(60分)

(復習) その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 80% (到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解)

平常点 20% (講義のポイントについての小テストまたはレポート) の割合で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

講義中にプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

高校漢文の知識があることが望ましいが、無くても履修できる。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回 受講ガイダンス(スタートアップ授業)
- 第2回 馮夢龍と「三言」
- 第3回 「闇陰司司馬貌断獄」について
- 第4回 「闇陰司司馬貌断獄」講読 司馬貌
- 第5回 講読 鬼卒の出現
- 第6回 講読 玉帝の命令
- 第7回 講読 森羅殿へ
- 第8回 講読 裁判
- 第9回 講読 韓信の告発
- 第10回 講読 彭越・英布の審問
- 第11回 講読 次の告発
- 第12回 講読 判決(前)
- 第13回 講読 判決(後)
- 第14回 話本の源流
- 第15回 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/2e2monzy8evm9a7b4jmm4mfmd6bi1r>)

## 間 ふさ子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

台湾の作家・三毛（サンマウ、1943-1991）は、1974年から翌75年までスペイン人の夫・ホセと共に北アフリカの西サハラに住み、そこで見聞きし経験したことを綴って台湾の新聞の文芸欄に発表しました。その文章は当時簡単には海外に行けなかった台湾の人々の心をつかみ、『サハラの物語』としてまとめられた単行本が一大ベストセラーとなりました。

その後1980年代には、中国大陸でも三毛の一大ブームが巻き起こり、没後30年となる今年に至るまで三毛を愛好する読者は後を絶ちません。その多くは彼女が遺した作品のみならず、人となりや生き方に魅了された人々です。

『サハラの物語』でデビューした三毛は、一人で異郷を旅し、見知らぬ世界の扉を果敢に押し開けた女性として認識されがちですが、実は非常に繊細で傷つきやすい心を持った人でした。

中国の伝統的道德観が強調される台湾で少女期を過ごした三毛は、中学二年のとき、教師の心ない仕打ちのために不登校となりますが、その後自力で古今東西の文学作品を読破、絵画や音楽の世界に触れることでようやく世間に足を踏み出す勇氣を持つに至ります。

その後、閉塞的な台湾社会を逃れてスペインへ遊学し、のちに夫となる七歳年下のホセと出会います。ドイツ、アメリカで学んだのち台湾に戻り、母校の教壇に立ったものの、ドイツ人の婚約者の急死にうちのめされた彼女は、傷心を抱いて再びスペインに赴き、そこでホセと再会し、ついに結婚を決意します。砂漠での激動の日々を経て、カナリア諸島に居を構えた三毛を待っていたのは、ホセの事故死という苛酷な現実でした。

彼女はホセの死後、1985年に「回聲」（こだま）という音楽アルバム制作に参加し自分の半生を振り返る11篇の歌詞を書きました。

本講義では、その「回聲」に収められた11の楽曲やその他彼女に関わる楽曲を手がかりとしながら三毛の一生をたどり、これらの楽曲と関連する彼女の代表的作品を鑑賞して、今もなお中国語圏の人びとに愛され続ける作家・三毛の作品とその生き方について学びます。

## - - - 到達目標 - - -

台湾の作家・三毛の生涯を知る(知識・理解)

台湾の作家・三毛の作品に触れる(知識・理解)

三毛の生き方と中国社会の関係を知る(知識・理解)

異なる文化圏の価値観を積極的に理解しようとする態度を持つ(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(予習) 配付された資料について前もって理解を深めておく(30分)  
 (復習) 講義内容をまとめ、それについて考えたことをフィードバックする(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

本科目は以下の方法と割合で成績を評価します。

- (1)定期試験：55%  
 (2)平常点：45%

定期試験は、三毛についての知識と理解、講義で紹介した三毛作品についての理解、三毛と中国社会の関係についてなど講義で取り扱う諸問題についての理解度が評価の基準となります。平常点は、その日の講義内容について問題意識を持ち検討を行っているかどうかを評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

資料を配布します

## - - - 参考書 - - -

サハラの歳月 ISBN 978-4-88344-289-8

## - - - 履修上の留意点 - - -

大学が提供するmoodleシステムを利用して授業資料の配布やフィードバックの入力を行います。

## - - - 授業計画 - - -

- 01 インTRODククション：スタートアップ授業（動画配信）
- 02 「橄欖樹」：華人社会と三毛
- 03 「軌外」：不登校時代
- 04 「謎」：母への思い
- 05 「七点鐘（今生）」：初恋
- 06 「飛」：海外へ
- 07 「曉夢蝴蝶」：遊学の日々
- 08 「沙漠」：サハラへ
- 09 「今世」：ホセの死
- 10 「孀」：孤独
- 11 「説給自己聽」：死の誘惑
- 12 「遠方」：旅に出る
- 13 「夢田」：新しい人生
- 14 「滾滾紅塵」：世紀の恋を描く
- 15 「追夢人」：まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/t140ept65twxdkpfv5s044n2ndkhu275>

## 東 英寿

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・1 時限 試験時間割：2022/01/21 4 時限

## - - - 概要 - - -

中国の古典文献と唐時代（618～907）宋時代（960～1279）の詩人について講義します。

本授業の前半では、中国古典に見られる思想と現代の繋がりについて見ていきます。その後、唐時代に活躍した詩人の詩を取り上げ講義します。孟浩然、王維、杜甫、杜牧等の唐代の詩人の詩を読解し、さらにそれぞれに関連したDVD（漢詩紀行）を鑑賞しながら、いわば唐詩が作られた場所に旅をすることを通して、その詩が作られた経緯や当時の状況を理解します。

本授業の後半では、宋の時代に活躍した文人である蘇軾と歐陽脩の二人に焦点を当てて講義します。授業では、適宜、授業の内容と関連したDVD（漢詩紀行）や『宋代の都市文化』等を鑑賞して、映像を通して理解を深めます。この授業は、これまで中国の文学について知識がなかった人に対しても、わかりやすく理解できるよう進めていきます。

以上を通して、中国の古典や唐・宋時代の文学を様々な角度から理解することを目指します。

## - - - 到達目標 - - -

中国の古典や唐代、宋代の文人の詩について、基本的知識を身につけ、説明することができる。  
 (知識・理解)

唐代の詩人のDVDを鑑賞して、その詩の作成された具体的状況等を理解できる。(知識・理解)

宋代の歐陽脩が発想の達人と考えられる理由や要因を理解することができる。(知識・理解)

中国の古典に見られる思想を踏まえて、現代の生き方、考え方について学ぶ態度を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

中国古典や唐詩、宋詩に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい（指定されたものを読んでおくのに30分程度はかけましょう）。授業の内容については、授業後に見直し確認をするなどの復習をして下さい（振り返って知識を定着させるのに30分程度はかけましょう）。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい（週に平均して1時間程度はかけましょう）。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中国古典や唐代、宋代の文学に対する知識を確実に身につけ、授業の内容を理解できているかを評価の基準とします。

定期試験の評価（80％）と課題の提出（20％）によって総合的に評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

新しい知識を積極的に吸収しようと意欲をもって授業に出て下さい。なお、遅刻をしないように注意して下さい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 2 中国古典と現代
- 3 中国古典と現代の繋がり
- 4 中国古典文献に見られる思想
- 5 中国古典から現代を考える
- 6 唐代の詩人－王維・孟浩然
- 7 王翰と楼蘭王国
- 8 張籍と杜牧の詩
- 9 杜甫の詩
- 10 魚玄機について
- 11 森鷗外「魚玄機」
- 12 宋という時代
- 13 蘇軾とトンポーロー
- 14 歐陽脩について
- 15 宋代のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/56mun47y34te2y47z9sytfdc2qb2mqp7>

## 岡村 真寿美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・1 時限 試験時間割：2022/01/21 4 時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、悲劇の女性として知られる王昭君にスポットをあてます。

漢代の実在の人物である王昭君の物語は、様々に形を変えて語り継がれました。本講義は彼女を取り上げた作品の一つ「漢宮秋」の講読を通して、王昭君故事の受容や時代背景、また通俗文芸についての基礎知識を学んでいきます。

## - - - 到達目標 - - -

『漢書』『元帝紀』『西京雜記』の記事を理解する(知識・理解)

「元雜劇」と『元曲選』について理解する(知識・理解)

「漢宮秋」の内容を理解する(知識・理解)

王昭君故事の変遷について理解する(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(予習) 作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと(60分)

(復習) その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 80% (到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解)

平常点 20% (講義のポイントについての小テストまたはレポート) の割合で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

講義中にプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

漢文の知識が無くても履修可能。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 第2回 『漢書』『西京雜記』の王昭君
- 第3回 元雜劇と「漢宮秋」について
- 第4回 「漢宮秋」講読 楔子
- 第5回 「漢宮秋」講読 第1折
- 第6回 「漢宮秋」講読 第1折
- 第7回 「漢宮秋」講読 第2折
- 第8回 「漢宮秋」講読 第2折
- 第9回 「漢宮秋」講読 第3折
- 第10回 「漢宮秋」講読 第3折
- 第11回 「漢宮秋」講読 第4折
- 第12回 「漢宮秋」講読 第4折
- 第13回 「漢宮秋」講読 第4折
- 第14回 王昭君故事の発展
- 第15回 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/0ufo6ztoa9g95nca96y57esienol3ztp>)



## 磯田 則彦

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

## - - - 概要 - - -

地理学は、通常系統地理学と地誌学に分類される。両者の比重は時代とともに変化してきたが、前者の重要性は1950年代以降の世界の地理学の動向を見れば一目瞭然である。系統地理学は、実に多くの専門領域から構成されるが、通常その内容により人文地理学と自然地理学に分類される。本講義では、地理学における系統地理学の位置づけと特徴について理解したうえで、人文地理学の基本的な領域の理解を目標とする。人文地理学にはどのような主題があり、その主題にはどのような地域性が認められるのか、という観点から学習を進めていきたい。具体的には、世界の農業・工業・都市の地域性や特徴について、アメリカやEU諸国、および中国などを事例地域として考察する。

## - - - 到達目標 - - -

人文地理学が扱う主題について理解し説明できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の講義内容の理解を進めるために、講義時間と同等以上の予習・復習を行ってください(講義1時間あたり各90分以上)。具体的には、授業で使用する資料(専門用語等)について予め学習する。および、板書ノートや前記資料中の専門用語の意味や重要統計などを復習する。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験有。定期試験の結果(100%)により評価する。具体的には、世界の農業・工業・都市に関する専門用語や地域名・都市名、および重要統計などが理解できているかを重視する。

## - - - テキスト - - -

なし。配布資料により講義を行う。

## - - - 参考書 - - -

地図帳および世界国勢図会等

## - - - 履修上の留意点 - - -

クラスサイズが比較的大きいので、授業中に十分に理解できなかった点、確認しておきたい点、疑問点などはオフィス・アワーなどを利用して補うことをすすめます。もちろん、人文地理学を受講する上での学習上のアドバイスなどもできますので、遠慮なく相談してください。みなさんが主体的に勉強できる環境を一緒に作りましょう。

## - - - 授業計画 - - -

イントロダクション(スタートアップ授業)人文地理学の主題とは

地理学と系統地理学  
 穀物栽培農業  
 有畜農業  
 中国の農業  
 アメリカの農業  
 工業の種類  
 工業の立地  
 アメリカの工業地域  
 EUの工業地域  
 世界の都市分類  
 世界の特徴的な都市  
 世界の大都市  
 世界の都市問題  
 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/rkww64lc6ztowg6xp57nkty3devhqyjd>)

## 磯田 則彦

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・二部 1 時限 試験時間割：2021/07/29 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

地理学は、通常系統地理学と地誌学に分類される。両者の比重は時代とともに変化してきたが、前者の重要性は1950年代以降の世界の地理学の動向を見れば一目瞭然である。系統地理学は、実に多くの専門領域から構成されるが、通常その内容により人文地理学と自然地理学に分類される。本講義では、地理学における系統地理学の位置づけと特徴について理解したうえで、人文地理学の基本的な領域の理解を目標とする。人文地理学にはどのような主題があり、その主題にはどのような地域性が認められるのか、という観点から学習を進めていきたい。具体的には、世界の農業・工業・都市の地域性や特徴について、農業形態、工業類型論や立地論、およびプライメイトシティをはじめとした世界の大都市について考察する。事例地域としては、アメリカ・EU諸国、中国、南米・アフリカの国々などを取りあげる。

## - - - 到達目標 - - -

人文地理学が扱う主題について理解し説明できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の講義内容の理解を進めるために、講義時間と同等以上の予習・復習を行ってください(講義1時間あたり各90分以上)。具体的には、授業で使用する資料(専門用語等)について予め学習する。および、板書ノートや前記資料中の専門用語の意味や重要統計などを復習する。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験有。定期試験の結果(100%)により評価する。具体的には、世界の農業・工業・都市に関する専門用語や地域名・都市名、および重要統計などが理解できているかを重視する。

## - - - テキスト - - -

なし。配布資料により講義を行う。

## - - - 参考書 - - -

地図帳および世界国勢図会等

## - - - 履修上の留意点 - - -

クラスサイズが比較的大きいので、授業中に十分に理解できなかった点、確認しておきたい点、疑問点などはオフィス・アワーなどを利用して補うことをすすめます。もちろん、人文地理学を受講する上での学習上のアドバイスなどもできますので、遠慮なく相談してください。みなさんが主体的に勉強できる環境を一緒に作りましょう。

## - - - 授業計画 - - -

イントロダクション(スタートアップ授業)人文地理学の主題とは

地理学と系統地理学

穀物栽培農業

有畜農業

プランテーション農業

中国の農業地域区分

工業類型論

工業立地論

アメリカの工業地域

EUの工業地域

都市化する世界

世界の都市の分類

プライメイトシティとは

世界の大都市問題

まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/5e81n293vhwktax0vjcy0sbe3ahnezoq)

[s/5e81n293vhwktax0vjcy0sbe3ahnezoq](https://fukuoka-u.box.com/s/5e81n293vhwktax0vjcy0sbe3ahnezoq))

## 中村 未来

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

グローバル化やボーダーレス化が進み、我々を取り巻く環境が目まぐるしく変化している昨今、他国と海を隔てた日本においても、異文化圏の人々と接する機会が大幅に益してきている。そのような異文化間の交流を通して、我々が強く感じるのは、やはりアジア文化圏に共通する倫理観や人間観の存在であろう。

「人の性は善か、悪か」「忠と孝はどちらを優先すべきか」等、中国古代より幾度も論じられてきた問いは、現代においても、なお、考察すべき大きな意義を持つ。日本人の倫理観や人間観の根底にも、このような古代中国思想の影響が多分に含まれているものと考えられる。

そこで、本授業では『論語』や『孟子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、東洋思想の原点、特に「人間観」について改めて考えてみたい。

## - - - 到達目標 - - -

アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60分)

配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること(復習)。(60分)

わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること(予習・復習)。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価する。

定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える道徳観念をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

## - - - 参考書 - - -

金谷治『中国思想を考える 未来を開く伝統』中公新書 ISBN 978-4121011206

湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623058204

溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会 ISBN 978-4130100878

その他、授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業を通して5回程、授業内容に関する意見や感想、あるいは小テスト等を10分程度で記述(解答)し、提出してもらう。

遅刻や途中退席、授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

## - - - 授業計画 - - -

1. はじめに(スタートアップ授業・動画配信)
2. 天と人と
3. 天と人と
4. 天と人と
5. 性説
6. 性説
7. 性説
8. 孝と忠と
9. 孝と忠と
10. 欲について
11. 礼について
12. 聖人観
13. 聖人観、戦争について
14. 戦争について
15. おわりに

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/s/](https://fukuoka-u.box.com/s/kpuv15221vk6s2aidy9ftlm1a1i1916s)

[kpuv15221vk6s2aidy9ftlm1a1i1916s](https://fukuoka-u.box.com/s/kpuv15221vk6s2aidy9ftlm1a1i1916s))

## 中村 未来

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・4 時限 試験時間割：2021/07/28 1 時限

## - - - 概要 - - -

グローバル化やボーダーレス化が進み、我々を取り巻く環境が目まぐるしく変化している昨今、他国と海を隔てた日本においても、異文化圏の人々と接する機会が大幅に益してきている。そのような異文化間の交流を通して、我々が強く感じるのは、やはりアジア文化圏に共通する倫理観や人間観の存在であろう。

「人の性は善か、悪か」「忠と孝はどちらを優先すべきか」等、中国古代より幾度も論じられてきた問いは、現代においても、なお、考察すべき大きな意義を持つ。日本人の倫理観や人間観の根底にも、このような古代中国思想の影響が多分に含まれているものと考えられる。

そこで、本授業では『論語』や『孟子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、東洋思想の原点、特に「人間観」について改めて考えてみたい。

## - - - 到達目標 - - -

アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60分)

配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること(復習)。(60分)

わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること(予習・復習)。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価する。

定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える道徳観念をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

## - - - 参考書 - - -

金谷治『中国思想を考える 未来を開く伝統』中公新書 ISBN 978-4121011206

湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623058204

溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会 ISBN 978-4130100878

その他、授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業を通して5回程、授業内容に関する意見や感想、あるいは小テスト等を10分程度で記述(解答)し、提出してもらう。

遅刻や途中退席、授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

## - - - 授業計画 - - -

1. はじめに(スタートアップ授業・動画配信)
2. 天と人と
3. 天と人と
4. 天と人と
5. 性説
6. 性説
7. 性説
8. 孝と忠と
9. 孝と忠と
10. 欲について
11. 礼について
12. 聖人観
13. 聖人観、戦争について
14. 戦争について
15. おわりに

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/27m4k8nnwrt2rwxknakit324plnnli5a>)

## 中村 未来

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・4時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

グローバル化やボーダーレス化が進み、我々を取り巻く環境が目まぐるしく変化している昨今、他国と海を隔てた日本においても、異文化圏の人々と接する機会が大幅に益してきている。そのような異文化間の交流を通して、我々が強く感じるのは、やはりアジア文化圏に共通する倫理観や人間観の存在であろう。

「人の性は善か、悪か」「忠と孝はどちらを優先すべきか」等、中国古代より幾度も論じられてきた問いは、現代においても、なお、考察すべき大きな意義を持つ。日本人の倫理観や人間観の根底にも、このような古代中国思想の影響が多分に含まれているものと考えられる。

そこで、本授業では『論語』や『孟子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、東洋思想の原点、特に「人間観」について改めて考えてみたい。

## - - - 到達目標 - - -

アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60分)

配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること(復習)。(60分)

わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること(予習・復習)。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価する。

定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える道德観念をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

## - - - 参考書 - - -

金谷治『中国思想を考える 未来を開く伝統』中公新書 ISBN 978-4121011206

湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623058204

溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会 ISBN 978-4130100878

その他、授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業を通して5回程、授業内容に関する意見や感想、あるいは小テスト等を10分程度で記述(解答)し、提出してもらう。

遅刻や途中退席、授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

## - - - 授業計画 - - -

1. はじめに(スタートアップ授業・動画配信)
2. 天と人と
3. 天と人と
4. 天と人と
5. 性説
6. 性説
7. 性説
8. 孝と忠と
9. 孝と忠と
10. 欲について
11. 礼について
12. 聖人観
13. 聖人観、戦争について
14. 戦争について
15. おわりに

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/q63af1cyri75ncw2yghlfs60nwpmhdc>)

## 中村 未来

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：火・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

このゼミでは、『論語』や『孟子』等の中国の古典を精読し、人間とはいかなる存在か、どのように生きるべきか等、そこに示された人間観について議論していく。具体的には、「生と死」「善と悪」「忠と孝」「運命」等、東洋思想を貫く哲学的な問いについて考えてみたい。

日本人の倫理観の形成には隣国の大国・中国の影響が大きい。そのため、中国の古典に記された内容を深く検討することは、我々の思考の原点に立ち返ることにもなるであろう。

ゼミ形式で授業を進めるため、受講者が主体的に課題に取り組み、発表・討論を重ね、議論の内容を深めていく必要がある。積極的な姿勢で授業に臨んで欲しい。

ゼミの第1～5回においては、中国の古典を講読する上でかかせない語句や文献(工具書)、漢文訓読法を確認する(発表形式)。そして第6回以降において、受講者の興味関心に従い文献を定め、その精読を通して東洋思想に見える人間観について考えてみる。

## - - - 到達目標 - - -

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

中国の古典に触れ、文化の多様性と言語表現について理解し、説明できる。(知識・理解)

授業テーマに関して、自分の見解を言語化し、他者と議論できる。(技能)

授業内容を通して、文化の多様性に関心を持ち、尊重する志向性を持つ。(態度・志向性)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

## [事前学習]

演習で取り上げる文献を精読し、自分なりに興味・関心、あるいは疑問に感じた箇所をまとめておく。(60分)

特に各回の発表者は、上記に加え、自身の考察を付けたレジュメを作成する。(120分～)

## [事後学習]

演習における討論を整理し統括しておく。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

[評価方法] 担当箇所の発表およびレジュメの内容を50%、課題への積極的な取り組み・授業への参加度を50%で評価する。

[評価基準] 中国古代思想に関する基本的な学説を正確に把握し、自分の言葉で説明できているか、またそこから導き出された自らの見解を他者と冷静に議論し、深めることができているか、という点を評価の基準とする。

## - - - テキスト - - -

必要に応じて資料を配布する。

## - - - 参考書 - - -

江連隆『漢文語法ハンドブック』大修館書店 ISBN

978-4469231359

湯浅邦弘編著『名言で読み解く中国の思想家』ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623063789

湯浅邦弘編著『教養としての中国古典』ミネルヴァ書房

ISBN 978-4623082759

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

受講者が主体的に発表・討論を行う演習形式の授業であるため、遅刻や無断欠席は厳禁。

高度な漢文読解能力の有無については問うところではないが、中国の古典に親しみや関心を持って授業に参加して欲しい。

## - - - 授業計画 - - -

1. はじめに(スタートアップ授業・動画配信)
2. 関連語句・文献についての発表
3. 関連語句・文献についての発表
4. 関連語句・文献についての発表
5. 関連語句・文献についての発表
6. テキスト講読：発表と討論
7. テキスト講読：発表と討論
8. テキスト講読：発表と討論
9. テキスト講読：発表と討論
10. テキスト講読：発表と討論
11. テキスト講読：発表と討論
12. テキスト講読：発表と討論
13. テキスト講読：発表と討論
14. テキスト講読：発表と討論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/gw25rqrgf07qfuh3snjfr0d1o7lqv9l>)

## 広川 明

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## --- 概要 ---

宇宙が誕生して138億年もの時間が経過し、あるときあるところに特異な構造をもつ有機体が生じた。それが私であり、私はいま・ここに存在する。私はこれまで気が遠くなるほどの時間存在しなかったが、つかの間のあいだこの世にとどまり、ふたたび無へと帰ってゆく。そしてそのあとには、永遠ともいえる時間が流れてゆくのだろう。

だがもしそうなら、この永遠の時間の、また、無限ともいえる空間の、いま・ここになぜ私は存在しているのだろうか。私は別の時代に別のところで（たとえば、織田信長として）存在していても、あるいはまた、アンドロメダ星雲のなかにある太陽系の片隅で、「私」と叫んでいてもよかったのではないか。

これに対しては、次のように答えられるかもしれない。地球上には無数の生物が存在し、そのうちのいくつかに意識が備わっている。人間もそのような存在者である。視野を宇宙にまで広げれば、宇宙のいたるところに「私」という自覚をもつ存在がいるにちがいない。つまり、地球上の人類をふくめて、この世界には過去から現在、未来にいたるまで無数の「私」が存在したし、存在しており、また存在するだろう。そうであれば、私がいま・ここに存在することに何の不思議があるのか。

そのことはじゅうぶんに承知してはいても、どうしても抑えがたい思いがこみ上げてくる。私とは唯一無二の存在ではないのか、つまり、私はこの世界にただ一人しかいないのではないか、たとえ世界には無数の「私」が存在しようが、「この私」（以後これを<私>と表記しよう）はかれらとは異なる特別の存在なのだ。

ではその唯一無二の<私>は何のためにこの世に生まれてきたのか？<私>の生まれたことに何の意味があるのだろうか？どうして<私>はいま・ここにいるのか？<私>はどこから来て、またどこへと去ってゆくのか？

この授業では、こうした<私>の誕生という原事実へとさかのぼって、<私>の存在根拠について考えたい。ただし、授業の前半では、古今の論者たちの知恵をかりて、生を通して死の意味を、また、死を通して生の意味を考えることとする。

## --- 到達目標 ---

人の死が人称によって異なる現れ方をすることを説明できる。(知識・理解)

他者の死とは異なる、一人称(私)の死の特異性を説明できる。(知識・理解)

人間の限界を自覚し、生きることを新たな視点から見直すようになる。(態度・志向性)

自分の誕生、自分が存在することの意味について考えるようになる。(態度・志向性)

## --- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時に課題を示すので、それについてのレポート

を作成すること(2回実施、各90分)。

・単元ごとに理解度をチェックするための質問をしますので、単元ごとに復習しておくこと

とが望ましい。(30分)

・講義資料を配布するので(空欄補充式)、空欄補充後は読み返して理解を深めておく

こと。授業中に理解できた感じがするでしょうが、そのままにしておくとも残りません。頭に刻みつけるためには復習が必要です(40分)。

## --- 成績評価基準および方法 ---

・死の人称的な意味を正しく理解しているか、ハイデガーの実存思想を理解している

か、生を新たに見直す視点がどの程度まで身についているか。こうした点を基準にし

て、定期試験の評価をする。

・レポートは2回実施することとし(レポートのテーマは、「AIと労働」および「安楽

死・尊厳死の問題」です)、レポートの課題について十分なデータを集めたか、その

データに基づいて自分の見解を明確に記述しているか、自分の意見に対して有効な論

証を行っているか、などを評価の基準とする。

・定期試験の成績を70%、提出されたレポートの評価を30%で評価する。

## --- テキスト ---

使用しません。講義資料を配布します。講義資料から定期試験の問題を出題します。

## --- 参考書 ---

トルストイ『イワン・イリッチの死』(米川正夫訳、岩波文庫) ISBN 4-00-326193-3

B.パスカル『パンセ』(前田・由木訳、中公文庫) ISBN 4-12-200060-2

ハイデガー『存在と時間(3)』(熊野純彦訳、岩波文庫) ISBN 978-4-00-336516-8

## --- 履修上の留意点 ---

- ・前提とされる知識等はとくに必要ありません。
- ・質問を受けた場合は、自分の意見をはっきりと言うこと。分からない場合も、言葉にして表明する必要があります。

## --- 授業計画 ---

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)(3/16より公開)
- 2 死の人称性
- 3 1人称の死：世界の中心の消滅、不在と無
- 4 ビデオ視聴とレポート課題の提示：AIと労働
- 5 死へとかわる存在：ハイデガーの死生観
- 6 本来性と非本来性：死をみつめて生きる
- 7 トルストイ『イワン・イリッチの死』をめぐって
- 8 映画『生きる』(黒澤明)にみる生と死
- 9 死後の問題(1)：天国と地獄
- 10 死後の問題(2)：輪廻転生
- 11 魂のゆくえ：心脳同一説と魂の消滅
- 12 ビデオ視聴とレポート課題の提示：安楽死の問題
- 13 <私>の誕生と死
- 14 <私>の出生の偶然性：根源的分散
- 15 人間として生まれた

## --- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/1q0r3khdkxud1421ewbjx60b9cmumq6x>)

## 広川 明

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## --- 概要 ---

宇宙が誕生して138億年もの時間が経過し、あるときあるところに特異な構造をもつ有機体が生じた。それが私であり、私はいま・ここに存在する。私はこれまで気が遠くなるほどの時間存在しなかったが、つかの間のあいだこの世にとどまり、ふたたび無へと帰ってゆく。そしてそのあとには、永遠ともいえる時間が流れてゆくのだろう。

だがもしそうなら、この永遠の時間の、また、無限ともいえる空間の、いま・ここになぜ私は存在しているのだろうか。私とは別の時代に別のところで（たとえば、織田信長として）存在していても、あるいはまた、アンドロメダ星雲のなかにある太陽系の片隅で、「私」と叫んでいてもよかったのではないか。

これに対しては、次のように答えられるかもしれない。地球上には無数の生物が存在し、そのうちのいくつかに意識が備わっている。人間もそのような存在者である。視野を宇宙にまで広げれば、宇宙のいたるところに「私」という自覚をもつ存在がいるにちがいない。つまり、地球上の人類をふくめて、この世界には過去から現在、未来にいたるまで無数の「私」が存在したし、存在しており、また存在するだろう。そうであれば、私がいま・ここに存在することに何の不思議があるのか。

そのことはじゅうぶんに承知してはいても、どうしても抑えがたい思いがこみ上げてくる。私とは唯一無二の存在ではないのか、つまり、私はこの世界にただ一人しかいないのではないか、たとえ世界には無数の「私」が存在したとしても、「この私」（以後これを<私>と表記しよう）はかれらとは異なる特別の存在なのだ。

ではその唯一無二の<私>は何のためにこの世に生まれてきたのか？<私>の生まれたことに何の意味があるのだろうか？どうして<わたし>は、いま・ここにいるのか？<私>はどこから来て、またどこへと去ってゆくのか？

この授業では、こうした<私>の誕生という原事実へとさかのぼって、<私>の存在根拠について考えたい。ただし、授業の前半では、古今の論者たちの知恵をかりて、生を通して死の意味を、また、死を通して生の意味を考えることとする。

## --- 到達目標 ---

人の死が人称によって異なる現れ方をすることを説明できる。(知識・理解)

他者の死とは異なる、一人称(私)の死の特異性を説明できる。(知識・理解)

人間の限界を自覚し、生きることを新たな視点から見直すようになる。(態度・志向性)

自分の誕生、自分が存在することの意味について考えるようになる。(態度・志向性)

## --- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時に課題を示すので、それについてのレポート

を作成すること(2回実施、各90分)。

・単元ごとに理解度をチェックするための質問をしますので、単元ごとに復習しておく

ことが望ましい。(30分)

・講義資料を配布するので(空欄補充式)、空欄補充後は読み返して理解を深めておく

こと。授業中に理解できた感じがするでしょうが、そのままにしておくとも残りま

せん。頭に刻みつけるためには復習が必要です(40分)。

## --- 成績評価基準および方法 ---

・死の人称的な意味を正しく理解しているか、ハイデガーの実存思想を理解しているか、

生を新たに見直す視点がどの程度まで身についているか。こうした点を基準にして、

定期試験の評価をする。

・レポートは2回実施することとし(レポートのテーマは、「AIと労働」および「安

楽死・尊厳死の問題」です)、レポートの課題について十分なデータを集めたか、そ

のデータに基づいて自分の見解を明確に記述しているか、自分の意見に対する有効な

論証を行っているか、などを評価の基準とする。

・定期試験の成績を70%、提出されたレポートの評価を30%で評価する。

## --- テキスト ---

使用しません。講義資料を配布します。講義資料から定期試験の問題を出題します。

## --- 参考書 ---

トルストイ『イワン・イリッチの死』(米川正夫訳、岩波文庫) ISBN 4-00-326193-3

B.パスカル『パンセ』(前田・由木訳、中公文庫) ISBN 4-12-200060-2

ハイデガー『存在と時間(3)』(熊野純彦訳、岩波文庫) ISBN 978-4-00-336516-8

## --- 履修上の留意点 ---

- ・前提とされる知識等はとくに必要ありません。
- ・質問を受けた場合は、自分の意見をはっきりと言うこと。分からない場合も、言葉にして表明する必要があります。

## --- 授業計画 ---

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)(3/16より公開)
- 2 死の人称性
- 3 1人称の死：世界の中心の消滅、不在と無
- 4 ビデオ視聴とレポート課題の提示：AIと労働
- 5 死へとかわる存在：ハイデガーの死生観
- 6 本来性と非本来性：死をみつめて生きる
- 7 トルストイ『イワン・イリッチの死』をめぐって
- 8 映画『生きる』(黒澤明)にみる生と死
- 9 死後の問題(1)：天国と地獄
- 10 死後の問題(2)：輪廻転生
- 11 魂のゆくえ：心脳同一説と魂の消滅
- 12 ビデオ視聴とレポート課題の提示：安楽死・尊厳死の問題
- 13 <私>の誕生と死
- 14 <私>の出生の偶然性
- 15 人間として生まれた

## --- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/uqzs03g580dn6n2v136kktweit409a9>)



村田 剛一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・1時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

近年、医療の現場では、従来の医者・医療関係者任せの医療ではなく、患者主体の医療・患者の権利・患者の自己決定が重要視されてきている。

また、医療技術・生命に関わる技術（例えば、生命維持装置、臓器移植技術、遺伝子診断技術、クローン技術など）が進展することで、私たちは以前には得られなかった様々な恩恵を受けることが出来るようになった。しかし他方で、それらの技術の使い方次第では、人権の侵害や人間性の疎外が生じうる。それらの技術をどのように・どのような範囲まで使うべきか、より一般的に言えば、生命に対して人間はどのように関わるべきかという新たな倫理的な問題が生じている。

授業では、医療の倫理に関する問題、倫理的思考、医療技術・生命に関わる技術の進展によって生じてきた様々な倫理的問題について、その基本的な事柄を学ぶ。

- - - 到達目標 - - -

医療の場でのパターナリズムについて説明できる。(知識・理解)

臨床治験・医療の場でのインフォームド・コンセントについて説明できる。(知識・理解)

倫理的思考の4つのレベルについて、そのそれぞれのポイントを説明できる。(知識・理解)

ヒポクラテスの誓いの中の「医者は、自分の能力と判断に従って、患者のためになることをすべし、患者を害することなかれ」という項目の大事な点と問題点を説明できる。(知識・理解)

脳死状態と植物状態の違い、旧臓器移植法成立の状況、旧臓器移植法と改正臓器移植法の違いなどについて説明できる。(知識・理解)

医療の在り方について注意深くなる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法 定期試験。

評価基準 20世紀後半における医療倫理の変革に関する基本的な項目（パターナリズム、インフォームド・コンセント、ヒポクラテスの誓いの大事な点と問題点など）について、また、倫理的思考について、正確に理解できているか、そして、臓器移植に関する基本的な項目（脳死状態と植物状態、旧臓器移植法と改正臓器移植法など）について正確に理解できているかという点を評価の基準とします。

- - - テキスト - - -

使用しない。

- - - 履修上の留意点 - - -

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 20世紀後半における医療倫理の変革
- 3 ヒポクラテスの誓い、パターナリズム
- 4 患者の人権擁護、自己決定権の尊重
- 5 倫理的思考1
- 6 倫理的思考2
- 7 ヒポクラテスの誓いとその批判1
- 8 ヒポクラテスの誓いとその批判2
- 9 臓器移植
- 10 死、死体移植、生体移植
- 11 脳死移植
- 12 脳死状態と植物状態
- 13 脳死についての幾つかの考え方
- 14 脳死移植を認めるための3つのモデル
- 15 旧臓器移植法・改正臓器移植法

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/5n8ukhba7gjwz8o0bv599aieu2ezuuiu>)

村田 剛一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・2 時限 試験時間割：2021/07/28 1 時限

- - - 概要 - - -

近年、医療の現場では、従来の医者・医療関係者任せの医療ではなく、患者主体の医療・患者の権利・患者の自己決定が重要視されてきている。

また、医療技術・生命に関わる技術（例えば、生命維持装置、臓器移植技術、遺伝子診断技術、クローン技術など）が進展することで、私たちは以前には得られなかった様々な恩恵を受けることが出来るようになった。しかし他方で、それらの技術の使い方次第では、人権の侵害や人間性の疎外が生じうる。それらの技術をどのように・どのような範囲まで使うべきか、より一般的に言えば、生命に対して人間はどのように関わるべきかという新たな倫理的な問題が生じている。

授業では、医療の倫理に関する問題、倫理的思考、医療技術・生命に関わる技術の進展によって生じてきた様々な倫理的問題について、その基本的な事柄を学ぶ。

- - - 到達目標 - - -

医療の場でのパターナリズムについて説明できる。(知識・理解)

臨床治験・医療の場でのインフォームド・コンセントについて説明できる。(知識・理解)

倫理的思考の4つのレベルについて、そのそれぞれのポイントを説明できる。(知識・理解)

ヒポクラテスの誓いの中の「医者は、自分の能力と判断に従って、患者のためになることをすべし、患者を害することなかれ」という項目の大事な点と問題点を説明できる。(知識・理解)

脳死状態と植物状態の違い、旧臓器移植法成立の状況、旧臓器移植法と改正臓器移植法の違いなどについて説明できる。(知識・理解)

医療の在り方について注意深くなる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法 定期試験。

評価基準 20世紀後半における医療倫理の変革に関する基本的な項目(パターナリズム、インフォームド・コンセント、ヒポクラテスの誓いの大事な点と問題点など)について、また、倫理的思考について、正確に理解できているか、そして、臓器移植に関する基本的な項目(脳死状態と植物状態、旧臓器移植法と改正臓器移植法など)について正確に理解できているかという点を評価の基準とします。

- - - テキスト - - -

使用しない。

- - - 履修上の留意点 - - -

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 20世紀後半における医療倫理の変革
- 3 ヒポクラテスの誓い、パターナリズム
- 4 患者の人権擁護、自己決定権の尊重
- 5 倫理的思考1
- 6 倫理的思考2
- 7 ヒポクラテスの誓いとその批判1
- 8 ヒポクラテスの誓いとその批判2
- 9 臓器移植
- 10 死、死体移植、生体移植
- 11 脳死移植
- 12 脳死状態と植物状態
- 13 脳死についての幾つかの考え方
- 14 脳死移植を認めるための3つのモデル
- 15 旧臓器移植法・改正臓器移植法

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/7c9jf1mh4b6yeh47xaeaft5ob2iglfte>

## 関口 浩喜

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・二部 1 時限 試験時間割：2021/07/27 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

倫理学におけるいくつかのトピックを選んで、倫理学の入門的な授業を行ないます。

とりあげるトピックは、「正義」「行為と価値」「決定論と自由」「エゴイズム」等々です。これらのトピックを通じて、たとえば「正義とは何か?」「われわれは本当に自由なのか?」「エゴイストであることは悪いことなのか?」といった問題について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

「倫理学」と聞くと、単なる道徳的な「お説教」をする授業だろうという印象をもつひともいるかもしれませんが、しかし、倫理学はわれわれが当然のように受け入れている道徳的価値観を根本的に問い直す学問です。この授業を通じて、あらためて自分もつ価値観について再検討してもらえればと思います。

この授業は講義ですから、基本的には私が教壇から一方的に話をするというかたちになりますが、場合によっては、受講者に意見を述べてもらうこともあります。「考える」という姿勢をもって、授業にのぞんでください。

## - - - 到達目標 - - -

倫理学についての基本的な知識が身につく。(知識・理解)

倫理学における用語を正しく理解したうえで、自分の言葉で説明することができる。(技能)

日常の出来事や社会での出来事について、「倫理的に考えるとどうなるのか」と問う姿勢が身につく。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・ 次回の授業内容に関する資料を事前に読み、疑問点等をノートに記す。(60分)
- ・ 受講後、授業内容を改めて整理してノートに記す。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績によって評価します。授業でとりあげた倫理学の基本的な用語や考え方を理解できているか、またそれを自らの言葉で明確に説明できているかという点を評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

特に指定しません。

## - - - 参考書 - - -

プラトン『国家』、岩波文庫  
 黒田亘『行為と規範』、勁草書房  
 アンスコム『インテンション』、産業図書  
 マーク・トウェイン『人間とは何か』、岩波文庫  
 永井均『ルサンチマンの哲学』、河出書房新社

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業を受けるに当たって、倫理学についての予備知識は一切必要ありませんが、ふだんわれわれがあたり前のように入れている価値や前提について、自分の頭で改めて考え直してみるという「考える姿勢」は必要となります。

なお、授業中の私語は厳禁です。また、理由なき途中退室も認めません。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 正義
- 3 正義
- 4 行為と価値
- 5 行為と価値
- 6 決定論と自由
- 7 決定論と自由
- 8 観察によらない知識
- 9 観察によらない知識
- 10 エゴイズムという問題
- 11 エゴイズムという問題
- 12 としての道徳
- 13 としての道徳
- 14 ルサンチマンをめぐって
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/94j3qvwhi6nyiphfctkgbd7pjqbmfmr)

## 安居 誠

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

ウェブサイト上で行われるキャプチャというテストをご存知でしょうか。「私はロボットではありません」を証明するために、横断歩道や信号機の画像を選ばされる例のやつです。難易度は結構高めに設定されているようで、「私も早く人間になりたい」という嘆きがネットに散見されるとき。まあ、間違ったところでブレードランナーに始末されるわけではありませんが。

《倫理問題》とは何でしょうか。それは高難度のキャプチャテストのようなものだと思います。つまり、それは線形的な情報処理によって一義的な解を導くことのできない「複雑な問題」である。逆に言えば「機械的に」解ける、答えが一通りに決まるような問題は、およそ倫理問題ではありえないこととなります。

例えばAIによる自動運転車が歩道に突っ込む状況を想定してください。このままだと十数人の歩行者を撥ねて多くの死者が出る。唯一可能な回避策はガードレールを越えて車を崖下に落とすことですが、この場合運転者は九割以上の確率で死亡するとします。よく指摘されることですが、AIやAIの設計者がこの種の「変形トロツク問題」を解く必要はありません。むしろ、自動運転車が問題の解を実装する（ことができる／べきである）と考えることのほうが、倫理の役割に関する深い誤解を表しているように思われます。

近代の道徳哲学が法律や法学をモデルとすることはよく知られています。ただ今日、正義を語る場合、参照すべきイメージは法律の条文ではなく、ある種のプロトコルであると思われます。プロトコルとは「表紙に糊づけされたもの」が原義で、外交儀礼における席次や式次第、情報通信技術の分野では通信規約や技術仕様を表します。共通するのは「内容以前」ということです。敢えて法律を例に取るならば、国内法より国際法にむしろ近い。価値観を共有していることを前提できない相手、合意に至ったところで合意内容を強制できる権力を外部に期待することもできない厄介な相手とのコミュニケーションの回路を、それでも常に開いておくための枠組みを意味します。

本講では「設計」、「構築」、「技術」の高度化がもたらす社会において、倫理と倫理学の転回点を測位します。現代の倫理は、普遍妥当的な原則に個別具体的な状況を入力して解を得るといった形をもち取らない。それは時代の要請でありながら、ある意味健全な倫理のあり方への回帰だとも言えます。

## - - - 到達目標 - - -

情報通信技術の発達した社会に特有の、新たな倫理問題について説明することができるようになります。(知識・理解)

当事者間の価値観の共有を前提せずに、倫理問題を解決する態度と志向を身が身につきます。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30分)復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験の結果が90%、受講態度を10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験80%、小テスト10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

## - - - テキスト - - -

使用しません。

## - - - 参考書 - - -

多岐にわたるため、講義で紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

大学の一般教養で社会科学を履修していることが望ましいですが、受講の前提ではありません。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業  
今起こりつつあること
2. 超個人主義
3. 「デカルト的懐疑」普及版
4. 技術の道德化
5. 国際法と条約
6. 慣習法について
7. アーキテクチャによる法の代替？
8. 正当性と正統性
9. 決疑論概説
10. 決疑論概説（承前）
11. 貨幣空間の法
12. 市場の役割
13. 憲法の制度設計
14. 「新しい中世」
15. 自由か幸福か

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ng964kso2x1lsc3jgplk89z3qopb407f>

## 関口 浩喜

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

倫理学における基本的な学説をとりあげ、倫理学の入門的な授業を行ないます。とりあげる学説は主として、功利主義、カントの義務倫理学、そしてサルトルの実存主義の三つです。

この三つの学説をとりあげるのは、これらの学説が「あることが善いとか悪いとされるのは、いかなる理由と仕組みによるのか」という問題を考えるにあたって、それぞれ格好の手がかりを与えてくれるからです（もちろん、それ以外にも、これらの学説は大学生として当然知っておかなければならない常識に属しているということもあります）。

たとえば、「うそは悪いことだ」と私たちは（たぶん）考えています。しかし、いかなる理由によってうそは「悪い」と考えるべきなのか、この三つの立場は、それぞれに違った「答え」を提出します。その違いを知ることは、自分の倫理的な立場をはっきりさせ、検討するための手がかりとなるでしょう。

この授業は講義ですから、基本的には私が教壇から一方的に話をするというかたちになりますが、場合によっては、受講者に意見を述べてもらうこともあります。善や悪の問題について、自分の頭で考えてもらいたいです。

## - - - 到達目標 - - -

倫理学の基本的な知識が身につく(知識・理解)

倫理学における用語を正しく理解したうえで、自分の言葉で説明することができる。(技能)

日常の出来事や社会での出来事について、「倫理的に考えるとどうなるのか」と問う姿勢が身につく。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・ 次回の授業内容に関する資料を事前に読み、疑問点等をノートに記す。(60分)
- ・ 受講後、授業内容を改めて整理してノートに記す。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績によって評価します。授業でとりあげた倫理学の基本的な用語や考え方を理解できているか、またそれを自らの言葉で明確に説明できているかという点を評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

特に指定しません。

## - - - 参考書 - - -

『世界の名著・ベンサム/ミル』、中央公論社  
 『世界の名著・カント』中央公論社  
 サルトル『実存主義とは何か』、人文書院  
 黒田亘『行為と規範』、勁草書房

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業を受けるにあたって、倫理学についての予備知識は一切必要ありませんが、ふだんわれわれがあたり前のように入れている価値や前提について、自分の頭で改めて考え直してみるという「考える姿勢」は必要となります。

なお、授業中の私語は厳禁です。また、理由なき途中退室も認めません。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン(スタートアップ授業)
- 2 ベンサムの功利主義
- 3 ベンサムの功利主義
- 4 ミルの功利主義
- 5 ミルの功利主義
- 6 自然主義的誤謬
- 7 カントの義務倫理学
- 8 カントの義務倫理学
- 9 カントの義務倫理学
- 10 と倫理
- 11 サルトルの実存主義
- 12 サルトルの実存主義
- 13 サルトルの実存主義
- 14 三つの立場
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/b1p7ifkr5h03zsbwnp8mvm374w0f>)

## 中村 未来

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

儒家が人間について思索し、人為（あるいは人為的努力）を肯定的に捉えたのに対し、道家は自然を尊崇し、人為に懐疑的な目を向けた。アジア文化圏に多大な影響を与えた中国の古典の多くが、人間の営みや統治思想を中心に語る中、万物の根源である「道」を説き、時間・空間を巨視的視点で書き出す道家の文献は、特異な存在であると言えるだろう。

ただし、道家が発する「自己と他者の区別」や「夢と現実の区別」等についての思索は、洋の東西を問わず、近現代の学者たちが挑み続けた重要な哲学的問いでもある。

そこで、本授業では、『老子』や『荘子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、逆説的・懐疑的な道家思想を読み解き、またその今日的な意義についても考えてみたい。

## - - - 到達目標 - - -

アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想（特に道家思想）について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60分)

配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること(復習)。(60分)

わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること(予習・復習)。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価する。

定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える思想内容をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

## - - - 参考書 - - -

金谷治『中国思想を考える 未来を開く伝統』中公新書 ISBN 978-4121011206

湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623058204

溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会 ISBN 978-4130100878

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業を通して5回程、授業内容に関する意見や感想、あるいは小テスト等を10分程度で記述(解答)し、提出してもらう。

遅刻や授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

## - - - 授業計画 - - -

1. はじめに(スタートアップ授業・動画配信)
2. 宇宙のはじまり
3. 宇宙のはじまり
4. 宇宙のはじまり ・徳とは何か
5. 理想の政治とは
6. 理想の政治とは
7. 万物斉同の思想
8. 学と知、無の思想
9. 真人について
10. 狂人について
11. 名家について
12. 道家と名家
13. 道家と道教・仏教
14. 『老子』の現代的意義
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/7s3kf7prgxzpoz4gvz14y8tq942pjt3q>)

## 中村 未来

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・4時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

儒家が人間について思索し、人為（あるいは人為的努力）を肯定的に捉えたのに対し、道家は自然を尊崇し、人為に懐疑的な目を向けた。アジア文化圏に多大な影響を与えた中国の古典の多くが、人間の営みや統治思想を中心に語る中、万物の根源である「道」を説き、時間・空間を巨視的視点で描き出す道家の文献は、特異な存在であると言えるだろう。

ただし、道家が発する「自己と他者の区別」や「夢と現実の区別」等についての思索は、洋の東西を問わず、近現代の学者たちが挑み続けた重要な哲学的問いでもある。

そこで、本授業では、『老子』や『荘子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、逆説的・懐疑的な道家思想を読み解き、またその今日的な意義についても考えてみたい。

## - - - 到達目標 - - -

アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想（特に道家思想）について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60分)

配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること(復習)。(60分)

わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること(予習・復習)。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価する。

定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える思想内容をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

## - - - 参考書 - - -

金谷治『中国思想を考える 未来を開く伝統』中公新書 ISBN 978-4121011206

湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623058204

溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会 ISBN 978-4130100878

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業を通して5回程、授業内容に関する意見や感想、あるいは小テスト等を10分程度で記述（解答）し、提出してもらう。

遅刻や授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

## - - - 授業計画 - - -

1. はじめに（スタートアップ授業・動画配信）
2. 宇宙のはじまり
3. 宇宙のはじまり
4. 宇宙のはじまり ・徳とは何か
5. 理想の政治とは
6. 理想の政治とは
7. 万物斉同の思想
8. 学と知、無の思想
9. 真人について
10. 狂人について
11. 名家について
12. 道家と名家
13. 道家と道教・仏教
14. 『老子』の現代的意義
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ppwgd6p5re3x1n8cjbmvqt71s06qi6e4>)

## 中村 未来

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：火・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

このゼミでは、『老子』や『莊子』等の中国の古典を精読し、「無為自然」や「道」の働きを理想とする道家的思索について議論していく。道家の思想は、後に神仙思想や民間信仰等を加えながら発展し、道教へと結実したと言われる。その思索には他の諸子百家のものとは異なり、「宇宙生成論」や「認識論」等、現代にも通ずる哲学的問いが多く見受けられる。これらの内容を丹念に読み解き、西洋の考え方と比較することにより、東洋における伝統思想の特質が明らかになると同時に、両者の相違がなぜ生じたのかについて考える足掛かりとすることができるであろう。

ゼミ形式で授業を進めるため、受講者が主体的に課題に取り組み、発表・討論を重ね、議論の内容を深めていく必要がある。積極的な姿勢で授業に臨んで欲しい。

ゼミの第1～5回においては、中国の古典を講読する上でかせない語句や文献(工具書)、漢文訓読法について確認する(発表形式)。そして第6回以降において、受講者の興味関心に従い文献を定め、その精読を通して道家思想に見える逆説的・懐疑的思索について検討していく。

## - - - 到達目標 - - -

道家思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

中国の古典に触れ、文化の多様性と言語表現について理解し、説明できる。(知識・理解)

授業テーマについて、自分の見解を言語化し、他者と対話できる。(技能)

授業内容を通して、文化の多様性に関心を持ち、尊重する志向性を持つ。(態度・志向性)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

## [事前学習]

演習で取り上げる文献を精読し、自分なりに興味・関心、あるいは疑問に感じた箇所をまとめておく。(60分)

特に各回の発表者は、上記に加え、自身の考察を付けたレジュメを作成する。(120分～)

## [事後学習]

演習における討論を整理し統括しておく。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

[評価方法] 担当箇所の発表およびレジュメの内容を50%、課題への積極的な取り組み・授業への参加度を50%で評価する。

[評価基準] 中国古代思想(特に道家思想)に関する基本的な学説を正確に把握し、自分の言葉で説明できているか、またそこから導き出された自らの見解を他者と冷静に議論し、深めることができているか、という点を評価の基準とする。

## - - - テキスト - - -

必要に応じて資料を配布する。

## - - - 参考書 - - -

江連隆『漢文語法ハンドブック』大修館書店 ISBN

978-4469231359

湯浅邦弘編著『名言で読み解く中国の思想家』ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623063789

阿部吉雄ほか編著『老子 莊子上』明治書院 ISBN

978-4625570070

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

受講者が主体的に発表・討論を行う演習形式の授業であるため、無断欠席は厳禁。

高度な漢文読解能力の有無については問うところではないが、中国の古典に親しみや関心を持って授業に参加して欲しい。

## - - - 授業計画 - - -

1. はじめに(スタートアップ授業・動画配信)
2. 関連語句・文献についての発表
3. 関連語句・文献についての発表
4. 関連語句・文献についての発表
5. 関連語句・文献についての発表
6. テキスト講読：発表と討論
7. テキスト講読：発表と討論
8. テキスト講読：発表と討論
9. テキスト講読：発表と討論
10. テキスト講読：発表と討論
11. テキスト講読：発表と討論
12. テキスト講読：発表と討論
13. テキスト講読：発表と討論
14. テキスト講読：発表と討論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/p3uiqr5wrh0k7i2gpfl5vjhy4342zif>)



## 広川 明

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

人はなぜよいこと・正しいことをなすべきであり、わるいことをしてはいけないのか。この問いに対しては、そんなことを口にするのは不謹慎だ、ふざけている、というのが大方の反応であろうが、ではそれにどう答えればいいのか。「わるいことをすれば法によって裁かれて処罰され、よいことをすれば周囲の人々から信頼されるからだ」というのが、初めに思いつく答えであろう。

しかし今、わるいことをしても発覚して処罰される心配はないと仮定して(また、周囲の人からの信頼も度外視するとして)、その仮定の下でなお道徳的にふるまうべきよいことをなし、わるいことを慎む理由は何かあるだろうか。

この問題は、哲学の始まりとほぼ同じ時期に登場し、それ以来、道徳の土台を掘りくずしかねない、きわどい問題でありつづけている。この授業では、先人たちがこの問題をどのように捉えらえてきたか紹介しながら、道徳・倫理について考え直してみたい。

ただし「なぜ良いことをなし、わるいことを慎むべきか」という問いにこだわりすぎると、抽象的で難しい議論に陥る可能性があるため、ギリシア哲学を素材としてさまざまな論点にも気を配りながら話をすすめていきたい。

## - - - 到達目標 - - -

「なぜ道徳的であるべきか」という問いの意味を説明できる。(知識・理解)

道徳・倫理が「事実」ではなく、「価値」を表すものだというを理解する。(知識・理解)

道徳(倫理)が人の生き方と深く結びついていることを自覚するようになる。(態度・志向性)

行為と言語のかかわりについて理解する。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業終了時にレポート課題を示すので、それについてレポートを作成すること。レポートは2回実施(各90分)。
- ・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、単元終了ごとに復習しておくことが望ましい(30分)。
- ・講義資料(空欄補充式)を配布するので、空欄補充後に読み直して理解を深めておくこと(40分)。授業中に講義内容を理解したように感じるかもしれませんが、それでは不十分です。読み直していけば、おのずと疑問がわいてくるものです。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

- ・道徳(倫理)と人の生き方の関わりを理解しているか、「なぜ道徳的であるべきか」という問いの意味を理解しているか、ソクラテス・プラトンの説を理解しているか、アリストテレス倫理学の方法論を理解しているか。このような点から、定期試験の評価を行う。
- ・レポートは2回実施することとし(レポートのテーマは「エンハンスメント(治療を超えた医療上の処置)の果てに」および「世代間倫理の問題(環境倫理学)」)、レポートの課題について十分なデータを集めたか、そのデータに基づいて自分の意見を明確に記述しているか、自分の主張について有効な論証を行っているか、を評価の基準とする。
- ・レポート30%、定期試験70%で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しません。講義資料を配布します。配布します。講義資料から定期視点の問題を出題します。

## - - - 参考書 - - -

- プラトン『ゴルギアス』(加来彰俊訳、岩波文庫)  
 ISBN 4-00-336012-5  
 I.カント『道徳形而上学原論』(篠田英雄訳、岩波文庫)  
 ISBN 4-00-336251-9  
 大庭・安彦・永井編『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) ISBN 4-88848-593-3

## - - - 履修上の留意点 - - -

道徳・倫理の問題というと、何か堅苦しい説教を思い浮かべるかもしれませんが。しかし決してそんなことはありません。われわれの日常生活が道徳・倫理によって成り立っていると同時に、いかに生きるかという、生き方の選択に道徳・倫理はふかくかかわっています。先入観をすてて、新しい目でこの問題を見直すようにつとめてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン：スタートアップ授業(動画配信)(3/16より公開)
- 2 “Why be moral?”という問いの意味
- 3 道徳と生き方の選択
- 4 ソフィストの人間本性論
- 5 自然の正義:カリクレスの正義論(第1回レポートの課題を提示「エンハンスメントの果てに」)
- 6 ソクラテスの生き方(1): エレンコス
- 7 ソクラテスの生き方(2): 魂への配慮
- 8 グラウコンの挑戦: 道徳の根拠を求める問い
- 9 国家と魂のアナロジー
- 10 国家の正義と魂の正義
- 11 エンドクサ: アリストテレス倫理学の方法
- 12 究極目的としての幸福
- 13 中庸としての徳(第2回レポートの課題を提示)
- 14 一般的正義と特殊的正義
- 15 道徳の根拠づけは可能か

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/cw6bhtzj1i8n4egt1p8sthwsd6fpdgh>

## 広川 明

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

人はなぜよいこと・正しいことをなすべきであり、わるいことをしてはいけないのか。この問いに対しては、そんなことを口にするのは不謹慎だ、ふざけている、というのが大方の反応であろうが、ではそれにどう答えればいいのか。「わるいことをすれば法によって裁かれて処罰され、よいことをすれば周囲の人々から信頼されるからだ」というのが、初めに思いつく答えであろう。

しかし今、わるいことをしても発覚して処罰される心配はないと仮定して(また、周囲の人からの信頼も度外視するとして)、その仮定の下でなお道徳的にふるまうべきよいことをなし、わるいことを慎む理由は何かあるだろうか。

この問題は、哲学の始まりとほぼ同じ時期に登場し、それ以来、道徳の土台を掘りくずしかねない、きわどい問題でありつづけている。この授業では、先人たちがこの問題をどのように捉えらえてきたか紹介しながら、道徳・倫理について考え直してみたい。

ただし「なぜ良いことをなし、わるいことを慎むべきか」という問いにこだわりすぎると、抽象的で難しい議論に陥る可能性があるため、ギリシア哲学を素材としてさまざまな論点にも気を配りながら話をすすめていきたい。

## - - - 到達目標 - - -

「なぜ道徳的であるべきか」という問いの意味を説明できる。(知識・理解)

道徳・倫理が「事実」ではなく、「価値」を表すものだというを理解する。(知識・理解)

道徳(倫理)が人の生き方と深く結びついていることを自覚するようになる。(態度・志向性)

行為と言語のかかわりについて理解する。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業終了時にレポート課題を示すので、それについてレポートを作成すること。レポートは2回実施(各90分)。
- ・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、単元終了ごとに復習しておくことが望ましい(30分)。
- ・講義資料(空欄補充式)を配布するので、空欄補充後に読み直して理解を深めておくこと(40分)。授業中に講義内容を理解したように感じるかもしれませんが、それでは不十分です。読み直していけば、おのずと疑問がわいてくるものです。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

- ・道徳(倫理)と人の生き方の関わりを理解しているか、「なぜ道徳的であるべきか」という問いの意味を理解しているか、ソクラテス・プラトンの説を理解しているか、アリストテレス倫理学の方法論を理解しているか。このような点から、定期試験の評価を行う。
- ・レポートは2回実施することとし(レポートのテーマは「エンハンスメント(治療を超えた医療上の処置)の果てに」および「世代間倫理の問題(環境倫理学)」)、レポートの課題について十分なデータを集めたか、そのデータに基づいて自分の意見を明確に記述しているか、自分の主張について有効な論証を行っているか、を評価の基準とする。
- ・レポート30%、定期試験70%で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しません。講義資料を配布します。配布します。講義資料から定期視点の問題を出題します。

## - - - 参考書 - - -

- プラトン『ゴルギアス』(加来彰俊訳、岩波文庫)  
 ISBN 4-00-336012-5  
 I.カント『道徳形而上学原論』(篠田英雄訳、岩波文庫)  
 ISBN 4-00-336251-9  
 大庭・安彦・永井編『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) ISBN 4-88848-593-3

## - - - 履修上の留意点 - - -

道徳・倫理の問題というと、何か堅苦しい説教を思い浮かべるかもしれませんが。しかし決してそんなことはありません。われわれの日常生活が道徳・倫理によって成り立っていると同時に、いかに生きるかという、生き方の選択に道徳・倫理はふかくかかわっています。先入観をすてて、新しい目でこの問題を見直すようにつとめてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：スタートアップ授業(動画配信)(3/16より公開)
- 2 “Why be moral?”という問いの意味
- 3 道徳と生き方の選択
- 4 ソフィストの人間本性論
- 5 自然の正義:カリクレスの正義論(第1回レポートの課題を提示「エンハンスメントの果てに」)
- 6 ソクラテスの生き方(1): エレンコス
- 7 ソクラテスの生き方(2): 魂への配慮
- 8 グラウコンの挑戦: 道徳の根拠を求める問い
- 9 国家と魂のアナロジー
- 10 国家の正義と魂の正義
- 11 エンドクサ: アリストテレス倫理学の方法
- 12 究極目的としての幸福
- 13 中庸としての徳(第2回レポートの課題を提示)
- 14 一般的正義と特殊的正義
- 15 道徳の根拠づけは可能か

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/wbbkhamd6dv9uvvmjb70kk0qhjmhd925h>

村田 剛一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・1時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

現代において人類が直面している問題の一つに環境問題がある。環境問題の解決のためには、一方で、技術・技術革新が必要であるが、他方で、私たち人間の生き方の何らかの変革が求められる。環境問題は、私たち人間の生き方を映し出す鏡とも言える。環境問題が生じたことを契機として、環境・自然に対する（西洋）近代の人間の関わり方があらためて問われるようになった。人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考え、環境・自然に対してどのように関わってきたのか。また、人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考えるべきであり、環境・自然に対してどのように関わっていくべきなのか。

授業では、環境・自然に対する人間の関わり方についての国際的な取り組みと思想的な取り組みの基本的なものを学ぶ。

## - - - 到達目標 - - -

1972年以降に開かれた、環境問題に対する大規模な国際会議の全体像を説明できる。(知識・理解)

それらの会議に関して特に重要な事柄を説明できる。(知識・理解)

地球温暖化対策に関して、京都議定書や気候変動枠組条約COP15で浮かび上がった事柄やパリ協定のポイントを説明できる。(知識・理解)

「環境破壊の原因は何か。それをなくすために伝統的な倫理（伝統的な自然観・人間観）に代わる新しい倫理（新しい自然観・人間観）が必要か」という問いに対する二つの考えについて説明できる。(知識・理解)

環境問題に対して日常的に考えるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法 定期試験。

評価基準 環境問題に対する国際的な取り組み（環境問題に対する国際会議）について、また、地球温暖化に対する取り組み（気候変動枠組条約COP、京都議定書、パリ協定など）について正確に理解できているか、そして、環境問題に対する思想的な取り組みについて明確に説明できているかという点を評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

使用しない。

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 環境問題に対する国際的な取り組み
- 3 かけがえのない地球、持続可能な開発
- 4 地球サミット、環境開発サミット
- 5 地球温暖化に対する取り組み
- 6 京都議定書
- 7 環境問題に対する思想的取り組み
- 8 思想的取り組み1(考え1)
- 9 キリスト教倫理
- 10 功利主義倫理
- 11 土地倫理、土地倫理原則
- 12 思想的取り組み2(考え2)
- 13 平等主義倫理
- 14 新しい倫理と伝統的倫理
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/iescqn5pqherpnhdws7borsa9bvul8o1>

村田 剛一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

現代において人類が直面している問題の一つに環境問題がある。環境問題の解決のためには、一方で、技術・技術革新が必要であるが、他方で、私たち人間の生き方の何らかの変革が求められる。環境問題は、私たち人間の生き方を映し出す鏡とも言える。環境問題が生じたことを契機として、環境・自然に対する（西洋）近代の人間の関わり方があらためて問われるようになった。人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考え、環境・自然に対してどのように関わってきたのか。また、人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考えるべきであり、環境・自然に対してどのように関わっていくべきなのか。

授業では、環境・自然に対する人間の関わり方についての国際的な取り組みと思想的な取り組みの基本的なものを学ぶ。

## - - - 到達目標 - - -

1972年以降に開かれた、環境問題に対する大規模な国際会議の全体像を説明できる。(知識・理解)

それらの会議に関して特に重要な事柄を説明できる。(知識・理解)

地球温暖化対策に関して、京都議定書や気候変動枠組条約COP15で浮かび上がった事柄やパリ協定のポイントを説明できる。(知識・理解)

「環境破壊の原因は何か。それをなくすために伝統的な倫理（伝統的な自然観・人間観）に代わる新しい倫理（新しい自然観・人間観）が必要か」という問いに対する二つの考えについて説明できる。(知識・理解)

環境問題に対して日常的に考えるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法 定期試験。

評価基準 環境問題に対する国際的な取り組み（環境問題に対する国際会議）について、また、地球温暖化に対する取り組み（気候変動枠組条約COP、京都議定書、パリ協定など）について正確に理解できているか、そして、環境問題に対する思想的な取り組みについて明確に説明できているかという点を評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

使用しない。

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 環境問題に対する国際的な取り組み
- 3 かけがえのない地球、持続可能な開発
- 4 地球サミット、環境開発サミット
- 5 地球温暖化に対する取り組み
- 6 京都議定書
- 7 環境問題に対する思想的取り組み
- 8 思想的取り組み1(考え1)
- 9 キリスト教倫理
- 10 功利主義倫理
- 11 土地倫理、土地倫理原則
- 12 思想的取り組み2(考え2)
- 13 平等主義倫理
- 14 新しい倫理と伝統的倫理
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/bboc953dfk40ikxgiaq3qguxaubcdguq>

## 関口 浩喜

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・二部 1 時限 試験時間割：2022/01/25 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

倫理学における基本的な学説をとりあげ、倫理学の入門的な授業を行ないます。とりあげる学説は主として、功利主義、カントの義務倫理学、そしてサルトルの実存主義の三つです。

この三つの学説をとりあげるのは、これらの学説が「あることが善いとか悪いとされるのは、いかなる理由と仕組みによるのか」という問題を考えるにあたって、それぞれ格好の手がかりを与えてくれるからです(もちろん、それ以外にも、これらの学説は大学生として当然知っておかなければならない常識に属しているということもあります)。

たとえば、「うそは悪いことだ」と私たちは(たぶん)考えています。しかし、いかなる理由によってうそは「悪い」と考えるべきなのか、この三つの立場は、それぞれに違った「答え」を提出します。その違いを知ることは、自分の倫理的な立場をはっきりさせ、検討するための手がかりとなるでしょう。

この授業は講義ですから、基本的には私が教壇から一方的に話をするというかたちになりますが、場合によっては、受講者に意見を述べてもらうこともあります。善や悪の問題について、自分の頭で考えてもらいたいです。

## - - - 到達目標 - - -

倫理学の基本的な知識が身につく(知識・理解)

倫理学における用語を正しく理解したうえで、自分の言葉で説明することができる。(技能)

日常の出来事や社会での出来事について、「倫理的に考えるとどうなるのか」と問う姿勢が身につく。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・ 次回の授業内容に関する資料を事前に読み、疑問点等をノートに記す。(60分)
- ・ 受講後、授業内容を改めて整理してノートに記す。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績によって評価します。授業でとりあげた倫理学の基本的な用語や考え方を理解できているか、またそれを自らの言葉で明確に説明できているかという点を評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

特に指定しません。

## - - - 参考書 - - -

『世界の名著・ベンサム/ミル』、中央公論社  
 『世界の名著・カント』中央公論社  
 サルトル『実存主義とは何か』、人文書院  
 黒田亘『行為と規範』、勁草書房

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業を受けるにあたって、倫理学についての予備知識は一切必要ありませんが、ふだんわれわれがあたり前のように受け入れている価値や前提について、自分の頭で改めて考え直してみるという「考える姿勢」は必要となります。

なお、授業中の私語は厳禁です。また、理由なき途中退室も認めません。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 ベンサムの功利主義
- 3 ベンサムの功利主義
- 4 ミルの功利主義
- 5 ミルの功利主義
- 6 自然主義的誤謬
- 7 カントの義務倫理学
- 8 カントの義務倫理学
- 9 カントの義務倫理学
- 10 と倫理
- 11 サルトルの実存主義
- 12 サルトルの実存主義
- 13 サルトルの実存主義
- 14 三つの立場
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/mgj1z6xvquow8cyxu06exgoqszkcz8cm>)

## 安居 誠

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

1979年にソ連で製作された『ストーカー』という映画があります。その世界には「ゾーン」という謎の領域があり、政府によって厳重に立ち入りが禁止されている。ゾーンの奥深くに訪問者の内なる願いを叶える「部屋」があるとされていて、ストーカーとは、警備の眼をかいくぐってこの部屋に人々を導く案内人のことです。ある人物が自分の死んだ家族を蘇らせるために「部屋」に入りますが、帰還した彼を待っていたのは、蘇った家族ではなく莫大な富でした。「自分が本当に望んでいたもの」がそれだという事実に耐えきれず、彼は死を選ぶこととなります。

さて、ゾーンとは何なのでしょう。その特徴は2つ、何でも望むものが手に入る、自分の知らない、あるいは知りたくない本当の欲望が露わにされる、ということです。普通に考えて、これは資本主義社会における自由市場の隠喩でしょう。「部屋」が何を意味するかはわかりませんが、『無意識』とか『個人の実存』とか、そんなところでしょう。共産党政府が厳重な監視下に置くはずですね。

「倫理学で経済を語るな」と怒られそうです。しかし、経済学者として有名なアダム・スミスのグラスゴー大学における地位は、道徳哲学の教授でした。彼に「あなたの主著は？」と尋ねたとすれば、『国富論』をさしおいて、晩年まで手を入れ続けた『道徳感情論』を挙げる公算が高い。いずれにせよ、スミスが「見えざる手」を賛美したのは、市場を作ることが社会を円滑に機能させる最善の方策だと考えたからのはずです。

きれいな水と空気をはじめとする自然環境、豊かな漁場や森林に牧草地、労働環境に医療や教育など、重要な資源に限って市場が存在しないか、きわめて硬直的です。リベラルな知識人は、この種の社会的公共財の管理法として、政府による規制と再分配、NGOによるモニタリングの組み合わせを好む傾向にあります。うまくいっていません。本講では、市場メカニズムとテクノロジーを用いて、平等で活力に満ちた社会を設計する方法を探ります。

## - - - 到達目標 - - -

ミクロ経済学の基礎となるような知識を、社会全体の福祉という観点から位置づけることができるようになります。(知識・理解)

社会政策、経済政策の内容を、社会正義の観点から具体的な成果と関連づけて評価する態度と志向が養えます。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30分)復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験の結果が90%、受講態度を10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験80%、小テスト10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

## - - - テキスト - - -

使用しません。

## - - - 参考書 - - -

多岐にわたるため、講義で紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

大学の一般教養で社会科学を履修していることが望ましいですが、受講の前提ではありません。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業  
社会の無意識
2. 共有地の悲劇
3. 「市場を作る」
4. 所有権と取引
5. オークション概論
6. ヘルマンとドロテア
7. 帝位競売とデモクラシー
8. 思考実験：地域通貨
9. 中央銀行とは何か
10. カネで買えないもの
11. 価格と価値
12. 金利をマイナスにする
13. 現代の資本論
14. 移民と国民国家
15. 世界のかたち

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/8fnc74xdyk4tuaxwl2qhemp9g509b598>

## 竹花 洋佑

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・4時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

この授業では「自己と他者」というテーマに含まれている様々な哲学的諸問題を、近現代の西洋および日本の哲学を手がかりに考察し、深めていくことを目的としています。

「自己とは何か」「私とは何か」という問いは古くから存在しますが、この問題が鋭いかたちで提起されることになったのは、デカルト（1596-1650）以降のことであると言えます。「鋭いかたちで」というのは、私たちの常識に反して、デカルトにおいては自己の存在はただ考えることのみ依存すると捉えられたからです。しかしながら、「自己とは何か」という問いが生まれるのは、そもそも他者が存在し、それが自己存在の意味を問わざるを得ないようにするかたちで自己の前に立ちだかるからです。大雑把に言えば、デカルトの原理を高く評価した西洋の近代哲学は、他者の問題を自覚的に組み入れることによって、現代哲学へと展開してしていきます。授業ではこの流れを歴史的に概観することになりますので、本授業は同時に西洋近現代哲学入門という意味を持つこととなります。

しかし、自己の存在の意味は他者の存在の優位性に解消するものではありません。他者がいるから自己があるということを知るのはどこまでいってもこの自己だからです。その意味では、他者も自己にとっての他者にすぎません。存在するのは自己だけだと考える立場は独我論と言われますが、この立場は今度は他者存在のリアリティ（他我問題）を引き起こすこととなります。自己を優位に考えても、他者を優位に考えても、どちらにも問題がありそうです。このような難問をどのように考えたらよいのか、それに対する有効なアプローチを探ることを主軸として授業は展開していくことになります。

この問題を考えるに際して、ヘーゲルやハイデガー、サルトルやレヴィナスといった西洋の哲学者の思想を紹介することになりますが、同時に西田幾多郎や和辻哲郎、九鬼周造といった近代日本の哲学者の主張も取り上げます。これもこの授業の特徴の一つとなります。

授業は講義形式で行われます。数回に一回の割合で質問カードに質問・感想を記入してもらい、提出してもらいます。可能な限り皆さんの質問に授業内で答えるようにします。

## - - - 到達目標 - - -

「自己と他者」という問題をめぐって展開された、西洋および近現代日本の哲学的議論についての基本的知識を獲得する。(知識・理解)

事柄を論理的に分析し、多様な視点から考察する能力を身につける。(技能)

「そもそも〇〇とは何か」、「議論の前提となっている立場はそもそも本当に正しいのか」といった仕方、物事を根本的に捉えようとする態度を身につける。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・ 次回の授業内容に関する資料を毎回あらかじめ配るのでそれを読んでおいて下さい(60分)。  
 ・ 授業のノートを見返し、よく分からない箇所・さらに深く聞きたい箇所等を簡単にまとめておいて下さい(30分)。数回の授業毎に質問カードを配り、あらかじめまとめた内容をそこに書いてもらうこととなります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績は期末試験の得点に基づいて評価します。試験問題は、哲学者の議論の内容、哲学的諸概念の知識とその内容、授業で取り上げた哲学的諸問題に対する論理的分析力の度合い、を問うものになります。

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・ 基本的なところから丁寧に説明していきますので、哲学に関する前提的知識は一切要りません。

・ ただし、各回の授業は内容的につながっていますので、欠席が多くなったり、予習・復習が不十分だったりすると、途端についていけなくなりますので、注意して下さい。

・ 期末試験の問題もかなりのボリュームがありますので、付け焼き刃の勉強では歯が立たないと思います。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
2. 「私とは何か」というのはどのような問いか - 問いの背景 -
3. デカルトの立場と西洋近代哲学
4. 他者問題と西洋現代哲学
5. 独我論という問題
6. 他者・身体・自己 - ヘーゲル・サルトル・メルロ＝ポンティ -
7. 役割論 - 和辻の「間柄」としての自己 -
8. 「無」あるいは「場所」としての自己 - 西田の立場 -
9. 物語る存在としての自己
10. 「あなた」としての他者
11. 第三者としての他者 - 大衆あるいは社会 -
12. 死者という他者
13. 他者と感情
14. 自己存在の謎 - 「そもそもなぜ私は存在するのか」 -
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/i3ile7bdxeyemwoq5840yxswb1zpne3q>)

## 竹花 洋佑

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・4時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

この授業では「自己と他者」というテーマに含まれている様々な哲学的諸問題を、近現代の西洋および日本の哲学を手がかりに考察し、深めていくことを目的としています。

「自己とは何か」「私とは何か」という問いは古くから存在しますが、この問題が鋭いかたちで提起されることになったのは、デカルト（1596-1650）以降のことであると言えます。「鋭いかたちで」というのは、私たちの常識に反して、デカルトにおいては自己の存在はただ考えることのみ依存すると捉えられたからです。しかしながら、「自己とは何か」という問いが生まれるのは、そもそも他者が存在し、それが自己存在の意味を問わざるを得ないようにするかたちで自己の前に立ちだかるからです。大雑把に言えば、デカルトの原理を高く評価した西洋の近代哲学は、他者の問題を自覚的に組み入れることによって、現代哲学へと展開してしていきます。授業ではこの流れを歴史的に概観することになりますので、本授業は同時に西洋近現代哲学入門という意味を持つこととなります。

しかし、自己の存在の意味は他者の存在の優位性に解消するものではありません。他者がいるから自己があるということを知るのはどこまでいってもこの自己だからです。その意味では、他者も自己にとつての他者にすぎません。存在するのは自己だけだと考える立場は独我論と言われますが、この立場は今度は他者存在のリアリティー（他我問題）を引き起こすこととなります。自己を優位に考えても、他者を優位に考えても、どちらにも問題がありそうです。このような難問をどのように考えたらよいのか、それに対する有効なアプローチを探ることを主軸として授業は展開していくこととなります。

この問題を考えるに際して、ヘーゲルやハイデガー、サルトルやレヴィナスといった西洋の哲学者の思想を紹介することになりますが、同時に西田幾多郎や和辻哲郎、九鬼周造といった近代日本の哲学者の主張も取り上げます。これもこの授業の特徴の一つとなります。

授業は講義形式で行われます。数回に一回の割合で質問カードに質問・感想を記入してもらい、提出してもらいます。可能な限り皆さんの質問に授業内で答えるようにします。

## - - - 到達目標 - - -

「自己と他者」という問題をめぐって展開された、西洋および近現代日本の哲学的議論についての基本的知識を獲得する。(知識・理解)

事柄を論理的に分析し、多様な視点から考察する能力を身につける。(技能)

「そもそも〇〇とは何か」、「議論の前提となっている立場はそもそも本当に正しいのか」といった仕方、物事を根本的に捉えようとする態度を身につける。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・ 次回の授業内容に関する資料を毎回あらかじめ配るのでそれを読んでおいて下さい(60分)。  
 ・ 授業のノートを見返し、よく分からない箇所・さらに深く聞きたい箇所等を簡単にまとめておいて下さい(30分)。数回の授業毎に質問カードを配り、あらかじめまとめた内容をそこに書いてもらうこととなります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績は期末試験の得点に基づいて評価します。試験問題は、哲学者の議論の内容、哲学的諸概念の知識とその内容、授業で取り上げた哲学的諸問題に対する論理的分析力の度合い、を問うものになります。

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・ 基本的なところから丁寧に説明していきますので、哲学に関する前提的知識は一切要りません。  
 ・ ただし、各回の授業は内容的につながっていますので、欠席が多くなったり、予習・復習が不十分だったりすると、途端についていけなくなりますので、注意して下さい。  
 ・ 期末試験の問題もかなりのボリュームがありますので、付け焼き刃の勉強では歯が立たないと思います。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
2. 「私とは何か」というのはどのような問いか - 問いの背景 -
3. デカルトの立場と西洋近代哲学
4. 他者問題と西洋現代哲学
5. 独我論という問題
6. 他者・身体・自己 - ヘーゲル・サルトル・メルロ＝ポンティ -
7. 役割論 - 和辻の「間柄」としての自己 -
8. 「無」あるいは「場所」としての自己 - 西田の立場 -
9. 物語る存在としての自己
10. 「あなた」としての他者
11. 第三者としての他者 - 大衆あるいは社会 -
12. 死者という他者
13. 他者と感情
14. 自己存在の謎 - 「そもそもなぜ私は存在するのか」 -
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ypfujmh96ij8h1k3giau3cnauktvxk04>



## 平井 靖史

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・1時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

客観世界でも時間は流れているのか。主観的時間は単なる錯覚か。記憶は現在作り出されているただのフィクションなのか。物質は心を持つのか。持たないとしたら我々の心はこの宇宙の歴史でどうやって生じたのか。

フランスのノーベル賞哲学者であるアンリ・ベルクソンの哲学を導きの糸に、現代の諸理論を踏まえつつ講義を行う。

哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。

幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。

授業は講義形式で行われる。

## - - - 到達目標 - - -

意識と心をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。  
 (知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。  
 (技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。  
 (態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前予習としては、前回の授業で指定する資料をノートを取りつつ読んでおくこと。30分～1時間程度。他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち(遅くとも翌日まで)に、ノートと記憶をたよりに授業での議論(導入 問題の立ち上げ 展開)を自分でリプレイ(追体験)してください。1時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、必要に応じてムードルで復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験による。  
 定期試験は、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

## - - - テキスト - - -

指定しない

## - - - 参考書 - - -

平井・安孫子・藤田編『ベルクソン『物質と記憶』を解剖する 現代知覚理論・時間論・心の哲学との接続』書肆心水、2016年。 ISBN 978-4906917600

平井・安孫子・藤田編『ベルクソン『物質と記憶』を再起動する』書肆心水、2018年。 ISBN 978-4906917860

ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳(講談社学術文庫)

<http://matterandmemory.jimdo.com>

平井が運営する上記PBJ『物質と記憶』ポータルサイトを参照せよ。

## - - - 履修上の留意点 - - -

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。

試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることとなります。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 ベルクソンと時間の哲学
- 3 時間が「ある」とはどういうことか
- 4 時間の空間化
- 5 時計は何を測っているか
- 6 マルチ時間スケール
- 7 進化と時間の変容
- 8 永久主義と現在主義
- 9 過去の残存と時間の流れ
- 10 記憶は過去に接地するか
- 11 意識：クオリア・気づき・注意
- 12 幻覚・夢・デジャヴ
- 13 ボトムアップとトップダウン
- 14 自由と創造
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/edmeceh2n0q96ot4qhishml2u4h9hd8>)

## 平井 靖史

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

客観世界でも時間は流れているのか。主観的時間は単なる錯覚か。記憶は現在作り出されているただのフィクションなのか。物質は心を持つのか。持たないとしたら我々の心はこの宇宙の歴史でどうやって生じたのか。

フランスのノーベル賞哲学者であるアンリ・ベルクソンの哲学を導きの糸に、現代の諸理論を踏まえつつ講義を行う。

哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。

幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。

授業は講義形式で行われる。

## - - - 到達目標 - - -

意識と心をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。

(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。

(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。

(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前予習としては、前回の授業で指定する資料をノートを取りつつ読んでおくこと。30分～1時間程度。他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち(遅くとも翌日まで)に、ノートと記憶をたよりに授業での議論(導入 問題の立ち上げ 展開)を自分でリプレイ(追体験)してください。1時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、必要に応じてムードで復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験による。

定期試験は、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

## - - - テキスト - - -

指定しない。

## - - - 参考書 - - -

平井・安孫子・藤田編『ベルクソン『物質と記憶』を解剖する 現代知覚理論・時間論・心の哲学との接続』書肆心水、2016年。 ISBN 978-4906917600

平井・安孫子・藤田編『『物質と記憶』を再起動する』書肆心水、2018年。 ISBN 978-4906917860

ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳(講談社学術文庫)

<http://matterandmemory.jimdo.com>

平井が運営する上記PBJ『物質と記憶』ポータルサイトを参照せよ。

## - - - 履修上の留意点 - - -

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。

試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることとなります。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 ベルクソンと時間の哲学
- 3 時間が「ある」とはどういうことか
- 4 時間の空間化
- 5 時計は何を測っているか
- 6 マルチ時間スケール
- 7 進化と時間の変容
- 8 永久主義と現在主義
- 9 過去の残存と時間の流れ
- 10 記憶は過去に接地するか
- 11 意識：クオリア・気づき・注意
- 12 幻覚・夢・デジャヴ
- 13 ボトムアップとトップダウン
- 14 自由と創造
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/uilj7e4ac5hxz1b7z78icyvb8ps9h6tf>)

## 平井 靖史

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：火・2時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

山口尚著『幸福と人生の意味の哲学』を教科書に、実践的な哲学議論を学びます。

たんに知識として学ぶというのではなく、どのようにしてそこにたどり着いたかの思考のプロセスをたどってみるという哲学的思索の疑似体験を通じて、皆さん自身が思考の技能を身につけることが目指されています。

## - - - 到達目標 - - -

議論・討論の実践を通じて、「分かる」（あるいは「分からない」）とはどういうことかを分かるようになり、問題の在処を理解する力を養います。(知識・理解)

授業ない発表やレポートにより、口頭で論理的に主張する力、相手を論理的に批判する力、抽象的な議論を文章にする力、問題を新たに創出する力などを養います。(技能)

未知に問題に対して、的確な概念整理に基づいて方法的にとりくむ態度を養います。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

議論の進行に合わせて、随時調査発表、チームでの議論など事前・事後の学習が不可欠です。1時間～1.5時間程度。担当者は代表として該当範囲の要約と複数の問題提起を含む「レジュメ」を用意します。

慣れない哲学的な思索を身につけるためには、念入りな復習が必須です。必ず、ゼミ後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりにゼミでの議論（導入 問題の立ち上げ 展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。1時間～1.5時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。担当者は代表として、前回の授業内容を要約的に報告し追加の問題提起を行う「レビュー」を作成します。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

ゼミですので、出席は前提となります。その上で、授業内での発言、発表・報告（4割）、中間・期末レポート（6割）によって評価します。発言の回数や内容、グループワークにおける積極性や協調性、問題発見能力、課題分析力、プレゼンテーション能力等を評価します。レポートの評価は、正誤の問題ではなく論述そのものの完成度・密度・強度を基準とします。

## - - - テキスト - - -

山口尚著『幸福と人生の意味の哲学』トランスビュー、2019年。

## - - - 参考書 - - -

青山拓央『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』太田出版、2016年。

## - - - 履修上の留意点 - - -

一回につき3時間以上の予復習時間を確保できることが必要です。好奇心ひととき旺盛で、正しい知識に基づいて論理的に考えるための主体的・自発的な調査・学習ができないひとは単位取得が難しいでしょう。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
2. 幸福のどうにもならない側面
3. 幸福の内面化
4. 幸福の幻想性と脆弱性
5. 死と人生の意味
6. 国家や歴史は人生に意味を与えるか
7. 物質とただ在るに過ぎないこと
8. 人生の不条理とアイロニーを伴った生き方
9. アイロニーと人生の意味
10. 「有意味な生とは何か」への応答
11. 幸福と語りえぬもの
12. 超越的幸福
13. 現実
14. 永遠と時間
15. 事実

## - - - スタートアップ授業 - - -

## スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/r3udrx6z69sufz7eaqeial8e3c1ott>)

## 平井 靖史

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

客観世界でも時間は流れているのか。主観的時間は単なる錯覚か。記憶は現在作り出されているただのフィクションなのか。物質は心を持つのか。持たないとしたら我々の心はこの宇宙の歴史でどうやって生じたのか。

フランスのノーベル賞哲学者であるアンリ・ベルクソンの哲学を導きの糸に、現代の諸理論を踏まえつつ講義を行う。

哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。

幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。

授業は講義形式で行われる。

## - - - 到達目標 - - -

意識と心をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。

(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。

(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。

(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前予習としては、前回の授業で指定する資料をノートを取りつつ読んでおくこと。30分～1時間程度。他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち(遅くとも翌日まで)に、ノートと記憶をたよりに授業での議論(導入 問題の立ち上げ 展開)を自分でリプレイ(追体験)してください。1時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、必要に応じてムードルで復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

期末の筆記テストによる。

期末テストは、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

## - - - テキスト - - -

指定しない。

## - - - 参考書 - - -

平井・安孫子・藤田編『ベルクソン『物質と記憶』を解剖する 現代知覚理論・時間論・心の哲学との接続』書肆心水、2016年。 ISBN 978-4906917600

平井・安孫子・藤田編『『物質と記憶』を再起動する』書肆心水、2018年。 ISBN 978-4906917860

ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳(講談社学術文庫)

<http://matterandmemory.jimdo.com>

平井が運営する上記PBJ『物質と記憶』ポータルサイトを参照せよ。

## - - - 履修上の留意点 - - -

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。

試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることとなります。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 ベルクソンと時間の哲学
- 3 時間が「ある」とはどういうことか
- 4 時間の空間化
- 5 時計は何を測っているか
- 6 マルチ時間スケール
- 7 進化と時間の変容
- 8 永久主義と現在主義
- 9 過去の残存と時間の流れ
- 10 記憶は過去に接地するか
- 11 意識：クオリア・気づき・注意
- 12 幻覚・夢・デジャヴ
- 13 ボトムアップとトップダウン
- 14 自由と創造
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/c2yr4xcgfgjwr4ef8uxtgs01uw3lods3>)

## 円谷 裕二

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：火・2時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

現代の科学技術のめざましい発展は将来にわたる人間の生き方そのものを大きく左右するさまざまな問題を伴っています。例えば、AI技術の進展が雇用機会を奪い、人間の生きがいをどこに見出したらよいのかを反省させますし、インターネットやスマホの普及は、人間関係を直接性から間接性へと誘導するし、あるいは、ゲノム編集の簡単な操作可能性が人間の生命や能力を大きく変貌させてしまう危険性を含んでいます。もちろん、巨大な破壊力を持った武器の開発や地球環境の破壊などは半世紀も前から問題視されてきました。

これらの人類存亡の危機に対して、私たちはどのように考え、どのように対処したらよいのでしょうか。この問題を考える上では、人間とは何か、科学の本質と限界とは何か、人間の生き方や倫理とは何か、そして、人間の感情や欲望とは何か、等々の問題をより深くかつ広範に考え抜いた哲学者の哲学を参考にするのが一つの方法です。近代において、これらの問題を追及した代表的哲学者としてカント(1724-1804)を挙げることができます。彼の哲学は現代の私たちが抱える重大な諸問題についてどのように考えたらよいのかのヒントをたくさん含んでいます。

## - - - 到達目標 - - -

カント哲学の内容を理解することと現代の時代状況の把握。  
(知識・理解)

現代という時代状況の中で哲学的に考えることの訓練。(技能)

過去の哲学を学ぶことによって、現代や未来に対してどのように考えるべきなのかという問題に強い関心を抱き続けること。  
(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

今回の授業内容に該当するテキストの箇所30分から1時間程度の予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためて1時間程度、授業内容やテキストを復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業のたびに出席の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできません。

## - - - テキスト - - -

円谷裕二著『デカルトとカント 人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版、ISBN978-4-7793-0477-4

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2.人間と自然と神をめぐる歴史的变化
- 3.哲学的に問うとは？
- 4.カントと現代哲学の問題
- 5.経験論と合理論 カント以前の近代哲学
- 6.カントの理論哲学(1) 感性と悟性の総合
- 7.カントの理論哲学(2) 認識の限界と理性
- 8.カントの理論哲学(3) 科学的認識の限界
- 9.カントの実践哲学(1) 必然性と自由
- 10.カントの実践哲学(2) 快楽主義と帰結主義の倫理学への批判
- 11.カントの実践哲学(3) 道徳の基本原則
- 12.カントの美学・芸術論(1) 美と道徳と自然の関係
- 13.カントの美学・芸術論(2) 美の四つの特徴
- 14.カントの美学・芸術論(3) カント美学の問題点
- 15.まとめ カント哲学の限界

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/jn2yj9nzqhe5l0z1sx3f66m0os2sp3e5>

## 円谷 裕二

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

現代の科学技術のめざましい発展は将来にわたる人間の生き方そのものを大きく左右するさまざまな問題を伴っています。例えば、AI技術の進展が雇用機会を奪い、人間の生きがいをどこに見出したらよいのかを反省させますし、インターネットやスマホの普及は、人間関係を直接性から間接性へと誘導するし、あるいは、ゲノム編集の簡単な操作可能性が人間の生命や能力を大きく変貌させてしまう危険性を含んでいます。もちろん、巨大な破壊力を持った武器の開発や地球環境の破壊などは半世紀も前から問題視されてきました。

これらの人類存亡の危機に対して、私たちはどのように考え、どのように対処したらよいのでしょうか。この問題を考える上では、人間とは何か、科学の本質と限界とは何か、人間の生き方や倫理とは何か、そして、人間の感情や欲望とは何か、等々の問題をより深くかつ広範に考え抜いた哲学者の哲学を参考にするのが一つの方法です。近代において、これらの問題を追及した代表的哲学者としてカント(1724-1804)を挙げることができます。彼の哲学は現代の私たちが抱える重大な諸問題についてどのように考えたらよいのかのヒントをたくさん含んでいます。

## - - - 到達目標 - - -

カント哲学の内容を理解することと現代の時代状況の把握。  
(知識・理解)

現代という時代状況の中で哲学的に考えることの訓練。(技能)

過去の哲学を学ぶことによって、現代や未来に対してどのように考えるべきなのかという問題に強い関心を抱き続けること。  
(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

今回の授業内容に該当するテキストの箇所30分から1時間程度の予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためて1時間程度、授業内容やテキストを復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業のたびに出席の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできません。

## - - - テキスト - - -

円谷裕二著『デカルトとカント 人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版、ISBN978-4-7793-0477-4

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2.人間と自然と神をめぐる歴史的变化
- 3.哲学的に問うとは？
- 4.カントと現代哲学の問題
- 5.経験論と合理論 カント以前の近代哲学
- 6.カントの理論哲学(1) 感性と悟性の総合
- 7.カントの理論哲学(2) 認識の限界と理性
- 8.カントの理論哲学(3) 科学的認識の限界
- 9.カントの実践哲学(1) 必然性と自由
- 10.カントの実践哲学(2) 快楽主義と帰結主義の倫理学への批判
- 11.カントの実践哲学(3) 道徳の基本原則
- 12.カントの美学・芸術論(1) 美と道徳と自然の関係
- 13.カントの美学・芸術論(2) 美の四つの特徴
- 14.カントの美学・芸術論(3) カント美学の問題点
- 15.まとめ カント哲学の限界

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/wqkf1hup7h78byyifcpsnbzjk0k2n086>

## 竹花 洋佑

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・二部2時限 試験時間割：2021/07/27 夜2限

## - - - 概要 - - -

この授業では「自己と他者」というテーマに含まれている様々な哲学的諸問題を、近現代の西洋および日本の哲学を手がかりに考察し、深めていくことを目的としています。

「自己とは何か」「私とは何か」という問いは古くから存在しますが、この問題が鋭いかたちで提起されることになったのは、デカルト(1596-1650)以降のことと言えます。「鋭いかたちで」というのは、私たちの常識に反して、デカルトにおいては自己の存在はただ考えることだけに依存すると捉えられたからです。しかしながら、「自己とは何か」という問いが生まれるのは、そもそも他者が存在し、それが自己存在の意味を問わざるを得ないようにするかたちで自己の前に立ちだかるからです。大雑把に言えば、デカルトの原理を高く評価した西洋の近代哲学は、他者の問題を自覚的に組み入れることによって、現代哲学へと展開してしていきます。授業ではこの流れを歴史的に概観することになりますので、本授業は同時に西洋近現代哲学入門という意味を持つこととなります。

しかし、自己の存在の意味は他者の存在の優位性に解消するものではありません。他者がいるから自己があるということを知るのはどこまでいってもこの自己だからです。その意味では、他者も自己にとつての他者にすぎません。存在するのは自己だけだと考える立場は独我論と言われますが、この立場は今度は他者存在のリアリティー(他我問題)を引き起こすこととなります。自己を優位に考えても、他者を優位に考えても、どちらにも問題がありそうです。このような難問をどのように考えたらよいのか、それに対する有効なアプローチを探ることを主軸として授業は展開していくことになります。

この問題を考えるに際して、ヘーゲルやハイデガー、サルトルやレヴィナスといった西洋の哲学者の思想を紹介することになりますが、同時に西田幾多郎や和辻哲郎、九鬼周造といった近代日本の哲学者の主張も取り上げます。これもこの授業の特徴の一つとなります。

授業は講義形式で行われます。数回に一回の割合で質問カードに質問・感想を記入してもらい、提出してもらいます。可能な限り皆さんの質問に授業内で答えるようにします。

## - - - 到達目標 - - -

「自己と他者」という問題をめぐって展開された、西洋および近現代日本の哲学的議論についての基本的知識を獲得する。(知識・理解)

事柄を論理的に分析し、多様な視点から考察する能力を身につける。(技能)

「そもそも〇〇とは何か」、「議論の前提となっている立場はそもそも本当に正しいのか」といった仕方、物事を根本的に捉えようとする態度を身につける。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・ 次回の授業内容に関する資料を毎回あらかじめ配るのでそれを読んでおいて下さい(60分)。  
 ・ 授業のノートを見返し、よく分からない箇所・さらに深く聞きたい箇所等を簡単にまとめておいて下さい(30分)。数回の授業毎に質問カードを配り、あらかじめまとめた内容をそこに書いてもらうこととなります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績は期末試験の得点に基づいて評価します。試験問題は、哲学者の議論の内容、哲学的諸概念の知識とその内容、授業で取り上げた哲学的諸問題に対する論理的分析力の度合い、を問うものになります。

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・ 基本的なところから丁寧に説明していきますので、哲学に関する前提的知識は一切要りません。  
 ・ ただし、各回の授業は内容的につながっていますので、欠席が多くなったり、予習・復習が不十分だったりすると、途端についていけなくなりますので、注意して下さい。  
 ・ 期末試験の問題もかなりのボリュームがありますので、付け焼き刃の勉強では歯が立たないと思います。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 「私とは何か」というのはどのような問いか - 問いの背景 -
3. デカルトの立場と西洋近代哲学
4. 他者問題と西洋現代哲学
5. 独我論という問題
6. 他者・身体・自己 - ヘーゲル・サルトル・メルロ＝ポンティ -
7. 役割論 - 和辻の「間柄」としての自己 -
8. 「無」あるいは「場所」としての自己 - 西田の立場 -
9. 物語る存在としての自己
10. 「あなた」としての他者
11. 第三者としての他者 - 大衆あるいは社会 -
12. 死者という他者
13. 他者と感情
14. 自己存在の謎 - 「そもそもなぜ私は存在するのか」 -
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/eps18oo2vqqnqbn550npq4a5u0dq6kyv>

## 安居 誠

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・1時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

あなたの周囲の人々が、次々に吸血鬼に変貌していくとします。吸血鬼となった嘗ての家族や友人達があなたのもとを訪ねては、吸血鬼になるのがいかに素晴らしいことを口々に力説します。不老不死となった今、これまで至高の人的価値と見えてきたものが、地表をうごめく生命の、場当たりの生存戦略にいかにも汚染されているかということに初めて気がついた、生き物でもAIでもない第三の知的存在であることの愉悦と誇り、等々。今のところ吸血鬼になることを強要されてはいませんが、少数派となった人間は、もう社会的に影が薄い。「吸血鬼への一歩が踏み出せないあなたのために」というセミナーを受けてみようかと、あなたは考え始めたところです。

現実離れのした妄想と見えたかもしれませんが、吸血鬼の例は、われわれの実際の状況と意外に近い。われわれが就学や留学、就職に転職、結婚や出産といった人生の岐路となるような決断をする場合、選択の可否は予測不可能です。何が起るかわからないというのではなく、事後的な判断の基準そのものが、選択をする以前とはもう違っているという意味です。未来を見通すことができないのは、何よりわれわれ自身が時間とともに変化する存在であるからに他なりません。人生を左右するような選択を、ゲーム理論や行動経済学の知見などにわれわれが本気で委ねたりしないのは、そこで賭けられているのが効用計算などではなく、「吸血鬼になること(=一度きりで変わってしまう実存の条件)」だと、どこかで気がついているからでしょう。

本講では、われわれの実存の構造が時間性そのものであることを、日常的な経験の分析から明らかにします。また、にもかかわらず、それが所与の自然的条件などではなく、ギリシャ古典哲学とユダヤ=キリスト教的なメシアニズム、ドイツ観念論やニーチェの形而上学批判などの思想的諸潮流の相克のもとに形成された「時間の時間化」であることを、多様なテキストを参照することによって示します。知的好奇心を持った多くの学生の参加を希望します。

## - - - 到達目標 - - -

人間の実存が時間的な構造を持っていることを示すことができる。(知識・理解)

時間の概念を、思想的な展開と関連づけて考えるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30分)復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験の結果が90%、受講態度を10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験80%、小テスト10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

## - - - テキスト - - -

使用しません。

## - - - 参考書 - - -

多岐にわたるため、講義で紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

高校卒業程度の世界史の知識があることが望ましいですが、受講の前提ではありません。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業  
《4つの哲学素》
2. パウロの書簡と普遍主義
3. 時間は実在するか？
4. タイム・パラドックス概説
5. パスカルの賭け
6. 超越とは何か
7. 時間と他者
8. 事件と偶然性
9. 死と 気遣い
10. 円卓と天秤
11. 不死の記憶
12. 社会のゲーム
13. 近縁度と繰り返し
14. 論理における時間
15. 黄金律と定言命法

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/9dst74f1l4y575lr9j1tao2joaq8i00k>)



## 竹花 洋佑

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・4時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

この授業では想像力をテーマとし、その哲学的意味を考察することによって、「人間とは何か」、「リアリティーとは何か」などといった問いに迫っていきます。

古くから人間は様々な仕方で定義付けられてきました。人間とは知性的あるいは理性的存在である、というのが伝統的な人間観であったと言えますが、道具を作ること、遊ぶこと、シンボルを操ることなども、多様な活動を営む人間を特徴付ける本質として挙げられることがあります。そうした人間の定義をめぐりリストの中に想像力を加えることができるでしょう。

一般に想像力とは直接に存在しないものに関わる能力のことですが、よくよく考えてみれば人間の営みは<存在しないもの>に取り囲まれていることがわかります。超現実的なイメージを依拠する神話あるいは宗教や、全く新しいものを創造する芸術がそうしたものの代表でしょう。そのような大袈裟なものを持ち出さなくても、もはや無い過去にこだわり、未だ存在しない未来に己を託す日々の私たちのあり方が想像力に支えられています。他者の痛みを知ることにも想像力は関わっています。

まず、授業では様々な人間の定義の中に想像力という問題を位置付け、その意味を簡単に明らかにした上で、想像力が関わっている領域を一つ一つ考察していきます。具体的には、芸術、宗教、貨幣、歴史、国家、共感、時間といったテーマを取り上げます。その上で、想像力が哲学においてどのように論じられてきたのかを歴史的に振り返ることで、想像力という問題を理論的に掘り下げます。そして最後に、想像力が生み出す虚構/フィクションとリアリティーの関係を考察します。

授業は講義形式で行われます。数回に一回の割合で質問カードに質問・感想を記入してもらい、提出してもらいます。可能な限り皆さんの質問に授業内で答えるようにします。

## - - - 到達目標 - - -

想像力をめぐって展開された、西洋および近現代日本の哲学的議論についての基本的知識を獲得する。(知識・理解)

事柄を論理的に分析し、多様な視点から考察する能力を身につける。(技能)

「そもそも〇〇とは何か」、「議論の前提となっている立場はそもそも本当に正しいのか」といった仕方で、物事を根本的に捉えようとする態度を身につける。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・次回の授業内容に関する資料を毎回あらかじめ配るのでそれを読んでおいて下さい(60分)。

・授業のノートを見返し、よく分からない箇所・さらに深く聞きたい箇所等を簡単にまとめておいて下さい(30分)。数回の授業毎に質問カードを配り、あらかじめまとめた内容をそこに書いてもらうこととなります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績は期末試験の得点に基づいて評価します。試験問題は、哲学者の議論の内容、哲学的諸概念の知識とその内容、授業で取り上げた哲学的諸問題に対する論理的な分析力の度合い、を問うものになります。

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・基本的なところから丁寧に説明していきますので、哲学に関する前提的知識は一切要りません。

・ただし、各回の授業は内容的につながっていますので、欠席が多くなったり、予習・復習が不十分だったりすると、途端についていけなくなりますので、注意して下さい。

・期末試験の問題もかなりのボリュームがありますので、付け焼き刃の勉強では歯が立たないと思います。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 様々な人間の定義と想像力の問題
3. 想像力とシンボル
4. 貨幣という問題
5. 「想像の共同体」としての国家
6. 他者・共感・想像力
7. 想像力と時間
8. 歴史あるいは物語と想像する自己
9. 想像力と芸術
10. 想像力と神話あるいは宗教
11. 想像力の概念史(1) - ヒュームとカント -
12. 想像力の概念史(2) - 現象学 -
13. 三木清の『構想力の論理』
14. フィクションとリアリティー
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/lpjm0tq0g7dd3gzhl16c5hf3c42o8nqh>)

## 竹花 洋佑

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

この授業では想像力をテーマとし、その哲学的意味を考察することによって、「人間とは何か」、「リアリティーとは何か」などといった問いに迫っていきます。

古くから人間は様々な仕方で定義付けられてきました。人間とは知性的あるいは理性的存在である、というのが伝統的な人間観であったと言えますが、道具を作ること、遊ぶこと、シンボルを操ることなども、多様な活動を営む人間を特徴付ける本質として挙げられることがあります。そうした人間の定義をめぐりリストの中に想像力を加えることができるでしょう。

一般に想像力とは直接に存在しないものに関わる能力のことですが、よくよく考えてみれば人間の営みは<存在しないもの>に取り囲まれていることがわかります。超現実的なイメージを依拠する神話あるいは宗教や、全く新しいものを創造する芸術がそうしたものの代表でしょう。そのような大袈裟なものを持ち出さなくても、もはや無い過去にこだわり、未だ存在しない未来に己を託す日々の私たちのあり方が想像力に支えられています。他者の痛みを知ることにも想像力は関わっています。

まず、授業では様々な人間の定義の中に想像力という問題を位置付け、その意味を簡単に明らかにした上で、想像力が関わっている領域を一つ一つ考察していきます。具体的には、芸術、宗教、貨幣、歴史、国家、共感、時間といったテーマを取り上げます。その上で、想像力が哲学においてどのように論じられてきたのかを歴史的に振り返ることで、想像力という問題を理論的に掘り下げます。そして最後に、想像力が生み出す虚構/フィクションとリアリティーの関係を考察します。

授業は講義形式で行われます。数回に一回の割合で質問カードに質問・感想を記入してもらい、提出してもらいます。可能な限り皆さんの質問に授業内で答えるようにします。

## - - - 到達目標 - - -

想像力をめぐって展開された、西洋および近現代日本の哲学的議論についての基本的知識を獲得する。(知識・理解)

事柄を論理的に分析し、多様な視点から考察する能力を身につける。(技能)

「そもそも〇〇とは何か」、「議論の前提となっている立場はそもそも本当に正しいのか」といった仕方で、物事を根本的に捉えようとする態度を身につける。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・次回の授業内容に関する資料を毎回あらかじめ配るのでそれを読んでおいて下さい(60分)。

・授業のノートを見返し、よく分からない箇所・さらに深く聞きたい箇所等を簡単にまとめておいて下さい(30分)。数回の授業毎に質問カードを配り、あらかじめまとめた内容をそこに書いてもらうこととなります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績は期末試験の得点に基づいて評価します。試験問題は、哲学者の議論の内容、哲学的諸概念の知識とその内容、授業で取り上げた哲学的諸問題に対する論理的な分析力の度合い、を問うものになります。

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・基本的なところから丁寧に説明していきますので、哲学に関する前提的知識は一切要りません。

・ただし、各回の授業は内容的につながっていますので、欠席が多くなったり、予習・復習が不十分だったりすると、途端についていけなくなりますので、注意して下さい。

・期末試験の問題もかなりのボリュームがありますので、付け焼き刃の勉強では歯が立たないと思います。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 様々な人間の定義と想像力の問題
3. 想像力とシンボル
4. 貨幣という問題
5. 「想像の共同体」としての国家
6. 他者・共感・想像力
7. 想像力と時間
8. 歴史あるいは物語と想像する自己
9. 想像力と芸術
10. 想像力と神話あるいは宗教
11. 想像力の概念史(1) - ヒュームとカント -
12. 想像力の概念史(2) - 現象学 -
13. 三木清の『構想力の論理』
14. フィクションとリアリティー
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/hz7ev25fkdndmt6006cnze8e7rweuzp>)

## 平井 靖史

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

人間は遺伝子に操られているのか？  
 宇宙開闢（かいびやく）の時点で、その後の出来事は一通りに定まっていたか？  
 運命はあるのか？  
 人間と機械は何が違うのか？  
 こうした疑問はすべて人間の自由意志の問題であり、デモクリトスからスピノザ、デネットまで、決定論の哲学史に刻まれている。  
 ダーウィンや神経科学など自然科学的観点も検討しつつ、決定論のこれまでとこれからを考える。

気鋭の研究者によって執筆された最新のガイドをもとに、決定論と自由の哲学の歩みを辿る。

幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。

授業は講義形式で行われる。

## - - - 到達目標 - - -

自由と決定論をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。  
 (知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。  
 (技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。  
 (態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。30分～1時間程度。他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入 問題の立ち上げ 展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。1時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、必要に応じてムードルで復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験による。  
 定期試験は、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

## - - - テキスト - - -

木島泰三『自由意志の向こう側 決定論をめぐる哲学史』講談社選書メチエ、2020年。

## - - - 参考書 - - -

トーマス・ピンク『哲学がわかる 自由意志』（戸田剛文他訳）岩波書店、2017年。  
 山口尚『哲学トレーニングブック 考えることが自由に至るために』平凡社、2020年。  
 ダニエル・デネット『自由の余地』（戸田山和久訳）名古屋大学出版会、2020年。

## - - - 履修上の留意点 - - -

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。  
 試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることとなります。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
2. 決定論とは何か
3. 自然に目的はあるのか？ 目的論と決定論
4. 決定論と運命論 ストア派・スピノザ・九鬼周造
5. 近代以前の自由意志論争とその影響 ホッブズとデカルト（1）
6. 近代以前の自由意志論争とその影響 ホッブズとデカルト（2）
7. 目的論的自然観は生きのびる ライブニッツとニュートン（1）
8. 目的論的自然観は生きのびる ライブニッツとニュートン（2）
9. ダーウィンによる目的論の自然化
10. 自然化された運命論 現代の決定論的思想の検討（1）
11. 自然化された運命論 現代の決定論的思想の検討（2）
12. 運命論のこれから
13. 自然主義のこれから
14. 現実とは何か
15. 時間と自由

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/6i47xv6iv6wa6ljih5ay01oka6l100ur>

## 平井 靖史

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

人間は遺伝子に操られているのか？  
 宇宙開闢（かいびやく）の時点で、その後の出来事は一通りに定まっていたか？

運命はあるのか？

人間と機械は何が違うのか？

こうした疑問はすべて人間の自由意志の問題であり、デモクリトスからスピノザ、デネットまで、決定論の哲学史に刻まれている。

ダーウィンや神経科学など自然科学的観点も検討しつつ、決定論のこれまでとこれからを考える。

気鋭の研究者によって執筆された最新のガイドをもとに、決定論と自由の哲学の歩みを辿る。

幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。

授業は講義形式で行われる。

## - - - 到達目標 - - -

自由と決定論をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。

(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。

(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。

(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。30分～1時間程度。他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入 問題の立ち上げ 展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。1時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、必要に応じてムードルで復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験による。

定期試験は、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

## - - - テキスト - - -

木島泰三『自由意志の向こう側 決定論をめぐる哲学史』講談社選書メチエ、2020年。

## - - - 参考書 - - -

トーマス・ピンク『哲学がわかる 自由意志』（戸田剛文他訳）岩波書店、2017年。

山口尚『哲学トレーニングブック 考えることが自由に至るために』平凡社、2020年。

ダニエル・デネット『自由の余地』（戸田山和久訳）名古屋大学出版会、2020年。

## - - - 履修上の留意点 - - -

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。

試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることとなります。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
2. 決定論とは何か
3. 自然に目的はあるのか？ 目的論と決定論
4. 決定論と運命論 ストア派・スピノザ・丸鬼周造
5. 近代以前の自由意志論争とその影響 ホッブズとデカルト（1）
6. 近代以前の自由意志論争とその影響 ホッブズとデカルト（2）
7. 目的論的自然観は生きのびる ライブニッツとニュートン（1）
8. 目的論的自然観は生きのびる ライブニッツとニュートン（2）
9. ダーウィンによる目的論の自然化
10. 自然化された運命論 現代の決定論的思想の検討（1）
11. 自然化された運命論 現代の決定論的思想の検討（2）
12. 運命論のこれから
13. 自然主義のこれから
14. 現実とは何か
15. 時間と自由

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/cojjhvbjmugnw2qx15smc3fst5umh2we>)

## 平井 靖史

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：火・2時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

西郷甲矢人・田口茂著『現実とは何か 数学・哲学から始まる世界像の転換』を教科書に、実践的な哲学議論を学びます。

「「現れの学」としての現象学と、「同じさの数学」としての圏論がひとつになる。思考と生、その両方に関わる根本原理を追求した画期的詩論」と銘打たれている同書は、2019年の暮れに出版され多くの話題を読んでいます。数学・物理学の話が話題に登場するため、ある程度知っている方が有利ですが、知らなくても根本的なことを考える力さえ手放さなければついていきます。

知識と世界の成り立ちについて、深い関心を持つ方の参加をお待ちしています。

たんに知識として学ぶというのではなく、どのようにしてそこにたどり着いたかの思考のプロセスをたどってみるという哲学的思索の疑似体験を通じて、皆さん自身が思考の技能を身につけることが目指されています。

## - - - 到達目標 - - -

哲学的な思考に不可欠な概念や思考実験について、基礎的な知識と理解を得る。

(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。

(技能)

当たり前を疑い、批判を積極的に受け入れ、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。

(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

議論の進行に合わせて、随時調査発表、チームでの議論など事前・事後の学習が不可欠です。1時間～1.5時間程度。担当者は代表として該当範囲の要約と複数の問題提起を含む「レジュメ」を用意します。

慣れない哲学的な思索を身につけるためには、念入りな復習が必須です。必ず、ゼミ後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりにゼミでの議論（導入 問題の立ち上げ 展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。1時間～1.5時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。担当者は代表として、前回の授業内容を要約的に報告し追加の問題提起を行う「レビュー」を作成します。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

ゼミですので、出席は前提となります。その上で、授業内での発言、発表・報告（4割）、中間・期末レポート（6割）によって評価します。発言の回数や内容、グループワークにおける積極性や協調性、問題発見能力、課題分析力、プレゼンテーション能力等を評価します。レポートの評価は、正誤の問題ではなく論述そのものの完成度・密度・強度を基準とします。

## - - - テキスト - - -

西郷甲矢人・田口茂著『現実とは何か 数学・哲学から始まる世界像の転換』筑摩書房、2019年。

## - - - 履修上の留意点 - - -

一回につき3時間以上の予復習時間を確保できることが必要です。好奇心ひときわ旺盛で、正しい知識に基づいて論理的に考えるための主体的・自発的な調査・学習ができないひとは単位取得が難しいでしょう。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
2. 「場」とは何か：二重スリットの実験から
3. 粒子も場も実体ではない
4. 法則とは何か
5. 数学における非規準的選択
6. 置き換え可能性の成立
7. 時間と空間
8. 圏から「同じもの」へ
9. 関手と自然変換
10. 私：自己の問題
11. 問いがなければ答えはない
12. 決定論：因果の中での自由
13. 非可換確率論を手がかりに
14. 自由の方から現実を捉えなおす
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/wqirtz75fxna6kobs3joknh90pmhxa50>)

## 平井 靖史

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

人間は遺伝子に操られているのか？  
 宇宙開闢（かいびやく）の時点で、その後の出来事は一通りに定まっていたか？

運命はあるのか？

人間と機械は何が違うのか？

こうした疑問はすべて人間の自由意志の問題であり、デモクリトスからスピノザ、デネットまで、決定論の哲学史に刻まれている。

ダーウィンや神経科学など自然科学的観点も検討しつつ、決定論のこれまでとこれからを考える。

気鋭の研究者によって執筆された最新のガイドをもとに、決定論と自由の哲学の歩みを辿る。

幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。

授業は講義形式で行われる。

## - - - 到達目標 - - -

意識と心をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。

(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。

(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。

(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。30分～1時間程度。他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入 問題の立ち上げ 展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。1時間程度。そうすることで、定着度がかかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、必要に応じてムードルで復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験による。

定期試験は、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

## - - - テキスト - - -

木島泰三『自由意志の向こう側 決定論をめぐる哲学史』講談社選書メチエ、2020年。

## - - - 参考書 - - -

トーマス・ピンク『哲学がわかる 自由意志』（戸田剛文他訳）岩波書店、2017年。

山口尚『哲学トレーニングブック 考えることが自由に至るために』平凡社、2020年。

ダニエル・デネット『自由の余地』（戸田山和久訳）名古屋大学出版会、2020年。

## - - - 履修上の留意点 - - -

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。

試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることとなります。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
2. 決定論とは何か
3. 自然に目的はあるのか？ 目的論と決定論
4. 決定論と運命論 ストア派・スピノザ・丸鬼周造
5. 近代以前の自由意志論争とその影響 ホッブズとデカルト（1）
6. 近代以前の自由意志論争とその影響 ホッブズとデカルト（2）
7. 目的論的自然観は生きのびる ライブニッツとニュートン（1）
8. 目的論的自然観は生きのびる ライブニッツとニュートン（2）
9. ダーウィンによる目的論の自然化
10. 自然化された運命論 現代の決定論的思想の検討（1）
11. 自然化された運命論 現代の決定論的思想の検討（2）
12. 運命論のこれから
13. 自然主義のこれから
14. 現実とは何か
15. 時間と自由

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/mly9387qvo0n153lwskm7hahdch6v017>)

## 円谷 裕二

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：火・2時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

本授業では、単に社会科学の一分野としての政治哲学ではなくて、私たちが社会の中で生きるとはどのようなことなのか、という人間の生の問題としての政治哲学について考える。古代ギリシアのアリストテレスは「人間は、本性的に、政治的動物である」と語っているように、政治的存在であることが人間の本質をなしている。

ハンナ・アーレント(1906-1975)の哲学を手がかりにしなが  
 ら、現代哲学のさまざまな問題に接近するのが授業の目的である。彼女の哲学は政治哲学と呼ばれるが、その場合の「政治」とは、同時に、人間が「よく生きる」とはどういうことなのかという問題に関わっている。人間の生を考察するにあたってアーレントは、理論と実践の関係を論じたり、伝統的な倫理学とは異なる新たな行為論を展開したり、あるいは、人間の生の根源にある「自由」についての独自の見解を提示している。自由・平等・人権・正義といったテーマが現代社会においてどのような問題を含んでいるのかを、古代ギリシアから現代に至る政治思想家や哲学者たちの見解を踏まえながら考察する。これらの問題はまた、現代に生きる私たちにとって哲学と政治がどのように関わっているのかという問題でもある。

## - - - 到達目標 - - -

理論と実践、哲学と政治の関係についての基本的な理解を目指す。(知識・理解)

現代の諸問題を哲学的に思考する技術や思考法を身につける。(技能)

自らの生や社会の現実をたえず根本からかつ多面的角度から問い直す姿勢を養う。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

次回の授業内容に関する30分から1時間程度の予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためて授業内容を1時間程度復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

最も基本的なこととしては、本授業で扱うハンナ・アーレント自身の著作のいくつかを直接読んでみることである。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業のたびに出席の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできません。

## - - - テキスト - - -

授業の中で指示する。

## - - - 参考書 - - -

人間の条件 ISBN 4-480-08156-9

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2.哲学と政治
- 3.政治とは何か? 伝統的な政治思想への批判
- 4.理論と実践の関係
- 5.人間性とは何か? 人は人間として生まれるのではなく、人間に成るのだ
- 6.自由の概念(1) 人間は自由なのか?。人間と動物の境界について
- 7.自由の概念(2) 伝統的な自由概念としての意志の自由の問題
- 8.自由の概念(3) 政治的自由と哲学的自由の区別
- 9.全体主義の問題(1) 根源悪の問題
- 10.全体主義の問題(2) 悪の陳腐さ
- 11.人権というアポリア 人権は生まれつき与えられているのか?。近代人権思想批判
- 12.良心の虚構性と人権の困難
- 13.行為論(1) 行為のアポリア
- 14.行為論(2) 伝統的な行為論(制作モデル)への批判
- 15.まとめ アーレント哲学の現代的意義

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ckdIngeldlitgngyqlj8f5bur3qt9i41>)

## 円谷 裕二

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

本授業では、単に社会科学の一分野としての政治哲学ではなくて、私たちが社会の中で生きるとはどのようなことなのか、という人間の生の問題としての政治哲学について考える。古代ギリシアのアリストテレスは「人間は、本性的に、政治的動物である」と語っているように、政治的存在であることが人間の本質をなしている。

ハンナ・アーレント(1906-1975)の哲学を手がかりにしなが、現代哲学のさまざまな問題に接近するのが授業の目的である。彼女の哲学は政治哲学と呼ばれるが、その場合の「政治」とは、同時に、人間が「よく生きる」とはどういうことなのかという問題に関わっている。人間の生を考察するにあたってアーレントは、理論と実践の関係を論じたり、伝統的な倫理学とは異なる新たな行為論を展開したり、あるいは、人間の生の根源にある「自由」についての独自の見解を提示している。自由・平等・人権・正義といったテーマが現代社会においてどのような問題を含んでいるのかを、古代ギリシアから現代に至る政治思想家や哲学者たちの見解を踏まえながら考察する。これらの問題はまた、現代に生きる私たちにとって哲学と政治がどのように関わっているのかという問題でもある。

## - - - 到達目標 - - -

理論と実践、哲学と政治の関係についての基本的な理解を目指す。(知識・理解)

現代の諸問題を哲学的に思考する技術や思考法を身につける。(技能)

自らの生や社会の現実をたえず根本からかつ多面的角度から問い直す姿勢を養う。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

次回の授業内容に関する30分から1時間程度の予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためて授業内容を1時間程度復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

最も基本的なこととしては、本授業で扱うハンナ・アーレント自身の著作のいくつかを直接読んでみることである。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業のたびに出席の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできません。

## - - - テキスト - - -

授業の中で指示する。

## - - - 参考書 - - -

人間の条件 ISBN 4-480-08156-9

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2.哲学と政治
- 3.政治とは何か? 伝統的な政治思想への批判
- 4.理論と実践の関係
- 5.人間性とは何か? 人は人間として生まれるのではなく、人間に成るのだ
- 6.自由の概念(1) 人間は自由なのか?。人間と動物の境界について
- 7.自由の概念(2) 伝統的な自由概念としての意志の自由の問題
- 8.自由の概念(3) 政治的自由と哲学的自由の区別
- 9.全体主義の問題(1) 根源悪の問題
- 10.全体主義の問題(2) 悪の陳腐さ
- 11.人権というアポリア 人権は生まれつき与えられているのか?。近代人権思想批判
- 12.良心の虚構性と人権の困難
- 13.行為論(1) 行為のアポリア
- 14.行為論(2) 伝統的な行為論(制作モデル)への批判
- 15.まとめ アーレント哲学の現代的意義

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/amyym775wmrgxi6ghfjldf2pb5gssckc>)



## 竹花 洋佑

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・二部2時限 試験時間割：2022/01/25 夜2限

## - - - 概要 - - -

この授業では想像力をテーマとし、その哲学的意味を考察することによって、「人間とは何か」、「リアリティーとは何か」などといった問いに迫っていきます。

古くから人間は様々な仕方で定義付けられてきました。人間とは知性的あるいは理性的存在である、というのが伝統的な人間観であったと言えますが、道具を作ること、遊ぶこと、シンボルを操ることなども、多様な活動を営む人間を特徴付ける本質として挙げられることがあります。そうした人間の定義をめぐりリストの中に想像力を加えることができるでしょう。

一般に想像力とは直接に存在しないものに関わる能力のことですが、よくよく考えてみれば人間の営みは<存在しないもの>に取り囲まれていることがわかります。超現実的なイメージを依拠する神話あるいは宗教や、全く新しいものを創造する芸術がそうしたものの代表でしょう。そのような大袈裟なものを持ち出さなくても、もはや無い過去にこだわり、未だ存在しない未来に己を託す日々の私たちのあり方が想像力に支えられています。他者の痛みを知ることにも想像力は関わっています。

まず、授業では様々な人間の定義の中に想像力という問題を位置付け、その意味を簡単に明らかにした上で、想像力が関わっている領域を一つ一つ考察していきます。具体的には、芸術、宗教、貨幣、歴史、国家、共感、時間といったテーマを取り上げます。その上で、想像力が哲学においてどのように論じられてきたのかを歴史的に振り返ることで、想像力という問題を理論的に掘り下げます。そして最後に、想像力が生み出す虚構/フィクションとリアリティーの関係を考察します。

授業は講義形式で行われます。数回に一回の割合で質問カードに質問・感想を記入してもらい、提出してもらいます。可能な限り皆さんの質問に授業内で答えるようにします。

## - - - 到達目標 - - -

想像力をめぐって展開された、西洋および近現代日本の哲学的議論についての基本的知識を獲得する。(知識・理解)

事柄を論理的に分析し、多様な視点から考察する能力を身につける。(技能)

「そもそも〇〇とは何か」、「議論の前提となっている立場はそもそも本当に正しいのか」といった仕方で、物事を根本的に捉えようとする態度を身につける。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・次回の授業内容に関する資料を毎回あらかじめ配るのでそれを読んでおいて下さい(60分)。

・授業のノートを見返し、よく分からない箇所・さらに深く聞きたい箇所等を簡単にまとめておいて下さい(30分)。数回の授業毎に質問カードを配り、あらかじめまとめた内容をそこに書いてもらうことになります。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績は期末試験の得点に基づいて評価します。試験問題は、哲学者の議論の内容、哲学的諸概念の知識とその内容、授業で取り上げた哲学的諸問題に対する論理的分析力の度合い、を問うものになります。

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・基本的なところから丁寧に説明していきますので、哲学に関する前提的知識は一切要りません。

・ただし、各回の授業は内容的につながっていますので、欠席が多くなったり、予習・復習が不十分だったりすると、途端についていけなくなりますので、注意して下さい。

・期末試験の問題もかなりのボリュームがありますので、付け焼き刃の勉強では歯が立たないと思います。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 様々な人間の定義と想像力の問題
3. 想像力とシンボル
4. 貨幣という問題
5. 「想像の共同体」としての国家
6. 他者・共感・想像力
7. 想像力と時間
8. 歴史あるいは物語と想像する自己
9. 想像力と芸術
10. 想像力と神話あるいは宗教
11. 想像力の概念史(1) - ヒュームとカント -
12. 想像力の概念史(2) - 現象学 -
13. 三木清の『構想力の論理』
14. フィクションとリアリティー
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/aqax80kw2ly4qntn7ttcj22me5jzi5nd>)

## 安居 誠

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・1時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

少し以前の話になりますが、有名な実業家が（それも複数）、学校で歴史を教えることの意義について否定的な見解を表明したことがあります。日本史の年号を憶えさせて何になる、プログラミングを教える云々。真意はわかりませんが、役に立たない学問の例なら他にもっとわかりやすいものがあるような気がします。哲学や文学ではなく、歴史の何が彼らを苛立たせたのでしょうか。

空間の次元は自由度と解することができます。一方向だけに動けるなら一次元、三方向に移動可能なら三次元です。これに対して、われわれは過去にも未来にも移動することはできません。起こったことは変えられないし、これから起きることを予見することもできない。時間が空間に加わる4番目の次元だというのは純然たるフィクションです。むしろ時間は、意志によるあらゆる統御の彼岸であり、われわれの志向とその対象との端的な不一致でしかありません。実際、「時間が解決してくれる」というのは「われわれにできることは何もない」の婉曲話法です。

実業家という存在が、主体的で投機的、自由で合理的で個人主義的等々の近代人のメンタリティを代表するとすれば、彼らが時間を忌避することに不思議はありません。歴史と対置される有用な学科の例としてプログラミングが挙げられましたが、それは「予め書かれたもの（＝指令）」に従わせることであり、時間性の縮減を示唆します。彼らにとって歴史とは、望んだ覚えもないのに引き受けなければならない膨大な遺産（大半は負債）であり、理不尽な桎梏にすぎません。

ここで展開された論理に破綻はなく、基本的に間違っているわけではありません。しかし本講では、別の論理構成を試み、敢えて歴史の効用を強調します。実際に歴史が有用であり、ときに危険なほど有用なことを示すつもりです。まず、前期の講義内容を承けて時間性の理解を深化させます。次に、歴史の連続性を信じるのが、新たな公共性を起動することと論理的に等価であり、それによって国家と政治の広大な領域が切り開かれることを明らかにします。さらに、思想や哲学的理念という形で沈殿し凝固した過去の歴史が、今日の世界のあり方や制度を構成していることを説得的に示したいと思います。とりわけ歴史や社会科学に興味のある学生にお勧めします。

## - - - 到達目標 - - -

歴史の連続性と公共性の関係を構造的に示すことができる。  
 (知識・理解)

歴史的に形成された理念・理想を、現在の政治体制、国際法などと関連づけて考えるようになる。  
 (態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30分)復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験の結果が90%、受講態度を10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験80%、小テスト10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

## - - - テキスト - - -

使用しません。

## - - - 参考書 - - -

多岐にわたるため、講義で紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

大学の一般教養で社会科学を履修していることが望ましいですが、受講の前提ではありません。同じ担当者の哲学Aを受講していると理解が深まりますが、もちろん単独でも十分理解できます。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業  
歴史の天使
2. 憂鬱な大使たち
3. 星座と弁証法
4. フレーム問題と常識
5. エートス論概説
6. 日輪とマリア
7. 《意志》の所在
8. 《悪》は欠如か実体か
9. 「人格神」とは何か
10. 古い契約と新しい契約
11. フィリオクエ問題
12. ジャムとロバ
13. 共通知識のパラドックス
14. 民主主義と国定忠治
15. 多数者に従うべき理由

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/0vzj5b5gg3gq2enyg7ok0pzho27m42x6>

丹後 享

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・2 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

--- 概要 ---

[授業の概要とテーマ]本授業科目は、高校の「世界史」で取り扱う内容のうち、西洋史分野、すなわち欧米史の前半である古代史・中世史・近世史を概観する。近代史・現代史を対象とする「外国史通論 B」も併せて受講することが望ましい。「外国史通論 A」では、ヨーロッパ世界がいかなる経過で形成されたのかを、とくに封建社会の形成と解体を軸に論を展開し、アジアなど他の世界とは大きく異なるヨーロッパ世界の特質を探る。

[授業進め方]本授業科目は、講義形式(対面授業)である。テキストは使用しないが、毎回、授業レジュメを使用し、その内容・順序に沿って授業を進める。また、2回ほどレポート課題を課す。

[学習の仕方]授業内容はプリントにまとめられているが、より理解しやすくするために、適宜、板書をしつつ、補足説明をするので、必要に応じてノートもとらなければならない。また、授業をやや早めに終了し、質問時間を設定するので、分かりにくいところがあれば、遠慮なく質問してほしい。

--- 到達目標 ---

中学「社会」及び高校「地歴」の教職を志望する場合、西洋史分野の基礎的な知識を得ることができる。とくに「ヨーロッパとはこのような世界である」ということを、中高生に語る能力を得ることを目標とする。(技能)

ヨーロッパ関係の歴史学・文学・哲学・語学を専攻するうえで、不可欠な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

法学・経済学・商学を専攻するうえでも、ヨーロッパ史の知識は不可欠であり、有用な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

高校で「世界史」を十分履修しなかった場合でも、受講可能であるが、「履修上の注意」に記載されている文献などを事前に読んで、ヨーロッパ史の基礎知識を把握してほしい。

授業レジュメは事前に(4 5日前)送信するので、これや概説書を利用して1時間程度事前学習に努めてほしい。また、授業後には、前回の授業の概要をまとめたものを送信するので、これをもとに1時間程度事後学習に努めてほしい。

--- 成績評価基準および方法 ---

[評価方法]定期試験70%・平素(レポート課題・授業への積極的参加)30%によって評価する。試験範囲は授業内容全体である。試験は論述形式であり、意味の分かる文章で説明しなければならない。

[評価基準]試験では、古代から近世までのヨーロッパ史の基本知識がどの程度まで身につけているか、さらにそれを第三者にどの程度まで説明することができるか、が評価の基準となる。

--- テキスト ---

テキストは使用しない。

--- 参考書 ---

フランス史10講 ISBN 4004310164C02222  
 ヨーロッパとは何か ISBN 400413014XC0222  
 個別の論点に関する参考文献は、講義中に適宜紹介する。

--- 履修上の留意点 ---

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、多少個人的な学習が必要である。高校教科書の該当部分を熟読するだけで十分であるが、手元にない場合は、堀米庸三編『世界の歴史3:中世ヨーロッパ』・松田智雄編『世界の歴史7:近代への序曲』・大野真弓編『世界の歴史8:絶対君主と人民』(中公文庫)が有用である。

授業レジュメは事前に送信するので、必ず持参して受講するように。

--- 授業計画 ---

スタートアップ授業(授業の進め方・授業概要の説明・個人学習の方法などの説明)

- ヨーロッパの地理的構造
- 古典古代世界の性格
- ローマ帝国の没落とゲルマン大移動
- フランク王国の発展と分裂
- 封建社会の成立(1)(領主制と封建制)
- 封建社会の成立(2)(ローマ教会の発展)
- 中世世界の変容(1)(十字軍・中世都市)
- 中世世界の変容(2)(封建社会の「危機」)
- 西欧諸国の中央集権化
- 主権国家体制の形成(宗教改革・イタリア戦争)
- 絶対王政の成立(1)(三十年戦争・リシュリユールとマザラン)
- 絶対王政の成立(2)(イギリス革命)
- 絶対王政の構造(ルイ14世の親政)
- 絶対主義時代の国際関係

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/  
 jl832xc1p9g0wqh2cftxfpaa49olebw)

丹後 享

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・2 時限 試験時間割：2022/01/21 4 時限

- - - 概要 - - -

[授業の概要とテーマ]本授業科目は、高校の「世界史」で取り扱う内容のうち、西洋史分野、すなわち欧米史の後半である近代史・現代史を概観する。古代史・中世史・近世史を対象とする「外国史通論 A」も併せて受講することが望ましい。「外国史通論 B」では、ブルジョワ革命の時代から第一次世界大戦までの欧米史を、政治史を中心に時系列的に説明する。そのことによって、現代ヨーロッパ世界の形成過程を考察する。

[授業の進め方]テキストは使用しないが、毎回、授業のレジユメのプリントを使用して、授業を進める。2回ほどレポート課題を課す。

[学習の仕方]授業内容はレジユメにまとめられているが、より理解しやすくするために、適宜、板書をしつつ、補足説明をするので、必要に応じてノートもとらなければならない。また、授業をやや早めに終了し、質問時間を設定するので、分かりにくいところがあれば、遠慮なく質問してほしい。

- - - 到達目標 - - -

中学「社会」及び高校「地歴」の教職を志望する場合、西洋史分野の基礎的な知識を得ることができる。とくに「ヨーロッパとはこのような世界である」ということを、中高生に語る能力を得ることを目標とする。(技能)

ヨーロッパ関係の歴史学・文学・哲学・語学を専攻するうえで、不可欠な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

法学・経済学・商学を専攻するうえでも、ヨーロッパ史の知識は不可欠であり、有用な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、「履修上の注意」に記載されている文献などを事前に読んで、欧米史の基礎知識を把握してほしい。

授業レジユメは事前に(4 5日前)送信するので、これや概説書を利用して1時間程度事前学習に努めてほしい。また、授業後には、前回の授業の概要をまとめたものを送信するので、これをもとに1時間程度事後学習に努めてほしい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

[評価方法]定期試験70%・平素(レポート課題・授業への積極的な参加)30%によって評価する。試験範囲は授業内容全体である。

[評価基準]試験では、近代・現代のヨーロッパ史の基本知識がどの程度まで身についているか、さらにそれを第三者にどの程度まで説明することができるかが評価の基準となる。

- - - テキスト - - -

テキストは使用しない。

- - - 参考書 - - -

フランス史10講 ISBN 4004310164C0222  
 世界各国史12フランス史 ISBN 4634414201C1322  
 個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、多少個人的な学習が必要である。高校教科書の該当部分を熟読するだけで十分であるが、手元にない場合は、桑原武夫編『世界の歴史10:フランス革命とナポレオン』・井上幸治編『世界の歴史12:ブルジョワの世紀』・中山治一編『世界の歴史13:帝国主義の時代』(中公文庫)が有用である。

授業レジユメは事前に送信するので、必ず持参して受講するように。

- - - 授業計画 - - -

スタートアップ授業(授業の進め方・授業概要・個人学習の方法の説明)

絶対王政の時代

啓蒙の時代

ブルジョワ革命の構造(大西洋革命論)

フランス革命の背景・勃発

フランス革命の展開(1)(立憲王政の成立)

フランス革命の展開(2)(共和政の成立)

フランス革命の帰結

ナポレオンの帝国

ナポレオンの没落

ウィーン体制の成立

ウィーン体制の崩壊

国民国家の成立(1)(第二帝政)

国民国家の成立(2)(ドイツ・イタリアの統一)

帝国主義と第一次世界大戦

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/h48qi5jx7wlku4j55q5ehortdhayhol1>)

## 小笠原 史樹

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・1時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

西洋の宗教思想に関する研究として、近現代の文学作品を一種の「神話」として捉え直し、それらの中で描かれている様々な「悪魔」について思想的・哲学的に検討する。授業で取り上げる作品の多くは主にキリスト教を背景としているが、この授業では、狭い意味での「宗教」にとらわれることなく、より広く柔軟な視点から、神話的・宗教的な世界観や価値観の考察を試みる。

さらに、古典的な諸作品の検討を踏まえた上で、現代の小説や映画も扱う。

授業は講義形式で行い、毎回、当日の授業内容に関する小テストを課す。

## - - - 到達目標 - - -

授業で取り上げる作品に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

様々な作品を読解・鑑賞し、宗教学的に分析することができる。(技能)

宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと(120分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる(120分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業時間中に実施される小テスト(計14回、40%)と定期試験(60%)に基づき、評価する。授業内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。  
 毎回の授業前に、FUポータル上で参考資料を公開する。

## - - - 参考書 - - -

適宜、授業中に指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。

授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

## - - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス(スタートアップ授業)
2. 『フォースタス博士』
3. 『マクベス』
4. 『失樂園』
5. 『樂園回復』
6. 『ファウスト』
7. 『フランケンシュタイン』
8. 『カイン』
9. 『ジキル博士とハイド氏』
10. 『ドラキュラ』
11. 『悪魔の陽の下に』
12. 現代の小説と映画
13. 現代の小説と映画
14. 補論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/46fx08t4h0mrakucq0mmvn62swt0r9p2>)

## 小笠原 史樹

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・二部 1 時限 試験時間割：2021/07/27 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

西洋の宗教思想に関する研究として、近現代の文学作品を一種の「神話」として捉え直し、それらの中で描かれている様々な「悪魔」について思想的・哲学的に検討する。授業で取り上げる作品の多くは主にキリスト教を背景としているが、この授業では、狭い意味での「宗教」にとらわれることなく、より広く柔軟な視点から、神話的・宗教的な世界観や価値観の考察を試みる。

さらに、古典的な諸作品の検討を踏まえた上で、現代の小説や映画も扱う。

授業は講義形式で行い、毎回、当日の授業内容に関する小テストを課す。

## - - - 到達目標 - - -

授業で取り上げる作品に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

様々な作品を読解・鑑賞し、宗教学的に分析することができる。(技能)

宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと(120分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる(120分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業時間中に実施される小テスト(計14回、40%)と定期試験(60%)に基づき、評価する。授業内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。  
 毎回の授業前に、FUポータル上で参考資料を公開する。

## - - - 参考書 - - -

適宜、授業中に指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。

授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

## - - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス(スタートアップ授業)
2. 『フォースタス博士』
3. 『マクベス』
4. 『失樂園』
5. 『樂園回復』
6. 『ファウスト』
7. 『フランケンシュタイン』
8. 『カイン』
9. 『ジキル博士とハイド氏』
10. 『ドラキュラ』
11. 『悪魔の陽の下に』
12. 現代の小説と映画
13. 現代の小説と映画
14. 補論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/mvhidorx1s6l4hdmypb28g0z6ce1tpcb>)

## 小笠原 史樹

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：月・3 時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

西洋の宗教思想に関する研究として、17世紀イングランドの作家、ジョン・ミルトンの『失樂園』を通読し、この作品から読みとれる思想について検討する。

『失樂園』は叙事詩の形式で書かれており、天国での戦い、敗北したサタンたちの再起と復讐、アダムとイヴの楽園追放などが描かれている。キリスト教文学を代表する名作とされるが、この授業では、狭い意味での「宗教」にとらわれることなく、より広く柔軟な視点から、神話的・宗教的な世界観や価値観の考察を試みる。

授業は演習形式で行う。テキスト読解の回とグループ討論の回とを交互に繰り返しながら、テキストを読み進めていく。

## - - - 到達目標 - - -

授業で取り上げる作品に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

様々な作品を読解・鑑賞し、宗教学的に分析することができる。(技能)

宗教学的な諸問題について、自分の見解を的確に言語化し、口頭で議論することができる。(技能)

様々な宗教思想について学ぼうとする意欲を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、テキストの該当箇所を精読し、疑問点をまとめたり、読解問題などを解いたりしておくこと(120分)。毎回の授業後には、テキストの該当箇所を改めて読み直し、自分の理解や意見を再検討することが求められる(120分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

テキスト読解の課題(50%)と、授業中の発言や討論への貢献度などによる平常点(50%)とに基づいて評価する。

テキストを正確に読解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

## - - - テキスト - - -

ミルトン『失樂園(上)』、平井正穂訳、岩波文庫、1981年、1,070円(税別)、ISBN 978-4003220627

ミルトン『失樂園(下)』、平井正穂訳、岩波文庫、1981年、1,070円(税別)、ISBN 978-4003220634

## - - - 参考書 - - -

適宜、授業中に指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。毎回100頁程度の予習など、相当量の課題が課されるため、定期試験がないことを理由にしての履修は賢明ではない。

遅刻や無断欠席、課題提出の遅れなどは決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

## - - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス (スタートアップ授業)
2. ガイダンス
3. 第1巻・第2巻：読解
4. 第1巻・第2巻：グループ討論
5. 第3巻・第4巻：読解
6. 第3巻・第4巻：グループ討論
7. 第5巻・第6巻：読解
8. 第5巻・第6巻：グループ討論
9. 第7巻・第8巻：読解
10. 第7巻・第8巻：グループ討論
11. 第9巻・第10巻：読解
12. 第9巻・第10巻：グループ討論
13. 第11巻・第12巻：読解
14. 第11巻・第12巻：グループ討論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/pl8cjkhrh1xsmqesq698yl5p66gx9yyat>)

## 岸根 敏幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・4 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みと言えます。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となります。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく検討していきます。

第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つとして、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となるでしょう。このテーマでは、その展開について検討します。

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の靈魂には特別な力が存在すると捉えて、その靈魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について検討します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくこととなります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から検討します。

## - - - 到達目標 - - -

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・日本の宗教に関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『日本の宗教 その諸様相』、晃洋書房、2300円(税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 八幡信仰の形成
- 3 託宣する神
- 4 石清水八幡宮の創建
- 5 八幡信仰の多様性
- 6 跋扈する怨霊
- 7 怨霊から善神へ
- 8 牛頭天王と祇園会
- 9 菅公の栄達と左遷/祟りとされる出来事
- 10 天満宮の創建
- 11 神仏習合という現象
- 12 本地垂迹説の成立
- 13 神仏習合説の形成
- 14 神仏習合に関わる諸信仰
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/xbli4py0kjq4ll792q1o1bj4kmqpbdfh>



## 岸根 敏幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・2 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みと言えます。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となります。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく検討していきます。

第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つとして、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となるでしょう。このテーマでは、その展開について検討します。

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の靈魂には特別な力が存在すると捉えて、その靈魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について検討します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくこととなります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から検討します。

## - - - 到達目標 - - -

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・日本の宗教に関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『日本の宗教 その諸様相』、晃洋書房、2300円(税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 八幡信仰の形成
- 3 託宣する神
- 4 石清水八幡宮の創建
- 5 八幡信仰の多様性
- 6 跋扈する怨霊
- 7 怨霊から善神へ
- 8 牛頭天王と祇園会
- 9 菅公の栄達と左遷/祟りとされる出来事
- 10 天満宮の創建
- 11 神仏習合という現象
- 12 本地垂迹説の成立
- 13 神仏習合説の形成
- 14 神仏習合に関わる諸信仰
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/k9g93ddy0g795cdksh6gulepn58eot4f>)

## 岸根 敏幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・2 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みと言えます。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となります。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく検討していきます。

第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つとして、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となるでしょう。このテーマでは、その展開について検討します。

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の靈魂には特別な力が存在すると捉えて、その靈魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について検討します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくこととなります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から検討します。

## - - - 到達目標 - - -

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・日本の宗教に関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『日本の宗教 その諸様相』、晃洋書房、2300円(税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 八幡信仰の形成
- 3 託宣する神
- 4 石清水八幡宮の創建
- 5 八幡信仰の多様性
- 6 跋扈する怨霊
- 7 怨霊から善神へ
- 8 牛頭天王と祇園会
- 9 菅公の栄達と左遷/祟りとされる出来事
- 10 天満宮の創建
- 11 神仏習合という現象
- 12 本地垂迹説の成立
- 13 神仏習合説の形成
- 14 神仏習合に関わる諸信仰
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/zalu9z4j885zg2zs0tyh0phzm5mcq4km>)

## 岸根 敏幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・5 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みと言えます。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となります。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく検討していきます。

第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つとして、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となるでしょう。このテーマでは、その展開について検討します。

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の靈魂には特別な力が存在すると捉えて、その靈魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について検討します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくこととなります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から検討します。

## - - - 到達目標 - - -

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・日本の宗教に関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『日本の宗教 その諸様相』、晃洋書房、2300円(税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 八幡信仰の形成
- 3 託宣する神
- 4 石清水八幡宮の創建
- 5 八幡信仰の多様性
- 6 跋扈する怨霊
- 7 怨霊から善神へ
- 8 牛頭天王と祇園会
- 9 菅公の栄達と左遷/祟りとされる出来事
- 10 天満宮の創建
- 11 神仏習合という現象
- 12 本地垂迹説の成立
- 13 神仏習合説の形成
- 14 神仏習合に関わる諸信仰
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ez0c03vgzavu9onatdhfp3i8yff2piht>

## 白川 琢磨

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・1時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

「宗教」という言葉は、religionの訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から5年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約7割が「No」と答え、しかも「Yes」3割、「No」7割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化(culture)を構成する3大コードの1つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な4つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム(スピリチュアリズム)」「シャーマニズム」「呪術(magic)」「妖術(witchcraft)」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。

今日の世界宗教は、大きく分けると2つの系列に分けられる。1つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう1つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乘仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が8世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が150年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化(合理化)の立ち位置はまさに反=神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。

以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

## - - - 到達目標 - - -

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。(態度・志向性)

世界に生じる宗教紛争についてその背景を推測できる。(知識・理解)

各宗教の用語や概念を正しく使えるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、前回までの授業の要点を整理し、次回の授業テーマに関して疑問点を明らかにしておく必要がある。(60分)  
 毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。

定期試験で85%の評価を決定する。

15%は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは用いない。  
 授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

## - - - 参考書 - - -

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』中公新書560

関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂

櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房

白川琢磨『顕密のハビトゥス 神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎

タルル・アサド/中村圭志訳『宗教の系譜 キリスト教とイスラームにおける権力の根拠と訓練』岩波オンデマンドブックス

## - - - 履修上の留意点 - - -

出席は当然の原則である。  
 ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

DVD等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

## - - - 授業計画 - - -

1 イントロダクション：日本人の宗教(スタートアップ授業)

2 霊魂観：霊魂の現場主義

3 死生観：「死」と宗教

4 基層宗教 アニミズム(スピリチュアリズム)

5 基層宗教 シャーマニズム

6 基層宗教 呪術(magic)

7 基層宗教 妖術(witchcraft)

8 アブラハム信仰の共通特徴 唯一絶対的神観念

9 アブラハム信仰の共通特徴 預言者の存在

10 アブラハム信仰の共通特徴 直線的な時間観

11 アブラハム信仰の共通特徴 異教及び異教徒の位置づけ

12 ユダヤ教：ヤーウェ・トーラー・シナゴーク

13 キリスト教：カトリック・教会・ sacrament

14 キリスト教：「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」

15 イスラームと実践宗教

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/0v8k8qvuaauh7sx8ylavrry4496xfi65>)

## 白川 琢磨

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・2時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

「宗教」という言葉は、religionの訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から5年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約7割が「No」と答え、しかも「Yes」3割、「No」7割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化(culture)を構成する3大コードの1つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な4つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム(スピリチュアリズム)」「シャーマニズム」「呪術(magic)」「妖術(witchcraft)」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。

今日の世界宗教は、大きく分けると2つの系列に分けられる。1つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう1つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乘仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が8世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が150年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化(合理化)の立ち位置はまさに反=神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。

以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

## - - - 到達目標 - - -

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。(態度・志向性)

世界に生じる宗教紛争についてその背景を推測できる。(知識・理解)

各宗教の用語や概念を正しく使えるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、前回までの授業の要点を整理し、次回の授業テーマに関して疑問点を明らかにしておく必要がある。(60分)  
 毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。

定期試験で85%の評価を決定する。

15%は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは用いない。  
 授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

## - - - 参考書 - - -

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』中公新書560

関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂

櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房

白川琢磨『顕密のハビトゥス 神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎

タルル・アサド/中村圭志訳『宗教の系譜 キリスト教とイスラームにおける権力の根拠と訓練』岩波オンデマンドブックス

## - - - 履修上の留意点 - - -

出席は当然の原則である。  
 ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

DVD等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

## - - - 授業計画 - - -

1 イントロダクション：日本人の宗教(スタートアップ授業)

2 霊魂観：霊魂の現場主義

3 死生観：「死」と宗教

4 基層宗教 アニミズム(スピリチュアリズム)

5 基層宗教 シャーマニズム

6 基層宗教 呪術(magic)

7 基層宗教 妖術(witchcraft)

8 アブラハム信仰の共通特徴 唯一絶対的神観念

9 アブラハム信仰の共通特徴 預言者の存在

10 アブラハム信仰の共通特徴 直線的な時間観

11 アブラハム信仰の共通特徴 異教及び異教徒の位置づけ

12 ユダヤ教：ヤーウェ・トーラー・シナゴーク

13 キリスト教：カトリック・教会・ sacrament

14 キリスト教：「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」

15 イスラームと実践宗教

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/4yzk1krbd0bxgybuxsdze4505e7y6y80>)

## 白川 琢磨

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

「宗教」という言葉は、religionの訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から5年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約7割が「No」と答え、しかも「Yes」3割、「No」7割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題は無いのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化(culture)を構成する3大コードの1つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な4つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム(スピリチュアリズム)」「シャーマニズム」「呪術(magic)」「妖術(witchcraft)」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。

今日の世界宗教は、大きく分けると2つの系列に分けられる。1つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう1つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乘仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が8世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が150年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化(合理化)の立ち位置はまさに反=神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。

以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

## - - - 到達目標 - - -

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。(態度・志向性)

世界に生じる宗教紛争についてその背景を推測できる。(知識・理解)

各宗教の用語や概念を正しく使えるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、前回までの授業の要点を整理し、次回の授業テーマに関して疑問点を明らかにしておく必要がある。(60分)  
 毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。

定期試験で85%の評価を決定する。

15%は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは用いない。  
 授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

## - - - 参考書 - - -

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』中公新書560

関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂

櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房

白川琢磨『顕密のハビトゥス 神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎

タルル・アサド/中村圭志訳『宗教の系譜 キリスト教とイスラームにおける権力の根拠と訓練』岩波オンデマンドブックス

## - - - 履修上の留意点 - - -

出席は当然の原則である。  
 ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

DVD等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

## - - - 授業計画 - - -

1 イントロダクション：日本人の宗教(スタートアップ授業)

2 霊魂観：霊魂の現場主義

3 死生観：「死」と宗教

4 基層宗教 アニミズム(スピリチュアリズム)

5 基層宗教 シャーマニズム

6 基層宗教 呪術(magic)

7 基層宗教 妖術(witchcraft)

8 アブラハム信仰の共通特徴 唯一絶対的神観念

9 アブラハム信仰の共通特徴 預言者の存在

10 アブラハム信仰の共通特徴 直線的な時間観

11 アブラハム信仰の共通特徴 異教及び異教徒の位置づけ

12 ユダヤ教：ヤーウェ・トーラー・シナゴーク

13 キリスト教：カトリック・教会・ sacrament

14 キリスト教：「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」

15 イスラームと実践宗教

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/34ndwb9nalnzar6bmrucupuu93u1as9t0)

[s/34ndwb9nalnzar6bmrucupuu93u1as9t0](https://fukuoka-u.box.com/s/34ndwb9nalnzar6bmrucupuu93u1as9t0))

## 東谷 孝一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

古代ギリシアに始まる西洋の哲学思想の歴史において、「神」についての探求は最も根本的で重要なことがらであったと言えます。すなわち、「神」は人々によって信じられ崇拜されてきただけでなく、人間の理性にとって最も根源的で包括的な課題として様々な仕方論じられ探求されてきました。宗教は様々な宗教的儀式や建築、音楽や美術などを生み出すのみならず、学問をも発展させたのです。こうして西洋に生まれた神学や哲学はヨーロッパ文化を形成する大切な一部分となりました。

神を信じるということはどのようなことなのか？神を信じることと人間が生きることはどのようにかかわっているのか？信じることと知ることとはどのようにかかわっているのか？何らかの証拠にもとづかなくとも神の存在を信じることは合理性をもちうるのか？神が存在することは論証されうるのか？このような問題は西洋思想における重要な探求課題であったわけです。

この講義においては、信仰と理性、神の存在論証など西洋の宗教哲学における主要な問題を皆さんと一緒に考えていきます。

## - - - 到達目標 - - -

宗教哲学的な探求のあり方の特徴がわかる。(知識・理解)

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。(知識・理解)

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。(30分)

紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験による。

評価基準：宗教哲学における、探求の特色、探求テーマの重要性、様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。

## - - - テキスト - - -

なし。必要に応じてプリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

特になし。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業・動画配信)
- 2 「神」という概念について
- 3 知ることと信じること
- 4 続
- 5 神存在の宇宙論的論証
- 6 続
- 7 神存在の目的論的論証
- 8 続
- 9 神存在の存在論的論証
- 10 続
- 11 奇跡について
- 12 続
- 13 旅する者・人間
- 14 続
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/r3a3jtakci2osatirdvhdtpize6s9m5>)

## 東谷 孝一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

古代ギリシアに始まる西洋の哲学思想の歴史において、「神」についての探求は最も根本的で重要なことがらであったと言えます。すなわち、「神」は人々によって信じられ崇拜されてきただけでなく、人間の理性にとって最も根源的で包括的な課題として様々な仕方論じられ探求されてきました。宗教は様々な宗教的儀式や建築、音楽や美術などを生み出すのみならず、学問をも発展させたのです。こうして西洋に生まれた神学や哲学はヨーロッパ文化を形成する大切な一部分となりました。

神を信じるということはどのようなことなのか？神を信じることと人間が生きることはどのようにかかわっているのか？信じることと知ることとはどのようにかかわっているのか？何らかの証拠にもとづかなくとも神の存在を信じることは合理性をもちうるのか？神が存在することは論証されうるのか？このような問題は西洋思想における重要な探求課題であったわけです。

この講義においては、信仰と理性、神の存在論証など西洋の宗教哲学における主要な問題を皆さんと一緒に考えていきます。

## - - - 到達目標 - - -

宗教哲学的な探求のあり方の特色がわかる。(知識・理解)

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。(知識・理解)

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。(30分)  
 紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験による。

評価基準：宗教哲学における、探求の特色、探求テーマの重要性、様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。

## - - - テキスト - - -

なし。必要に応じてプリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

特になし。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業・動画配信)
- 2 「神」という概念について
- 3 知ることと信じること
- 4 続
- 5 神存在の宇宙論的論証
- 6 続
- 7 神存在の目的論的論証
- 8 続
- 9 神存在の存在論的論証
- 10 続
- 11 奇跡について
- 12 続
- 13 旅する者・人間
- 14 続
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/6rmm2vws4h0v27udnndfubteut436g2w>)



## 小笠原 史樹

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・1時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

日本の宗教思想に関する研究として、「幻想（Fantasy）」と「怪奇（Horror）」をモチーフに、日本の古典に見られる様々な「物語」について思想的・哲学的に検討する。授業で取り上げる物語の多くは主に仏教を背景としているが、この授業では、狭い意味での「宗教」にとらわれることなく、より広く柔軟な視点から、神話的・宗教的な世界観や価値観の考察を試みる。

さらに、古典的な諸作品の検討を踏まえた上で、現代の小説や映画も扱う。

授業は講義形式で行い、毎回、当日の授業内容に関する小テストを課す。

## - - - 到達目標 - - -

授業で取り上げる作品に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

様々な作品を読解・鑑賞し、宗教学的に分析することができる。(技能)

宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと(120分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる(120分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業時間中に実施される小テスト(計14回、40%)と定期試験(60%)に基づき、評価する。授業内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。  
 毎回の授業前に、FUポータル上で参考資料を公開する。

## - - - 参考書 - - -

適宜、授業中に指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。

授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

## - - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス(スタートアップ授業)
2. 『日本霊異記』
3. 『日本霊異記』
4. 『今昔物語集』
5. 『今昔物語集』
6. 『発心集』
7. 『御伽草子』
8. 『雨月物語』
9. 『怪談』
10. 『遠野物語』
11. 『遠野物語』
12. 現代の小説と映画
13. 現代の小説と映画
14. 補論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/5hnd10jrbvuqwxoteaort7jmqmwib22c>)

## 小笠原 史樹

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・二部 1 時限 試験時間割：2022/01/25 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

日本の宗教思想に関する研究として、「幻想（Fantasy）」と「怪奇（Horror）」をモチーフに、日本の古典に見られる様々な「物語」について思想的・哲学的に検討する。授業で取り上げる物語の多くは主に仏教を背景としているが、この授業では、狭い意味での「宗教」にとらわれることなく、より広く柔軟な視点から、神話的・宗教的な世界観や価値観の考察を試みる。

さらに、古典的な諸作品の検討を踏まえた上で、現代の小説や映画も扱う。

授業は講義形式で行い、毎回、当日の授業内容に関する小テストを課す。

## - - - 到達目標 - - -

授業で取り上げる作品に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

様々な作品を読解・鑑賞し、宗教学的に分析することができる。(技能)

宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと(120分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる(120分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の授業時間中に実施される小テスト(計14回、40%)と定期試験(60%)に基づき、評価する。授業内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。  
 毎回の授業前に、FUポータル上で参考資料を公開する。

## - - - 参考書 - - -

適宜、授業中に指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。

授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

## - - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス(スタートアップ授業)
2. 『日本霊異記』
3. 『日本霊異記』
4. 『今昔物語集』
5. 『今昔物語集』
6. 『発心集』
7. 『御伽草子』
8. 『雨月物語』
9. 『怪談』
10. 『遠野物語』
11. 『遠野物語』
12. 現代の小説と映画
13. 現代の小説と映画
14. 補論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/ysqayseadhvagn1mki086c9vtkgiijp>)

## 小笠原 史樹

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：月・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

日本の宗教思想に関する研究として、9世紀初め、景戒という僧によって編まれたとされる『日本霊異記』を通読し、この作品から読みとれる思想について検討する。

『日本霊異記』には全116話の「説話」が収録されており、狐や蛇との結婚、亀・蟹・鬼の恩返し、閻魔王からの喚問、前世から続く復讐の連鎖など、物語の内容は多岐にわたる。日本最古の「仏教説話集」とされるが、この授業では、狭い意味での「宗教」にとらわれることなく、より広く柔軟な視点から、神話的・宗教的な世界観や価値観の考察を試みる。

授業は演習形式で行う。テキスト読解の回とグループ討論の回とを交互に繰り返しながら、テキストを読み進めていく。

## - - - 到達目標 - - -

授業で取り上げる作品に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

様々な作品を読解・鑑賞し、宗教学的に分析することができる。(技能)

宗教学的な諸問題について、自分の見解を的確に言語化し、口頭で議論することができる。(技能)

様々な宗教思想について学ぼうとする意欲を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、テキストの該当箇所を精読し、疑問点をまとめたり、読解問題などを解いたりしておくこと(120分)。毎回の授業後には、テキストの該当箇所を改めて読み直し、自分の理解や意見を再検討することが求められる(120分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

テキスト読解の課題(50%)と、授業中の発言や討論への貢献度などによる平常点(50%)とに基づいて評価する。

テキストを正確に読解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

## - - - テキスト - - -

中田祝夫『日本霊異記 全訳注(上)』、講談社学術文庫、1978年、840円(税別)、ISBN 978-4061583351

中田祝夫『日本霊異記 全訳注(中)』、講談社学術文庫、1979年、1,070円(税別)、ISBN 978-4061583368

中田祝夫『日本霊異記 全訳注(下)』、講談社学術文庫、1980年、1,180円(税別)、ISBN 978-4061583375

## - - - 参考書 - - -

適宜、授業中に指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

『日本霊異記』には性的・暴力的な表現が含まれている。そのようなテキストを扱う、という点を十分に考慮した上で、履修するかどうかを決めること。

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。毎回100頁から150頁程度の予習など、相当量の課題が課されるため、定期試験がないことを理由にしての履修は賢明ではない。

遅刻や無断欠席、課題提出の遅れなどは決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

## - - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス (スタートアップ授業)
2. ガイダンス
3. 上巻前半：読解
4. 上巻前半：グループ討論
5. 上巻後半：読解
6. 上巻後半：グループ討論
7. 中巻前半：読解
8. 中巻前半：グループ討論
9. 中巻後半：読解
10. 中巻後半：グループ討論
11. 下巻前半：読解
12. 下巻前半：グループ討論
13. 下巻後半：読解
14. 下巻後半：グループ討論
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/cm6r55igb1nc1y15dumcqcllemf9bc5p>)

## 岸根 敏幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・4時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが『古事記』と『日本書紀』に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して「記紀神話」と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』と『日本書紀』の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることにつながるでしょう。『古事記』の神話は「古事記神話」、『日本書紀』の神話は「日本書紀神話」として明確に区別し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。

この授業では、特に「国生みの神話」「高天原の神話」「出雲の神話」という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

## - - - 到達目標 - - -

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書房、2500円(税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 別天つ神
- 3 神世七代
- 4 国生みの経緯
- 5 国生みの具体相
- 6 スサノヲのウケヒ
- 7 スサノヲの乱行
- 8 天の石屋籠もり
- 9 スサノヲへの対応
- 10 オホゲツヒメの殺害
- 11 ヤマタノヲロチの退治
- 12 草なぎの剣とスサノヲの宮
- 13 スサノヲとオホナムチの系譜
- 14 オホナムチという存在
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/sr5vmz19rqaieq8k2k9du2l643uy8b0z>

## 岸根 敏幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが『古事記』と『日本書紀』に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して「記紀神話」と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』と『日本書紀』の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることにつながるでしょう。『古事記』の神話は「古事記神話」、『日本書紀』の神話は「日本書紀神話」として明確に区別し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。

この授業では、特に「国生みの神話」「高天原の神話」「出雲の神話」という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

## - - - 到達目標 - - -

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書房、2500円(税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 別天つ神
- 3 神世七代
- 4 国生みの経緯
- 5 国生みの具体相
- 6 スサノヲのウケヒ
- 7 スサノヲの乱行
- 8 天の石屋籠もり
- 9 スサノヲへの対応
- 10 オホゲツヒメの殺害
- 11 ヤマトノヲロチの退治
- 12 草なぎの剣とスサノヲの宮
- 13 スサノヲとオホナムチの系譜
- 14 オホナムチという存在
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/jqy8z8d03ntuw1noeoks8cwwtrtyxcza>

## 岸根 敏幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・2時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが『古事記』と『日本書紀』に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して「記紀神話」と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』と『日本書紀』の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることにつながるでしょう。『古事記』の神話は「古事記神話」、『日本書紀』の神話は「日本書紀神話」として明確に区別し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。

この授業では、特に「国生みの神話」「高天原の神話」「出雲の神話」という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

## - - - 到達目標 - - -

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書房、2500円(税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 別天つ神
- 3 神世七代
- 4 国生みの経緯
- 5 国生みの具体相
- 6 スサノヲのウケヒ
- 7 スサノヲの乱行
- 8 天の石屋籠もり
- 9 スサノヲへの対応
- 10 オホゲツヒメの殺害
- 11 ヤマトノヲロチの退治
- 12 草なぎの剣とスサノヲの宮
- 13 スサノヲとオホナムチの系譜
- 14 オホナムチという存在
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/kppvhrhri39r9r52jy8tm3hsekhdc2x>

## 岸根 敏幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・5時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが『古事記』と『日本書紀』に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して「記紀神話」と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』と『日本書紀』の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることにつながるでしょう。『古事記』の神話は「古事記神話」、『日本書紀』の神話は「日本書紀神話」として明確に区別し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。

この授業では、特に「国生みの神話」「高天原の神話」「出雲の神話」という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

## - - - 到達目標 - - -

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を指摘できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・テキストを精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90分)  
 ・筆記した内容を確認しながら、テキストを再読してください。(90分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を指摘できるかという点を成績評価基準とします。  
 ・定期試験の結果で成績評価をおこないます。

## - - - テキスト - - -

・岸根敏幸著『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書房、2500円(税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

## - - - 履修上の留意点 - - -

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 別天つ神
- 3 神世七代
- 4 国生みの経緯
- 5 国生みの具体相
- 6 スサノヲのウケヒ
- 7 スサノヲの乱行
- 8 天の石屋籠もり
- 9 スサノヲへの対応
- 10 オホゲツヒメの殺害
- 11 ヤマトノヲロチの退治
- 12 草なぎの剣とスサノヲの宮
- 13 スサノヲとオホナムチの系譜
- 14 オホナムチという存在
- 15 まとめ/成績評価の説明

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/l8gtrr9tlli1kh4u5fpajagy5j32ozkr>)

## 白川 琢磨

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

「宗教」という言葉は、religionの訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から5年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約7割が「No」と答え、しかも「Yes」3割、「No」7割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題は無いのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する3大コードの1つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な4つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム）」、「シャーマニズム」「呪術（magic）」、「妖術（witchcraft）」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。

今日の世界宗教は、大きく分けると2つの系列に分けられる。1つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に注目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう1つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乘仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が8世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が150年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。

以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

## - - - 到達目標 - - -

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）

日本人の宗教環境が正しく理解できる。（知識・理解）

我が国の宗教・文化政策に対して正しい判断ができる。（技能）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、前回までの授業の要点を整理し、次回の授業テーマに関して疑問点を明らかにしておく必要がある。（60分）  
 毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。（30分）

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。

定期試験で85%の評価を決定する。

15%は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは用いない。  
 授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

## - - - 参考書 - - -

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』中公新書560

関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂

櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房

白川琢磨『顕密のハビトゥス 神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎

安丸良夫『神々の明治維新 神仏分離と廃仏毀釈』岩波新書黄版103

黒田俊雄『寺社勢力 もう一つの中世社会』岩波新書黄版117

## - - - 履修上の留意点 - - -

出席は当然の原則である。  
 ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

DVD等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

## - - - 授業計画 - - -

1 イントロダクション：日本人の宗教（スタートアップ授業）

2 霊魂観：霊魂の現場主義

3 死生観：「死」と宗教

4 基層宗教 アニミズム（スピリチュアリズム）

5 基層宗教 シャーマニズム

6 基層宗教 呪術（magic）

7 基層宗教 妖術（witchcraft）

8 ヒンドゥー教：輪廻転生と4ヴァルナ

9 原始仏教：苦集滅道

10 ガンダーラにおける転換：大乘仏教

11 仏教伝来と神祇信仰

12 神仏習合の出発：神身離脱現象

13 神仏習合の展開：本地垂迹説

14 神仏分離のロジック

15 日本人の宗教アレルギーの理由

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/wueynx03tk0z1pqodoqha31b4nheudhl>)



## 白川 琢磨

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・2時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

「宗教」という言葉は、religionの訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から5年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約7割が「No」と答え、しかも「Yes」3割、「No」7割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する3大コードの1つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な4つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム）」、「シャーマニズム」「呪術（magic）」、「妖術（witchcraft）」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。

今日の世界宗教は、大きく分けると2つの系列に分けられる。1つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう1つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乘仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が8世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が150年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。

以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

## - - - 到達目標 - - -

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）

日本人の宗教環境が正しく理解できる。（知識・理解）

我が国の宗教・文化政策に対して正しい判断ができる。（技能）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、前回までの授業の要点を整理し、次回の授業テーマに関して疑問点を明らかにしておく必要がある。（60分）  
 毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。（30分）

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。

定期試験で85%の評価を決定する。

15%は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは用いない。  
 授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

## - - - 参考書 - - -

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』中公新書560

関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂

櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房

白川琢磨『顕密のハビトゥス 神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎

安丸良夫『神々の明治維新 神仏分離と廃仏毀釈』岩波新書黄版103

黒田俊雄『寺社勢力 もう一つの中世社会』岩波新書黄版117

## - - - 履修上の留意点 - - -

出席は当然の原則である。  
 ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

DVD等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

## - - - 授業計画 - - -

1 イントロダクション：日本人の宗教（スタートアップ授業）

2 霊魂観：霊魂の現場主義

3 死生観：「死」と宗教

4 基層宗教 アニミズム（スピリチュアリズム）

5 基層宗教 シャーマニズム

6 基層宗教 呪術（magic）

7 基層宗教 妖術（witchcraft）

8 ヒンドゥー教：輪廻転生と4ヴァルナ

9 原始仏教：苦集滅道

10 ガンダーラにおける転換：大乘仏教

11 仏教伝来と神祇信仰

12 神仏習合の出発：神身離脱現象

13 神仏習合の展開：本地垂迹説

14 神仏分離のロジック

15 日本人の宗教アレルギーの理由

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/za5cjsn70io4p1bx7obhn8st00699ri2>)

## 白川 琢磨

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

「宗教」という言葉は、religionの訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から5年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約7割が「No」と答え、しかも「Yes」3割、「No」7割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する3大コードの1つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な4つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム）」、「シャーマニズム」「呪術（magic）」、「妖術（witchcraft）」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。

今日の世界宗教は、大きく分けると2つの系列に分けられる。1つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう1つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乘仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が8世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が150年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。

以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

## - - - 到達目標 - - -

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）

日本人の宗教環境が正しく理解できる。（知識・理解）

我が国の宗教・文化政策に対して正しい判断ができる。（技能）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、前回までの授業の要点を整理し、次回の授業テーマに関して疑問点を明らかにしておく必要がある。（60分）  
 毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。（30分）

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。

定期試験で85%の評価を決定する。

15%は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは用いない。  
 授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

## - - - 参考書 - - -

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』中公新書560

関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂

櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房

白川琢磨『顕密のハビトゥス 神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎

安丸良夫『神々の明治維新 神仏分離と廃仏毀釈』岩波新書黄版103

黒田俊雄『寺社勢力 もう一つの中世社会』岩波新書黄版117

## - - - 履修上の留意点 - - -

出席は当然の原則である。  
 ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

DVD等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

## - - - 授業計画 - - -

1 イントロダクション：日本人の宗教（スタートアップ授業）

2 霊魂観：霊魂の現場主義

3 死生観：「死」と宗教

4 基層宗教 アニミズム（スピリチュアリズム）

5 基層宗教 シャーマニズム

6 基層宗教 呪術（magic）

7 基層宗教 妖術（witchcraft）

8 ヒンドゥー教：輪廻転生と4ヴァルナ

9 原始仏教：苦集滅道

10 ガンダーラにおける転換：大乘仏教

11 仏教伝来と神祇信仰

12 神仏習合の出発：神身離脱現象

13 神仏習合の展開：本地垂迹説

14 神仏分離のロジック

15 日本人の宗教アレルギーの理由

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ujr0le6ntav43hrjdcelre151slq5j3v>)

## 東谷 孝一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

西洋の思想は大局的にはギリシア・ヘレニズム思想とユダヤ・キリスト教思想が互いに影響し合うなかで形成されたといえるでしょう。ユダヤ・キリスト教の宗教思想は西洋世界における世界観・人間観の形成において極めて大きな影響を与えています。それは「世界のあること」や「人間であること」そのものについて、根本的にその意味を探求させるものでありました。なぜならば宗教は世界があることやその在り方についての私たちの理解の仕方に深くかかわるメッセージを伝えているからです。また他方、宗教は人間の幸福や自己実現、また人格と他者とのまじわり、人生における苦難や試練とその克服などの重要なことがかんして私たちに根本的な反省を迫るものともいえます。

この講義では、宗教と科学、神と経験、愛など、宗教哲学における中心的なテーマを皆さんと一緒に考察していきます。宗教哲学的な探求は私たちに自分が今までわかりきったことと想っていた事柄への再考をうながし、ものごとを新たな光の下で考える機会を与えてくれます。一緒に探求してみましよう。

## - - - 到達目標 - - -

宗教哲学的な探求のあり方の特色がわかる。(知識・理解)

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。(知識・理解)

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。(30分)  
 紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験による。  
 評価基準：宗教哲学における、探求の特色、探求テーマの重要性、様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。

## - - - テキスト - - -

なし。必要に応じてプリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

なし。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業・動画配信)
- 2 啓示と神
- 3 続
- 4 宗教と科学
- 5 続
- 6 続
- 7 神と経験
- 8 続
- 9 プラグマティズムの宗教観
- 10 続
- 11 愛について、愛情(affection)
- 12 続 恋愛(eros)
- 13 続 友愛(friendship)
- 14 続 恵愛(charity)
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/3hvmbhr1efvb7hdtbfe4vbr6k4y52ff>)

## 東谷 孝一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

西洋の思想は大局的にはギリシア・ヘレニズム思想とユダヤ・キリスト教思想が互いに影響し合うなかで形成されたといえるでしょう。ユダヤ・キリスト教の宗教思想は西洋世界における世界観・人間観の形成において極めて大きな影響を与えています。それは「世界のあること」や「人間であること」そのものについて、根本的にその意味を探求させるものであります。なぜならば宗教は世界があることやその在り方についての私たちの理解の仕方に深くかかわるメッセージを伝えているからです。また他方、宗教は人間の幸福や自己実現、また人格と他者とのまじわり、人生における苦難や試練とその克服などの重要なことがかんして私たちに根本的な反省を迫るものともいえます。

この講義では、宗教と科学、神と経験、愛など、宗教哲学における中心的なテーマを皆さんと一緒に考察していきます。宗教哲学的な探求は私たちに自分が今までわかりきったことと想っていた事柄への再考をうながし、ものごとを新たな光の下で考える機会を与えてくれます。一緒に探求してみましよう。

## - - - 到達目標 - - -

宗教哲学的な探求のあり方の特色がわかる。(知識・理解)

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。(知識・理解)

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。(30分)  
 紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：定期試験による。  
 評価基準：宗教哲学における、探求の特色、探求テーマの重要性、様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。

## - - - テキスト - - -

なし。必要に応じてプリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

なし。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業・動画配信)
- 2 啓示と神
- 3 続
- 4 宗教と科学
- 5 続
- 6 続
- 7 神と経験
- 8 続
- 9 プラグマティズムの宗教観
- 10 続
- 11 愛について、愛情(affection)
- 12 続 恋愛(eros)
- 13 続 友愛(friendship)
- 14 続 恵愛(charity)
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/nid199wrwd0mtaarik5g2r9uaxtt8dfq>)

## 久保 知里

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・4 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、日本列島における人々の生活の移り変わりについて学ぶ。中世（室町時代）までを対象の時期とし、歴史の大きな流れ、具体的には、日本列島に出現してくる文化や政権および為政者・権力者の動向、さらに対外的な交流を追うことにより、日本社会の変化を考える。

集団の形成、古代国家の成立、貴族中心から武家中心社会への転換など、日本社会は時代とともに変革を遂げていくが、その際、国際社会（世界）から大きな影響を受けている。中世までの日本にとって、国際社会とは主に東アジア世界を指し、国際社会の動向が「国づくり」を行う上で大きく関わっている。

よって本講義では「世界」と「日本」の関わりにも注目しつつ、日本社会の変化を考えていく。

現在の日本社会を捉え、今後を考えるために「日本」がどのような歴史をたどってきたのか、どのような環境の中に存在してきたのかを理解することは、とても重要である。単に「歴史好き」としての知識習得ではなく、現代社会を考えるために歴史を学ぶことを主題とする。

授業はレジュメを使用し講義形式で進める。そのなかで、自ら疑問を持つ、考える、文章で表現する等して、学習内容を自分のものとして獲得するようにしてほしい。

## - - - 到達目標 - - -

「日本」のはじまりから室町時代までの政治や文化の変化、対外関係について理解し、説明することができる(知識・理解)

理解した内容を論理的な文章によって表現することができる(技能)

社会人として必要な知見、様々なことを考えるための素養を身につける(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

歴史の大きな流れを取り扱うため、細かな出来事の説明は省略することがある。各自で用語など（高校日本史程度）は予習・復習をすること（60分）。

また、高校で日本史を履修していない場合は、参考書などを事前に読み、基礎知識を習得して講義に臨んでほしい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

## 【評価基準】

中世（室町時代）までの歴史的事象について、歴史の大きな流れを理解し、日本社会の変化等を説明することができるか、理解した内容を論理的な文章で表現することができるかを評価基準とする。

## 【評価方法】

定期試験70%（試験は論述形式で出題。設問に対して講義内容を踏まえた上で、論理的な文章で表現することが必要）、平常点30%（授業中に指示する課題やミニッツペーパー等を含む）を目安として総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しない。毎回レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

『全集 日本の歴史』（1～8巻 小学館）、『日本の歴史』（00～14 講談社学術文庫 講談社）など。

## - - - 履修上の留意点 - - -

私語、携帯電話・スマートフォンの使用など講義の妨げになる行為は一切禁止する。

ただ教室にいただけでは、学習にはならない。講義を通じ、自ら疑問を持つ、考える、文章で表現する等して、学習をしてほしい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 2 「日本史」とは
- 3 日本列島での生活のはじまり
- 4 巨大な墓をつくる
- 5 日本の文化と古代国家の形成
- 6 「日本」の登場
- 7 国づくりの様相
- 8 平安京と文化の隆盛
- 9 武士の活躍と権力の移行
- 10 武士の活躍と権力の移行
- 11 武家政権「鎌倉」
- 12 中世の博多
- 13 権力者の交代と室町幕府
- 14 室町幕府の対外政策
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

## スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/itz8eczddod520ni59lxm74cr7qag32pf>)

## 久保 知里

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・5時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、特に近世（江戸時代）以降の日本社会の動向について学ぶ。前近世の日本にとって「世界」とは主に東アジア世界を指していたが、ヨーロッパにおける大航海時代の始まりとともに、日本にとっての「世界」も広がりを見せ始める。

日本国内では、15世紀中頃以降の戦乱の時代を経て、「泰平」の近世（江戸時代）が訪れる。18世紀後半以降、日本がそれまでとは違う外国の諸勢力と出会い、混乱を経験しながら近代を迎え、戦争へ向かっていく。

世界の広がり、すなわち「グローバル化」への対応、関係する諸外国と日本社会がどのように関わり、展開し、行動をとるのか。また近代以降、戦争の時代へ突入する世界情勢のなかで「日本」とは何なのかを考えていく。

現在の日本社会を捉え、今後を考えるために日本がどのような歴史をたどってきたのか、どのような体験をしてきたのかを理解することは、とても重要である。単に「歴史好き」としての知識習得ではなく、現代社会と考えるために歴史を学ぶことを主題とする。

授業はレジュメを使用し講義形式で進める。そのなかで、自ら疑問を持つ、考える、文章で表現する等して、学習内容を自分のものとして獲得するようにしてほしい。

## - - - 到達目標 - - -

近世以降の日本社会の変化や「日本」と「世界」の動向について理解し、説明することができる(知識・理解)

理解した内容を論理的な文章によって表現することができる(技能)

社会人として必要な知見、様々なことを考えるための素養を身につける(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

歴史の大きな流れを取り扱うため、細かな出来事の説明は省略することがある。各自で用語など（高校日本史程度）は予習・復習をすること（60分）。高校で日本史を履修していない場合は、参考書などを事前に読み、基礎知識を習得して講義に臨んでほしい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

## 【評価基準】

近世（江戸時代）以降の歴史的事象について、歴史の大きな流れを理解し、日本社会の変化等を説明することができるか、理解した内容を論理的な文章で表現することができるかを評価基準とする。

## 【評価方法】

定期試験70%（試験は論述形式で出題。設問に対して講義内容を踏まえた上で、論理的な文章で表現することが必要）、平常点30%（授業中に指示する課題やミニッツペーパー等を含む）を目安として総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しない。毎回レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

『全集 日本の歴史』（9～16巻 小学館）、『日本の歴史』（15～26 講談社学術文庫 講談社）など。

## - - - 履修上の留意点 - - -

私語、携帯電話・スマートフォンの使用など講義の妨げになる行為は一切禁止する。

ただ教室にいただけでは、学習にはならない。講義を通じ、自ら疑問を持つ、考える、文章で表現する等して、学習をしてほしい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 2 博多町割
- 3 織豊政権と福岡
- 4 「唐入り」と北部九州
- 5 「世界」の変化と対外政策
- 6 幕府とは何か
- 7 思想の転換
- 8 「停滞／成熟」の18世紀
- 9 江戸時代の生活
- 10 「内憂外患」の時代
- 11 テロと時代の変革
- 12 近代における戦争と日本
- 13 100年前の日本とは？
- 14 拡大する「日本」
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/4ajhpl961hfv4y6rqyqsg3z28mmh4294>)

## 福嶋 寛之

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・1時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

現在、しばしば単一の「日本」なるものの虚構性を指摘し、多様な「日本」の存在をもって、それに対置させようとする言説を多く確認することができる。これはこれで誤りというわけではない。ただ、それではなぜ、そしてどのように単一の「日本」としてイメージされてきたのか、という問題は依然として残り続ける。本講義では、やや大胆に、膨張を繰り返してきた帝国日本としての戦前日本、1945年の敗戦による帝国解体とそれとパラレルに進行した戦後日本の形成、という対比のもと、上記問題に取り組みたい。

## - - - 到達目標 - - -

日本の近現代史に関する知識の獲得、および歴史的展開について理解する。(知識・理解)

歴史学研究の方法への理解、および歴史を見る際の複眼的思考を習得する。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習としては、右に挙げた参考文献を中心に、授業中に適宜紹介する文献を読むこと(60分)。事後学習としては、授業の際に配布したプリントで骨格は再現可能であるから、あとは自筆のノートで再構成・整理していけばよい(30分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

論述形式の定期試験において判定する(100%。ただし授業への出席は成績評価をする際の前提である)。評価基準は、まずは本講義のポイントを的確に理解できたか否か、次に本講義で得た知識や視点をもとに自分なりの見解やイメージを構築できたか否か、最後に、これらを自らの言葉で論理的に表現できるか否か、とする。

## - - - テキスト - - -

無し。

## - - - 参考書 - - -

授業全般を理解するにあたっては、小熊英二『日本人の境界』(新曜社、1998年)を挙げておく。個別の主題に関するものは、授業中に紹介していきたい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

一連の話として展開していくので、欠席すると理解が困難になることに注意してほしい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 導入(スタートアップ授業)
- 2 近現代「日本」の輪郭
- 3 移民から見る日本の近代 北米・南米編
- 4 移民から見る日本の近代 アジア編
- 5 近代世界の形成と日本
- 6 近代日本の出発
- 7 北海道・沖縄の「日本」編入
- 8 東アジアの近代
- 9 植民地帝国日本の形成
- 10 植民地帝国日本の形成
- 11 植民地帝国日本の構造
- 12 植民地帝国日本の構造
- 13 戦時動員と帝国日本の流動化
- 14 帝国日本の解体と戦後日本の形成
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/ntkj235opzt8rr11qdxtpd6e38l8h0df>)

## 山田 貴司

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、特定の歴史上の人物にスポットをあて、その動向・事績・死後の評価等を検証していくことで、前近代の日本において政治史・経済史・軍事史・文化史の大きな転換点となった戦国時代から桃山時代にかけての歴史について、理解を深めること、私たちが持っている当時の社会や人物像に対するイメージ、あるいは通説といわれるものが、じつはそれ自体が歴史の産物であり、こんにちの研究で解明されつつある実像としばしば乖離している実態を把握し、歴史認識の“揺らぎやすさ”について考えることを目的とするものです。当時の古文書や日記等を駆使し、読み込んで展開されている歴史研究の続きを少しずつ示しながら、進めていきます。

こうした目的に即して、講義の中では、近年急速に研究が進展しつつある明智光秀、細川ガラシャ、加藤清正などを取り上げる予定です。彼等は日本史に興味を持つ人であれば一度は耳にしたことのある著名な人物。近世から現代まで、小説、演劇、絵画、映画、ドラマ等のメディアにおいてそれぞれ個性的なキャラクターとして語られ、描かれ、その歴史的イメージが再生産されてきました。ところが、研究で明らかにされつつある実像は、じつはそれとはまったく異なっています。どうしてそういったギャップが生まれるのか。最新の研究成果も紹介しながら、その点も一緒に考えていきましょう。

## - - - 到達目標 - - -

人物論を通じて、日本の中世後期から近世への転換点の歴史像を知り、理解する。(知識・理解)

人物の事績や役割について、それを単純に暗記するのではなく、「なぜそういわれているのか」「どう評価すべきなのか」など、根拠にもとづいて考え、説明することができる。(技能)

通説的に語られてきた歴史像や人物像と、最新の研究が示す実像とのギャップを知ることで、自明と思ってきた事柄を改めて考えようとする態度を養う。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

配布したプリントをよく読んで、事前・事後の学習をきちんとすることで、理解が深まります。また、講義中に示した参考文献にも目を通してください(各回30分程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験を80%、受講中の意欲・態度を20%で評価します。

定期試験の評価基準は、用語を適切に使い、設定した問題に答えているか、筋だてた日本語として説明できているか、内容的確であるか、理解しているか、という点におきます。

受講の意欲・態度の評価基準は、まじめに講義に取り組んでいるか、自分なりに授業内容を考えようとしているか、という点に置きます。

なお、遅刻・早退を繰り返す受講生、私語等により周囲に迷惑をかける受講生については、この20%から減点します。

## - - - テキスト - - -

とくにありません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

講義の中で、参考文献を提示します。必要に応じて、それを読んでください。

## - - - 履修上の留意点 - - -

- 1 講義にあたり、プリント配布します。なくさず、ファイルして毎回持参してください。
- 2 ミニツッペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。
- 3 私語や遅刻、飲食など、他の受講者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。甚だしい場合は、退出を要求します。
- 4 なお、「授業計画」については、受講者数や進行具合などにより、変更する場合があります。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 シラバス説明及びイントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 歴史認識について考える
- 3 日本の戦国時代、桃山時代
- 4～6 明智光秀の実像とその語られ方
- 7～10 細川ガラシャの実像とその語られ方
- 11～14 加藤清正の実像とその語られ方
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/5ci5vgwhd92uqi3i12bctlj43z6lrz0p>)



## 森 茂暁

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・2時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

この講日本史の研究では、有史以降の時代を、古い順に、古代・中世・近世・近代というふうにおおまかに区分し、それぞれの時代の歴史を探究するという方法をとっている。

講義では、日本の中世といわれる時代の諸問題を考える。日本史でいう中世とは、おおよそ11世紀後半から16世紀後半までの、約500年間をいうが、この時代にはその特有の性格があって、現代人にはなかなか理解されにくいものがある。

日本の中世は、動乱と変革が続いた時代であり、その動乱と変革は時代の寵児を輩出した。本講義は、その時代の寵児のなかでも、日本史の展開の方向を大きく左右した歴史的人物の一人というべき、後醍醐天皇を素材として、変革期における歴史と人物の相関関係について考えたいと思う。

## - - - 到達目標 - - -

歴史のなかで果たす人物の役割をきちんと評価できる(知識・理解)(知識・理解)

前近代の天皇の制度の実態を把握する手がかりをつかむ(技能)(技能)

その知識を踏まえて、現在の天皇制度のありかたを考えることができる(態度・指向性)(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習、復習用のテキストをよく読んで、事前と事後の学習をきちんとすることによって、理解を深める。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

主題についての理解がどの程度までできているかを、定期試験の成績によって評価する。

## - - - テキスト - - -

森茂暁『後醍醐天皇』(中公新書)2000年 中央公論社 740円

## - - - 参考書 - - -

兵藤裕己『後醍醐天皇』岩波新書

## - - - 履修上の留意点 - - -

欠席しないこと。途中欠席して欠けると話の筋道がわからなくなるので、全部出ること。

## - - - 授業計画 - - -

1 ガイダンス(スタートアップ授業)

2 日本中世史の概説

3～8 後醍醐天皇の登場の背景  
(鎌倉時代末期の政治状況、公武関係の諸問題)

、天皇家の対立と鎌倉幕府の対応、後醍醐天皇の登場の経緯、討幕運動の展開)

9～14 後醍醐政権の特徴  
(鎌倉幕府の滅亡、討幕勢力の性格、大塔宮護良

親 王の関わり、後醍醐政権の構成と性格、後醍醐政権の歴史的な性格、後醍醐政権の崩壊)

15 まとめと展望

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/hwbbm7uujxww7ihian6co5rxc9xdk9mb>)

## 松木 俊暁

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・4時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、古代通史を題材として「日本」という枠組みの成立過程を検討する。日本史とは「日本」の歴史である。では、「日本」とはなにか。本講義のねらいは、ともすれば自明と考えがちな「日本」という枠組みを、古代史に題材をとって再検討することにある。「日本」という国号が成立したのは7世紀末と考えられており、それ以前には「日本」も、「日本人」も存在しなかった。古代東アジア世界の国際情勢の中で、ヤマト政権や律令国家の仕組みを概観しながら、古代国家の成立過程を見ていく。また、一国史観（ひとつの国の中でのみ歴史を見、考える態度）を克服しようとする研究動向もふまえながら、「日本」のなりたちを説明していく。

事件や人名の暗記ではなく、その事件がなぜ起きたのか（原因や背景）、その事件によって何がどう変わったのか（結果や意義）、その事件を起こした人物はなぜそのような行動を取ったのか（意図や動機）などを中心に説明していく。

また、授業計画では、古代史の項目のみを挙げているが、暗記科目だと考えられがちな歴史を考え直してもらうために、歴史の考え方についてのトピックを織り込んでいく。

## - - - 到達目標 - - -

弥生時代の「クニ」、ヤマト政権、律令国家など、日本列島の古代の政治的なまとまりが成立していった要因や、その内部の構造（仕組み）について理解する。（知識・理解）

上記の政治的なまとまりが成立した背景として、中国王朝や朝鮮半島諸国との関係など、古代東アジアの国際関係・国際情勢について理解する。（知識・理解）

単に事件を暗記するのではなく、「なぜそうなったのか」「その結果どうなったのか」など、歴史的事件の意味を説明しようとする意識を持つ。（態度・志向性）

「歴史を学ぶ」ことの意味を考え、自分なりの意見をもつようになる。（態度・志向性）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の配付資料（プリント）で、(A)今回の内容についての設問と、(B)次回でふれる資料を提示します。

(A)については、ノートなどを見返して授業内容を整理し、文章として説明できるようにしておくこと（復習・60分程度）。

(B)については、下読みして資料の内容を把握し、授業の準備しておくこと（予習・30～60分程度）。次回の授業は、下読み・準備を前提として進めていきます。

もちろん参考文献の該当部分を読むことも推奨します。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、受講態度20%

期末試験は、上記の復習の設問を元に作成します。語句を覚えているかだけでなく、事件や制度の意味や、事項同士の関連性・因果関係を問い、講義内容を理解できているかを測ります。

受講態度については、授業時間内にミニツペーパーを行います（3回実施予定、毎回ではない）。これはテストではありません。暗記科目と思いついておられる（であろう）皆さんに、歴史の学び方・考え方について考える機会を持ってもらい、各自の意見を書いてもらうものです。主体的に考えようとしているか、積極的に意見表明しようとしているか、が評価対象です。フィードバックとして、次回の授業で、考えてもらった設問の意図等について解説を行います。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しない。  
 毎回資料（プリント）を配付する。

## - - - 参考書 - - -

吉田孝『日本の誕生』岩波新書 ISBN 4004305101  
 中谷功治『歴史を冒険するために』関西学院大学出版会 ISBN 486283034X  
 個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎回配布するプリントは授業内容を説明するための資料です。授業内容をまとめたレジュメではありません。授業では、それらの資料を用いて説明・板書していくのでノートを取ること。

授業計画では各回で完結する内容となっておりますが、当然のことながら、授業は前回（もしくはそれ以前）の内容を踏まえて進んでいきますので、内容の関連性に注意して下さい。

欠席に注意し、準備・復習を忘れないでください。また、疑問点は質問をしてください（個別にでも受け付けます）。

他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

進行具合によって授業計画を変更する場合があります。

初回の授業（スタートアップ動画）で進め方・ルールについて説明します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 趣旨説明（スタートアップ動画）
- 2 文明の周縁...クニの形成
- 3 農業開始は進歩か
- 4 東アジアと倭...朝貢と冊封
- 5 ヤマト政権の成立
- 6 治天下大王の出現
- 7 ヤマト政権の支配体制 1...国造制と屯倉制
- 8 ヤマト政権の支配体制 2...氏姓制度と部民制
- 9 六世紀の国際情勢
- 10 七世紀の政治改革 1...推古朝
- 11 七世紀の政治改革 2...大化改新
- 12 七世紀の政治改革 3...「日本」の成立
- 13 「日本」とは何だろうか
- 14 律令国家 1...官僚制
- 15 律令国家 2...籍帳制

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/lf9nhv0drfp3m5l7two0fnbtajvhvpm2m>)

## 松木 俊暁

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・5時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、古代通史を題材として「日本」という枠組みの成立過程を検討する。日本史とは「日本」の歴史である。では、「日本」とはなにか。本講義のねらいは、とすれば自明と考えがちな「日本」という枠組みを、古代史に題材をとって再検討することにある。「日本」という国号が成立したのは7世紀末と考えられており、それ以前には「日本」も、「日本人」も存在しなかった。古代東アジア世界の国際情勢の中で、ヤマト政権や律令国家の仕組みを概観しながら、古代国家の成立過程を見ていく。また、一國史観（ひとつの国の中でのみ歴史を見、考える態度）を克服しようとする研究動向もふまえながら、「日本」のなりたちを説明していく。

事件や人名の暗記ではなく、その事件がなぜ起きたのか（原因や背景）、その事件によって何がどう変わったのか（結果や意義）、その事件を起こした人物はなぜそのような行動を取ったのか（意図や動機）などを中心に説明していく。

また、授業計画では、古代史の項目のみを挙げているが、暗記科目だと考えられがちな歴史を考え直してもらうために、歴史の考え方についてのトピックを織り込んでいく。

## - - - 到達目標 - - -

弥生時代の「クニ」、ヤマト政権、律令国家など、日本列島の古代の政治的なまとまりが成立していった要因や、その内部の構造（仕組み）について理解する。(知識・理解)

上記の政治的なまとまりが成立した背景として、中国王朝や朝鮮半島諸国との関係など、古代東アジアの国際関係・国際情勢について理解する。(知識・理解)

単に事件を暗記するのではなく、「なぜそうなったのか」「その結果どうなったのか」など、歴史的事件の意義や意味を説明しようとする意識を持つ。(態度・志向性)

「歴史を学ぶ」ことの意味を考え、自分なりの意見をもつようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の配付資料（プリント）で、(A)今回の内容についての設問と、(B)次回でふれる資料を提示します。

(A)については、ノートなどを見返して授業内容を整理し、文章として説明できるようにしておくこと（復習・60分程度）。

(B)については、下読みして資料の内容を把握し、授業の準備しておくこと（予習・30～60分程度）。次回の授業は、下読み・準備を前提として進めていきます。

もちろん参考文献の該当部分を読むことも推奨します。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、受講態度20%

期末試験は、上記の復習の設問を元に作成します。語句を覚えておくだけでなく、事件や制度の意味や、事項同士の関連性・因果関係を問い、講義内容を理解できているかを測ります。

受講態度については、授業時間内にミニツツペーパーを行います（3回実施予定、毎回ではない）。これはテストではありません。暗記科目と思い込んでいる（であろう）皆さんに、歴史の学び方・考え方について考える機会を持ってもらい、各自の意見を書いてもらうものです。主体的に考えようとしているか、積極的に意見表明しようとしているか、が評価対象です。フィードバックとして、次回の授業で、考えてもらった設問の意図等について解説を行います。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しない。  
 毎回資料（プリント）を配付する。

## - - - 参考書 - - -

吉田孝『日本の誕生』岩波新書 ISBN 4004305101  
 中谷功治『歴史を冒険するために』関西学院大学出版会 ISBN 486283034X  
 個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎回配布するプリントは授業内容を説明するための資料です。授業内容をまとめたレジュメではありません。授業では、それらの資料を用いて説明・板書していくのでノートを取ること。

授業計画では各回で完結する内容となっておりますが、当然のことながら、授業は前回（もしくはそれ以前）の内容を踏まえて進んでいきますので、内容の関連性に注意して下さい。

欠席に注意し、準備・復習を忘れないでください。また、疑問点は質問をしてください（個別にでも受け付けます）。

他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

進行具合によって授業計画を変更する場合があります。

初回の授業（スタートアップ動画）で進め方・ルールについて説明します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 趣旨説明（スタートアップ動画）
- 2 文明の周縁...クニの形成
- 3 農業開始は進歩か
- 4 東アジアと倭...朝貢と冊封
- 5 ヤマト政権の成立
- 6 治天下大王の出現
- 7 ヤマト政権の支配体制 1...国造制と屯倉制
- 8 ヤマト政権の支配体制 2...氏姓制度と部民制
- 9 六世紀の国際情勢
- 10 七世紀の政治改革 1...推古朝
- 11 七世紀の政治改革 2...大化改新
- 12 七世紀の政治改革 3...「日本」の成立
- 13 「日本」とは何だろうか
- 14 律令国家 1...官僚制
- 15 律令国家 2...籍帳制

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/1j1v2c1effqu5s8p61hd7y0qealnjt7s>

## 梶原 良則

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：月・5時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

田中彰氏の『小国主義』をテキストとして、小国主義を中心とする日本近代史の大きな流れを理解したうえで、現在議論を巻き起こしている問題、例えば憲法改正問題などについて全員で討論を行う。

授業の進め方は、ゼミナール(ゼミ)形式の科目なので、学生によるグループ報告と討論を中心としたものとなる。

まず、受講生全員が少人数のグループに分かれ、テキストおよび関連するテーマについて調査・報告を行い、その報告に対して質疑応答を行う形で進め、最後に全員で小国主義や憲法改正問題などについて討論を行う。

## - - - 到達目標 - - -

テキストの内容を理解し、説明することができる。(知識・理解)

テキストの内容に関連する研究課題を設定することができる。(知識・理解)

少人数のグループで研究課題に関する調査・報告を行うことができる。(技能)

他のグループの報告に対して質問や意見を述べるができる。(技能)

自分たちの報告に対する他者の意見を受容する態度を持っている。(態度・志向性)

授業に対して積極的に関わろうとする意欲を持っている。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

受講者全員が必ず行う3回の報告の準備(1800分以上)、次回のテキスト該当部分を読んでおくなど毎回の授業時間外学習(900分以上)が必要となる。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

ゼミ形式の科目なので定期試験は実施しない。  
 到達目標の到達度合いを総合的に判断して評価を行う。

## - - - テキスト - - -

田中彰『小国主義』(岩波新書、1999年)

## - - - 参考書 - - -

テキストに記載されている参考文献の他、授業中にも随時紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

ゼミ形式の科目なので出席することが前提となる。  
 1年生を対象とし、全員が報告できるように15名を受講者数の上限とする。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 テキストの紹介と調査・報告方法の説明
- 3 グループ分けと報告内容・順番の決定
- 4 報告と質疑応答
- 5 報告と質疑応答
- 6 報告と質疑応答
- 7 報告と質疑応答
- 8 報告と質疑応答
- 9 報告と質疑応答
- 10 報告と質疑応答
- 11 報告と質疑応答
- 12 報告と質疑応答
- 13 討論1
- 14 討論2
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/skuxgfrh2t0wq8viheuskci312lwdrdy>

## 福嶋 寛之

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・二部 1 時限 試験時間割：2021/07/29 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

現在、しばしば単一の「日本」なるものの虚構性を指摘し、多様な「日本」の存在をもって、それに対置させようとする言説を多く確認することができる。これはこれで誤りというわけではない。ただ、それではなぜ、そしてどのように単一の「日本」としてイメージされてきたのか、という問題は依然として残り続ける。本講義では、やや大胆に、膨張を繰り返してきた帝国日本としての戦前日本、1945年の敗戦による帝国解体とそれとパラレルに進行した戦後日本の形成、という対比のもと、上記問題に取り組みたい。

## - - - 到達目標 - - -

日本の近現代史に関する知識の獲得、および歴史的展開について理解する。(知識・理解)

歴史学研究の方法への理解、および歴史を見る際の複眼的思考を習得する。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習としては、右に挙げた参考文献を中心に、授業中に適宜紹介する文献を読むこと(60分)。事後学習としては、授業の際に配布したプリントで骨格は再現可能であるから、あとは自筆のノートで再構成・整理していけばよい(30分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

論述形式の定期試験において判定する(100%。ただし授業への出席は成績評価をする際の前提である)。評価基準は、まずは本講義のポイントを的確に理解できたか否か、次に本講義で得た知識や視点をもとに自分なりの見解やイメージを構築できたか否か、最後に、これらを自らの言葉で論理的に表現できるか否か、とする。

## - - - テキスト - - -

無し。

## - - - 参考書 - - -

授業全般を理解するにあたっては、小熊英二『日本人の境界』(新曜社、1998年)を挙げておく。個別の主題に関するものは、授業中に紹介していきたい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

一連の話として展開していくので、欠席すると理解が困難になることに注意してほしい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 導入(スタートアップ授業)
- 2 近現代「日本」の輪郭
- 3 移民から見る日本の近代 北米・南米編
- 4 移民から見る日本の近代 アジア編
- 5 近代世界の形成と日本
- 6 近代日本の出発
- 7 北海道・沖縄の「日本」編入
- 8 東アジアの近代
- 9 植民地帝国日本の形成
- 10 植民地帝国日本の形成
- 11 植民地帝国日本の構造
- 12 植民地帝国日本の構造
- 13 戦時動員と帝国日本の流動化
- 14 帝国日本の解体と戦後日本の形成
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/  
 jdv64qaya7jkhbaz6jtya9l72xe7olmm)

## 福嶋 寛之

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

キーワードは「様々な戦後」とし、以下の3点に留意しながら進めていく。

日本の戦後史を、時間的・空間的な広がりのもとで捉える。例えば、1945年8月15日の時点で切ってみても、単一普遍的「戦後」があるわけではない。

「日本対アメリカ」という固定した枠組みを脱して、多元的な主体間のもとで捉える。

一言で「戦後」と言っても、占領期・占領終結直後・高度成長期では状況が異なる。「戦後」の段階性に留意しながら、にもかかわらず一様に「戦後」として語られ続ける点に日本の戦後の特徴を見出す。

授業では、以上に留意しながら、日本における戦後史の展開を、時間軸に沿って跡づけていく方法で進める。結果として、基本的知識に触れたり、流れを確認していくことにはなるだろうが、最終的な目標は戦後日本を理解するにあたっての複眼的視点の養成と自分なりのイメージと見解の構築、そしてそれらを自らの言葉で論理的に表現できるようになることにある。

## - - - 到達目標 - - -

日本の戦後史に関する知識の獲得、および歴史的展開について理解する(知識・理解)

歴史学研究の方法への理解、および歴史を見る際の複眼的思考を習得する。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習としては、右に挙げた参考文献を中心に、授業中に適宜紹介する文献を読むこと(60分)。事後学習としては、授業の際に配布したプリントで骨格は再現可能であるから、あとは自筆のノートで再構成していけばよい(30分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

論述形式の定期試験において判定する(100%。ただし授業への出席は成績評価をする際の前提である)。評価基準は、まずは本講義のポイントを的確に理解できたか否か、次に本講義で得た知識や視点をもとに自分なりの見解やイメージを構築できたか否か、最後に、これらを自らの言葉でもって論理的に表現できるか否か、とする。

## - - - テキスト - - -

無し。

## - - - 参考書 - - -

全体を理解するうえで、五百旗頭真『日米戦争と戦後日本』(講談社学術文庫1707、2005年)を挙げておく。個別の主題に関するものについては、授業中に紹介したい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

遅刻や私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁である。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 導入(スタートアップ授業)
- 2 戦中期日本における戦後構想
- 3 戦中期日本における戦後構想
- 4 戦中期米国における戦後構想
- 5 日本降伏と占領統治の開始
- 6 初期占領政策の展開 (民主化政策)
- 7 初期占領政策の展開 (非軍事化政策)
- 8 冷戦の進展と占領政策の転換
- 9 朝鮮戦争と日本
- 10 講和プラス安保
- 11 戦後体制をめぐる相克と終息
- 12 高度成長と日本社会の変貌
- 13 「保守」と「革新」、それぞれの軌跡
- 14 補論：「日本文化論」の展開
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/v1b4d58oc4cr62d6ngc9j3nejgrcsrx>)

## 山田 貴司

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、荘園や村落といった地域社会の側に視点を据え、中世後期から中近世移行期にかけての政治・経済・社会の状況を見直すことにより、前近代の日本において政治史・経済史・軍事史・文化史の大きな転換点となった室町時代から桃山時代にかけての歴史について、理解を深めること、私たちが持っている当時の社会や村落、百姓等に対するイメージが、こんにちの研究で解明されつつある実像としばしば乖離している実態を把握し、歴史認識の“揺らぎやすさ”について考えることを目的とするものです。

当時の古文書や日記等を駆使し、読み込んで展開されている歴史研究の手続きも少しずつ示しながら、進めていきます。

## - - - 到達目標 - - -

地域社会の側に視点を据えたうえで、日本の中世後期から近世への転換点の歴史像を知り、理解する。(知識・理解)

歴史的事象を単に暗記するのではなく、「なぜそうなのか」「どう評価すべきなのか」など、根拠にもとづいて考え、説明することができる。(技能)

一般的に認識されている村落や百姓に対するイメージと実像のギャップを知ることで、自明とってきた事柄を改めて考えようとする態度を養う。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

配布したプリントをよく読んで、事前と事後の学習をきちんとすることで、理解が深まります。また、講義中に示した参考文献にも目を通してください(各回30分程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験を80%、受講中の意欲・態度を20%で評価します。

定期試験の評価基準は、用語を適切に使い、設定した問題に答えているか、筋だてた日本語として説明できているか、内容的確であるか、理解しているか、という点におきます。

受講の意欲・態度の評価基準は、まじめに講義に取り組んでいるか、自分なりに授業内容を考えようとしているか、という点に置きます。

なお、遅刻・早退を繰り返す受講生、私語等により周囲に迷惑をかける受講生については、この20%から減点します。

## - - - テキスト - - -

とくにありません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

講義の中で、参考文献を提示します。必要に応じて、それを読んでください。

## - - - 履修上の留意点 - - -

1 講義にあたり、プリント配布します。なくさず、ファイルして毎回持参してください。

2 ミニツッペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。

3 私語や遅刻、飲食など、他の受講者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。甚だしい場合は、退出を要求します。

4 なお、「授業計画」については、受講者数や進行具合などにより変更する場合があります。

## - - - 授業計画 - - -

1 シラバス説明及びイントロダクション(スタートアップ授業)

2~3 日本の中世とは?

4 中世民衆の生活舞台

5 中世の自然環境・生活環境

6 中世にみられた自力救済・当事者主義

7~9 惣村の自治的・国家的性格

10~12 村と村との関係性

13~14 村と領主の関係性

15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/4t9jo0r95pgi66qu712y1p3vb3ht1rti>)

## 松木 俊暁

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

仏教が伝来して、元来の神々への信仰と混ざり合い、神仏習合にいたる道筋を、史料(典籍、文学作品など)を用いて概観していく。信仰や教義の変遷だけでなく、その背景にその時代の社会情勢や政治のあり方との関連を検討していく。

まず、神祇信仰・仏教それぞれの基本的事項を取り上げる。それらを踏まえ、神仏習合が本格化する奈良時代から鎌倉時代ころまでの動きを中心にみてゆき、その背景にある社会・人々の考え方やその変化を考える。

歴史は、ともすれば暗記科目と誤解されやすい。それは当時の人々のおかれた状況(社会状況や考え方など)に注意を向けないからではないか。当時の人々には、当時なりの考え方や立場があったはずだ。さらに当時の人々もみな同じ立場に立っていたのでもない。権力者、それに従う民衆、豊かな者、貧しい者、都に住む者、地方に住む者など。それぞれの立場の人々が、それぞれのおかれた状況下で何を考え、どう行動したのか。歴史的な動きの背景として、さまざまな立場の人々の動向を考えていく。

授業計画では、古代・中世の項目のみを挙げていますが、暗記科目だと考えられがちな歴史を考え直してもらうために、歴史の考え方についてのトピックを織り込んでいく。

## - - - 到達目標 - - -

神仏習合に関わる歴史的な動き(仏教伝来・神宮寺・御霊信仰・浄土信仰・中世日本紀・神国思想など)と、その時代の社会状況や人々の考え方を、関連づけて理解する。(知識・理解)

上記の歴史的な動きの前提である、神祇信仰と大乘仏教の特質・特徴の概要について理解する。(知識・理解)

単に事件を暗記するのではなく、「なぜそうなったのか」「その結果どうなったのか」など、歴史的な事件の意義や意味を説明しようとする意識を持つ。(態度・志向性)

「歴史を学ぶ」ことの意味を考え、自分なりの意見をもつようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の配付資料(プリント)で、(A)今回の内容についての設問と、(B)次回でふれる資料を提示します。

(A)については、ノートなどを見返して授業内容を整理し、文章として説明できるようにしておくこと(復習・60分程度)。

(B)については、下読みして資料の内容を把握し、授業の準備しておくこと(予習・30~60分程度)。次回の授業は、下読み・準備を前提として進めていきます。

もちろん参考文献の該当部分を読むことも推奨します。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、受講態度20%

期末試験は、上記の復習の設問を元に作成します。語句を覚えているかだけでなく、事件や制度の意味や、事項同士の関連性・因果関係を問い、講義内容を理解できているかを測ります。

受講態度については、授業時間内にミニツッパーパーを行います(3回実施予定、毎回ではない)。これはテストではありません。暗記科目と思い込んで(であろう)皆さんに、歴史の学び方・考え方について考える機会を持ってもらい、各自の意見を書いてもらうものです。主体的に考えようとしているか、積極的に意見表明しようとしているか、が評価対象です。フィードバックとして、次回の授業で、考えてもらった設問の意図等について解説を行います。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しない。  
 毎回資料(プリント)を配付する。

## - - - 参考書 - - -

義江彰夫『神仏習合』岩波新書 ISBN 4004304539  
 佐藤弘夫『神国日本』ちくま新書 ISBN 4480062955  
 個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎回配布するプリントは授業内容を説明するための資料です。授業内容をまとめたレジュメではありません。授業では、それらの資料を用いて説明・板書していくのでノートを取ること。

授業計画では各回で完結する内容となっておりますが、当然のことながら、授業は前回(もしくはそれ以前)の内容を踏まえて進んでいきますので、内容の関連性に注意して下さい。

欠席に注意し、準備や復習を忘れないでください。また、疑問点は質問をしてください(個別にでも受け付けます)。

他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

進行具合によって授業計画を変更する場合があります。

初回の授業(スタートアップ動画)で進め方・ルールについて説明します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 趣旨説明(スタートアップ動画)
- 2 神祇信仰1...列島在来の自然宗教
- 3 神祇信仰2...宗教と権力の関係
- 4 神祇信仰3...律令国家の神祇政策
- 5 仏教伝来1...仏教のなりたち
- 6 仏教伝来2...仏教の受容
- 7 仏教伝来3...国家仏教
- 8 神宮寺成立の背景1...仏になろうとする神
- 9 神宮寺成立の背景2...社会の変容
- 10 神宮寺成立の背景3...大乘密教
- 11 神仏習合の展開1...御霊信仰
- 12 神仏習合の展開2...ケガレ忌避観念
- 13 神仏習合の展開3...浄土信仰
- 14 神仏習合の展開4...本地垂迹説と中世日本紀
- 15 神仏習合の展開5...神国思想

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/x0zk50mc41tt0s4z9y21pfwj1ua7msn>



## 松木 俊暁

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・5時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

仏教が伝来して、元来の神々への信仰と混ざり合い、神仏習合にいたる道筋を、史料(典籍、文学作品など)を用いて概観していく。信仰や教義の変遷だけでなく、その背景にその時代の社会情勢や政治のあり方との関連を検討していく。

まず、神祇信仰・仏教それぞれの基本的事項を取り上げる。それらを踏まえ、神仏習合が本格化する奈良時代から鎌倉時代ころまでの動きを中心にみてゆき、その背景にある社会・人々の考え方やその変化を考える。

歴史は、ともすれば暗記科目と誤解されやすい。それは当時の人々のおかれた状況(社会状況や考え方など)に注意を向けないからではないか。当時の人々には、当時なりの考え方や立場があったはずだ。さらに当時の人々もみな同じ立場に立っていたのでもない。権力者、それに従う民衆、豊かな者、貧しい者、都に住む者、地方に住む者など。それぞれの立場の人々が、それぞれのおかれた状況下で何を考え、どう行動したのか。歴史的な動きの背景として、さまざまな立場の人々の動向を考えていく。

授業計画では、古代・中世の項目のみを挙げていますが、暗記科目だと考えられがちな歴史を考え直してもらうために、歴史の考え方についてのトピックを織り込んでいく。

## - - - 到達目標 - - -

神仏習合に関わる歴史的な動き(仏教伝来・神宮寺・御霊信仰・浄土信仰・中世日本紀・神国思想など)と、その時代の社会状況や人々の考え方を、関連づけて理解する。(知識・理解)

上記の歴史的な動きの前提である、神祇信仰と大乘仏教の特質・特徴の概要について理解する。(知識・理解)

単に事件を暗記するのではなく、「なぜそうなったのか」「その結果どうなったのか」など、歴史的な事件の意義や意味を説明しようとする意識を持つ。(態度・志向性)

「歴史を学ぶ」ことの意味を考え、自分なりの意見をもつようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の配付資料(プリント)で、(A)今回の内容についての設問と、(B)次回でふれる資料を提示します。

(A)については、ノートなどを見返して授業内容を整理し、文章として説明できるようにしておくこと(復習・60分程度)。

(B)については、下読みして資料の内容を把握し、授業の準備しておくこと(予習・30~60分程度)。次回の授業は、下読み・準備を前提として進めていきます。

もちろん参考文献の該当部分を読むことも推奨します。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、受講態度20%

期末試験は、上記の復習の設問を元に作成します。語句を覚えているかだけでなく、事件や制度の意味や、事項同士の関連性・因果関係を問い、講義内容を理解できているかを測ります。

受講態度については、授業時間内にミニッツペーパーを行います(3回実施予定、毎回ではない)。これはテストではありません。暗記科目と思いついて考える機会を持ってもらい、各自の意見を書いてもらうものです。主体的に考えようとしているか、積極的に意見表明しようとしているか、が評価対象です。フィードバックとして、次回の授業で、考えてもらった設問の意図等について解説を行います。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しない。  
 毎回資料(プリント)を配付する。

## - - - 参考書 - - -

義江彰夫『神仏習合』岩波新書 ISBN 4004304539  
 佐藤弘夫『神国日本』ちくま新書 ISBN 4480062955  
 個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎回配布するプリントは授業内容を説明するための資料です。授業内容をまとめたレジュメではありません。授業では、それらの資料を用いて説明・板書していくのでノートを取ること。

授業計画では各回で完結する内容となっておりますが、当然のことながら、授業は前回(もしくはそれ以前)の内容を踏まえて進んでいきますので、内容の関連性に注意して下さい。

欠席に注意し、準備や復習を忘れないでください。また、疑問点は質問をしてください(個別にでも受け付けます)。

他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

進行具合によって授業計画を変更する場合があります。

初回の授業(スタートアップ動画)で進め方・ルールについて説明します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 趣旨説明(スタートアップ動画)
- 2 神祇信仰1...列島在来の自然宗教
- 3 神祇信仰2...宗教と権力の関係
- 4 神祇信仰3...律令国家の神祇政策
- 5 仏教伝来1...仏教のなりたち
- 6 仏教伝来2...仏教の受容
- 7 仏教伝来3...国家仏教
- 8 神宮寺成立の背景1...仏になろうとする神
- 9 神宮寺成立の背景2...社会の変容
- 10 神宮寺成立の背景3...大乘密教
- 11 神仏習合の展開1...御霊信仰
- 12 神仏習合の展開2...ケガレ忌避観念
- 13 神仏習合の展開3...浄土信仰
- 14 神仏習合の展開4...本地垂迹説と中世日本紀
- 15 神仏習合の展開5...神国思想

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/dwm4gni34b9r9p7dbyvwszl2ynxwajls>

## 桃崎 祐輔

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

福岡は古代から、中国や朝鮮半島などとの外交窓口でした。このため福岡周辺には、対外交渉にかかわる国際色豊かな遺跡がたくさん見つかっています。

本講義では、福岡周辺の具体的な遺跡をとりあげ、その特徴や出土品について解説するとともに、そこからみえてくる福岡、および日本全体の歴史について考えていきたいと思えます。

## - - - 到達目標 - - -

福岡の著名遺跡について基礎知識を身に着け歴史的意義を理解する。(知識・理解)

教材文書を理解する読解力、正しく音読する訓読力をつける。(技能)

歴史都市福岡に相応しい文化的志向性を育てる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

教材プリントを配信した場合は、必ず出力・保管し熟読すること(30分)。

プリントに参考文献を記載するので、興味をもったものは探して読んでみる(30分)。授業で扱った遺跡や博物館を可能な範囲で見学すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験80%、平常点(授業への積極的参加)20%とする。定期試験では、地域の文化財に対する理解の姿勢と具体的な事例の探索を評価基準とする。

## - - - テキスト - - -

テキストは用いません。

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業では、オンラインで教材プリント配布します。配布したプリントは、配布日以後にも使用します。出力しファイルして毎回持参してください。

配布したプリントは、主な試験範囲にもなりますので、大切に保管してください。

ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。真面目に書いてください。

私語や遅刻など、他者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。また、場合によっては退出を要求します。

下記の「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.はじめに(スタートアップ授業：動画配信)
- 2.浜の町貝塚と柏原遺跡からみた縄文時代
- 3.板付遺跡と吉武高木遺跡からみた稲作と青銅器
- 4.須玖遺跡と三雲遺跡からみた弥生時代のクニ
- 5.那珂八幡古墳・藤崎遺跡と三角縁神獣鏡
- 6.宗像沖ノ島の祭祀遺跡
- 7.福岡大学の中にある小袖古墳と首塚古墳
- 8.那珂比恵遺跡と那津官家
- 9.船原古墳・阿恵遺跡と糟屋屯倉
- 10.大野城・水城と阿志岐山城
- 11.鴻臚館と遣唐使・遣新羅使
- 12.英彦山山岳信仰遺跡の歴史
- 13.博多・筥崎宮とチャイナタウン
- 14.黒田氏の入府と高取焼の歴史
- 15.黒田長溥と火薬生産の遺跡

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/qo1zme2g1vawiy57fh5n2n6kq02ntptq>)

## 梶原 良則

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：月・5時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

沖縄の歴史に関する啓蒙書の中で高い評価を得ている高良倉吉氏の『琉球王国』をテキストとして、沖縄の歴史に対する理解を深め、現在沖縄が抱えている問題、例えば米軍基地問題などについて、討論を行う。

授業の進め方は、ゼミナール(ゼミ)形式の科目なので、学生によるグループ報告と討論を中心としたものとなる。

まず、受講生全員が少人数のグループに分かれ分担してテキストおよび関連するテーマについて調査・報告を行い、その報告に対して全員による質疑応答を行う形で進め、最後に全員で基地問題など現在の沖縄が抱える問題について討論を行う。

## - - - 到達目標 - - -

テキストの内容を理解し、説明することができる。(知識・理解)

テキストの内容に関連する研究課題を設定することができる。(知識・理解)

少人数のグループで研究課題に関する調査・報告を行うことができる。(技能)

他のグループの報告に対して質問や意見を述べるができる。(技能)

自分たちの報告に対する他者の意見を受容する態度を持っている。(態度・志向性)

授業に対して積極的に関わろうとする意欲を持っている。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

受講者全員が必ず行う3回の報告の準備(1800分以上)、次回のテキスト該当部分を読んでおくなど毎回の授業時間外学習(900分以上)が必要となる。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

ゼミ形式の科目なので定期試験は実施しない。  
 到達目標の到達度合いを総合的に判断して評価を行う。

## - - - テキスト - - -

高良倉吉『琉球王国』(岩波新書、1993年)

## - - - 参考書 - - -

『新琉球史 古琉球編・近世編・近代現代編』(琉球新報社、1989-1992年)

安里進他『沖縄県の歴史』(山川出版社、2004年)

その他、テキストに記載されている参考文献を参照。

## - - - 履修上の留意点 - - -

ゼミ形式の科目なので出席が前提となる。  
 一年次生を対象とし、全員が報告できるように15名を限度とする。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 テキストの紹介と調査・報告方法の説明
- 3 グループ分けと報告内容・順番の決定
- 4 報告と質疑応答
- 5 報告と質疑応答
- 6 報告と質疑応答
- 7 報告と質疑応答
- 8 報告と質疑応答
- 9 報告と質疑応答
- 10 報告と質疑応答
- 11 報告と質疑応答
- 12 報告と質疑応答
- 13 全体討論
- 14 全体討論
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ex5qzuoh6u66vkzy4fxvemh1idzn6uov>

## 山田 貴司

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・二部 1 時限 試験時間割：2022/01/20 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

本講義は、荘園や村落といった地域社会の側に視点を据え、中世後期から中近世移行期にかけての政治・経済・社会の状況を見直すことにより、前近代の日本において政治史・経済史・軍事史・文化史の大きな転換点となった室町時代から桃山時代にかけての歴史について、理解を深めること、私たちが持っている当時の社会や村落、百姓等に対するイメージが、こんにちの研究で解明されつつある実像としばしば乖離している実態を把握し、歴史認識の“揺らぎやすさ”について考えることを目的とするものです。

当時の古文書や日記等を駆使し、読み込んで展開されている歴史研究の手続きも少しずつ示しながら、進めていきます。

## - - - 到達目標 - - -

地域社会の側に視点を据えたうえで、日本の中世後期から近世への転換点の歴史像を知り、理解する。(知識・理解)

歴史的事象を単に暗記するのではなく、「なぜそうなのか」「どう評価すべきなのか」など、根拠にもとづいて考え、説明することができる。(技能)

一般的に認識されている村落や百姓に対するイメージと実像のギャップを知ることで、自明とってきた事柄を改めて考えようとする態度を養う。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

配布したプリントをよく読んで、事前と事後の学習をきちんとすることで、理解が深まります。また、講義中に示した参考文献にも目を通してください(各回30分程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験を80%、受講中の意欲・態度を20%で評価します。

定期試験の評価基準は、用語を適切に使い、設定した問題に答えているか、筋だてた日本語として説明できているか、内容的確であるか、理解しているか、という点におきます。

受講の意欲・態度の評価基準は、まじめに講義に取り組んでいるか、自分なりに授業内容を考えようとしているか、という点に置きます。

なお、遅刻・早退を繰り返す受講生、私語等により周囲に迷惑をかける受講生については、この20%から減点します。

## - - - テキスト - - -

とくにありません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

講義の中で、参考文献を提示します。必要に応じて、それを読んでください。

## - - - 履修上の留意点 - - -

1 講義にあたり、プリント配布します。なくさず、ファイルして毎回持参してください。

2 ミニツッペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。

3 私語や遅刻、飲食など、他の受講者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。甚だしい場合は、退出を要求します。

4 なお、「授業計画」については、受講者数や進行具合などにより変更する場合があります。

## - - - 授業計画 - - -

1 シラバス説明及びイントロダクション(スタートアップ授業)

2~3 日本の中世とは?

4 中世民衆の生活舞台

5 中世の自然環境・生活環境

6 中世にみられた自力救済・当事者主義

7~9 惣村の自治的・国家的性格

10~12 村と村との関係性

13~14 村と領主の関係性

15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/4h4o6w3t0ea8c3mgv9na7ni9x4s1y2qs>)

## 松本 和寿

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

## - - - 概要 - - -

日本の教育について「学校」教育の歴史を中心に説明する。授業は通史的に展開するが、中心となるのは近代以降の教育の歴史である。その際、単に学校制度や教育内容、指導法の変遷にとどまらず、時代ごとの政治的・経済的背景等に注目し、広く日本史の中の教育史という視点から多面的・多角的な考察を促していく。

## - - - 到達目標 - - -

日本の教育の歴史について、各時代の社会・経済・政治的背景と関連付けその特徴を理解する。(知識・理解)

日本の教育に関する種々の資料(図表)や史料(文書、画像)等から特徴を読み取り多面的に解釈する。(技能)

日本の教育の歴史について積極的に学修し、望ましい教育の在り方について考える。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：各時代の歴史をテキストを用いて概観しておくこと。(30分)

復習：前講義の内容とのつながりを確認し理解すること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業で取り上げた日本の教育に関する歴史的事象の特質を理解し、社会的、経済的、政治的背景などを踏まえ説明(論述)することができるかを評価基準とする。第8回の授業終了後に課す、それまでの学修内容に関するレポート(20%)と定期試験(80%)で評価する。

## - - - テキスト - - -

詳説日本史図録編集委員会『詳説日本史図録』山川出版社  
ISBN978-4-634-02528-8 860円(税込:2020年価格)

## - - - 参考書 - - -

小川哲也 他『日本の教育の歴史を知る』青簡社  
ISBN978-4-903996-58-5 2000円

## - - - 履修上の留意点 - - -

正当な理由なく欠席しないこと。

## - - - 授業計画 - - -

- |      |                       |
|------|-----------------------|
| 第1回  | オリエンテーション(スタートアップ授業)  |
| 第2回  | 古代・中世の教育(大学寮、綜藝種智院)   |
| 第3回  | 近世の教育(寺子屋、藩校、私塾)      |
| 第4回  | 近代の教育(「学制」と小学校)       |
| 第5回  | 近代の教育(御真影と教育勅語)       |
| 第6回  | 近代の教育(義務教育の条件)        |
| 第7回  | 近代の教育(大正自由教育と子ども観)    |
| 第8回  | 近代の教育(障がい児教育の歴史)      |
| 第9回  | 戦時下の教育(太平洋戦争と国民学校の教育) |
| 第10回 | 占領下の教育(GHQ・アメリカ教育使節団) |
| 第11回 | 戦後教育改革(六三制の開始)        |
| 第12回 | 戦後教育改革(占領政策の転換)       |
| 第13回 | 高度経済成長期の教育(経済成長と教育)   |
| 第14回 | 1980年代以降の教育(学校教育の諸問題) |
| 第15回 | まとめ(日本の教育の歴史を振り返る)    |

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/3begr44zvuqasz8rxcge33qraodrm11>

## 松本 和寿

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・4 時限 試験時間割：2022/01/27 6 時限

## - - - 概要 - - -

日本の教育について「学校」教育の歴史を中心に説明する。授業は通史的に展開するが、中心となるのは近代以降の教育の歴史である。その際、単に学校制度や教育内容、指導法の変遷にとどまらず、時代ごとの政治的・経済的背景等に目し、広く日本史の中の教育史という視点から多面的・多角的な考察を促していく。

## - - - 到達目標 - - -

日本の教育の歴史について、各時代の社会・経済・政治的背景と関連付けその特徴を理解する。(知識・理解)

日本の教育に関する種々の資料(図表)や史料(文書、画像)等から特徴を読み取り多面的に解釈する。(技能)

日本の教育の歴史について積極的に学修し、望ましい教育の在り方について考える。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：各時代の歴史をテキストを用いて概観しておくこと。(30分)

復習：前講義の内容とのつながりを確認し理解すること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業で取り上げた日本の教育に関する歴史的事象の特質を理解し、社会的、経済的、政治的背景などを踏まえ説明(論述)することができるかを評価基準とする。第8回の授業終了後に課す、それまでの学修内容に関するレポート(20%)と定期試験(80%)で評価する。

## - - - テキスト - - -

詳説日本史図録編集委員会『詳説日本史図録』山川出版社  
ISBN978-4-634-02528-8 860円(税込:2020年価格)

## - - - 参考書 - - -

小川哲也 他『日本の教育の歴史を知る』青簡社  
ISBN978-4-903996-58-5 2000円

## - - - 履修上の留意点 - - -

正当な理由なく欠席しないこと。

## - - - 授業計画 - - -

- |      |                       |
|------|-----------------------|
| 第1回  | オリエンテーション(スタートアップ授業)  |
| 第2回  | 古代・中世の教育(大学寮、綜藝種智院)   |
| 第3回  | 近世の教育(寺子屋、藩校、私塾)      |
| 第4回  | 近代の教育(「学制」と小学校)       |
| 第5回  | 近代の教育(御真影と教育勅語)       |
| 第6回  | 近代の教育(義務教育の条件)        |
| 第7回  | 近代の教育(大正自由教育と子ども観)    |
| 第8回  | 近代の教育(障がい児教育の歴史)      |
| 第9回  | 戦時下の教育(太平洋戦争と国民学校の教育) |
| 第10回 | 占領下の教育(GHQ・アメリカ教育使節団) |
| 第11回 | 戦後教育改革(六三制の開始)        |
| 第12回 | 戦後教育改革(占領政策の転換)       |
| 第13回 | 高度経済成長期の教育(経済成長と教育)   |
| 第14回 | 1980年代以降の教育(学校教育の諸問題) |
| 第15回 | まとめ(日本の教育の歴史を振り返る)    |

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/0ldcbhvjv0d32jr1j4b4jpavmmg35c7p7>

## 勝山 吉章

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

## - - - 概要 - - -

本講義は、幕末以降、戦前までの教育と、戦後から今日に至るまでの日本の教育について述べていく。

まず、富国強兵政策を国是とした近代日本は、国民皆学を目指し、中央集権的教育制度を実現した。そして天皇を頂点とする天皇制国家を確立するために、忠君愛国を支配イデオロギーとする国家主義的教育を行った。そのことは第二次大戦において、日本ファシズムの成立要因として重要な役割を果たした。

戦後、日本国憲法と1947教育基本法体制により、平和で民主的な人格形成が教育の目的となったが、東西冷戦下の高度経済成長政策の下、教育の主要課題は企業戦士の育成となった。そして冷戦終了後は、グローバリズムにおいて集団的国家独占資本主義への貢献が教育の役割となり、教育基本法が改変され、いま、改憲が目指されている。

本講義では、戦前と戦後の教育の相違と連続性を基盤にしなが、今日の日本の教育がいかなる方向性に向かいつつあるのかを論じてみたい。

## - - - 到達目標 - - -

日本の近現代教育の成り立ちについて理解する。(知識・理解)

戦前の教育と戦後の教育についてその連続性と相違性について理解する。(知識・理解)

テキストのみならず、多様な文献資料から、教育の歴史について知ることが出来る。(技能)

教育の歴史を学ぶことで、教育とは何か、教育の在り方を探究するようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・ 授業計画に即して指定したテキストの授業相応内容を事前に読んでおくこと(30分)
- ・ 授業計画に即して高校の日本史の教科書(参考書等)の授業相応内容を事前に読んでおくこと(30分)
- ・ 講義終了後に授業内容をノートに整理しておくこと(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

「知識・理解」としては、日本の近代教育の成り立ち、その制度や思想などについて知り得たかどうかを定期試験で評価し、「技能」「態度・志向性」については授業中に課す課題において評価する。

評価の方法は、定期試験の結果(70%)、授業中の課題等(30%)で総合的に評価する。なお、近年の成績評価の厳格化の動向もあり、単位認定にあたっては厳しい姿勢で臨む所存である。

## - - - テキスト - - -

小川・佐喜本・勝山著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎  
 ISBN978-4-903996-58-5 定価2000円 + 税  
 ISBN978-4-903996-58-5 定価2000円 + 税

## - - - 参考書 - - -

・ 江藤恭二他編『子どもの教育の歴史』(名古屋大学出版会)

西洋と日本の子どもの教育と生活の歴史を社会的観点から概説してある。勝山も分担執筆した。

・ 寄田ノ山中編『日本教育史』(ミネルヴァ書房)

日本教育史の通史としては手頃

・ 平田宗史著『教科書でつづる近代日本教育制度史』(北大路書房)

日本の近代教育を教科書を中心に概説してあり、ユニークで読みやすい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業中の私語、居眠り、携帯等の遊戯は減点の対象となり、不合格の理由となりうる。

なお担当者は、視覚に障害をもっており学生たちの理解をお願いする。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 幕末期の教育
- 3 学制期の教育
- 4 教育勅語期の教育
- 5 日清日露期の教育
- 6 大正自由教育
- 7 戦前・戦中の教育
- 8 戦後民主主義と教育
- 9 「逆コース」と教育
- 10 高度経済成長と教育
- 11 80年代教育改革と臨教審
- 12 90年代教育改革
- 13 21世紀の教育改革
- 14 新自由主義と教育
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/al1ur66t79j947flp7ncv0zj9mk2zcg)

## 佐喜本 愛

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

## - - - 概要 - - -

現在、学校や家庭、社会でにおいて頻発している「教育」問題は、一部の専門家にしかわからない記号や法則を要する他の問題とは異なり、様々なレベルで議論・話題となっています。それは、我々が、家庭教育はもちろん、小学校、中学校という「義務教育」を受け、ある一定の「教育」を体験的に知っているからではないでしょうか。その「義務教育」を提供する場が「学校」であり、「学校」は私たちの生活と切り離すことができないものとなっています。

本講義ではこの「学校」を歴史的にしていきます。具体的には日本において近代学校が登場する明治という時代の教育課題を把握することから始め、その前提となる江戸期の教育諸相を抑えながら、明治・大正・昭和・平成と時代に即して展開する「学校」の役割・性質について考察していく予定です。こうした作業を通して、受講生は「私の小学校のときは...、僕のときは...」という経験・体験のみで語りがちな教育事象をより根本的に問い直す視座を学び、<考える>時間にしてほしいと考えています。

## - - - 到達目標 - - -

日本における学校教育史に関する基本的な学説について説明できる(知識・理解)

自分が受けてきた学校教育を相対的に捉えることができるようになる(態度・志向性)

現在の学校教育の課題を歴史的視点から把握し、根源的に思考できるようになる(態度・志向性)

テキストおよび多様な文献資料から、教育の歴史について知ることが出来る。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の授業(第1回オリエンテーションをのぞく)で示した課題(次回の予告)について教科書の該当箇所をよみ、「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめること(毎回1時間程度)講義後は、教科書とノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと(毎回1時間程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

学期末に行う定期試験70%、提出レポート30%で評価します。講義後には数回ミニレポートを提出してもらい、受講者の「態度・志向性」の達成度を主に確認します。講義中に時間を設けるのでしっかり集中して書いてください。あまりに短いもの、雑なものは評価できません。定期試験では主に到達目標の「知識・理解」を評価します。基本的知識を問う問題(選択肢なしの用語書き込み)および記述式とします。特に記述式の問題は、設定された問いに対して、講義中に説明した歴史的、思想的文脈を理解した上で考察・論述ができていくかどうか、日本教育史(講義で扱った内容)に関する基本的な学説を自分の言葉で正確に説明できているかを評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

講義では以下のテキストを使用する。講義までに各自必ず購入しておくこと。

小川哲哉、佐喜本愛、勝山吉章著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎、2017年(ISBN 9784903996981)

## - - - 参考書 - - -

沖田行司編著『人物で見る日本の教育』ミネルヴァ書房 ISBN 4623061051

本講義は日本の教育の歴史全般(古代・中世)は扱わず、近代教育に焦点をあてる内容となっている。上記の参考文献はそれを補うため、及びより理解を深めるための日本教育史の通史として捉えていただきたい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本講義は広く「教育」分野に興味・関心を持っている学生を歓迎し、主体的な姿勢で臨む受講を前提にする。よって、理由なき遅刻、教室の出入り、私語、スマホを触る、「内職」(他の授業で課せられている課題や検定試験の勉強)、イヤホンで音楽を聴きながら受講するといった行為はその意志がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生も多い一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながら見受けられる。他者の学習権を侵害する者には厳正に対処する。今年は状況に応じて、座席指定等を導入する。届出のある欠席は無断欠席とは峻別し考慮するが、「欠席」(講義に出ていない)であることには変わりはないこと自覚すること。試験、レポートは講義で扱った内容全体から出題するので、出席率の低さは成績に一定の形で反映される。全出席していても点数がとれなければ「受講していたとはいえない」態度であったと判断するので、留意すること。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 シラバスの説明およびイントロダクション(スタートアップ授業)  
なぜ教育の歴史を学ぶのか
- 2 近世における教育の諸相
- 3 明治維新と近代学校の成立
- 4 教員養成制度の確立
- 5 森有礼の教育政策
- 6 天皇制教育体制の構築
- 7 天皇制教育体制の発展
- 8 資本主義社会の発展と学校教育
- 9 子どもと就学
- 10 子どもと学習
- 11 学制改革論議と臨時教育会議
- 12 戦時体制における学校教育
- 13 占領下の教育政策
- 14 教科書制度にみる日本の教育
- 15 講義のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/0aovaqspwjtds9q5ddtcbvy7lhgf9fc0>



## 佐喜本 愛

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・4時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

## - - - 概要 - - -

現在、学校や家庭、社会でにおいて頻発している「教育」問題は、一部の専門家にしかわからない記号や法則を要する他の問題とは異なり、様々なレベルで議論・話題となっています。それは、我々が、家庭教育はもちろん、小学校、中学校という「義務教育」を受け、ある一定の「教育」を体験的に知っているからではないでしょうか。その「義務教育」を提供する場が「学校」であり、「学校」は私たちの生活と切り離すことができないものとなっています。

本講義ではこの「学校」を歴史的にしていきます。具体的には日本において近代学校が登場する明治という時代の教育課題を把握することから始め、その前提となる江戸期の教育諸相を抑えながら、明治・大正・昭和・平成と時代に即して展開する「学校」の役割・性質について考察していく予定です。こうした作業を通して、受講生は「私の小学校のときは...、僕のときは...」という経験・体験のみで語りがちな教育事象をより根本的に問い直す視座を学び、<考える>時間にしてほしいと考えています。

## - - - 到達目標 - - -

日本における学校教育史に関する基本的な学説について説明できる(知識・理解)

自分が受けてきた学校教育を相対的に捉えることができるようになる(態度・志向性)

現在の学校教育の課題を歴史的視点から把握し、根源的に思考できるようになる(態度・志向性)

テキストと多様な文献資料から、教育の歴史について知ることが出来る。(技能)(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の授業(第1回オリエンテーションをのぞく)で示した課題(次回の予告)について教科書の該当箇所をよみ、「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめること(毎回1時間程度)講義後は、教科書とノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと(毎回1時間程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

学期末に行う定期試験70%、提出レポート30%で評価します。講義後には数回ミニレポートを提出してもらい、受講者の「態度・志向性」の達成度を主に確認します。講義中に時間を設けるのでしっかり集中して書いてください。あまりに短いもの、雑なものは評価できません。定期試験では主に到達目標の「知識・理解」を評価します。基本的知識を問う問題(選択肢なしの用語書き込み)および記述式とします。特に記述式の問題は、設定された問いに対して、講義中に説明した歴史的、思想的文脈を理解した上で考察・論述ができていくかどうか、日本教育史(講義で扱った内容)に関する基本的な学説を自分の言葉で正確に説明できているかを評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

講義では以下のテキストを使用する。講義までに各自必ず購入しておくこと。

小川哲哉、佐喜本愛、勝山吉章著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎、2017年(ISBN 9784903996981)

## - - - 参考書 - - -

沖田行司編著『人物で見る日本の教育』ミネルヴァ書房 ISBN 4623061051

本講義は日本の教育の歴史全般(古代・中世)は扱わず、近代教育に焦点をあてる内容となっている。上記の参考文献はそれを補うため、及びより理解を深めるための日本教育史の通史として捉えていただきたい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本講義は広く「教育」分野に興味・関心を持っている学生を歓迎し、主体的な姿勢で臨む受講を前提にする。よって、理由なき遅刻、教室の出入り、私語、スマホを触る、「内職」(他の授業で課せられている課題や検定試験の勉強)、イヤホンで音楽を聴きながら受講するといった行為はその意志がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生も多い一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながら見受けられる。他者の学習権を侵害する者には厳正に対処する。今年は状況に応じて、座席指定等を導入する。届出のある欠席は無断欠席とは峻別し考慮するが、「欠席」(講義に出ていない)であることには変わりはないこと自覚すること。試験、レポートは講義で扱った内容全体から出題するので、出席率の低さは成績に一定の形で反映される。全出席していても点数がとれなければ「受講していたとはいえない」態度であったと判断するので、留意すること。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 シラバスの説明およびイントロダクション(スタートアップ授業)  
なぜ教育の歴史を学ぶのか
- 2 近世における教育の諸相
- 3 明治維新と近代学校の成立
- 4 教員養成制度の確立
- 5 森有礼の教育政策
- 6 天皇制教育体制の構築
- 7 天皇制教育体制の発展
- 8 資本主義社会の発展と学校教育
- 9 子どもと就学
- 10 子どもと学習
- 11 学制改革論議と臨時教育会議
- 12 戦時体制における学校教育
- 13 占領下の教育政策
- 14 教科書制度にみる日本の教育
- 15 講義のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/3yktufnd0ows4btrvekbk7hj6xnk4rv>)

## 佐喜本 愛

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

## - - - 概要 - - -

現在、学校や家庭、社会でにおいて頻発している「教育」問題は、一部の専門家にしかわからない記号や法則を要する他の問題とは異なり、様々なレベルで議論・話題となっています。それは、我々が、家庭教育はもちろん、小学校、中学校という「義務教育」を受け、ある一定の「教育」を体験的に知っているからではないでしょうか。その「義務教育」を提供する場が「学校」であり、「学校」は私たちの生活と切り離すことができないものとなっています。

本講義ではこの「学校」を歴史的にしていきます。具体的には日本において近代学校が登場する明治という時代の教育課題を把握することから始め、その前提となる江戸期の教育諸相を抑えながら、明治・大正・昭和・平成と時代に即して展開する「学校」の役割・性質について考察していく予定です。こうした作業を通して、受講生は「私の小学校のときは...、僕のときは...」という経験・体験のみで語りがちな教育事象をより根本的に問い直す視座を学び、<考える>時間にしてほしいと考えています。

## - - - 到達目標 - - -

日本における学校教育史に関する基本的な学説について説明できる(知識・理解)

自分が受けてきた学校教育を相対的に捉えることができるようになる(態度・志向性)

現在の学校教育の課題を歴史的視点から把握し、根源的に思考できるようになる(態度・志向性)

テキストおよび多様な文献資料から、教育の歴史について知ることが出来る。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の授業(第1回オリエンテーションをのぞく)で示した課題(次回の予告)について教科書の該当箇所をよみ、「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめること(毎回1時間程度)講義後は、教科書とノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと(毎回1時間程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

学期末に行う定期試験70%、提出レポート30%で評価します。講義後には数回ミニレポートを提出してもらい、受講者の「態度・志向性」の達成度を主に確認します。講義中に時間を設けるのでしっかり集中して書いてください。あまりに短いもの、雑なものは評価できません。定期試験では主に到達目標の「知識・理解」を評価します。基本的知識を問う問題(選択肢なしの用語書き込み)および記述式とします。特に記述式の問題は、設定された問いに対して、講義中に説明した歴史的、思想的文脈を理解した上で考察・論述ができていようかどうか、日本教育史(講義で扱った内容)に関する基本的な学説を自分の言葉で正確に説明できているかを評価の基準とします。

## - - - テキスト - - -

講義では以下のテキストを使用する。講義までに各自必ず購入しておくこと。

小川哲哉、佐喜本愛、勝山吉章著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎、2017年(ISBN 9784903996981)

## - - - 参考書 - - -

沖田行司編著『人物で見る日本の教育』ミネルヴァ書房 ISBN 4623061051

本講義は日本の教育の歴史全般(古代・中世)は扱わず、近代教育に焦点をあてる内容となっている。上記の参考文献はそれを補うため、及びより理解を深めるための日本教育史の通史として捉えていただきたい。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本講義は広く「教育」分野に興味・関心を持っている学生を歓迎し、主体的な姿勢で臨む受講を前提にする。よって、理由なき遅刻、教室の出入り、私語、スマホを触る、「内職」(他の授業で課せられている課題や検定試験の勉強)、イヤホンで音楽を聴きながら受講するといった行為はその意志がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生も多い一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながら見受けられる。他者の学習権を侵害する者には厳正に対処する。今年は状況に応じて、座席指定等を導入する。届出のある欠席は無断欠席とは峻別し考慮するが、「欠席」(講義に出ていない)であることには変わりはないこと自覚すること。試験、レポートは講義で扱った内容全体から出題するので、出席率の低さは成績に一定の形で反映される。全出席していても点数がとれなければ「受講していたとはいえない」態度であったと判断するので、留意すること。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 シラバスの説明およびイントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 なぜ教育の歴史を学ぶのか
- 3 近世における教育の諸相
- 4 明治維新と近代学校の成立
- 5 教員養成制度の確立
- 6 森有礼の教育政策
- 7 天皇制教育体制の構築
- 8 天皇制教育体制の発展
- 9 資本主義社会の発展と学校教育
- 10 子どもと就学
- 11 子どもと学習
- 12 学制改革論議と臨時教育会議
- 13 戦時体制における学校教育
- 14 占領下の教育政策
- 15 教科書制度にみる日本の教育
- 16 講義のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/z9a4qdkzply78bwpqldfkefx9nelpvki>

## 中野 和典

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・1 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

## - - - 概要 - - -

本講義で取り上げる作品はいずれも有名なものばかりだが、これらが高い評価を受けている理由について考える。まず、作者と作品についての概要を学ぶ。次に、特定のテーマに従って先行研究においてどのような問題が、どのように論じられてきたのかを学ぶ。最後に、当該作品とそれを原作とする映像作品を比較し、そこから見えてくる問題を検討する。年代順に作品を読んでいくことによって、最終的には明治から昭和初期にかけて日本文学がどのようにその可能性を広げていったのかという問題について理解を深めてもらいたい。

## - - - 到達目標 - - -

明治期から昭和初期の日本文学について基本的な知識を身につけることができる。(知識・理解)

明治期から昭和初期の日本文学が描いた問題について考え、論述することができる。(技能)

明治期から昭和初期の日本文学について興味・関心を持つことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(事前) 講義で取り上げる作品は文庫等で簡単に読めるので、できるだけ事前に読んでおくこと。(90分)

(事後) 配付資料をよく見直しておくこと。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験90% ( 講義資料などの持ち込みは不可。試験の出題形式は、文学史に関する選択問題+指定のテーマについての論述問題 ) と平常点10% ( 授業への参加の積極性、授業中の発言の回数と内容 ) を合わせて総合的に評価する。

講義で取り上げる作家と作品とその研究動向について、どの程度まで正確に説明できているかを評価の基準とする。

## - - - テキスト - - -

特に指定しない。

ただし、講義で取り上げる作品は、文庫等で簡単に読めるので事前に読んでおくことが望ましい。

## - - - 参考書 - - -

講義中に紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

特に専門的な予備知識は必要ない。日本近代文学を通して真摯に何かを学ぼうとする姿勢を持つ学生の受講を希望する。

したがって、質問は歓迎し、私語・携帯機器の使用・遅刻・途中退出等の受講マナーに反する行為は厳禁する。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 森鷗外 『舞姫』 1 [ スタートアップ 授業 ( 動画配信 ) ]
- 2 森鷗外 『舞姫』 2
- 3 森鷗外 『舞姫』 3
- 4 樋口一葉 『たけくらべ』 1
- 5 樋口一葉 『たけくらべ』 2
- 6 樋口一葉 『たけくらべ』 3
- 7 夏目漱石 『こころ』 1
- 8 夏目漱石 『こころ』 2
- 9 夏目漱石 『こころ』 3
- 10 川端康成 『伊豆の踊子』 1
- 11 川端康成 『伊豆の踊子』 2
- 12 川端康成 『伊豆の踊子』 3
- 13 宮沢賢治 『銀河鉄道の夜』 1
- 14 宮沢賢治 『銀河鉄道の夜』 2
- 15 宮沢賢治 『銀河鉄道の夜』 3

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ajh3ogaml43xpkme5bhq7eci4qok6uus>)

## 中野 和典

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：火・2時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

「日本文学A」(明治から昭和初期の日本文学)の講義で取り上げる作品を少人数で精読し、それについて全体討論をすることによって、受講生が能動的に知識と思考力と対話能力を身につけることをめざす。

このゼミで取り上げる作品はいずれも有名なものばかりだが、なぜこれらが高い評価を受けているのか、また、各受講生がそれをどう評価するのか、が全体を貫く問いである。

各回の前半に教員がそれらの作品について講義を行い、後半はそこから抽出される問題について受講者全員で討論を行う。講義の内容は、作者と作品についての概要、先行研究、映像作品との比較の大きく3つである。年代順に作品を読んでいくことによって、最終的には明治から昭和初期にかけて日本文学がどのようにその可能性を広げていったのかという問題について理解を深めてもらいたい。

## - - - 到達目標 - - -

明治期から昭和初期の日本文学について基本的な知識を身につけることができる。(知識・理解)

明治期から昭和初期の日本文学が描いた問題について考え、議論し、論述することができる。(技能)

明治期から昭和初期の日本文学について興味・関心を持つことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(事前) 講義で取り上げる作品は文庫等で簡単に読めるので、できるだけ事前に読んでおくこと。(90分)

(事後) 配付資料をよく見直しておくこと。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

全体討論への参加の積極性50%とレポート50%を総合して評価する。

講義で取り上げる作家と作品とその研究動向について、どの程度まで正確に説明できているかを評価の基準とする。

## - - - テキスト - - -

特に指定しない。

## - - - 参考書 - - -

講義中に紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

少人数での精読と討論を要(かなめ)とする授業なので無断欠席は厳禁。

日本近代文学を通して真摯に何かを学ぼうとする姿勢を持つ学生の受講を強く希望する。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 森鷗外『舞姫』1〔スタートアップ授業(動画配信)〕
- 2 森鷗外『舞姫』2
- 3 森鷗外『舞姫』3
- 4 樋口一葉『たけくらべ』1
- 5 樋口一葉『たけくらべ』2
- 6 樋口一葉『たけくらべ』3
- 7 夏目漱石『こころ』1
- 8 夏目漱石『こころ』2
- 9 夏目漱石『こころ』3
- 10 川端康成『伊豆の踊子』1
- 11 川端康成『伊豆の踊子』2
- 12 川端康成『伊豆の踊子』3
- 13 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』1
- 14 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』2
- 15 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』3

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/1db17q9d0smea3etoaxu8ulytukfkzsh)

## 國生 雅子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・5時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

日本近代小説の方向性を決定づけ、日露戦後の自然主義をリードした「蒲団」という作品。その名は有名で、主人公が思いを寄せた女性の使っていた蒲団に顔を埋めて泣くというラストシーンと共に、粗筋を知っている学生もいるだろう。この作品を通読し、自然主義とは何であったかを考えると同時に、芳子という女性主人公に示された、新しい女性像を見ていきたい。日露戦争前から充実してきた女子教育を背景に、小説家たらんと志し、挫折する芳子を、モデルとなった岡田美千代の実像と比較しつつ考えていきたい。

## - - - 到達目標 - - -

明治期の文化、思想、文学について理解し説明できる。(知識・理解)

文学作品への関心を深め、文学作品を通して人間のあり方について日常的に考えるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前に講義予定の部分に目を通し、復習としてテキストの中で授業中に取り上げられなかった部分は、自分で読んでおくこと。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験を行う。記述式の問題と、客観的な穴埋め問題を併用。作品を的確に読んでいるかは客観式の問題で評価し、文学への関心が深まっているかは、記述式の問題で評価する。

## - - - テキスト - - -

田山花袋「蒲団・重右衛門の最後」（新潮文庫）  
 ISBN97841079011 定価400円＋税  
 プリント

## - - - 履修上の留意点 - - -

私語や授業中の無断出入りを禁ずる。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業  
ガイダンス - 授業内容・受講上の注意
- 2 明治の文学
- 3 自然主義について
- 4～9 「蒲団」講読
- 10 明治の女子教育
- 11～12 芳子と美千代
- 13～14 「蒲団」以後の物語
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/kw4qqaz6xzgbqazq9vghw85orx49t67h>

## 高橋 昌彦

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

「人魚」というと、アンデルセン童話など、西洋文学のイメージが強いが、日本においても、古くから各地に人魚の登場する説話や物語が数多く存在している。

それは、不老不死の象徴であったり、妖怪であったり、海外から得た知識であったりと様々に描かれている。

この授業では、そのような日本の人魚について、外国の人魚と比べながら、話を展開していくものであり、古代から近代に至るまでに、時代の中でどのような変化し、どのように人々に受け入れられていたかを追いかけていくものである。

## - - - 到達目標 - - -

学んだ事柄を十分に理解し、自分の言葉で説明できる。(知識・理解)

1つのテーマを通して学習に意欲的に取り組む姿勢がある。(態度・志向性)

自らが新たな問題設定をして取り組むようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

プリントを事前に配布するので読んでおくこと。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

学んだ事柄について、自分の言葉で説明できるかなどを評価基準とする。定期試験(80%)と、授業中の提出物など(20%)によって評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストなし。プリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

古文や漢文を読むので、基礎的な知識を有することが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン(スタートアップ授業)
- 2 八百比丘尼伝説について
- 3 博物学に見る人魚
- 4 "
- 5 井原西鶴に見る人魚
- 6 "
- 7 黄表紙に見る人魚
- 8 "
- 9 "
- 10 春画に見る人魚
- 11 人魚の見せ物
- 12 瓦版に見る人魚
- 13 西洋の人魚たち
- 14 明治以降の人魚
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/fyl4ph6r8257f7mce1mnnqob80f9qxp>

## 竜口 佐知子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・4時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

この科目では、文学テキストの読解の基本について学ぶことを目的として、宮沢賢治の代表作である「銀河鉄道の夜」を、半年かけてじっくりと読み解いていきます。まず、文章を「読む」とはどのようなことか、その方法についての基本的な解説を行い、そのうえで、実際に作品本文の詳細な読解を行います。

授業では、本文についての解説を行うほか、本文中から問題を提示し、自分ならどのように読み解くかを考える時間を設けます。その際、各自が読み取った内容を書いて提出してもらい、授業の中で紹介する場合があります（個人名は公表しません）。自分とは異なる解釈に触れることで、自分の「読み」を相対化し、ある文章について多様な解釈が成り立つこと（あるいは成り立たない解釈が存在すること）を実感してもらうことが狙いです。

一つ一つの語や文の意味、相互の関連性、表現方法などに注意し、様々な解釈の可能性を探りつつ、文学テキストを読み解く方法を学ぶことで、より深く文学作品を理解し、鑑賞する方法を身につけていきます。また、自分が読み解いた内容について、本文中より論拠を示しつつ、適切に説明できるようになることも目標です。さらに、文学作品に限らず、日常的に目にする文章についても、場や文脈、表現などの要素に留意して意味を読み取る姿勢を身につけてほしいと考えています。

## - - - 到達目標 - - -

A:文学テキストの読解方法について、基本的なことを理解している。(知識・理解)

B:解釈の多様性について理解している。(知識・理解)

C:テキスト中の語や文の意味を文脈に沿って理解し、物語の流れを把握することができる。(技能)

D:テキスト本文から自分なりの解釈を導き、論拠を示しつつ説明することができる。(技能)

E:日常的に文章を読む際、その置かれた場や文脈・表現等の様々な要素を意識しながら、意味を読み取る態度をもつ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業で取り扱う文学テキストをあらかじめ通読しておくこと。その際、気になる語や表現、文章から受ける印象、理解できない箇所などについて意識しつつ読むようにする。(60分) 受講後に再読し、初読の際から印象が変わった点、どういった理由でどのように変わったかなどを確認すること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験による。試験では、授業で取り扱った作品に関する基本的な知識を問う問題（到達目標C）と、本文読解の方法が身につけているかを問う問題（到達目標A・D）を出題する。また、授業の節目に数回、授業中に提示した問題の解答を提出してもらうことがある。これは本文の解釈に関するディスカッションへの参加とみなし（到達目標B）、また文章読解に向き合う姿勢をみるものとする（到達目標E）。試験が90%、提出物や受講態度等の平常点が10%で評価を行う。

## - - - テキスト - - -

取り扱う作品本文は、WEBや電子書籍、各種文庫本など、様々な方法で読むことが可能なため、特に決まったテキストは指定しない。各自で読む方法については、初回の授業で紹介する。また、授業中に適宜プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

特になし

## - - - 履修上の留意点 - - -

時間をかけて本文読解に取り組むため、根気強く文章に向き合う姿勢が必要となります。

私語や途中入室・退出等、他の受講者の迷惑となる行為は慎んでください。

また、基本的なスキルとして、日本語の文章（旧仮名遣い）を読む能力が必要です。留学生の方などの履修については注意してください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.ガイダンス 文章を「読む」とはどのようなことか？ / 宮沢賢治と「銀河鉄道の夜」（スタートアップ授業）
- 2.「銀河鉄道の夜」 「一、午後の授業」 物語のはじまり
- 3.「銀河鉄道の夜」 「二、活版所」「三、家」 ジョバンニの背景
- 4.「銀河鉄道の夜」 「四、ケンタウル祭の夜」 ジョバンニの現状
- 5.「銀河鉄道の夜」 「五、天気輪の柱」「六、銀河ステーション」 旅への導入
- 6.「銀河鉄道の夜」 「七、北十字とプリオシン海岸」 銀河の世界観
- 7.「銀河鉄道の夜」 「八、鳥を捕る人」 鳥捕りとの出会い
- 8.「銀河鉄道の夜」 「九、ジョバンニの切符」 鳥捕りとの別れ
- 9.「銀河鉄道の夜」 「九、ジョバンニの切符」 沈没船の人々
- 10.「銀河鉄道の夜」 「九、ジョバンニの切符」 苹果と姉弟
- 11.「銀河鉄道の夜」 「九、ジョバンニの切符」 ジョバンニ・かほる・カムパネルラ
- 12.「銀河鉄道の夜」 「九、ジョバンニの切符」 蝸の火
- 13.「銀河鉄道の夜」 「九、ジョバンニの切符」 旅の終わり
- 14.「銀河鉄道の夜」 「九、ジョバンニの切符」 結末
- 15.まとめ あなたは「銀河鉄道の夜」をどう読んだか

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/n6sar5dqk15f2t5f2g11e1d05av7df7o>)

## 大木 桃子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・2時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

平安時代末期に成った説話集『今昔物語集』を読む。本書は収録説話約1千という、他の追随を許さない膨大な量を誇る仏教説話集である。仏教を説く目的で編纂されたが、世俗の説話も多く含まれ、芥川龍之介をはじめ近代文学者が小説の題材としたことでも知られる。

本講義では、主に本朝世俗部に属する説話の中から恋愛と夫婦関係に関するものを選んで読む。登場人物は武士・僧侶・盗賊など様々である。高校時代までに学習した宮廷女流文学とは一味違う平安朝の恋愛・結婚の諸相を探り、現代の恋愛観・結婚観と比較検討する。

## - - - 到達目標 - - -

説話集とは何かを理解し、説明することができる(知識・理解)

今昔物語集編纂時代に生きた人々の恋愛の諸相を理解し、説明することができる(知識・理解)

当時と現代の恋愛観・結婚観を比較考察することができる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業後、テキスト・プリント・ノートを読み返し(20分)、次の授業で扱う話を前もって読んでおく(20分)。

テキストは今昔物語集のごく一部である。また本文を部分的に省略して、あらすじを載せているものがある。膨大な作品なので全部読むことはできないが、ぜひ一度参考書を中央図書館で手に取って、全体像を把握してほしい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験80%(テキスト・講義内容の理解)

平常点20%(数回、授業中に課題や感想などをミニツツペーパーに書いて提出してもらい。理解度を判断し点数化する。課題の解答はプリント等でフィードバックする。出せば終わりというわけでない。後の授業や定期試験に役立ててほしい)

## - - - テキスト - - -

角川書店編 角川ビギナーズクラシックス『今昔物語集』  
 角川ソフィア文庫 2002年 720円 + 税  
 ISBN978-4-04-357409-4  
 \* 金文堂福大店でも購入できる

## - - - 参考書 - - -

新日本古典文学大系「今昔物語集」1～5 岩波書店

## - - - 履修上の留意点 - - -

遅刻・私語・中途退出、板書の写メは授業の進行、他の履修生の勉学の妨げになる。厳重に慎むこと。

出席回数より授業の理解度を重視する。疑問点は授業に終わりなどに早めに質問して解決すること。

## - - - 授業計画 - - -

1、今昔物語集概説(スタートアップ授業)

2～14 説話の読解と解説(数字は、巻と番号)

17-33、美女の色じかけのおかげで学者となった青年僧  
 24-8、美人患者の色香にふりまわされた好色の老医師  
 27-20、捨てられた女の生霊、薄情な相手の男をとり殺す  
 27-24、捨てられて窮死した前妻のミイラと愛し合った侍  
 28-1、変装した自分の妻に言い寄りなぐられた軽薄男  
 29-3、色香と鞭で若い男を調教する、盗賊団の美人首領  
 29-23、名刀と交換した弓矢でおどされ、妻を犯された夫  
 30-1、天下の色事師を焦がれ死にさせた氷のような美女

\* この間2、3回程度の課題を課す。「成績評価基準および方法」参照

15、その他の説話、まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/0ax2mckmvcp2wyhp5suew8qba3bvjge)



## 須藤 圭

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

授業のテーマは「日記文学を読む」です。この授業では、江戸時代以前に書かれた日記文学を対象にして、それらを時代順に概括しつつ、鑑賞します。そもそも、人は、なぜ、日記を書くのでしょうか。日記は、事実の記録である一方、嘘や偽りが混じりあい、書き手の願望が投影されたものだ、ということができます。日記にあらわれる「事実」とは何かを論じながら、日記を書き残すことの意味を考えます。

## - - - 到達目標 - - -

日記文学史の流れを理解できる。(知識・理解)

主な日記文学の概略を説明することができる。(技能)

日記文学にあらわれた思考や価値観を理解し、自らの価値観を見直すことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：授業でとりあげる文学について、調べておきましょう。(120分)

復習：授業の復習をするとともに、関連する文学についても調べておきましょう。(120分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

上記「到達目標」に対する達成度を、以下の基準で評価します。

・定期試験(70%)。授業内容を適切に理解し、自らの言葉でまとめることができたかどうか。

・コメントペーパー(30%)。積極的に授業を受講し、感想や意見を提出することができたかどうか。なお、コメントペーパーの内容は、次回授業時にとりあげ、フィードバックを行います。

## - - - テキスト - - -

プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

『日記文学事典』(勉誠出版、2000年)

倉本一宏監修『日記で読む日本史』(全20冊、臨川書店、2016年～)

## - - - 履修上の留意点 - - -

自分で日記を書くことは、この授業を理解する上で、とても大切なことです。毎日の日記を書きましょう。

江戸時代以前の古典文学を対象にしますが、古文読解の知識は求めません。現代語訳を併記して講義します。

古典文学は、抜群に面白いです。たくさん読んでみてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 書くことの意味
- 3 『土左日記』
- 4 『蜻蛉日記』
- 5 『和泉式部日記』
- 6 『紫式部日記』
- 7 『更級日記』
- 8 『讃岐典侍日記』
- 9 『建礼門院右京大夫集』
- 10 『明月記』
- 11 『とはずがたり』
- 12 『筑紫道記』
- 13 『千種日記』
- 14 『松蔭日記』
- 15 まとめ・日記文学のその後

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/mpxrx84a3jontfamlvdtovf4sjlkf4z0>)

## 永井 太郎

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・5 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

## - - - 概要 - - -

授業では、まず最初に、近代日本の幻想的といわれる文学作品を取り上げ、幻想文学の分類に関する議論を紹介する。次に、近代文学の中で幻想文学を評価してきた思想的枠組みについて説明する。以上が主に幻想文学全体に関する理論的な考察である。続いて、近代の幻想文学の歴史を概観する。そして、これまでのことをふまえた上で、個別のテーマへと話を進めていく。ここでは、一つの作品の分析ではなく、他の作品へも適用し得る、一般的テーマを考察の対象とする。怪異と場所の問題や水の象徴するもの、ユートピアや分身など、幻想文学でよく言及されるトピックスの、すべてではないものの、そのいくつかについて紹介していく。基本的には授業計画通り進めて行くが、これは現在の予定であり、若干変更することもある。

## - - - 到達目標 - - -

日本近代の幻想文学について、主要な作家や作品をあげることができる。(知識・理解)

日本近代の幻想文学に関する、主要なテーマを説明できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

## 予習

授業の中で読むように指示したレジメを次の授業までには読んで、わからないところを調べておくこと(30分)。

## 復習

授業のノートをきちんと読み直しておくこと(15分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

日本の近代文学の中で、幻想文学に関係するいくつかの作品名および作家名をあげることが出来るか、幻想文学に関する基本的な理論やテーマを理解しているかどうかを評価の基準とする。  
 評価方法は定期試験による。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中随時プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

特になし。

## - - - 履修上の留意点 - - -

終始、幻想文学についての話なので、こうしたテーマについていくらかの知識、少なくとも関心を持っていることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 シラバスの説明及びイントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 幻想文学の分類
- 3 ホラーやファンタジーに属する近代文学
- 4 トドロフの分類
- 5 精神分析と幻想
- 6 精神分析と幻想
- 7 中心・周縁理論
- 8 西洋の幻想文学作家
- 9 日本近代の幻想文学作家
- 10 日本近代の幻想文学作家
- 11 怪異の場
- 12 水のシンボリズム
- 13 ユートピア
- 14 分身
- 15 映画の怪異

## - - - スタートアップ授業 - - -

## スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/9r2gnugzpsoj4qk86tkw2ykbe5kdrt48>)

## 山田 洋嗣

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：木・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

徒然草の作者兼好は鎌倉後期から南北朝を生きた歌人である。その時代において兼好は多くのことを経験し多くのことを考えた。徒然草には多岐にわたる深い思考を通じてその時代に感応し、語るさまざまな事柄と、それをつづっていく兼好自身が読み取れる。そこにみられるのは当時の文化、文明と、それを見る複眼的に自由に動く目と思考である。このような点に注意して徒然草を読み解いていきたい。あわせて「考える」ということはどのようなことか、「書く」ということはどのようなことか、そういったことも捉えられればと考えている。

徒然草は誰でも知っている古典である。中世からすでに人々に影響を与え、江戸時代には出版されて広く読まれ、古典として定着して現代に至る。従って、これは現代に生きるわれわれの文化でもあり、われわれ自身でもある。このような点で、中世を読むことがすなわち現代を読むことにもなり、彼方に思いを馳せることが自らを知ることにもなるかと思う。

授業は、作品をその言葉を丁寧にたどって読むことから始める。読みながら生れる疑問を解決すべく調べ、意見を出しあつてともに考え、自分自身の読み取りを作り上げたい。言葉の調べ方、文章の捉え方、調査の方法や問題発見の方法、またその論じ方などはそのつどその場で示していく。受講者は章段を分担して図書館等で調査し、考えをまとめたうえで発表し、それをもととして全員で討論を行う。このような作業と読解を通して、自らを文芸の中に投じる楽しみ、それがわれわれを動かす力を感じ、何よりそこから得られる喜びを得ることができるであろう。

「授業計画」に記した各段を予定しているが、受講者の希望があれば適宜入れ換えてよい。読解を通じて、ものごとを捉え、「考える」とはどういうことか、それを「書く」とはどういうことか、また我々がそれを「読む」とはどういうことなのかを考察したい。

## - - - 到達目標 - - -

徒然草と兼好について概括的に理解し説明することができる。(知識・理解)

自らの調査と考察によって古典の文章を正確に読解できるようになり、それをふまえて考え方や思想を帰納的に抽出することができる。(技能)

作品から読み取れる思想について自身の考えを持ち、批判できるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

受講者は授業の前に当該章段を読み、その記述や考えについて自分の意見を持っておくこと。また授業後はその段についてのまとめを自ら記録しておくこと。予習・復習、各一時間程度の時間が必要である。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験によらず、普段の授業の中で評価する。読解力や調査の仕方、資料のまとめ方、問題を発見する力、あるいは討論の際の意見などを総合的に判断して評価する(80%)。各段の終りに総括する意見を求め、これを上記各条の成果に加えて評価する(20%)。

## - - - テキスト - - -

テキストは指定しない。徒然草のテキストは活字によって多数出版されており、それらを比較対照することも読解の一助となるからである。文庫本など手に入りやすいものでよいが、徒然草の全文が入っているものを自身が開講前に選び用意すること。

## - - - 参考書 - - -

授業中、その進展、特に章段が扱っている問題によって指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

この「日本文学A」と「日本文学B」は視点を変えつつ異なった章段を読むので、A・B両方を受講して差し支えない。授業中に自分の意見を積極的、活発に発言できる学生、またそのような能力を身につけたい学生の受講を望む。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODククション(スタートアップ授業)「序段 つれづれなるままに」を用いて
- 2 第一段 いでやこの世にうまれては
- 3 第二段 いにしへのひじりの御代
- 4 第三段 よろづにいみじくとも
- 5 第五段 不幸に憂へ沈める人の
- 6 第六段 わが身のやんごとなからんにも
- 7 第七段 あだしのの露きゆる時なく
- 8 第十段 家居のつきづきしく
- 9 第十一段 神無月のころ
- 10 第十二段 同じ心ならん人と
- 11 第十三段 ひとり灯火のもとに
- 12 第十四段 和歌こそ面白きものなれ
- 13 第十五段 いづくにもあれ
- 14 全体のまとめ 徒然草と兼好

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ybvzeytc4yxiw6381yeqzig23pni2367>

野田 康文

期別:前期 単位数:2 開講年次:1 授業の種類:対面授業科目 授業形態:講義 実務経験:無し 科目水準:入門 試験実施:有り  
授業時間割:前期:月・二部1時限 試験時間割:2021/07/26 夜1限

概要

この科目は、日本の近代文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、日本の近代文学を代表する作品 前期は短編小説、後期は長編小説 を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

前期は、大正から昭和の初期にかけて発表された、宮沢賢治、芥川龍之介、井伏鱒二、川端康成の短編小説を読みます。扱う作品は、どれも今日でも読まれている、名作と評されるもので、日本人の教養として必読の小説です。作者の生涯や当時の時代・文化の挿話を踏まえつつ、小説を読み解いていきます。各作品とも、大事な場面を中心に、設問付きの配布テキストや指定のテキストで読んでいきます。

宮沢賢治や芥川龍之介、井伏鱒二らは、みな現在でも評価の高い、近代日本を代表する作家です。今日でも読み継がれている彼の文学作品を読み解いていくことは、現代日本に生きる皆さんにとっても、明治以来、急激に近代化し、今の日本の基礎を築いていった時代に生きた人たちの葛藤を理解し、それを自分の問題に引きつけて考える柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つ1つの作品をじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

到達目標

日本の近代文学の一端にふれることを通して、近代の日本文化についての知識と教養を深める。(知識・理解)

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。(態度・志向性)

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。(技能)

授業時間外の学習(予習・復習)

毎回の授業で配布する設問付きのテキストや指定のテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていくよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと(15~30分程度)。

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること(30分程度)。試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

成績評価基準および方法

授業では、各作品ごとに、読解すべき作品の本文を設問付きで配布します。(ただし、川端康成の作品については指定のテキスト。)受講者はまず、設問の解答を、本文を自力で読んで書いてみます。その後2~5回の授業を使って、読解のポイントを設問を中心に解説します。解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことがありますので、それを平常点として扱います。提出した解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出物と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「近代の日本文化についての知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

テキスト

川端康成『伊豆の踊子』(新潮文庫)。  
それ以外の作品については、毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

履修上の留意点

設問の解答を提出する時は、解答用紙の配布時に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。

他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

授業計画

第1回:近代日本の短編小説を読む1(各作品、3回前後の授業で1セット。宮沢賢治、井伏鱒二、芥川龍之介の順)シラバスに沿った授業ガイダンス&イントロダクション、テキスト1の黙読及び解答作成(スタートアップ授業)

第2回:近代日本の短編小説を読む2  
テキスト1の読解のポイント及び、設問解説(2~4回前後)

\*以下、第8回まで同様のプロセスで、進行状況に応じて進めていく

第3回:近代日本の短編小説を読む3

第4回:近代日本の短編小説を読む4

第5回:近代日本の短編小説を読む5

第6回:近代日本の短編小説を読む6

第7回:近代日本の短編小説を読む7

第8回:近代日本の短編小説を読む8

第9回:近代日本の短編小説を読む9

第10回:近代日本の短編小説を読む10(以下、川端康成)

作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第11回:近代日本の短編小説を読む11

テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第12回:近代日本の短編小説を読む12

テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第13回:近代日本の短編小説を読む13

テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第14回:近代日本の短編小説を読む14

テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第15回:近代日本の短編小説を読む15

テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き、全体まとめ

スタートアップ授業

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/u854rifgppsxsxnj30bwuvrafrcpuoja>)

## 中野 和典

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義で取り上げる作品はいずれも有名なものばかりだが、これらが高い評価を受けている理由について考える。まず、作者と作品についての概要を学ぶ。次に、特定のテーマに従って先行研究においてどのような問題が、どのように論じられてきたのかを学ぶ。最後に、当該作品とそれを原作とする映像作品を比較し、そこから見えてくる問題を検討する。年代順に作品を読んでいくことによって、最終的には昭和初期以降に日本文学がどのようにその可能性を広げていったのかという問題について理解を深めてもらいたい。

## - - - 到達目標 - - -

昭和初期以降の日本文学について基本的な知識を身につけることができる。(知識・理解)

昭和初期以降の日本文学が描いた問題について考え、論述することができる。(技能)

昭和初期以降の日本文学について興味・関心を持つことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

(事前) 講義で取り上げる作品は文庫等で簡単に読めるので、できるだけ事前に読んでおくこと。(90分)  
 (事後) 配付資料をよく見直しておくこと。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験90%（講義資料などの持ち込みは不可。試験の出題形式は、文学史に関する選択問題+指定のテーマについての論述問題）と平常点10%（授業への参加の積極性、授業中の発言の回数と内容）を合わせて総合的に評価する。

講義で取り上げる作家と作品とその研究動向について、どの程度まで正確に説明できているかを評価の基準とする。

## - - - テキスト - - -

特に指定しない。

ただし、講義で取り上げる作品は、文庫等で簡単に読めるので事前に読んでおくことが望ましい。

## - - - 参考書 - - -

講義中に紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

特に専門的な予備知識は必要ない。日本近代文学を通して真摯に何かを学ぼうとする姿勢を持つ学生の受講を希望する。

したがって、質問は歓迎し、私語・携帯機器の使用・遅刻・途中退出等の受講マナーに反する行為は厳禁する。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 堀辰雄『風立ちぬ』1〔スタートアップ授業（動画配信）〕
- 2 堀辰雄『風立ちぬ』2
- 3 堀辰雄『風立ちぬ』3
- 4 大岡昇平『野火』1
- 5 大岡昇平『野火』2
- 6 大岡昇平『野火』3
- 7 三島由紀夫『金閣寺』1
- 8 三島由紀夫『金閣寺』2
- 9 三島由紀夫『金閣寺』3
- 10 安部公房『砂の女』1
- 11 安部公房『砂の女』2
- 12 安部公房『砂の女』3
- 13 遠藤周作『沈黙』1
- 14 遠藤周作『沈黙』2
- 15 遠藤周作『沈黙』3

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/8627ekhhg25a3nww4z4l6h93r2xgaa3m>)

## 衣畑 智秀

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・3時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

琉球語は、日本語と親族関係が証明されている唯一の言語である。そのため、しばしば日本語の方言と見なされることもあるが、日本語諸方言との相互理解性はほとんどない。本講義では、琉球語の中でも宮古島で話されるミャークフツ（宮古言葉）について、特に平良付近の方言をもとに学習する。授業は、ミャークフツの発音、文法を理解し、単語を習得していく語学の授業の体裁を取る。ただし、琉球語には多く日本語との対応見られるため、高等学校で学習してきた英語とは異なり、日本語の直感が学習に生きる面がある。そのため、詰め込み教育とは異なる語学学習の面白さを発見できるであろう。最終的には、ミャークフツ・シンガー下地勇の歌を聴き歌詞を理解できるようにまでなしてほしい。

## - - - 到達目標 - - -

ヤマトウフツとミャークフツの基本的な音韻対応を説明できる。(知識・理解)

ミャークフツの動詞を活用させることができる。(知識・理解)

『おばあ』『ワイドー』などの歌詞がミャークフツで理解できる。(知識・理解)

簡単なヤマトウフツの文をミャークフツの文に直すことができる。(技能)

自身の方言について、日常的に考えるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

文法事項について、練習問題をしながら復習しておくこと(60分)。毎回単語テストを行うので、新出単語を覚えて授業に臨むこと(60分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

単語や文の理解を基準とし、定期試験により評価する。

## - - - テキスト - - -

授業中に配布する。

## - - - 参考書 - - -

本ではないが、以下のCDなどを聞いているのが望ましい。下地勇『天[tin]』(テイチュエンターテインメント)

## - - - 履修上の留意点 - - -

特に専門知識は前提としない。当方は熱心に授業を行うため、真剣な態度で授業に臨んでほしい。

他の学生の迷惑となる行為は厳禁である。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.琉球方言と本土方言(スタートアップ授業)
- 2.ヤマトウフツとミャークフツの音韻対応1
- 3.ヤマトウフツとミャークフツの音韻対応2
- 4.ヤマトウフツとミャークフツの音韻対応3
- 5.助詞と母音の融合
- 6.動詞の基本形
- 7.動詞の連用形
- 8.動詞の命令形
- 9.動詞の意志・否定形
- 10.動詞活用のまとめ
- 11.形容詞
- 12.助詞
- 13.鑑賞1:おばあ
- 14.鑑賞2:ワイドー
- 15.鑑賞3:我達が生まれ島

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/cjtg3ekcoouhrcthv9zmjvag8beiok8r>

## 國生 雅子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・5時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

近代という新しい時代の開幕と共に、今まで蓄積された教養は無価値とされ、西洋を学ぶことこそが、没落した士族階級と社会的地位の上昇を目指すそれ以外の階層の若者達の目標となった。その要求に応えるべく、近代的教育システムが急速に整えられ、首都東京は多くの学生達が集まる都市となっていった。学歴社会の開幕である。この授業では森鷗外の「雁」を中心に、主に明治十年代の学生達にスポットをあて、彼らの「恋愛」を中心に、文学作品を通して、明治という時代を生きた青年たちについて考えて行きたい。

## - - - 到達目標 - - -

明治期の文化や思想、文学について説明できる。(知識・理解)

文学作品に関する関心を深め、文学作品を通して人間のあり方について日常的に考えるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前に講義予定の部分に目を通し、復習としてテキストの中で授業中に取り上げられなかった部分は、自分で読んでおくこと。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験を行う。記述式の問題と、客観的な穴埋め問題を併用。  
 作品を的確に読んでいるかは客観式の問題で評価し、文学への関心が深まっているかは、記述式の問題で評価する。

## - - - テキスト - - -

新潮文庫「雁」  
 ISBN978-4-10-102001-3

## - - - 履修上の留意点 - - -

私語や授業中の無断出入りを禁ずる。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業  
 ガイダンス - 授業内容・受講上の注意
- 2 明治期の文学と森鷗外
- 3～5 「雁」講読
- 6～8 坪内逍遙「当世書生気質」について
- 9～12 「冴々・セクスアリス」について
- 13～14 近代の恋愛と結婚について
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/2cvxziwdayeb440wt128psk1j7gtbmda>)

## 高橋 昌彦

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

「猫」は、平安時代から、多くの文学作品に登場している。時に愛玩動物として、時にネズミを捕まえる益獣として、はたまた妖怪変化として、その描かれ方は多彩といえる。そして、より詳細に見ていくことで、時代とともに、移りゆく猫像というものの存在を理解できるといえるだろう。

本授業では、各時代の文学作品を材料として、そのイメージの変遷について考えていくものである。

## - - - 到達目標 - - -

学んだ事柄を十分に理解し、自分の言葉で説明できる。(知識・理解)

1つのテーマを通して学習に意欲的に取り組む姿勢がある。(態度・志向性)

自らが新たな問題設定をして取り組むようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前にプリントを配布するので読んでおくこと。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

学んだ事柄について、自分の言葉でどの程度説明できるかなどが評価基準となる。

定期試験(80%)と授業中の提出物など(20%)によって評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストなし。プリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

古文を読んでいくので、その基礎的な知識を有することが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODククション(スタートアップ授業)
- 2 平安文学の猫
- 3 "
- 4 鎌倉・室町文学の猫
- 5 "
- 6 "
- 7 江戸文学の猫
- 8 "
- 9 "
- 10 "
- 11 諺・慣用句などに見る猫
- 12 俳諧に見る猫
- 13 近代文学に見る猫
- 14 "
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/721ijzzmgfuum443s74zby6qo5c97xl)



## 大木 桃子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

平安時代末期に成った説話集今昔物語集を読む。本書は収録説話約1千を超え、インド・中国・日本の話を載せる仏教説話集である。一方で、世俗の説話も多く含まれ、芥川龍之介をはじめ、近代文学者が小説の題材としたことでも知られる。

本講義では、編纂当時の家族観が伺われるものを選んで読む。親子関係や夫婦関係、またいわゆる「嫁姑問題」などについてである。家族のあり方が問われる現代であるからこそ、古典の中の家族観を探り共通点・相違点を明らかにしたい。

## - - - 到達目標 - - -

説話集とは何かを理解し、説明することができる(知識・理解)

今昔物語集編纂時代に生きた人々の家族観を理解し、説明することができる(知識・理解)

当時と現代の家族のあり方を比較考察することができる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業後、テキスト・プリント・ノートを読み返し(20分)、次の授業で扱う話を前もって読んでおく(20分)

テキストは今昔物語集のごく一部である。また本文を省略してあらすじを載せている部分もある。膨大な作品なので全部読むことはできないが、ぜひ一度中央図書館で参考書を手にとって、全体像を把握してほしい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験80%(テキスト・講義内容の理解)  
 平常点20%(数回、授業中に課題や感想などをミニッツペーパーに書いて提出してもらい。理解度を判断し点数化する。課題の解答はプリント等でフィードバックする。出せば終わりというわけでない。後の授業や定期試験に役立ててほしい)

## - - - テキスト - - -

角川書店編 ビギナーズクラシックス『今昔物語集』 角川ソフィア文庫 2002年 720円+税  
 ISBN978-4-04-357409-4  
 \*金文堂福大店でも購入できる

## - - - 参考書 - - -

新日本古典文学大系「今昔物語集」1～5 岩波書店

## - - - 履修上の留意点 - - -

遅刻・私語・中途退出、板書の写メは授業の進行、他の履修生の勉学の妨げになる。厳重に慎むこと。出席回数より授業の理解度を重視する。疑問点は授業後などに早めに質問して解決すること。

## - - - 授業計画 - - -

## 1、今昔物語集概説(スタートアップ授業)

2～14 説話の読解と解説(数字は、巻と説話番号)  
 1-1、志をたて、王妃マヤ夫人の腹に宿るシャカボサツ  
 3-30、死に臨んで、息子ラゴラに父の情愛を示すシャカ  
 4-41、この世の親子の情愛も通用しないあの世の現実  
 19-27、洪水に流され、愛児を捨てて老いた母を助けた男  
 29-29、愛児を犠牲にして貞操を守った女  
 23-24、矢竹を指で押し砕き、強盗もふるえた怪力の美女  
 25-12、以心伝心の妙技で馬盗人を射殺した武人の父子  
 30-9、妻の悪口に乘せられ、老いた姨母を山に捨てた男

\*この間2、3回程度の課題を課す。「成績評価基準および方法」参照

## 15 その他の説話、まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/d7pyqozv7nvi3tmxcxefcjx83pqbjdne)

## 須藤 圭

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

授業のテーマは「王朝物語史をたどる」です。この授業では、平安時代以降に書かれたフィクションの王朝物語を鑑賞します。王朝物語は、貴族たちの生活を中心に描いた古典文学作品のようですが、そこには、権力、いじめ、ゴシップ、正義、暴力、戦争、貧困、転生、トランスジェンダー、同性愛、少年愛など、現代にもつうじる多彩なテーマが描かれています。王朝物語の想像力を読み解きながら、日本文学の可能性を問いなおします。

## - - - 到達目標 - - -

王朝物語史の流れを理解できる。(知識・理解)

主な王朝物語の概略を説明することができる。(技能)

王朝物語にあらわれた思考や価値観を理解し、自らの価値観を見直すことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：授業でとりあげる文学について、調べておきましょう。(120分)

復習：授業の復習をするとともに、関連する文学についても調べておきましょう。(120分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

上記「到達目標」に対する達成度を、以下の基準で評価します。

・定期試験(70%)。授業内容を適切に理解し、自らの言葉でまとめることができたかどうか。

・コメントペーパー(30%)。積極的に授業を受講し、感想や意見を提出することができたかどうか。なお、コメントペーパーの内容は、次回授業時にとりあげ、フィードバックを行います。

## - - - テキスト - - -

プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

適宜、授業の中で紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

江戸時代以前の古典文学を対象にしますが、古文読解の知識は求めません。現代語訳を併記して講義します。

古典文学は、抜群に面白いです。たくさん読んでみてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション(スタートアップ授業)
- 2 『竹取物語』
- 3 『うつほ物語』
- 4 『伊勢物語』 『大和物語』
- 5 『源氏物語』
- 6 『狭衣物語』
- 7 『浜松中納言物語』
- 8 『夜の寝覚』
- 9 『とりかへばや』
- 10 『松浦宮物語』
- 11 『石清水物語』
- 12 『我が身にたどる姫君』
- 13 『恋路ゆかしき大将』
- 14 『風に紅葉』
- 15 まとめ・王朝物語のヒューマニティーズ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/2xzk7p3h102v1hmsiv8k3cd7mmnzilac)

永井 太郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・5時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

- - - 概要 - - -

日本文学Aでは、幻想文学全体について概観したが、Bでは、幻想文学のサブジャンルの一つである夢の文学に注目し、その中でも、日本近代文学で始めて夢を本格的に描いた作品である夏目漱石の「夢十夜」を取り上げる。この講義では、「夢十夜」を作者によって意識的に構成された作品と考えて、一つ一つの作品について、先行研究を踏まえて、その詳細な分析を行う。

授業ではまず、夢と文学との関係について論じ、次に、「夢十夜」の文学史的位置を説明する。それから、「夢十夜」の作品論に移る。「第一夜」から順に論じるのだが、時間や重要性の点から、十夜全部をとりあげる事はしない。そのうちいくつかは飛ばすことになる。授業計画に書かれているのはあくまで予定であり、何を読んで来ればいいのか、授業中にそのつど指示していく。

授業では、作家の伝記的事実ではなく、個々の作品自体についての読解を重視する。その考察に際して、当の作品について、これまでなされた先行研究の紹介を丁寧に行う。を通して、作品がいかに読まれてきたのか、そして作品の解釈がいかに多様なものでありうるのか、を実際の論文に即して学んでもらおうと思う。

- - - 到達目標 - - -

夏目漱石の「夢十夜」の主な作品の解釈について説明できる。  
 (知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習

次の授業で取り上げる作品を指示するので、事前に読んで、わからない言葉を調べておくこと(30分)。

復習

授業のノートをきちんと読み直しておくこと(15分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

「夢十夜」のいくつかの作品の解釈における問題、そしてそれに対するこれまでの議論を理解できているか、を評価の基準とする。

評価方法は定期試験による。

- - - テキスト - - -

夏目漱石「夢十夜」(岩波文庫)

- - - 参考書 - - -

特になし。

- - - 履修上の留意点 - - -

小説をじっくりと読む講義なので、小説に関心がある人が望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 シラバスの説明及びイントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 夢と文学
- 3 夢と文学
- 4 「夢十夜」の文学史的位置
- 5 第一夜
- 6 第一夜
- 7 第二夜
- 8 第二夜
- 9 第三夜
- 10 第三夜
- 11 第六夜
- 12 第七夜
- 13 第八夜
- 14 第十夜
- 15 第十夜

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/p21oih0cuhq0qk3j0zjfccjhoukfwk4b>)

## 永井 太郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

この教養ゼミでは、授業一回につき短い小説を一つ読んでいく。いずれも有名な作品であったり、教科書に取り上げられた作品であり、比較的読みやすいものである。ゼミでは、まず前もってテキストをレジメにしたものを配布する。配布されたテキストを読んできてもらい、その作品の解釈に関する質問をプリントにしたものに答えてもらう。作品の解釈には、人によって様々な意見の相違がある。参加者には、作品の解釈の問題について、自ら考え、ある立場に立ち、ゼミでは、自らの立場から、他の人と討論をしてもらう。漠然と好きだ、嫌いだ、よくわからないというのではなく、自分の意見をきちんと考え、他の人に対してその意見の根拠を表明すること、そして同時に、自分の考えとは違う他人の意見を聞き、それに対して、理解し、反論することを求める。なお、授業計画に記したのは去年取り上げた作品である。若干変更することもある。

## - - - 到達目標 - - -

文学作品に対する自分の意見を根拠をもって説明できる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

## 予習

次の授業までに、作品本文の掲載されたレジメを必ず読んでくること(30分)。

## 復習

授業で読んだ作品を読み直して、演習で出た他の人の意見を踏まえて、自分なりに考えなおすこと(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

作品に関する自分の意見を十分な根拠に基づいて説明できているのかを評価の基準とする。

評価方法は授業ごとに提出するレポート(50%)と授業における発言及び内容(50%)による。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。こちらで準備したレジメを配付して授業を行う。

## - - - 参考書 - - -

特になし

## - - - 履修上の留意点 - - -

小説について自分の意見を述べる授業なので、小説が好きな人、小説について考えるのが好きな人が望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

- 1、シラバスの説明及びイントロダクション(スタートアップ授業)
- 2、夏目漱石「第一夜」
- 3、宮沢賢治「注文の多い料理店」
- 4、芥川龍之介「藪の中」
- 5、井伏鱒二「山椒魚」
- 6、太宰治「葉桜と魔笛」
- 7、安部公房「赤い繭」
- 8、松下竜一「絵本」
- 9、向田邦子「かわうそ」
- 10、菊池寛「三浦右衛門の最後」
- 11、松本清張「火の記憶」
- 12、三島由紀夫「美神」
- 13、江國香織「生きる気まんまんだった女の子の話」
- 14、梶井基次郎「檸檬」
- 15、山川方夫「夏の葬列」

## - - - スタートアップ授業 - - -

## スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/xyfjkyrxoolx8ds62slw4ad6j87mi6b5>)

## 山田 洋嗣

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

徒然草の作者兼好は鎌倉後期から南北朝を生きた歌人である。その時代において兼好は多くのことを経験し多くのことを考えた。徒然草には多岐にわたる深い思考を通じてその時代に感応し、語るさまざまな事柄と、それをつづっていく兼好自身が読み取れる。そこにみられるのは当時の文化、文明と、それを見る複眼的に自由に動く目と思考である。このような点に注意して徒然草を読み解いていきたい。あわせて「考える」ということはどのようなことか、「書く」ということはどのようなことか、そういったことも捉えられればと考えている。

徒然草は誰でも知っている古典である。中世からすでに人々に影響を与え、江戸時代には出版されて広く読まれ、古典として定着して現代に至る。従って、これは現代に生きるわれわれの文化でもあり、われわれ自身でもある。このような点で、中世を読むことがすなわち現代を読むことにもなり、彼方に思いを馳せることが自らを知ることにもなるかと思う。

授業は、作品をその言葉を丁寧にたどって読むことから始める。読みながら生れる疑問を解決すべく調べ、意見を出しあつてともに考え、自分自身の読み取りを作り上げたい。言葉の調べ方、文章の捉え方、調査の方法や問題発見の方法、またその論じ方などはそのつどその場で示していく。受講者は章段を分担して図書館等で調査し、考えをまとめたうえで発表し、それをもととして全員で討論を行う。このような作業と読解を通して、自らを文芸の中に投じる楽しみ、それがわれわれを動かす力を感じ、何よりそこから得られる喜びを得ることができるであろう。

「授業計画」に記した各段を予定しているが、受講者の希望があれば適宜入れ換えてよい。読解を通じて、兼好がなにを見たのか、なぜそれを見ることができたのか、「見る」とはどういうことかを考察したい。

## - - - 到達目標 - - -

徒然草と兼好について概括的に理解し説明することができる。(知識・理解)

自らの調査と考察によって古典の文章を正確に読解できるようになり、それをふまえて考え方や思想を帰納的に抽出することができる。(技能)

作品から読み取れる思想について自身の考えを持ち、批判できるようにする。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

受講者は授業の前に当該章段を読み、その記述や考えについて自分の意見を持っておくこと。また授業後はその段についてのまとめを自ら記録しておくこと。予習・復習、各一時間程度の時間が必要である。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験によらず、普段の授業の中で評価する。読解力や調査の仕方、資料のまとめ方、問題を発見する力、あるいは討論の際の意見などを総合的に判断して評価する(80%)。各段の終りに総括する意見を求め、これを上記各条の成果に加えて評価する(20%)。

## - - - テキスト - - -

テキストは指定しない。徒然草のテキストは多数出版されており、それらを比較対照することも読解の一助となるからである。文庫本など手に入りやすいものでよいが、徒然草の全文が入っているものを自身が開講前に選び用意すること。

## - - - 参考書 - - -

授業中、その進展、特に章段が扱っている問題によって指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

この「日本文学A」と「日本文学B」は視点を変えつつ異なった章段を読むので、A・B両方を受講して差し支えない。授業中に自分の意見を積極的、活発に発言できる学生、またそのような能力を身につけたい学生の受講を望む。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODククション(スタートアップ授業)「序段 つれづれなるままに」を用いて
- 2 第十九段 折節の移り変はるこそ
- 3 第二十二段 何事も古き世のみぞ
- 4 第二十五段 飛鳥川の淵瀬常ならぬ世
- 5 第三十段 人の亡きあとばかり
- 6 第三十一段 雪のおもしろう降りたりし朝
- 7 第三十二段 九月廿日のころ
- 8 第三十六段 久しくおとづれぬころ
- 9 第三十八段 名利につかはれて
- 10 第三十九段 ある人法然上人に
- 11 第四十段 因幡の国に
- 12 第四十一段 五月五日賀茂の競馬を
- 13 第四十三段 春のくれつかた
- 14 第四十五段 公世の二位のせうとに
- 15 全体のまとめ 徒然草と兼好

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/dt93nawasgwnn1eylvhqyf6w5plz1k5>

## 野田 康文

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・二部 1 時間 試験時間割：2022/01/24 夜 1 限

## - - - 概要 - - -

この科目は、日本の近代文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、日本の近代文学を代表する作品 前期は短編小説、後期は長編小説 を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

後期は、明治末から大正・昭和にかけて活躍した作家・谷崎潤一郎の『痴人の愛』という長編小説を読みます。関東大震災後のアメリカ的風潮を背景に流行したモダンガールのヒロインと、彼女に溺れていく男との恋愛を描いています。谷崎文学の中でも、最もよく読まれている作品の1つです。全部を読むことはできないので、大事な場面を中心に、設問付きの配布テキストで読んでいきます。

谷崎潤一郎は、国際的にも評価が高く、その後の日本文学に大きな影響を与えた作家です。今日でも読み継がれている彼の文学作品を読み解いていくことは、現代日本に生きる皆さんにとっても、明治以来、急激に近代化し、今の日本の基礎を築いていった時代に生きた人たちの葛藤を理解し、それを自分の問題に引きつけて考える柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

## - - - 到達目標 - - -

日本の近代文学の一端にふれることを通して、近代の日本文化についての知識と教養を深める。(知識・理解)

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。(態度・志向性)

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の授業で配布する設問付きのテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っているよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと(15~30分程度)。

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること(30分程度)。試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業では毎回、読解すべき本文を設問付きで配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことがありますので、それを平常点として扱います。提出した解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出物と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「近代の日本文化についての知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

## - - - テキスト - - -

毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

## - - - 履修上の留意点 - - -

設問の解答を提出する時は、解答用紙の配布時に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。

他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

## - - - 授業計画 - - -

第1回：『痴人の愛』を読む1  
 シラバスに沿った授業ガイダンス&イントロダクション、作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き(スタートアップ授業)

第2回：『痴人の愛』を読む2  
 テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第3回：『痴人の愛』を読む3  
 テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第4回：『痴人の愛』を読む4  
 テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第5回：『痴人の愛』を読む5  
 テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第6回：『痴人の愛』を読む6  
 テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第7回：『痴人の愛』を読む7  
 テキスト7の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第8回：『痴人の愛』を読む8  
 テキスト8の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第9回：『痴人の愛』を読む9  
 テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第10回：『痴人の愛』を読む10  
 テキスト10の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第11回：『痴人の愛』を読む11  
 テキスト11の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第12回：『痴人の愛』を読む12  
 テキスト12の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第13回：『痴人の愛』を読む13  
 テキスト13の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第14回：『痴人の愛』を読む14  
 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第15回：『痴人の愛』を読む15  
 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き2、全体まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/rqotrgmsi823s3u1ad4qfcjy5jxx47xt>)

## 久芳 崇

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・4 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

本講義において対象とするのは、おおよそ紀元前3世紀頃から紀元後6世紀頃を中心とした、中国を中心とする東洋の歴史である。しかしここではそれを単に「王朝交替」の枠内で孤立的に捉えようとするものではない。中国周辺諸地域や東アジア世界、そして時にはユーラシア世界をも包摂する広大な地理的空間のなかで、中国の歴史を相対的・客観的に捉え、それが周辺諸地域の多様な文化圏との密接な交流と相互作用のなかで流動的に変容・展開してゆく諸相を多角的に概括してゆこうとするものである。

本講義では、特に漢民族の形成過程について着目し検討してゆきたい。現在の中華人民共和国の大多数(9割以上)を占めるとされる漢民族が、長期にわたる周辺諸地域との交流・抗争を経て、どのように変容してきたのか。こうした点を明らかにすることにより、今日我々が思い浮かべる単一的なイメージとしての漢民族が、極めて多様な民族との抗争と融合の結果、形成されたものであることを明らかとしてゆきたい。

## - - - 到達目標 - - -

東洋史の基礎的な知識と空間構成を説明できる(知識・理解)

現代日本の重要課題たる人口減と移民問題を資料を通じて把握できる(技能)

過去の気候の復元方法について説明できる(技能)

寒冷化に伴う移民の流入が漢民族社会にもたらす変化の全体状況を把握できる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前・事後に配付資料を熟読することが重要となる。(60分)  
 現代社会の諸問題について関心を抱き、新聞・雑誌などに積極的に目を通し、それらと歴史展開とを関連づけて理解することが重要となる。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

漢民族がいかにして形成されたかを理解し説明できるかを評価の基準とする。  
 定期試験により評価(100%)。

## - - - テキスト - - -

講義中に資料を配付。

## - - - 履修上の留意点 - - -

資料の再配付は行わないので注意が必要である。  
 講義中の退室は基本的に不可である。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 現代日本の人口・移民問題
3. 漢民族とは何か(1)
4. 漢民族とは何か(2)
5. 万里の長城
6. 漢と匈奴
7. 遊牧民の流入
8. 気候変動と歴史
9. 過去の気候の復元(1)
10. 過去の気候の復元(2)
11. 騎馬民族の流入と中国
12. 五胡十六国時代
13. 北魏孝文帝の改革
14. 胡漢融合
15. 漢民族の変容

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/55cl0qc5kuqx74ej3am8w72fwnzjwnfy>

## 久芳 崇

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・5 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

本講義において対象とするのは、おおよそ紀元前3世紀頃から紀元後6世紀頃を中心とした、中国を中心とする東洋の歴史である。しかしここではそれを単に「王朝交替」の枠内で孤立的に捉えようとするものではない。中国周辺諸地域や東アジア世界、そして時にはユーラシア世界をも包摂する広大な地理的空間のなかで、中国の歴史を相対的・客観的に捉え、それが周辺諸地域の多様な文化圏との密接な交流と相互作用のなかで流動的に変容・展開してゆく諸相を多面的に概括してゆこうとするものである。

本講義では、特に漢民族の形成過程について着目し検討してゆきたい。現在の中華人民共和国の大多数(9割以上)を占めるとされる漢民族が、長期にわたる周辺諸地域との交流・抗争を経て、どのように変容してきたのか。こうした点を明らかにすることにより、今日我々が思い浮かべる単一的なイメージとしての漢民族が、極めて多様な民族との抗争と融合の結果、形成されたものであることを明らかとしてゆきたい。

## - - - 到達目標 - - -

東洋史の基礎的な知識と空間構成を説明できる(知識・理解)

現代日本の重要課題たる人口減と移民問題を資料を通じて把握できる(技能)

過去の気候の復元方法について説明できる(技能)

寒冷化に伴う移民の流入が漢民族社会にもたらす変化の全体状況を把握できる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前・事後に配付資料を熟読することが重要となる。(60分)  
 現代社会の諸問題について関心を抱き、新聞・雑誌などに積極的に目を通し、それらと歴史展開とを関連づけて理解することが重要となる。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

漢民族がいかにして形成されたかを理解し説明できるかを評価の基準とする。

定期試験により評価(100%)。

## - - - テキスト - - -

講義中に資料を配付。

## - - - 履修上の留意点 - - -

資料の再配付は行わないので注意が必要である。  
 講義中の退室は基本的に不可である。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 現代日本の人口・移民問題
3. 漢民族とは何か(1)
4. 漢民族とは何か(2)
5. 万里の長城
6. 漢と匈奴
7. 遊牧民の流入
8. 気候変動と歴史
9. 過去の気候の復元(1)
10. 過去の気候の復元(2)
11. 騎馬民族の流入と中国
12. 五胡十六国時代
13. 北魏孝文帝の改革
14. 胡漢融合
15. 漢民族の変容

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/uthm4pe6mza3fpjydtqd6so1xw6bwoog>)



## 則松 彰文

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・1時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

2020年における世界の人口は、およそ77億9500万人で、最も人口の多い中国は14億3500万人。第二位のインドの13億5200万人を合わせると27億8700万人強を数え、アジアの2大国だけで世界人口の実に36%弱を占める事になる。これに東南アジアの6億人、日本の1億人などを加えると、世界の人々の半分近くは、アジア地域に居住していることになる。巨大な人口サイズが巨大な市場規模と同一視される根底には、近年におけるアジア諸国の著しい経済成長がある。21世紀の世界は、巨大なサイズを誇るアジア市場に熱い視線を向けるが、実は、18・19世紀においても今日と同様、あるいは今以上に、アジア市場は世界から注目されたのであった。18・19世紀当時、世界は一体いかなる状況にあったのか？ その中で、アジア市場はなぜ注目されたのか？ 本講義では、現代世界、現代アジアの状況にも常に眼を配りつつ、18・19世紀世界とアジア市場、中国市場について歴史的考察を行なう。

## - - - 到達目標 - - -

18・19世紀の世界史的な知識を習得する。(知識・理解)

18・19世紀の世界史的な知識を文章にまとめることが出来る。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景・経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義の予習には、高校世界史Bの教科書を一読することを勧める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。1回の講義につき、15～20分の復習が望ましい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を30%、定期試験の結果を70%として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。講義に際しては、資料プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

講義中に詳細な紹介を行なう。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本講義で主に取り上げるのは18・19世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を随時入手しておく必要がある。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 中国茶とヨーロッパ
3. 清中国と海外貿易
4. 清中国と英国間貿易について
5. 英国使節団の訪中と中国市場(1)
6. 英国使節団の訪中と中国市場(2)
7. 英国使節団の訪中と中国市場(3)
8. アヘン戦争への道(1)
9. アヘン戦争への道(2)
10. アヘン戦争の実相(1)
11. アヘン戦争の実相(2)
12. アヘン戦争とアロー戦争
13. アヘン戦争の世界史的意味について
14. 18・19世紀の世界とアジア市場
15. 本講義のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/  
 w88jt2d1fmj2avdif2x0l3to1ncc4r4b)

## 則松 彰文

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・4 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

2020年における世界の人口は、およそ77億9500万人で、最も人口の多い中国は14億3500万、第二位のインドの13億5200万人を合わせると27億8000万人を超え、アジアの2大国だけで世界人口の実に36%弱を占める事になる。これに東南アジアの6億人、日本の1億人などを加えると、世界の人々の半分近くは、アジア地域に居住していることになる。巨大な人口サイズが巨大な市場規模と同一視される根底には、近年におけるアジア諸国の著しい経済成長がある。21世紀の世界は、巨大なサイズを誇るアジア市場に熱い視線を向けるが、実は、18・19世紀においても今日と同様、あるいは今以上に、アジア市場は世界から注目されたのであった。18・19世紀当時、世界は一体いかなる状況にあったのか？ その中で、アジア市場はなぜ注目されたのか？ 本講義では、現代世界、現代アジアの状況にも常に眼を配りつつ、18・19世紀世界とアジア市場、中国市場について歴史的考察を行なう。

## - - - 到達目標 - - -

18・19世紀の世界史的な知識を習得する。(知識・理解)

18・19世紀の世界史的な知識を文章にまとめることが出来る。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景や経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義の予習には、高校世界史Bの教科書を一読することを勧める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。1回の講義につき、15～20分の復習が望ましい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を30%、定期試験の結果を70%として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。講義に際しては、資料プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

講義中に詳細な紹介を行なう。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本講義で主に取り上げるのは18・19世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を随時入手しておく必要がある。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 大航海時代の世界とアジア
3. 18世紀の世界とアジア
4. 19世紀の世界とアジア
5. 英国使節団の訪中と中国市場(1)
6. 英国使節団の訪中と中国市場(2)
7. 英国使節団の訪中と中国市場(3)
8. アヘン戦争への道(1)
9. アヘン戦争への道(2)
10. アヘン戦争の世界史的意味
11. アヘン戦争とアロー戦争(1)
12. アヘン戦争とアロー戦争(2)
13. 19世紀世界と日本の幕末開港
14. 18・19世紀の世界とアジア市場
15. 本講義のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ysczh9ryusa81vrdobff9dic1mru8zj1>)

## 大澤 武司

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・5時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

いわゆる「西洋の衝撃」は、「中華」を中心とする華夷秩序を激震させ、近代東アジア地域秩序を混沌たるものとした。「眠れる獅子」であったはずの中国は帝国主義列強に蚕食され、さらには「東夷」であったはずの日本にまで敗北の屈辱を味わうこととなった。

本講義では、アヘン戦争以来、近代化を模索し、挫折を繰り返しながらも、辛亥革命や国民革命に挑み、さらには抗日戦争を闘い抜き、中華人民共和国建国を達成した近代中国の歩みを学ぶ。周知の通り、中国近代史の影響は現在にまで及んでいる。たとえば、中国と台湾にそれぞれ「中国」の政権が存在し、「統一」や「独立」、あるいは「現状維持」の狭間で互いを牽制しつつも対峙し続けているのは、まさに中国近代史の名残であり、それがその後の国際政治によって固定化されたものである。

現在のみならず、将来の中国の姿、あるいは中台関係や日中関係、あるいは中米関係、さらには東アジアの国際関係を考えるうえでも重要な、国際政治上の諸アクターの行動を今日も規定し続ける中国近代史を理解することが、本講義の狙いである。

\*なお、最新のニュースなども講義に盛り込むため、適宜スケジュールが変更される場合もありうる。

## - - - 到達目標 - - -

中国近代史を軸とする東アジアの基礎的な歴史知識を獲得する。(知識・理解)

19世紀・20世紀の東アジアに関する基礎的な歴史知識を自分の言葉で説明できる。(技能)

東アジアの近現代史に対する理解を通じて、現在の東アジアの国際社会を歴史的視点から考察することができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義はレジュメとパワーポイントを中心に進めるため、受講にあたっては、各回講義の際にレジュメの内容を確認のうえ、レジュメで提示する参考文献の該当箇所を事前に読み込み講義に臨むこと(予習・60分～90分程度)。授業ではコメントペーパーなどを用いた記述問題練習を行うので、その授業内容および記述問題練習の振り返りも授業終了後に行うこと(復習・60分～90分程度)。

なお、オンライン授業の場合は「記述練習問題」に代わって「課題」の形で授業内容に関する小レポートの提出を課す(60～90分程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業への参加態度・コメントペーパーにおける記述の内容などを含む平常点を50%、定期試験の結果を50%として総合的に評価する。試験の評価基準は、東洋史に関する基礎的な知識の有無、歴史的考察の有無、独自性などとする。

## - - - テキスト - - -

特に指定しない。適宜、プリントなどを配布する。

## - - - 参考書 - - -

池田誠ほか編『図説中国近現代史(第3版)』法律文化社、2009年(ISBN978-4-589-03158-7)  
 田中仁ほか編『新・図説中国近現代史』法律文化社、2012年(ISBN978-4-589-03391-8)

## - - - 履修上の留意点 - - -

遅刻厳禁。授業中のスマートフォンなどの使用も原則、禁ずる。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(動画による授業オリエンテーション)
2. 近代における中国認識 - 「伝統的中国社会」はどう見られていたのか
3. 「華夷秩序」と「西洋の衝撃」 アヘン戦争と不平等条約体制の成立
4. 清朝支配への挑戦 「太平天国」の革命性とその限界
5. 近代化の模索(1) 「洋務運動」とは何か
6. 近代化の模索(2) 「洋務運動」が目指したもの
7. 東アジア近代史の転換点 - 日清戦争と東アジア三国の歴史的分岐
8. 改革の思想 - 戊戌維新と政治体制改革
9. 「戊戌政変」を考える
10. 革命の思想 - 孫文と「三民主義」
11. 辛亥革命 - 清朝の崩壊と中華民国の成立
12. 中華民国の迷走 革命の挫折と軍閥混戦
13. 民族運動の高揚(1) - 「五四運動」の歴史的意義
14. 民族運動の高揚(2) - 国共両党の誕生
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/0q9o58j3w8f8th6bwzgzio6ubt64ei8w>

## 植松 慎悟

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・5 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

近くて遠い国、中国。わが国の歴史とも密接な関係をもつ中国は、国際的な影響力も大きく、この中国について学ぶことは非常に重要であろう。しかしながら、中国について学ぶとき、多くの現代日本人に欠けている視点が歴史的な考察・分析といえる。

周知のように、中国の歴史がもつ大きな特徴の一つが、2000年以上、皇帝を頂点とする国家体制を維持し続けたことである。それは、紀元前221年、秦の始皇帝が初めて中国を統一してから、最後の王朝である清朝を終焉させた辛亥革命（後1911年）に至るまでの長きにわたった。秦帝国（前221～前206）は短期間のうちに滅亡したものの、その後成立した漢帝国（前202～後220）は一時的な中断はある（前漢＝前202～後8、新＝8～23、後漢＝25～220）が、統一帝国としては400年以上、存続した。東アジア最古の帝国である秦漢帝国は、後世の中国王朝ばかりでなく、古代日本や朝鮮半島の国家形成にも大きな影響を与えたのである。

前期では、秦の始皇帝による中国統一から、その後を継いだ前漢時代までの歴史を主な内容として扱う。とくに、各時代に活躍した改革者を講義の中軸に据え、その人物像や時代背景、改革の内容・結果・影響などを考察し、秦漢帝国の形成とその特徴について論じる。

## - - - 到達目標 - - -

中国古代に関する基礎的な知識を身に付け、皇帝制度の形成について説明できる。(知識・理解)

中国に関する書籍・報道・言論などを多角的に捉え、自分なりの考えをまとめることができる。(技能)

中国の歴史や社会に関心を持ち、自分なりに理解を深めようとする志向性を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義では、前回までの内容をふまえ、講義を進めていく。毎回、授業の板書やプリントを見直し、しっかりと復習すること。理解が不十分な部分は、初回で紹介した推薦図書などで確認をとっておくこと。(60分)

予習については、東洋史を含めて書籍・報道などで幅広く知識や教養を身に付けること。とくに、大学生として恥ずかしくない読書量を確保すること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

以下の基準・方法・配分で成績を評価する。

授業中に配布した感想カードに、感想・疑問・意見など自分なりの考えをまとめる：30%

\*なお、欠席は到達目標の達成にマイナスであり、減点の対象になり得るので、注意すること。当然、私語・遅刻など授業態度についても、成績評価の際に適宜考慮する。

定期試験の成績：70%

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。資料が必要な場合はプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

通年で受講することが望ましい。初回到講義のガイダンスを行うので、出席すること。講義の進行具合によって授業計画を変更する場合があります、その際は授業中に指示する。

また、講師および他の学生が円滑な授業を進めるうえで、これを阻害する一切の行為を禁止する。違反した学生に対しては厳正に対処するので、この点を承知した者のみ受講すること。

さらに、本講義は、板書を中心に進めるので、授業を集中して聞き、適宜ノートを取る。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 日中交流史
- 3 秦の始皇帝(1) 戦国時代から中国統一へ
- 4 秦の始皇帝(2) 始皇帝の統一政策
- 5 前漢の高祖(1) 項羽と劉邦
- 6 前漢の高祖(2) 高祖の統一政策
- 7 前漢の高祖(3) 高祖と冒頓単于
- 8 前漢の呂后 呂后は悪女か
- 9 前漢の武帝 全盛期の光と影
- 10 前漢の昭帝
- 11 前漢の宣帝
- 12 前漢の元帝
- 13 前漢の成帝
- 14 前漢の哀帝
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/lyyxqutw6sdeiqns7c6ausuwjzpopjf>)

## 山根 直生

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：水・1時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

日本をふくむ東アジアの国際情勢は複雑さを増している。経済的には発展傾向にあるにもかかわらずどの国でも社会問題は数多く、また、長い相互交流の歴史を持ちながらも国際関係は穏やかでない。くわえてこれらの問題を報道し論評する際には、マスコミにせよインターネットにせよ、楽観・悲観、友好的・嫌悪的と、非常に極端な姿勢ばかりが目立つように思われてならない。

このゼミでは、こうしたアジアの国際関係・相互理解の問題に関して、歴史学などの成果も交えつつ率直に語り、学んでいくこととしたい。

## - - - 到達目標 - - -

現代中国・アジアについての知識を文献やマスメディアから得る。(知識・理解)

専門分野を異にする人々に向かって発表できる。(技能)

専門分野を異にする人々と議論できる。(技能)

上記にふさわしい態度を体得する。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

教員からの配布物や自分の作成したレジュメだけでなく、同クラスの学友らのレジュメも丁寧に整理・保管する習慣をつけること(30分以上)。こうした地味な事務作業・情報処理能力の獲得こそ、研究の第一歩である。さらには、日頃から国際的報道にアンテナをはっておくこと(180分以上)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

二回の報告で報告者として資料に基づいた円滑な報告ができたか(配点70点程度)、参加者として報告内容を活かした議論に加われたか(同30点程度)、以上を評価の基準とする。

## - - - テキスト - - -

指定しない。ゼミ中に多数紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

ゼミ中の私語・飲食・着帽・携帯電話の使用は厳に禁じる。発表前の準備にあたっては各自最大限努力すること。遅刻欠席は一切認めない。四年生の就職活動など、やむを得ない場合には事前に連絡し許可を得ること。

ディスカッションに対して積極的な学生の参加を期待する。

## - - - 授業計画 - - -

- 01.イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 02.個別発表1-3人目(一人発表25分)
- 03.個別発表4-6人目(同上)
- 04.個別発表7-9人目(同上)
- 05.個別発表10-12人目(同上)
- 06.個別発表13-15人目(同上)
- 07.中間総括
- 08.個別発表二回目1-2人目(一人発表40分)
- 09.個別発表二回目3-4人目(同上)
- 10.個別発表二回目5-6人目(同上)
- 11.個別発表二回目7-8人目(同上)
- 12.個別発表二回目9-10人目(同上)
- 13.個別発表二回目11-12人目(同上)
- 14.個別発表二回目13-14人目(同上)
- 15.個別発表二回目15人目(同上)、総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/n53zqptppmygz0s6jxo2z0aczub43z8z>

## 植松 慎悟

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・二部 2 時間 試験時間割：2021/07/30 夜 2 限

## - - - 概要 - - -

近くて遠い国、中国。わが国の歴史とも密接な関係をもつ中国は、国際的な影響力も大きく、この中国について学ぶことは非常に重要であろう。しかしながら、中国について学ぶとき、多くの現代日本人に欠けている視点が歴史的な考察・分析といえる。

周知のように、中国の歴史がもつ大きな特徴の一つが、2000年以上、皇帝を頂点とする国家体制を維持し続けたことである。それは、紀元前221年、秦の始皇帝が初めて中国を統一してから、最後の王朝である清朝を終焉させた辛亥革命（後1911年）に至るまでの長きにわたった。秦帝国（前221～前206）は短期間のうちに滅亡したものの、その後成立した漢帝国（前202～後220）は一時的な中断はある（前漢＝前202～後8、新＝8～23、後漢＝25～220）が、統一帝国としては400年以上、存続した。東アジア最古の帝国である秦漢帝国は、後世の中国王朝ばかりでなく、古代日本や朝鮮半島の国家形成にも大きな影響を与えたのである。

前期では、秦の始皇帝による中国統一から、その後を継いだ前漢時代までの歴史を主な内容として扱う。とくに、各時代に活躍した改革者を講義の中軸に据え、その人物像や時代背景、改革の内容・結果・影響などを考察し、秦漢帝国の形成とその特徴について論じる。

## - - - 到達目標 - - -

中国古代に関する基礎的な知識を身に付け、皇帝制度の形成について説明できる。(知識・理解)

中国に関する書籍・報道・言論などを多角的に捉え、自分なりの考えをまとめることができる。(技能)

中国の歴史や社会に関心を持ち、自分なりに理解を深めようとする志向性を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義では、前回までの内容をふまえ、講義を進めていく。毎回、授業の板書やプリントを見直し、しっかりと復習すること。理解が不十分な部分は、初回で紹介した推薦図書などで確認をとっておくこと。(60分)

予習については、東洋史を含めて書籍・報道などで幅広く知識や教養を身に付けること。とくに、大学生として恥ずかしくない読書量を確保すること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

以下の基準・方法・配分で成績を評価する。

授業中に配布した感想カードに、感想・疑問・意見など自分なりの考えをまとめる：30%

\*なお、欠席は到達目標の達成にマイナスであり、減点の対象になり得るので、注意すること。当然、私語・遅刻など授業態度についても、成績評価の際に適宜考慮する。

定期試験の成績：70%

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。資料が必要な場合はプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

通年で受講することが望ましい。初回到講義のガイダンスを行うので、出席すること。講義の進行具合によって授業計画を変更する場合があります、その際は授業中に指示する。

また、講師および他の学生が円滑な授業を進めるうえで、これを阻害する一切の行為を禁止する。違反した学生に対しては厳正に対処するので、この点を承知した者のみ受講すること。

さらに、本講義は、板書を中心に進めるので、授業を集中して聞き、適宜ノートを取る。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 日中交流史
- 3 秦の始皇帝(1) 戦国時代から中国統一へ
- 4 秦の始皇帝(2) 始皇帝の統一政策
- 5 前漢の高祖(1) 項羽と劉邦
- 6 前漢の高祖(2) 高祖の統一政策
- 7 前漢の高祖(3) 高祖と冒頓単于
- 8 前漢の呂后 呂后は悪女か
- 9 前漢の武帝 全盛期の光と影
- 10 前漢の昭帝
- 11 前漢の宣帝
- 12 前漢の元帝
- 13 前漢の成帝
- 14 前漢の哀帝
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/a82e2tk3097cxb7u8jp8qapggjdlzb55v>)

## 久芳 崇

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・4時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義において対象とするのは、おおよそ1世紀以降、8世紀頃を中心に、現在に至るまでの中国を中心とする東洋の歴史である。しかしここではそれを単に「王朝交替」の枠内で孤立的に捉えようとするものではない。中国周辺諸地域や東アジア世界、そして時にはユーラシア世界をも包摂する広大な地理的空間のなかで、中国の歴史を相対的・客観的に捉え、それが周辺諸地域の多様な文化圏との密接な交流と相互作用のなかで流動的に変容・展開してゆく諸相を多面的に概括してゆこうとするものである。

本講義では、本年度前期の東洋史A(久芳担当)に続いて、漢民族の形成過程について着目し検討してゆきたい。現在の中華人民共和国の大多数(9割以上)を占めるとされる漢民族が、長期にわたる周辺諸地域との交流・抗争を経て、どのように変容してきたのか。こうした点を明らかにすることにより、今日我々が思い浮かべる単一的なイメージとしての漢民族が、極めて多様な民族との抗争と融合の結果、形成されたものであることを明らかとしてゆきたい。

## - - - 到達目標 - - -

気候変動により中国社会がどのように変化したかを説明できる。(知識・理解)

伝統文化とはどのようにして形成されるかを説明できる。(知識・理解)

遊牧民との融合により漢民族はどのように形成されたかを説明できる。(技能)

人口減と移民の流入という現代社会の問題を、過去の漢民族の形成の事例との比較から把握し、これを根拠に日本の将来像を独自に推測できるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前・事後に配付資料を熟読することが重要となる。(60分)  
 現代社会の諸問題について関心を抱き、新聞・雑誌などに積極的に目を通し、それらと歴史展開とを関連づけて理解することが重要となる。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

漢民族がいかにして形成されたか、伝統文化とはどのようにして形成されるかを理解し説明できるかを評価の基準とする。  
 定期試験により評価(100%)。

## - - - テキスト - - -

講義中に資料を配付。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本年度前期・東洋史A(久芳担当)を受講していることが望ましい。  
 資料の再配付は行わないので注意が必要である。  
 講義中の退室は基本的に不可である。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 気候変動と遊牧民の移動
3. 北魏から唐へ
4. 唐王朝は漢民族王朝か?
5. 漢民族の食習慣の変遷
6. 『齊民要術』の世界
7. 漢民族の住習慣の変遷
8. 敦煌壁画の世界
9. 『清明上河図』の世界
10. 『清俗紀聞』とイス
11. 漢民族の衣服の変遷
12. 漢民族の男女交流の変遷
13. 恋愛小説の誕生
14. 唐王朝よりのちの漢民族
15. 現代の漢民族

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/gl0ppmx8g3tgw0dkwonudaxycs3etfrz>

## 久芳 崇

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・5 時限 試験時間割：2022/01/25 4 時限

## - - - 概要 - - -

本講義において対象とするのは、おおよそ1世紀以降、8世紀頃を中心に、現在に至るまでの中国を中心とする東洋の歴史である。しかしここではそれを単に「王朝交替」の枠内で孤立的に捉えようとするものではない。中国周辺諸地域や東アジア世界、そして時にはユーラシア世界をも包摂する広大な地理的空間のなかで、中国の歴史を相対的・客観的に捉え、それが周辺諸地域の多様な文化圏との密接な交流と相互作用のなかで流動的に変容・展開してゆく諸相を多面的に概括してゆこうとするものである。

本講義では、本年度前期の東洋史A(久芳担当)に続いて、漢民族の形成過程について着目し検討してゆきたい。現在の中華人民共和国の大多数(9割以上)を占めるとされる漢民族が、長期にわたる周辺諸地域との交流・抗争を経て、どのように変容してきたのか。こうした点を明らかにすることにより、今日我々が思い浮かべる単一的なイメージとしての漢民族が、極めて多様な民族との抗争と融合の結果、形成されたものであることを明らかとしてゆきたい。

## - - - 到達目標 - - -

気候変動により中国社会がどのように変化したかを説明できる。(知識・理解)

伝統文化とはどのようにして形成されるかを説明できる。(知識・理解)

遊牧民との融合により漢民族はどのように形成されたかを説明できる。(技能)

人口減と移民の流入という現代社会の問題を、過去の漢民族の形成の事例との比較から把握し、これを根拠に日本の将来像を独自に推測できるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前・事後に配付資料を熟読することが重要となる。(60分)  
 現代社会の諸問題について関心を抱き、新聞・雑誌などに積極的に目を通し、それらと歴史展開とを関連づけて理解することが重要となる。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

漢民族がいかにして形成されたか、伝統文化とはどのようにして形成されるかを理解し説明できるかを評価の基準とする。定期試験により評価(100%)。

## - - - テキスト - - -

講義中に資料を配付。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本年度前期・東洋史A(久芳担当)を受講していることが望ましい。  
 資料の再配付は行わないので注意が必要である。  
 講義中の退室は基本的に不可である。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 気候変動と遊牧民の移動
3. 北魏から唐へ
4. 唐王朝は漢民族王朝か?
5. 漢民族の食習慣の変遷
6. 『齊民要術』の世界
7. 漢民族の住習慣の変遷
8. 敦煌壁画の世界
9. 『清明上河図』の世界
10. 『清俗紀聞』とイス
11. 漢民族の衣服の変遷
12. 漢民族の男女交流の変遷
13. 恋愛小説の誕生
14. 唐王朝よりのちの漢民族
15. 現代の漢民族

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/emapxxm39mu4etsxr6hljk1mmj9nppd3>



## 則松 彰文

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

近年、経済成長の著しい中国・インドなどのアジア諸国。それに比するところのヨーロッパは、経済的凋落が著しいばかりか、イギリスのEUからの離脱決定など、EUの相対的地位の低下は否めない。にも関わらず、今日においても、「先進」ヨーロッパ、「後進」とまで言えないにしても「発展途上」のアジアとの認識は、依然として根強く、かつ根深い。今日の状況は勿論のこと、歴史的に遡ってみて、この構図や認識の仕方は果たしては正しいのであろうか？ 本講義では、日本の幕末開港に焦点を当てつつ、19世紀世界における欧米列強とアジア世界の問題を考えたい。

## - - - 到達目標 - - -

19世紀の日本と世界に関する基礎的な知識を習得する。(知識・理解)

19世紀の日本と世界に関する歴史的な知識を文章にまとめることができる。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景・経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義の予習には、高校日本史Bおよび世界史Bの教科書を一読することを薦める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。1回の講義につき、15～20分の復習が望ましい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を30%、定期試験の結果を70%として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。

## - - - 参考書 - - -

講義中に詳細に紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本講義で取り上げるのは15世紀～19世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を入手しておく必要がある。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 幕末開港と東アジア(1)
3. 幕末開港と東アジア(2)
4. 19世紀の世界と東アジア(1)
5. 19世紀の世界と東アジア(2)
6. 幕末開港とオランダ(1)
7. 幕末開港とオランダ(2)
8. 幕末開港とイギリス(1)
9. 幕末開港とイギリス(2)
10. 幕末開港とアメリカ(1)
11. 幕末開港とアメリカ(2)
12. 日清戦争と19世紀世界
13. 日露戦争と20世紀世界
14. 19世紀世界におけるアジアの位置
15. 講義のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/dljnguohwvffnhyxm0n8weuz74hadyd>)

## 則松 彰文

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・4時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

近年、経済成長の著しい中国・インドなどのアジア諸国。それに比するところのヨーロッパは、経済的凋落が著しいばかりか、イギリスのEUからの離脱決定など、EUの相対的地位の低下は否めない。にも関わらず、今日においても、「先進」ヨーロッパ、「後進」とまで言えないにしても「発展途上」のアジアとの認識は、依然として根強く、かつ根深い。今日の状況は勿論のこと、歴史的に遡ってみて、この構図や認識の仕方は果たしては正しいのであろうか？ 本講義では、日本の幕末開港に焦点を当てつつ、19世紀世界における欧米列強とアジア世界の問題を考えたい。

## - - - 到達目標 - - -

19世紀の日本と世界に関する基礎的な知識を習得する。(知識・理解)

19世紀の日本と世界にあたる基礎的な知識を文章にまとめることが出来る。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景・経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義の予習には、高校日本史B、および世界史Bの教科書を一読することを薦める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。1回の講義につき、15～20分の復習が望ましい。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を30%、定期試験の結果を70%として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。

## - - - 参考書 - - -

講義中に詳細に紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

本講義で取り上げるのは15世紀～19世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を入手しておく必要がある。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 幕末開港と東アジア(1)
3. 幕末開港と東アジア(2)
4. 19世紀の世界と東アジア(1)
5. 19世紀の世界と東アジア(2)
6. 幕末開港とオランダ(1)
7. 幕末開港とオランダ(2)
8. 幕末開港とイギリス(1)
9. 幕末開港とイギリス(2)
10. 幕末開港とアメリカ(1)
11. 幕末開港とアメリカ(2)
12. 日清戦争と19世紀世界
13. 日露戦争と20世紀世界
14. 19世紀世界におけるアジアの位置
15. 講義のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/sqh4saqdoll3ro0xy10soxmtg4msgov6>

## 大澤 武司

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

現代中国の歩みはまさに「紆余曲折」であった。毛沢東を最高指導者として新中国を建国した中国共産党は、建国直後の中国を「新民主主義段階」と認識し、長期計画による社会主義社会の実現を目指した。だが、経済復興の進展と国内統治体制の確立は、最高指導者であった毛沢東に自信を抱かしめ、急進的な諸政策を採用させるに至った。いわゆる社会主義社会の実現を目指す「過渡期の総路線」の提起以来、「百花斉放・百家争鳴」や反右派闘争、さらには「大躍進」や「文化大革命」を通じて、「革命国家」の建設が最優先とされた毛沢東時代が終焉するまで、すなわち「前半30年」の現代中国は、中国人民にとってまさに苦難の連続であったといえる。

とはいえ、生産力の増大、すなわち経済建設を最優先とする「改革開放」政策を採用した鄧小平時代がすべての中国人民にバラ色の生活をもたらしたわけではない。社会格差の拡大をはじめ、解決すべき問題は山積している。他方、改めていうまでもなく、近年の中国の経済成長は驚くべきものである。そして、これを前提とする中国の「大国化」は、隣人である我々アジアの人々にとっても多大な影響を与えつつある。そこで本講義は、このように変貌を遂げつつある中国を理解するため、「社会主義国家」を標榜する中華人民共和国がいかなる道を歩んできたのか理解することを狙いとする。

\*なお、最新のニュースなども講義に織り込むため、適宜スケジュールが変更される場合もありうる。

## - - - 到達目標 - - -

中国現代史を軸とする東アジアの基礎的な歴史知識を獲得する。(知識・理解)

20世紀の東アジアに関する基礎的な歴史知識を自分の言葉で説明できる。(技能)

東アジアの近現代史に対する理解を通じて、現在の東アジアの国際社会を歴史的視点から考察することができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義はレジュメとパワーポイントを中心に進めるため、受講にあたっては、各回講義の際にレジュメの内容を確認のうえ、レジュメで提示する参考文献の該当箇所を事前に読み込み講義に臨むこと(予習・60分～90分程度)。授業ではコメントペーパーなどを用いた記述問題練習を行うので、その授業内容および記述問題練習の振り返りも授業終了後に行うこと(復習・60分～90分程度)。

なお、オンライン授業の場合は「記述練習問題」に代わって「課題」の形で授業内容に関する小レポートの提出を課す(60～90分程度)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業への参加態度・コメントペーパーにおける記述の内容などを含む平常点を50%、定期試験の結果を50%として総合的に評価する。試験の評価基準は、東洋史に関する基礎的な知識の有無、歴史的考察の有無、独自性などとする

## - - - テキスト - - -

特に指定しない。適宜、プリントなどを配布する。

## - - - 参考書 - - -

池田誠ほか編『図説中国近現代史(第3版)』法律文化社、2009年(ISBN978-4-589-03158-7)  
 田中仁ほか編『新・図説中国近現代史』法律文化社、2012年(ISBN978-4-589-03391-8)

## - - - 履修上の留意点 - - -

遅刻厳禁。授業中のスマートフォンなどの使用も原則、禁ずる。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(動画による授業オリエンテーション)
2. 「東洋史A」(「辛亥革命」以降のふりかえり)
3. 国民革命の時代(1) - 第一次国共合作から「北伐」へ
4. 国民革命の時代(2) - 「四・一二クーデタ」と中国の再統一
5. 侵略と抵抗(1) - 満州事変の衝撃
6. 侵略と抵抗(2) - 中国共産党の成長
7. 侵略と抵抗(3) - 第二次国共合作と盧溝橋事件
8. 革命の成就 - 太平洋戦争から国共内戦へ
9. 新中国の成立 - 統治基盤の確立と国家統合への挑戦
10. 毛沢東型社会主義建設の展開(1) - 反右派闘争と大躍進
11. 毛沢東型社会主義建設の展開(2)前半 - 経済調整政策と毛沢東の焦り
12. 毛沢東型社会主義建設の展開(2)後半 - 「内乱」としての文化大革命
13. 改革開放の時代(1) - 毛沢東時代から鄧小平時代へ
14. 改革開放の時代(2) - 鄧小平時代から「大国中国」の時代へ
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/xyphrontzmjgkngkbiknqdm4w27uj9po>

## 植松 慎悟

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・5時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

近くて遠い国、中国。わが国の歴史とも密接な関係をもつ中国は、国際的な影響力も大きく、この中国について学ぶことは非常に重要であろう。しかしながら、中国について学ぶとき、多くの現代日本人に欠けている視点が歴史的な考察・分析といえる。

周知のように、中国の歴史がもつ大きな特徴の一つが、2000年以上、皇帝を頂点とする国家体制を維持し続けたことである。それは、紀元前221年、秦の始皇帝が初めて中国を統一してから、最後の王朝である清朝を終焉させた辛亥革命（後1911年）に至るまでの長きにわたった。秦帝国（前221～前206）は短期間のうちに滅亡したものの、その後成立した漢帝国（前202～後220）は一時的な中断はある（前漢＝前202～後8、新＝8～23、後漢＝25～220）が、統一帝国としては400年以上、存続した。東アジア最古の帝国である秦漢帝国は、後世の中国王朝ばかりでなく、古代日本や朝鮮半島の国家形成にも大きな影響を与えたのである。

後期では、王莽の新王朝・後漢時代から、三国時代までの歴史を主な内容として扱う。とくに、各時代に活躍した改革者を講義の中軸に据え、その人物像や時代背景、改革の内容・結果・影響などを考察し、秦漢帝国の発展と後世への影響について論じる。

## - - - 到達目標 - - -

中国古代に関する基礎的な知識を身に付け、皇帝制度の発展について説明できる。(知識・理解)

中国に関する書籍・報道・言論などを多角的に捉え、自分なりの考えをまとめることができる。(技能)

中国の歴史や社会に関心を持ち、自分なりに理解を深めようとする志向性を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義では、前回までの内容をふまえ、講義を進めていく。毎回、授業の板書やプリントを見直し、しっかりと復習すること。理解が不十分な部分は、初回で紹介した推薦図書などで確認をとっておくこと。(60分)

予習については、東洋史を含めて書籍・報道などで幅広く知識や教養を身に付けること。とくに、大学生として恥ずかしくない読書量を確保すること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

以下の基準・方法・配分で成績を評価する。

授業中に配布した感想カードに、感想・疑問・意見など自分なりの考えをまとめる：30%

\*なお、欠席は到達目標の達成にマイナスであり、減点の対象になり得るので、注意すること。当然、私語・遅刻など授業態度についても、成績評価の際に適宜考慮する。

定期試験の成績：70%

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。資料が必要な場合はプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

前期開講の東洋史A(植松担当)と合わせて受講することが望ましい。初回に講義のガイダンスを行うので、出席すること。講義の進行具合によって授業計画を変更する場合があります。その際は授業中に指示する。

また、講師および他の学生が円滑な授業を進めるうえで、これを阻害する一切の行為を禁止する。違反した学生に対しては厳正に対処するので、この点を承知した者のみ受講すること。

さらに、本講義は、板書を中心に進めるので、授業を集中して聞き、適宜ノートを取ることを。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 新の王莽 王莽は「篡奪者」か
- 3 後漢の光武帝(1) 統一帝国の崩壊と再建
- 4 後漢の光武帝(2) 光武帝と「漢委奴国王」
- 5 後漢の明帝
- 6 後漢の章帝
- 7 後漢の外戚政権
- 8 後漢中期
- 9 後漢後期
- 10 後漢の衰退と三国時代の幕開け
- 11 魏の曹操
- 12 呉の孫権
- 13 蜀の劉備
- 14 三国時代と卑弥呼の外交
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/fb9f75kw483ydaf16aoc5ya4afz4l79w>

## 山根 直生

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：水・1時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

日本をふくむ東アジアの国際情勢は複雑さを増している。経済的には発展傾向にあるにもかかわらずどの国でも社会問題は数多く、また、長い相互交流の歴史を持ちながらも国際関係は穏やかでない。くわえてこれらの問題を報道し論評する際には、マスコミにせよインターネットにせよ、楽観・悲観、友好的・嫌悪的と、非常に極端な姿勢ばかりが目立つように思われてならない。

このゼミでは、こうしたアジアの国際関係・相互理解の問題に関して、歴史学などの成果も交えつつ率直に語り、学んでいくこととしたい。後期では特に「議論」の習熟にも力点を置く。

## - - - 到達目標 - - -

現代中国・アジアについての知識を文献やマスメディアから得る。(知識・理解)

専門分野を異にする人々に向かって発表できる。(技能)

専門分野を異にする人々と議論できる。(技能)

上記にふさわしい態度を体得する。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

教員からの配布物や自分の作成したレジュメだけでなく、同クラスの学友らのレジュメも丁寧に整理・保管する習慣をつけること(30分以上)。こうした地味な事務作業・情報処理能力の獲得こそ、研究の第一歩である。さらには、日頃から国際的報道にアンテナをはっておくこと(180分以上)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

二回の報告で報告者として資料に基づいた円滑な報告ができたか(配点70点程度)、参加者として報告内容を活かした議論に加われたか(同30点程度)、以上を評価の基準とする。

## - - - テキスト - - -

指定しない。ゼミ中に多数紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

ゼミ中の私語・飲食・着帽・携帯電話の使用は厳に禁じる。発表前の準備にあたっては各自最大限努力すること。遅刻欠席は一切認めない。四年生の就職活動など、やむを得ない場合には事前に連絡し許可を得ること。

ディスカッションに対して積極的な学生の参加を期待する。

## - - - 授業計画 - - -

- 01.イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 02.個別発表1-3人目(一人発表25分)
- 03.個別発表4-6人目(同上)
- 04.個別発表7-9人目(同上)
- 05.個別発表10-12人目(同上)
- 06.個別発表13-15人目(同上)
- 07.中間総括
- 08.個別発表二回目1-2人目(一人発表40分)
- 09.個別発表二回目3-4人目(同上)
- 10.個別発表二回目5-6人目(同上)
- 11.個別発表二回目7-8人目(同上)
- 12.個別発表二回目9-10人目(同上)
- 13.個別発表二回目11-12人目(同上)
- 14.個別発表二回目13-14人目(同上)
- 15.個別発表二回目15人目(同上)、総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/o02f6yzth199vqcntzulew0lk40j2423>

## 植松 慎悟

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・二部2時限 試験時間割：2022/01/21 夜2限

## - - - 概要 - - -

近くて遠い国、中国。わが国の歴史とも密接な関係をもつ中国は、国際的な影響力も大きく、この中国について学ぶことは非常に重要であろう。しかしながら、中国について学ぶとき、多くの現代日本人に欠けている視点が歴史的な考察・分析といえる。

周知のように、中国の歴史がもつ大きな特徴の一つが、2000年以上、皇帝を頂点とする国家体制を維持し続けたことである。それは、紀元前221年、秦の始皇帝が初めて中国を統一してから、最後の王朝である清朝を終焉させた辛亥革命(後1911年)に至るまでの長きにわたった。秦帝国(前221～前206)は短期間のうちに滅亡したものの、その後成立した漢帝国(前202～後220)は一時的な中断はある(前漢=前202～後8、新=8～23、後漢=25～220)が、統一帝国としては400年以上、存続した。東アジア最古の帝国である秦漢帝国は、後世の中国王朝ばかりでなく、古代日本や朝鮮半島の国家形成にも大きな影響を与えたのである。

後期では、王莽の新王朝・後漢時代から、三国時代までの歴史を主な内容として扱う。とくに、各時代に活躍した改革者を講義の中軸に据え、その人物像や時代背景、改革の内容・結果・影響などを考察し、秦漢帝国の発展と後世への影響について論じる。

## - - - 到達目標 - - -

中国古代に関する基礎的な知識を身に付け、皇帝制度の発展について説明できる。(知識・理解)

中国に関する書籍・報道・言論などを多角的に捉え、自分なりの考えをまとめることができる。(技能)

中国の歴史や社会に関心を持ち、自分なりに理解を深めようとする志向性を持つ。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

本講義では、前回までの内容をふまえ、講義を進めていく。毎回、授業の板書やプリントを見直し、しっかりと復習すること。理解が不十分な部分は、初回で紹介した推薦図書などで確認をとっておくこと。(60分)

予習については、東洋史を含めて書籍・報道などで幅広く知識や教養を身に付けること。とくに、大学生として恥ずかしくない読書量を確保すること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

以下の基準・方法・配分で成績を評価する。

授業中に配布した感想カードに、感想・疑問・意見など自分なりの考えをまとめる：30%

\*なお、欠席は到達目標の達成にマイナスであり、減点の対象になり得るので、注意すること。当然、私語・遅刻など授業態度についても、成績評価の際に適宜考慮する。

定期試験の成績：70%

## - - - テキスト - - -

特に使用しない。資料が必要な場合はプリントを配布する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

前期開講の東洋史A(植松担当)と合わせて受講することが望ましい。初回に講義のガイダンスを行うので、出席すること。講義の進行具合によって授業計画を変更する場合があります。その際は授業中に指示する。

また、講師および他の学生が円滑な授業を進めるうえで、これを阻害する一切の行為を禁止する。違反した学生に対しては厳正に対処するので、この点を承知した者のみ受講すること。

さらに、本講義は、板書を中心に進めるので、授業を集中して聞き、適宜ノートを取ることを。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 新の王莽 王莽は「篡奪者」か
- 3 後漢の光武帝(1) 統一帝国の崩壊と再建
- 4 後漢の光武帝(2) 光武帝と「漢委奴国王」
- 5 後漢の明帝
- 6 後漢の章帝
- 7 後漢の外戚政権
- 8 後漢中期
- 9 後漢後期
- 10 後漢の衰退と三国時代の幕開け
- 11 魏の曹操
- 12 呉の孫権
- 13 蜀の劉備
- 14 三国時代と卑弥呼の外交
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/g27dz0gd6s35ocgf27kky2rza6wfue4s>

## 植野 健造

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・3時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

## - - - 概要 - - -

芸術といえば、美術、音楽、文学、演劇、映画など、さまざまな表現と内容があります。この授業では、芸術一般ではなく、文化遺産を対象にします。文化遺産は、広義では人類の文化的活動によって生み出された建造物、遺跡、美術品、音楽、演劇などの有形（不動産・可動文化財）・無形の文化的遺産のことをいうが、ここでは、近年社会的に注目を集めている、おもに世界遺産、近代化遺産について、九州を中心に具体的事例をとりあげてみてゆきます。

美術館学芸員としての勤務経験がある教員が、テキストの講読を中心としながら、文化遺産、近代化遺産の保存や活用に関する身近な具体的事例説明もおりませ、時には画像映写なども行いながら授業を進めます。

## - - - 到達目標 - - -

- ・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概念を理解する。(知識・理解)
- ・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の代表的な事例を学び、教養として理解する。(知識・理解)
- ・文化遺産、世界遺産、近代化遺産を各自の以後の人生の中で時々身近な問題として考える態度を養う。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

教科書の次回授業該当部分を事前に読んでおくこと(予習目標60分)。

授業後に、専門用語などを復習、記憶しておくこと(復習目標60分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概要と事例を、どの程度まで理解できているかどうかを評価の基準とします。時々提出してもらった感想文などの平常点30%、定期試験70%を目安として総合的に評価します。

## - - - テキスト - - -

砂田光紀『九州遺産』、弦書房、2005年6月  
 ISBN-10：4902116359 ISBN-13：978-4902116359

## - - - 参考書 - - -

適宜指示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

文化遺産を含めた芸術に関心をもつことが前提です。そのためには身近にある文化遺産や近代化遺産に行ってみることを勧めます。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 九州の産業遺産 治水利水建造物等
- 3 九州の産業遺産 農業施設・用水路等 (1)
- 4 九州の産業遺産 農業施設・用水路等 (2)
- 5 九州の産業遺産 交通運輸建造物 (1)
- 6 九州の産業遺産 交通運輸建造物 (2)
- 7 九州の産業遺産 交通運輸建造物 (3)
- 8 九州の産業遺産 交通運輸建造物 (4)
- 9 九州の産業遺産 交通運輸建造物 (5)
- 10 九州の産業遺産 交通運輸建造物 (6)
- 11 九州の産業遺産 交通運輸建造物 (7)
- 12 九州の産業遺産 鉄道車両
- 13 九州の産業遺産 鉱山・炭坑施設 (1)
- 14 九州の産業遺産 鉱山・炭坑施設 (2)
- 15 九州の産業遺産 鉱山・炭坑施設 (3)

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/l1zphznh0o8x5kt7us2wnboahxjskfuy>)

## 落合 桃子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・二部 2 時限 試験時間割：2021/07/29 夜 2 限

## - - - 概要 - - -

高校までの世界史の授業では、文化史についてそう多く取り上げられませんが、文化もまた、国家や政治、経済などと同じく、歴史の重要な構成要素の一つです。

この講義では、古代から20世紀までの西洋美術の歴史を学びます。毎回、欧米の都市を一つ取り上げ、歴史を踏まえながら、その都市に関連する絵画・彫刻・建築などを見ていきます。それぞれの時代に繁栄した都市を軸にヨーロッパの美術史を学び、古代ギリシャから20世紀にいたる、約2500年の壮大な西洋文明の歴史を辿ります。

今日では、西洋美術の有名な絵や彫刻が、たとえばテレビのCMやCDのジャケットなどでもしばしば引用されています。西洋美術史を知ること、私たちが生きる現代をも新たな目で見られるようになるでしょう。

## - - - 到達目標 - - -

西洋の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、ノートなどを読み返すこと。(30分)
- ・講義を聴いて興味を持った芸術家や美術作品について、図書館やインターネットなどで調べること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。  
 毎回の講義時の課題30%、定期試験70%で評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは指定しません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

『カラー版西洋美術史(増補新装版)』 ISBN 978-4568400649  
 『新西洋美術史』 ISBN 978-4890135837

## - - - 履修上の留意点 - - -

・授業内容を理解する上で、高校までに学習した世界史の知識が必要になるため、必要に応じて各自復習してください。

## - - - 授業計画 - - -

第1回  
 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)  
 第2回  
 アテネ：古代ギリシャの美術  
 第3回  
 ローマ1：古代ローマの美術  
 第4回  
 イスタンブール：ビザンティンの美術  
 第5回  
 フィレンツェ：イタリア・ルネサンスの美術  
 第6回  
 ローマ2：ルネサンスとバロックの美術  
 第7回  
 ウィーン：北方ルネサンスの美術  
 第8回  
 マドリード：スペイン黄金時代の美術  
 第9回  
 アムステルダム：17世紀のオランダ美術  
 第10回  
 パリ1：フランス古典主義とロココの美術  
 第11回  
 ロンドン：18世紀のイギリス美術  
 第12回  
 パリ2：新古典主義とロマン主義  
 第13回  
 パリ3：印象派とキュビズム  
 第14回  
 ニューヨーク：ダダと第二次世界大戦後の美術  
 第15回  
 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/5ji7t71p3egurqu1mocglfgb4fjlbwt6>



## 浦上 雅司

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・1時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、まず、現代における美術の意義について具体的な作例をとりあげながら理解を進めます。その上で、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作品取り上げつつ、絵画の歴史を概観します。毎回、代表的な作家とその作品を紹介し、その特徴と時代背景などについて概説し、これによって絵画の見方（絵画作品を歴史的な枠組みに位置づけ、その特徴を理解すること）を体得することを目指します。またヨーロッパの主な美術館についても紹介します。

なお、毎回の授業スライド抄録や関連した情報を「ムードル」サイトで提供しています（「福岡大学、ムードル」で検索してください）。

さらに、授業では毎回、復習問題を配付しますから、授業後にやってみましょう。

## - - - 到達目標 - - -

西洋絵画史の主要な作品とその特質について知り、絵画の見方を体得する。（知識・理解）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。（30分）授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。（60分）

事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。（60分）

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。（60分）次回の冒頭に答え合わせをします。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回、感想カードを実施します。成績評価は定期試験と感想カードを総合して行います。定期試験6割、感想カード4割が大まかな目安。授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準です。感想カードは授業内容の理解度と作文能力によって評価されます。

## - - - テキスト - - -

特になし。

## - - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にあります）  
 ウェブ上のバーチャル美術館<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

## - - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業（動画配信）福岡の美術館と現代美術
- 2 現代美術の特質とその見方
- 3 西洋古絵画を「読む」
- 4 世界の美術館（その1）ルーヴル美術館
- 5 ルネサンス絵画の始まり：ジョット
- 6 ゴシック絵画の魅力：14世紀シエナ絵画
- 7 国際ゴシック絵画と写本装飾：ランブル兄弟
- 8 世界の美術館（その2）ウフィツィ美術館
- 9 イタリアルネサンス：マザッチョ
- 10 北方ルネサンス：ヤン・ファン・エイク
- 11 北方ルネサンスとイタリアルネサンス
- 12 世界の美術館（その3）美術史美術館
- 13 ルネサンス絵画と古代神話：ポッティチェリ
- 14 聖母の画家ラファエロ
- 15 授業内容の総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/abksu60hwzck9symsaopamkaety264om>

## 浦上 雅司

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、まず、現代における美術の意義について具体的な作例をとりあげながら理解を進めます。その上で、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作品取り上げつつ、絵画の歴史を概観します。毎回、代表的な作家とその作品を紹介し、その特徴と時代背景などについて概説し、これによって絵画の見方（絵画作品を歴史的な枠組みに位置づけ、その特徴を理解すること）を体得することを目指します。またヨーロッパの主な美術館についても紹介します。

なお、毎回の授業スライド抄録や関連した情報を「ムードル」サイトで提供しています（「福岡大学、ムードル」で検索してください）。

さらに、授業では毎回、復習問題を配付しますから、授業後にやってみましょう。

## - - - 到達目標 - - -

西洋絵画史の主要な作品とその特質について知り、絵画の見方を体得する。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60分)

事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60分)

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回、感想カードを実施します。成績評価は定期試験と感想カードを総合して行います。定期試験6割、感想カード4割が大まかな目安。授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準です。感想カードは授業内容の理解度と作文能力によって評価されます。

## - - - テキスト - - -

特になし。

## - - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にあります）  
 ウェブ上のバーチャル美術館<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

## - - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

## - - - 授業計画 - - -

1 スタートアップ授業（動画配信）福岡の美術館と現代美術

2 現代美術の特質とその見方

3 西洋古絵画を「読む」

4 世界の美術館（その1）ルーヴル美術館

5 ルネサンス絵画の始まり：ジョットー

6 ゴシック絵画の魅力：14世紀シエナ絵画

7 国際ゴシック絵画と写本装飾：ランブール兄弟

8 世界の美術館（その2）ウフィツィ美術館

9 イタリアルネサンス：マザッチョ

10 北方ルネサンス：ヤン・ファン・エイク

11 北方ルネサンスとイタリアルネサンス

12 世界の美術館（その3）美術史美術館

13 ルネサンス絵画と古代神話：ポッティチェリ

14 聖母の画家ラファエロ

15 授業内容の総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/gbfvjwxaq8tbu2ie3ocrdkynlyq07csa>)

## 浦上 雅司

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、まず、現代における美術の意義について具体的な作例をとりあげながら理解を進めます。その上で、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作品取り上げつつ、絵画の歴史を概観します。毎回、代表的な作家とその作品を紹介し、その特徴と時代背景などについて概説し、これによって絵画の見方（絵画作品を歴史的な枠組みに位置づけ、その特徴を理解すること）を体得することを目指します。またヨーロッパの主な美術館についても紹介します。

なお、毎回の授業スライド抄録や関連した情報を「ムードル」サイトで提供しています（「福岡大学、ムードル」で検索してください）。

さらに、授業では毎回、復習問題を配付しますから、授業後にやってみましょう。

## - - - 到達目標 - - -

西洋絵画史の主要な作品とその特質について知り、絵画の見方を体得する。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60分)

事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60分)

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回、感想カードを実施します。成績評価は定期試験と感想カードを総合して行います。定期試験6割、感想カード4割が大まかな目安。授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準です。感想カードは授業内容の理解度と作文能力によって評価されます。

## - - - テキスト - - -

特になし。

## - - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にあります）  
 ウェブ上のバーチャル美術館<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

## - - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業（動画配信）福岡の美術館と現代美術：福岡の美術館と現代美術
- 2 現代美術の特質とその見方
- 3 西洋古絵画を「読む」
- 4 世界の美術館（その1）ルーヴル美術館
- 5 ルネサンス絵画の始まり：ジョットー
- 6 ゴシック絵画の魅力：14世紀シエナ絵画
- 7 国際ゴシック絵画と写本装飾：ランブール兄弟
- 8 世界の美術館（その2）ウフィツィ美術館
- 9 イタリアルネサンス：マザッチョ
- 10 北方ルネサンス：ヤン・ファン・エイク
- 11 北方ルネサンスとイタリアルネサンス
- 12 世界の美術館（その3）美術史美術館
- 13 ルネサンス絵画と古代神話：ポッティチェリ
- 14 聖母の画家ラファエロ
- 15 授業内容の総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/kj8b7jp859opprj1beuzuqfo48w3r97q>)

## 浦上 雅司

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・5時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、まず、現代における美術の意義について具体的な作例をとりあげながら理解を進めます。その上で、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作品取り上げつつ、絵画の歴史を概観します。毎回、代表的な作家とその作品を紹介し、その特徴と時代背景などについて概説し、これによって絵画の見方（絵画作品を歴史的な枠組みに位置づけ、その特徴を理解すること）を体得することを目指します。またヨーロッパの主な美術館についても紹介します。

なお、毎回の授業スライド抄録や関連した情報を「ムードル」サイトで提供しています（「福岡大学、ムードル」で検索してください）。

さらに、授業では毎回、復習問題を配付しますから、授業後にやってみましょう。

## - - - 到達目標 - - -

西洋絵画史の主要な作品とその特質について知り、絵画の見方を体得する。（知識・理解）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。（30分）授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。（60分）

事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。（60分）

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。（60分）次回の冒頭に答え合わせをします。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回、感想カードを実施します。成績評価は定期試験と感想カードを総合して行います。定期試験6割、感想カード4割が大まかな目安。授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準です。感想カードは授業内容の理解度と作文能力によって評価されます。

## - - - テキスト - - -

特になし。

## - - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にあります）  
 ウェブ上のバーチャル美術館<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

## - - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業（動画配信）福岡の美術館と現代美術：福岡の美術館と現代美術
- 2 現代美術の特質とその見方
- 3 西洋古絵画を「読む」
- 4 世界の美術館（その1）ルーヴル美術館
- 5 ルネサンス絵画の始まり：ジョット
- 6 ゴシック絵画の魅力：14世紀シエナ絵画
- 7 国際ゴシック絵画と写本装飾：ランブル兄弟
- 8 世界の美術館（その2）ウフィツィ美術館
- 9 イタリアルネサンス：マザッチョ
- 10 北方ルネサンス：ヤン・ファン・エイク
- 11 北方ルネサンスとイタリアルネサンス
- 12 世界の美術館（その3）美術史美術館
- 13 ルネサンス絵画と古代神話：ポッティチェリ
- 14 聖母の画家ラファエロ
- 15 授業内容の総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/upwh6dm7qe22v57lqii67q949fcnel0>

## 落合 桃子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・3時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

## - - - 概要 - - -

高校までの世界史の授業では、文化史についてそう多く取り上げられませんが、文化もまた、国家や政治、経済などと同じく、歴史の重要な構成要素の一つです。

この講義では、古代から20世紀までの西洋美術の歴史を学びます。毎回、欧米の都市を一つ取り上げ、歴史を踏まえながら、その都市に関連する絵画・彫刻・建築などを見ていきます。それぞれの時代に繁栄した都市を軸にヨーロッパの美術史を学び、古代ギリシャから20世紀にいたる、約2500年の壮大な西洋文明の歴史を辿ります。

今日では、西洋美術の有名な絵や彫刻が、たとえばテレビのCMやCDのジャケットなどでもしばしば引用されています。西洋美術史を知ること、私たちが生きる現代をも新たな目で見られるようになるでしょう。

## - - - 到達目標 - - -

西洋の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、ノートなどを読み返すこと。(30分)
- ・講義を聴いて興味を持った芸術家や美術作品について、図書館やインターネットなどで調べること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。  
 毎回の講義時の課題30%、定期試験70%で評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは指定しません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

『カラー版西洋美術史（増補新装版）』 ISBN 978-4568400649  
 『新西洋美術史』 ISBN 978-4890135837

## - - - 履修上の留意点 - - -

- ・授業内容を理解する上で、高校までに学習した世界史の知識が必要になるため、必要に応じて各自復習してください。

## - - - 授業計画 - - -

第1回  
 イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）  
 第2回  
 アテネ：古代ギリシャの美術  
 第3回  
 ローマ1：古代ローマの美術  
 第4回  
 イスタンブール：ビザンティンの美術  
 第5回  
 フィレンツェ：イタリア・ルネサンスの美術  
 第6回  
 ローマ2：ルネサンスとバロックの美術  
 第7回  
 ウィーン：北方ルネサンスの美術  
 第8回  
 マドリード：スペイン黄金時代の美術  
 第9回  
 アムステルダム：17世紀のオランダ美術  
 第10回  
 パリ1：フランス古典主義とロココの美術  
 第11回  
 ロンドン：18世紀のイギリス美術  
 第12回  
 パリ2：新古典主義とロマン主義  
 第13回  
 パリ3：印象派とキュビズム  
 第14回  
 ニューヨーク：ダダと第二次世界大戦後の美術  
 第15回  
 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/r7a9irpf1wxg3drz1cuz5ovdq28toqjt>

## 落合 桃子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・4時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

## - - - 概要 - - -

高校までの世界史の授業では、文化史についてそう多く取り上げられませんが、文化もまた、国家や政治、経済などと同じく、歴史の重要な構成要素の一つです。

この講義では、古代から20世紀までの西洋美術の歴史を学びます。毎回、欧米の都市を一つ取り上げ、歴史を踏まえながら、その都市に関連する絵画・彫刻・建築などを見ていきます。それぞれの時代に繁栄した都市を軸にヨーロッパの美術史を学び、古代ギリシャから20世紀にいたる、約2500年の壮大な西洋文明の歴史を辿ります。

今日では、西洋美術の有名な絵や彫刻が、たとえばテレビのCMやCDのジャケットなどでもしばしば引用されています。西洋美術史を知ること、私たちが生きる現代をも新たな目で見られるようになるでしょう。

## - - - 到達目標 - - -

西洋の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、ノートなどを読み返すこと。(30分)
- ・講義を聴いて興味を持った芸術家や美術作品について、図書館やインターネットなどで調べること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。  
 毎回の講義時の課題30%、定期試験70%で評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは指定しません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

『カラー版西洋美術史（増補新装版）』 ISBN 978-4568400649  
 『新西洋美術史』 ISBN 978-4890135837

## - - - 履修上の留意点 - - -

・授業内容を理解する上で、高校までに学習した世界史の知識が必要になるため、必要に応じて各自復習してください。

## - - - 授業計画 - - -

第1回  
 イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）  
 第2回  
 アテネ：古代ギリシャの美術  
 第3回  
 ローマ1：古代ローマの美術  
 第4回  
 イスタンブール：ビザンティンの美術  
 第5回  
 フィレンツェ：イタリア・ルネサンスの美術  
 第6回  
 ローマ2：ルネサンスとバロックの美術  
 第7回  
 ウィーン：北方ルネサンスの美術  
 第8回  
 マドリード：スペイン黄金時代の美術  
 第9回  
 アムステルダム：17世紀のオランダ美術  
 第10回  
 パリ1：フランス古典主義とロココの美術  
 第11回  
 ロンドン：18世紀のイギリス美術  
 第12回  
 パリ2：新古典主義とロマン主義  
 第13回  
 パリ3：印象派とキュビズム  
 第14回  
 ニューヨーク：ダダと第二次世界大戦後の美術  
 第15回  
 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/8x3zcqcm5xdbadzr804jeht4lpc96t0>

川浪 千鶴

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：2021/07/24 1時限

--- 概要 ---

日本において、明治期に原点をもつ「美術館」という文化施設は、戦後以降全国各地で一斉に整備され、現在その数は公立、私立、類似施設まで含めると1000館近くにのぼるといわれます。演劇や音楽のホールと並んで、日本の芸術文化度を示すバロメーターともいわれる美術館は、私たちの暮らしにすっかり定着した感がありますが、その意義や成り立ち、歴史については、ほとんど知られていないのが現状です。

本講義では、近現代の日本において美術館はどのような理由で生まれ、どのように理解、受容され、どのように整備され、発展してきたのか、日本の美術館が歩んできた1870年代から2000年にかけての道のりを歴史的に考察することで、美術館の役割、そして社会の動向との関係性について検証していきます。

担当教員は、九州と四国の美術館学芸員として35年を超える勤務経験を持ち、戦後から現代の美術やミュージアム・マネジメント、地域アートと美術館などの専門性を活かした活動実績をもっています。さらに現在もインディペンデント・キュレーターとして、美術に関する企画や美術批評などの活動を継続しています。福岡・九州を始めとする全国の美術館の具体的な最近の事例をもとに、こうした実務経験を活かして、ビジュアル的にもわかりやすい授業を行っていきます。

--- 到達目標 ---

日本の近現代の美術館史に関する基本的な知識を身につけ、その概略を説明することができる(知識・理解)

日本の美術館の活動を通じて、社会と文化の動向に日常的に関心を持つことができる(知識・理解)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

授業内容に関連する美術館や展覧会などを随時紹介しますので、その公式サイトを自分なりにしっかり閲覧し、必ず復習してください。

また受講期間中に、オンラインイベントの利用や実際の訪問を含めて、自分が興味をもった美術館の、自分なりの利用体験を積極的に行ってみてください。(60～120分)

--- 成績評価基準および方法 ---

授業内容の理解度と自分の感想や考察を伝える能力について、下記の方法で総合的に評価します。

- 1, 定期試験（選択及び記述形式） 50%
- 2, 講義時に毎回提出してもらった感想カードによる、平常点と内容評価 50%

--- テキスト ---

使用しません。必要に応じて、年表資料などを配付します。

--- 参考書 ---

全国美術館会議 美術館リンク集  
<http://www.zenbi.jp/link.php>

--- 履修上の留意点 ---

本授業では、知識の受容だけではなく自分の目で見て、感じ、考えることに重きを置いています。これまでの美術館利用体験の有無は問いません。全国の美術館のライブな情報提供に努めますので、積極的な活用や参加、そして発言をおすすめします。

試験問題は授業内で扱った美術館事象からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定のしかたで反映されることとなります。授業後に毎回提出の感想カードは、上記のような理由から、平常点に加えて受講評価としても重視します。

なお、講義内容を予告なしに変更する場合があります。

--- 授業計画 ---

- 1, 【スタートアップ授業(動画配信)】  
はじめにー授業の目的とシラバスの解説
- 2, 美術館とは何か？(1)ー語源や定義
- 3, 美術館とは何か？(2)ー鑑賞の意味
- 4, 美術館の原点(1) 1870年代～1940年代  
一言葉から始まった美術館、建物ありきの美術館：東京府美術館から、東京都美術館へ
- 5, 美術館の原点(2)ーコレクションと美術館：大原美術館
- 6, 第1期・戦後から70年代の美術館(1)ー催事施設としての美術館：福岡県文化会館から、福岡県立美術館へ
- 7, 第1期・戦後から70年代の美術館(2)ー近代美術館の誕生：神奈川県立近代美術館、東京国立近代美術館、兵庫県立近代美術館
- 8, 第1期・戦後から70年代の美術館(3)ーブリジストン美術館と石橋美術館から、アーティゾン美術館へ
- 9, 第2期・70年代から80年代の美術館(1)ー機関としての美術館：北九州市立美術館
- 10, 第2期・70年代から80年代の美術館(2)ー福岡市美術館
- 11, 第2期・70年代から80年代の美術館(3)ー独自のコレクション形成を目指して：九州の県立美術館
- 12, 第3期・80年代後半から2000年の美術館(1)ー機能としての美術館：福岡アジア美術館
- 13, 第3期・80年代後半から2000年の美術館(2)ー現代美術館の誕生：広島市現代美術館、熊本市現代美術館
- 14, 第3期・80年代後半から2000年の美術館(3)ー各地の美術館ネットワークについて
- 15, まとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/9y19woj8p0zzsr89qdkvlu3o71mkhm63>

## 植野 健造

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・3時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

## - - - 概要 - - -

芸術といえば、美術、音楽、文学、演劇、映画など、さまざまな表現と内容があります。この授業では、芸術一般ではなく、文化遺産を対象にします。文化遺産は、広義では人類の文化的活動によって生み出された建造物、遺跡、美術品、音楽、演劇などの有形（不動産・可動文化財）・無形の文化的所産のことをいうが、ここでは、近年社会的に注目を集めている、おもに世界遺産、近代化遺産について、九州を中心に具体的事例をとりあげてみてゆきます。

美術館学芸員としての勤務経験がある教員が、テキストの講読を中心としながら、文化遺産、近代化遺産の保存や活用に関する身近な具体的事例説明もおりませ、時には画像映写なども行いながら授業を進めます。

## - - - 到達目標 - - -

- ・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概念を理解する。(知識・理解)
- ・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の代表的な事例を学び、教養として理解する。(知識・理解)
- ・文化遺産、世界遺産、近代化遺産を各自の以後の人生の中で時々身近な問題として考える態度を養う。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

教科書の次回授業該当部分を事前に読んでおくこと(予習目標60分)。

授業後に、専門用語などを復習、記憶しておくこと(復習目標60分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概要と事例を、どの程度まで理解できているかどうかを評価の基準とします。時々提出してもらった感想文などの平常点30%、定期試験70%を目安として総合的に評価します。

## - - - テキスト - - -

砂田光紀『九州遺産』、弦書房、2005年6月  
 ISBN-10：4902116359 ISBN-13：978-4902116359

## - - - 参考書 - - -

適宜指示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

文化遺産を含めた芸術に関心をもつことが前提です。そのためには身近にある文化遺産や近代化遺産に行ってみることを勧めます。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 九州の産業遺産 鉱山・炭坑施設 (1)
- 3 九州の産業遺産 鉱山・炭坑施設 (2)
- 4 九州の産業遺産 鉱山・炭坑施設 (3)
- 5 九州の産業遺産 工場・関連施設
- 6 九州の産業遺産 造船施設
- 7 九州の産業遺産 軍事・基地施設
- 8 九州の産業遺産 軍事・要塞・砲台
- 9 九州の産業遺産 軍事・原爆被爆構造物
- 10 九州の産業遺産 公共・公会堂
- 11 九州の産業遺産 公共・学校
- 12 九州の産業遺産 公共・宗教施設
- 13 九州の産業遺産 商業・ホテル
- 14 九州の産業遺産 商業・銀行
- 15 九州の産業遺産 商業・店舗群

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/1cy3tnvogs0vapw0wrj2iz54znyapzr3>



## 落合 桃子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・二部 2 時間 試験時間割：2022/01/20 夜 2 限

## - - - 概要 - - -

西洋世界において、日本や日本の文化、芸術は、どのように受け入れられ、理解されてきたのでしょうか。この講義では、欧米における日本と日本美術の受容について、歴史的に考察していきます。

日本はマルコ・ポーロの『東方見聞録（世界の記述）』で「チバング（ジバング）島」として紹介され、この記述を元に西洋の地図や地球儀の中に日本の姿が描かれるようになります。16世紀にポルトガル商人やキリスト教宣教師などが来日すると、日本では南蛮美術が制作され、ヨーロッパでも日本のことが知られるようになっていきます。17世紀には有田焼（古伊万里）がヨーロッパに輸出され、人気を博しました。出島に滞在した医師のケンペルやシーボルトは帰国後、日本に関する著作を発表し、ヨーロッパにおける日本研究の礎を築きます。そして幕末になって日本が開国すると、人やモノの交流が増大し、万国博覧会なども契機となって、パリを中心にジャポニスムが流行します。20世紀になると、欧米の美術界で活躍する日本人も登場するようになっていきます。

日本の文化を西洋からの視点から考えるのは、少し難しく感じられるかもしれませんが、しかし、いわゆるグローバル化が進む中、私たちはこれまで以上に異文化の人々と関わりながら生きていくことになるでしょう。この授業を通じて、自分たちの文化や芸術を相対的に考える視点を身に付けてもらいたいと考えています。

## - - - 到達目標 - - -

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30分)
- ・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。

毎回の講義時の課題30%、定期試験70%で評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは指定しません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・授業内容を理解する上で、高校までに学習した世界史や日本史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習してください。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回  
イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回  
西洋美術における「アジア」の表現
- 第3回  
西洋の地図に描かれた日本
- 第4回  
キリスト教の伝来と南蛮美術
- 第5回  
古伊万里のヨーロッパへの伝播
- 第6回  
ケンペルとシーボルトの日本研究
- 第7回  
ヨーロッパ人が見た幕末・明治の日本
- 第8回  
フランスにおけるジャポニスム 1
- 第9回  
フランスにおけるジャポニスム 2
- 第10回  
ドイツ語圏におけるジャポニスム
- 第11回  
アメリカにおけるジャポニスム
- 第12回  
藤田嗣治とエコール・ド・パリ
- 第13回  
20世紀前半のアメリカで活躍した日本人画家たち
- 第14回  
欧米で活躍する日本人の現代美術家たち
- 第15回 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/7vizmymzsi4bnb7p3pt5sg7jioc9in6>

浦上 雅司

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

この講義では、現代美術の最も重要な源泉であった19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解することを目指します。具体的には、まず、われわれの身の回りにある美術の現状を確認し、その成り立ちの歴史的経緯を18世紀から19世紀にかけての美術趣味の変化から説明します。

その上で、新古典主義からロマン主義、リアリズム、印象主義と連なるフランス19世紀絵画の流れを、19世紀アカデミスム絵画との関連も視野に入れながら概説します。その間、当該時期の作品を収集する世界の主要な美術館とそのコレクションについても紹介します。

なお、毎回の授業のスライド抄録など学習を助ける情報をムードルで提供します（「福岡大学 ムードル」で検索してください）から、積極的に活用しましょう。

また、毎回、事後学習を助けるための復習問題を配付しますから、授業後にやってみるようにしましょう。

- - - 到達目標 - - -

19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60分)

事後学習：毎回提示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60分)

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回感想カードを提出してもらいます。成績評価は定期試験、感想カードを総合して行いますが、定期試験6割、感想カード4割が目安です。

定期試験では、授業で毎回提示するポイントの理解度、作文能力の優劣が評価の基準となります。また、感想カードは、授業内容についての関心の高さや作文力によって評価されます。

- - - テキスト - - -

特になし。

- - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にそろっています）  
 ウェブ上の美術館  
<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

- - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業（動画配信）現代美術の状況とその起源
- 2 ロマン主義の美術観
- 3 ロココの魅力：ワトー
- 4 世界の美術館（1）ロンドン、ナショナルギャラリー
- 5 ロココへの反発：18世紀半ばの趣味の変化
- 6 新古典主義絵画：ダヴィッド
- 7 フランス革命期の美術
- 8 世界の美術館（2）ドレスデン国立絵画館
- 9 イギリスにおける新しい絵画動向
- 10 19世紀フランスのアカデミスム絵画
- 11 ロマン派：ドラクロワ
- 12 世界の美術館（その3）アルテ・ピナコテーク美術館
- 13 リアリズム（1）：クールベ
- 14 リアリズム（2）：マネと印象派
- 15 19世紀フランス絵画の殿堂オルセー美術館

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/q0vawcpl7at8zbnkw1aur7ah87ra32hh>

浦上 雅司

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

この講義では、現代美術の最も重要な源泉であった19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解することを目指します。具体的には、まず、われわれの身の回りにある美術の現状を確認し、その成り立ちの歴史的経緯を18世紀から19世紀にかけての美術趣味の変化から説明します。

その上で、新古典主義からロマン主義、リアリズム、印象主義と連なるフランス19世紀絵画の流れを、19世紀アカデミスム絵画との関連も視野に入れながら概説します。その間、当該時期の作品を収集する世界の主要な美術館とそのコレクションについても紹介します。

なお、毎回の授業のスライド抄録など学習を助ける情報をムードルで提供します（「福岡大学 ムードル」で検索してください）から、積極的に活用しましょう。

また、毎回、事後学習を助けるための復習問題を配付しますから、授業後にやってみるようにしましょう。

- - - 到達目標 - - -

19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60分)

事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60分)

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回感想カードを提出してもらいます。成績評価は定期試験、感想カードを総合して行いますが、定期試験6割、感想カード4割が目安です。

定期試験では、授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が評価の基準となります。また、感想カードは、授業内容についての関心の高さや作文力によって評価されます。

- - - テキスト - - -

特になし。

- - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にそろっています）  
 ウェブ上の美術館  
<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

- - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業（動画配信）現代美術の状況とその起源
- 2 ロマン主義の美術観
- 3 ロココの魅力：ワトー
- 4 世界の美術館（1）ロンドン、ナショナルギャラリー
- 5 ロココへの反発：18世紀半ばの趣味の変化
- 6 新古典主義絵画：ダヴィッド
- 7 フランス革命期の美術
- 8 世界の美術館（2）ドレスデン国立絵画館
- 9 イギリスにおける新しい絵画動向
- 10 19世紀フランスのアカデミスム絵画
- 11 ロマン派：ドラクロワ
- 12 世界の美術館（その3）アルテ・ピナコテーク美術館
- 13 リアリズム（1）：クールベ
- 14 リアリズム（2）：マネと印象派
- 15 19世紀フランス絵画の殿堂オルセー美術館

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/atj3g9sjtozt87mroq9kwd5mgxy8ofoh>

浦上 雅司

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

この講義では、現代美術の最も重要な源泉であった19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解することを目指します。具体的には、まず、われわれの身の回りにある美術の現状を確認し、その成り立ちの歴史的経緯を18世紀から19世紀にかけての美術趣味の変化から説明します。

その上で、新古典主義からロマン主義、リアリズム、印象主義と連なるフランス19世紀絵画の流れを、19世紀アカデミスム絵画との関連も視野に入れながら概説します。その間、当該時期の作品を収集する世界の主要な美術館とそのコレクションについても紹介します。

なお、毎回の授業のスライド抄録など学習を助ける情報をムードルで提供します（「福岡大学 ムードル」で検索してください）から、積極的に活用しましょう。

また、毎回、事後学習を助けるための復習問題を配付しますから、授業後にやってみるようにしましょう。

- - - 到達目標 - - -

19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60分)

事後学習：毎回提示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60分)

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回感想カードを提出してもらいます。成績評価は定期試験、感想カードを総合して行いますが、定期試験6割、感想カード4割が目安です。

定期試験では、授業で毎回提示するポイントの理解度、作文能力の優劣が評価の基準となります。また、感想カードは、授業内容についての関心の高さや作文力によって評価されます。

- - - テキスト - - -

特になし。

- - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にそろっています）  
 ウェブ上の美術館  
<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

- - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業（動画配信）現代美術の状況とその起源
- 2 ロマン主義の美術観
- 3 ロココの魅力：ワトー
- 4 世界の美術館（1）ロンドン、ナショナルギャラリー
- 5 ロココへの反発：18世紀半ばの趣味の変化
- 6 新古典主義絵画：ダヴィッド
- 7 フランス革命期の美術
- 8 世界の美術館（2）ドレスデン国立絵画館
- 9 イギリスにおける新しい絵画動向
- 10 19世紀フランスのアカデミスム絵画
- 11 ロマン派：ドラクロワ
- 12 世界の美術館（その3）アルテ・ピナコテーク美術館
- 13 リアリズム（1）：クールベ
- 14 リアリズム（2）：マネと印象派
- 15 19世紀フランス絵画の殿堂オルセー美術館

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/qy4i97a2cbqu5140h31e3u0cl5piprsf>

## 浦上 雅司

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

## - - - 概要 - - -

この講義では、現代美術の最も重要な源泉であった19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解することを目指します。具体的には、まず、われわれの身の回りにある美術の現状を確認し、その成り立ちの歴史的経緯を18世紀から19世紀にかけての美術趣味の変化から説明します。

その上で、新古典主義からロマン主義、リアリズム、印象主義と連なるフランス19世紀絵画の流れを、19世紀アカデミスム絵画との関連も視野に入れながら概説します。その間、当該時期の作品を収集する世界の主要な美術館とそのコレクションについても紹介します。

なお、毎回の授業のスライド抄録など学習を助ける情報をムードルで提供します（「福岡大学 ムードル」で検索してください）から、積極的に活用しましょう。

また、毎回、事後学習を助けるための復習問題を配付しますから、授業後にやってみるようにしましょう。

## - - - 到達目標 - - -

19世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解する。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60分)

事後学習：毎回提示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60分)

ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期筆記試験を課します。また、毎回感想カードを提出してもらいます。成績評価は定期試験、感想カードを総合して行いますが、定期試験6割、感想カード4割が目安です。

定期試験では、授業で毎回提示するポイントの理解度、作文能力の優劣が評価の基準となります。また、感想カードは、授業内容についての関心の高さや作文力によって評価されます。

## - - - テキスト - - -

特になし。

## - - - 参考書 - - -

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にそろっています）  
 ウェブ上の美術館  
<http://www.wga.hu/index1.html>  
<http://www.artcyclopedia.com/>

## - - - 履修上の留意点 - - -

まじめな受講態度を求めます。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 スタートアップ授業（動画配信）現代美術の状況とその起源
- 2 ロマン主義の美術観
- 3 ロココの魅力：ワトー
- 4 世界の美術館（1）ロンドン、ナショナルギャラリー
- 5 ロココへの反発：18世紀半ばの趣味の変化
- 6 新古典主義絵画：ダヴィッド
- 7 フランス革命期の美術
- 8 世界の美術館（2）ドレスデン国立絵画館
- 9 イギリスにおける新しい絵画動向
- 10 19世紀フランスのアカデミスム絵画
- 11 ロマン派：ドラクロワ
- 12 世界の美術館（その3）アルテ・ピナコテーク美術館
- 13 リアリズム（1）：クールベ
- 14 リアリズム（2）：マネと印象派
- 15 19世紀フランス絵画の殿堂オルセー美術館

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/f1uy0ncpd9ufg3gb7wnky2sr3sdb6dpt>

落合 桃子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

西洋世界において、日本や日本の文化、芸術は、どのように受け入れられ、理解されてきたのでしょうか。この講義では、欧米における日本と日本美術の受容について、歴史的に考察していきます。

日本はマルコ・ポーロの『東方見聞録（世界の記述）』で「チバング（ジバング）島」として紹介され、この記述を元に西洋の地図や地球儀の中に日本の姿が描かれるようになります。16世紀にポルトガル商人やキリスト教宣教師などが来日すると、日本では南蛮美術が制作され、ヨーロッパでも日本のことが知られるようになっていきます。17世紀には有田焼（古伊万里）がヨーロッパに輸出され、人気を博しました。出島に滞在した医師のケンペルやシーボルトは帰国後、日本に関する著作を発表し、ヨーロッパにおける日本研究の礎を築きます。そして幕末になって日本が開国すると、人やモノの交流が増大し、万国博覧会なども契機となって、パリを中心にジャポニスムが流行します。20世紀になると、欧米の美術界で活躍する日本人も登場するようになっていきます。

日本の文化を西洋からの視点から考えるのは、少し難しく感じられるかもしれませんが、しかし、いわゆるグローバル化が進む中、私たちはこれまで以上に異文化の人々と関わりながら生きていくことになるでしょう。この授業を通じて、自分たちの文化や芸術を相対的に考える視点を身に付けてもらいたいと考えています。

- - - 到達目標 - - -

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30分)
- ・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。  
 毎回の講義時の課題30%、定期試験70%で評価します。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。プリントを配布します。

- - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

・授業内容を理解する上で、高校までに学習した世界史や日本史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習してください。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回 イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回 西洋美術における「アジア」の表現
- 第3回 西洋の地図に描かれた日本
- 第4回 キリスト教の伝来と南蛮美術
- 第5回 古伊万里のヨーロッパへの伝播
- 第6回 ケンペルとシーボルトの日本研究
- 第7回 ヨーロッパ人が見た幕末・明治の日本
- 第8回 フランスにおけるジャポニスム 1
- 第9回 フランスにおけるジャポニスム 2
- 第10回 ドイツ語圏におけるジャポニスム
- 第11回 アメリカにおけるジャポニスム
- 第12回 藤田嗣治とエコール・ド・パリ
- 第13回 20世紀前半のアメリカで活躍した日本人画家たち
- 第14回 欧米で活躍する日本人の現代美術家たち
- 第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/yzbwwwmf8vx1vrr89dvsz3ap3jm2d7mdj)

## 落合 桃子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・4時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

## - - - 概要 - - -

西洋世界において、日本や日本の文化、芸術は、どのように受け入れられ、理解されてきたのでしょうか。この講義では、欧米における日本と日本美術の受容について、歴史的に考察していきます。

日本はマルコ・ポーロの『東方見聞録（世界の記述）』で「チバング（ジバング）島」として紹介され、この記述を元に西洋の地図や地球儀の中に日本の姿が描かれるようになります。16世紀にポルトガル商人やキリスト教宣教師などが来日すると、日本では南蛮美術が制作され、ヨーロッパでも日本のことが知られるようになっていきます。17世紀には有田焼（古伊万里）がヨーロッパに輸出され、人気を博しました。出島に滞在した医師のケンペルやシーボルトは帰国後、日本に関する著作を発表し、ヨーロッパにおける日本研究の礎を築きます。そして幕末になって日本が開国すると、人やモノの交流が増大し、万国博覧会なども契機となって、パリを中心にジャポニスムが流行します。20世紀になると、欧米の美術界で活躍する日本人も登場するようになっていきます。

日本の文化を西洋からの視点から考えるのは、少し難しく感じられるかもしれませんが、しかし、いわゆるグローバル化が進む中、私たちはこれまで以上に異文化の人々と関わりながら生きていくことになるでしょう。この授業を通じて、自分たちの文化や芸術を相対的に考える視点を身に付けてもらいたいと考えています。

## - - - 到達目標 - - -

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。（30分）
- ・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。（60分）

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。

毎回の講義時の課題30%、定期試験70%で評価します。

## - - - テキスト - - -

テキストは指定しません。プリントを配布します。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

・授業内容を理解する上で、高校までに学習した世界史や日本史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習してください。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回  
イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回  
西洋美術における「アジア」の表現
- 第3回  
西洋の地図に描かれた日本
- 第4回  
キリスト教の伝来と南蛮美術
- 第5回  
古伊万里のヨーロッパへの伝播
- 第6回  
ケンペルとシーボルトの日本研究
- 第7回  
ヨーロッパ人が見た幕末・明治の日本
- 第8回  
フランスにおけるジャポニスム 1
- 第9回  
フランスにおけるジャポニスム 2
- 第10回  
ドイツ語圏におけるジャポニスム
- 第11回  
アメリカにおけるジャポニスム
- 第12回  
藤田嗣治とエコール・ド・パリ
- 第13回  
20世紀前半のアメリカで活躍した日本人画家たち
- 第14回  
欧米で活躍する日本人の現代美術家たち
- 第15回 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/4w33dgks8ers6pypcl70oegpgyz4bmyl>

## 川浪 千鶴

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

## --- 概要 ---

明治時代にその原点を持つ日本の美術館は、今や公立、私立、類似施設まで含めると1000館近くにのぼるといわれ、芸術文化の拠点のひとつとして、私たちの暮らしにすっかり定着した感があります。

しかし、そもそも美術館は何のために存在し、どんな役割を担った文化施設なのでしょう？

美術館は元来不変的な存在ではなく、その時代の求めによって誕生し、時代ごとに変化し続け現在に至っています。政治や経済など、社会のあり方を映し出す鏡のような存在ということが出来ます。コロナ禍の時代は私たちに、これまでの当たり前が当たり前ではないという事実を突きつけています。新しい日常生活のなか、私たちの姿を映し出す鏡ともいえるアートや美術館のあり方を探りながら、社会と美術館の現在とこれからについて併せ考えてみたいと思います。

本講義では、日本の美術館の歴史、設立理念、コレクション、活動事例などをもとに、美術館の可能性をつぶさに検証していきます。特に第4期・2000年以降の美術館の開館動向や美術事象をテーマ別に紹介し、美術館の未来を拓く潜在力について、多角的に探っていく予定です。

担当教員は、九州と四国の美術館学芸員として35年を超える勤務経験と、戦後から現代の美術やミュージアム・マネジメント、地域アートと美術館などの専門性を活かした活動実績を持っています。さらに現在もインディペンデント・キュレーターとして、美術に関する企画や美術批評などの活動を続けています。福岡・九州を始めとする全国の美術館とのネットワークを活かした最新の資料や具体的な事例をもとに、こうした実務経験を活かして、ビジュアル的にもわかりやすい受領を行っていきます。

## --- 到達目標 ---

現代日本を代表的する美術館の理念や活動事例を学び、その社会的な意義を説明することができる(知識・理解)

## --- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

授業内容に関連する美術館や展覧会などを随時紹介しますので、その公式サイトを自分なりにしっかり閲覧し、必ず復習してください。

また受講期間中に、実際の美術館訪問やオンラインイベントの利用など、自分が興味を持った美術館の利用体験を積極的に行ってみてください。(60分～120分)

## --- 成績評価基準および方法 ---

授業内容の理解度と自分の感想や考えをまとめ伝える能力について、下記の方法で総合的に評価します。

- 1, 定期試験(記述形式) 50%
- 2, 講義時に毎回提出してもらった感想カードによる、平常点と内容評価 50%

## --- テキスト ---

使用しません。必要に応じて、年表資料などを配付します。

## --- 参考書 ---

全国美術館会議 美術館リンク集  
<http://www.zenbi.jp/link.php>

## --- 履修上の留意点 ---

本授業では、知識の受容だけではなく自分の目で見て、感じ、考えることに重きをおいています。これまでの美術館利用体験の有無は問いません。全国の美術館のライブな情報提供に努めますので、積極的な活用や参加、そして発言をおすすめします。

試験問題は授業内で扱った美術館事象からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定のしかたで反映されることとなります。授業後に毎回提出の感想カードは、上記のような理由から、平常点に加えて受講評価としても重視します。

なお、講義内容を予告なしに変更する場合があります。

## --- 授業計画 ---

- 1, 【スタートアップ授業(動画配信)】はじめにー授業の目的とシラバスの解説
- 2, 美術館とは何か?ー歴史と使命(ミッション)とコレクション
- 3, 「システムとしての美術館」とは何か?
- 4, 事例(1) 地域と風土: 青森アートミュージアム5館連携協議会
- 5, 事例(2) 大都市の新美術館: 大阪中之島美術館、京都市京セラ美術館
- 6, 事例(3) アートの定義を問い直す: 鞆の津ミュージアム
- 7, 事例(4) 変貌するミッション: 熊本市現代美術館
- 8, 事例(5) 教育とケア: 東京都美術館
- 9, 事例(6) 危機の時代・地震と津波: リアス・アーク美術館
- 10, 事例(7) 危機の時代・コロナ: 世田谷美術館
- 11, 事例(8) 観光と歴史、自然: 金沢21世紀美術館、ベネッセアートサイト直島
- 12, 事例(9) 社会教育と住民参画: つなぎ美術館
- 13, 事例(10) ジェンダー: 東京芸術大学美術館
- 14, 事例(11) ネットワークと多様性: アーツ前橋
- 15, まとめー「フォーラムとしての美術館」とは?

## --- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/bcn24yla595i51ggcol2h85zfdqg7sqr>



## 福元 健之

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・3 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

高校までの世界史で暗記に苦しんだ、あるいは周りでそういわれているので避けてきた、というひとは多いのではないのでしょうか。しかし、この講義において暗記は重要ではありません。一般的にイメージされるような、教科書の記述にそった「完璧な」解答がどこかに存在し、それを再現することがよい点を取るのだというのは、大学の歴史の講義には相応しくないのです。そういう答えがあり、これ以上の研究の余地がないならば、学問としての歴史にはもはや意義がないといわざるをえません。いまなお大学で歴史の講義があるのは、過去の様々なトピックをめぐって様々な見解がぶつかっており、決着をみないためです。

本講義では、このような見解が相克する「論点」から、ヨーロッパ近現代史（おおまかにいって、18世紀後半から21世紀まで）について解説します。それぞれのテーマに関する事実関係についてももちろん説明しますが、それ以上に重要なのは、そこにどのような現代的な意味があるのかをみなさんと考えることです。例えば、「イギリス産業革命」をめぐっては、イギリスがどのような条件のもと工業化を達成したのか、経済成長の程度はどのように数値化できるのか、人びとの生活はどのように変化したのか、について考えます。今日わたしたちは、環境汚染や経済成長の限界といった問題に直面していますが、工業化の歴史には、このような現代的課題を相対視する素材があふれています。本講義では、そうした素材を扱います。いまを生きるわたしたちが過去と対話し、未来について考える実践を通じて、ヨーロッパ近現代史を学びましょう。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパ近現代史の基本的な流れを理解できる(知識・理解)

事実や文脈に照らして論理的に考えることができる(技能)

現代の問題に対して歴史的な視点に立つことができる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義内容の復習をしてください(目安は1時間)。疑問点がなくならないようでしたら、ミニッツ・ペーパーに書いてください。また、講義中に関連する文献などを紹介しますので、興味をもったものについて各自で読んでみてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

下記 から成績は評価します。

ミニッツ・ペーパーの内容(30%)：ミニッツ・ペーパーでは、講義内容の理解度と、質問などによる積極的な受講態度を重視します。

定期試験(70%)：定期試験では、いくつかの設問から任意のものを選択し、論述する方式の試験をします。講義で扱った出来事や概念の理解度、論理的な記述、独創的な発想、明晰な文章にするための表現の工夫などを重視します。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中に資料を配布します。

## - - - 参考書 - - -

適宜指示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

他の履修者の迷惑になるような私語などはしないでください。詳しいことは、イントロダクションで説明します。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. イギリス産業革命
3. フランス革命
4. 社会主義
5. 民衆運動
6. ジェンダーと人種
7. 移民
8. 第一次世界大戦
9. ナチズム
10. 第二次世界大戦と大量虐殺
11. 福祉国家
12. 環境問題
13. 欧州統合
14. 歴史認識問題
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/i9v77zfy9005y9xfi902oya1f4ug7nv3>)

## 福元 健之

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

高校までの世界史で暗記に苦しんだ、あるいは周りでそういわれているので避けてきた、というひとは多いのではないのでしょうか。しかし、この講義において暗記は重要ではありません。一般的にイメージされるような、教科書の記述にそった「完璧な」解答がどこかに存在し、それを再現することがよい点を取るのだというのは、大学の歴史の講義には相応しくないのです。そういう答えがあり、これ以上の研究の余地がないならば、学問としての歴史にはもはや意義がないといわざるをえません。いまなお大学で歴史の講義があるのは、過去の様々なトピックをめぐって様々な見解がぶつかっており、決着をみないためです。

本講義では、この様々な見解が相克する「論点」から、ヨーロッパ近現代史（おおまかにいって、18世紀後半から21世紀まで）について解説します。それぞれのテーマに関する事実関係についてももちろん説明しますが、それ以上に重要なのは、そこにどのような現代的な意味があるのかをみなさんと考えることです。例えば、「イギリス産業革命」をめぐっては、イギリスがどのような条件のもと工業化を達成したのか、経済成長の程度はどのように数値化できるのか、人びとの生活はどのように変化したのか、について考えます。今日わたしたちは、環境汚染や経済成長の限界といった問題に直面していますが、工業化の歴史には、このような現代的課題を相対視する素材があふれています。本講義では、そうした素材を扱います。いまを生きるわたしたちが過去と対話し、未来について考える実践を通じて、ヨーロッパ近現代史を学びましょう。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパ近現代史の基本的な流れを理解できる(知識・理解)

事実や文脈に照らして論理的に考えることができる(技能)

現代の問題に対して歴史的な視点に立つことができる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義内容の復習をしてください(目安は1時間)。疑問点がなくならないようでしたら、ミニッツ・ペーパーに書いてください。また、講義中に関連する文献などを紹介しますので、興味をもったものについて各自で読んでみてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

下記 から成績は評価します。

ミニッツ・ペーパーの内容(30%)：ミニッツ・ペーパーでは、講義内容の理解度と、質問などによる積極的な受講態度を重視します。

定期試験(70%)：定期試験では、いくつかの設問から任意のものを選択し、論述する方式の試験をします。講義で扱った出来事や概念の理解度、論理的な記述、独創的な発想、明晰な文章にするための表現の工夫などを重視します。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中に資料を配布します。

## - - - 参考書 - - -

適宜指示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

他の履修者の迷惑になるような私語などはしないでください。詳しいことは、イントロダクションで説明します。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. イギリス産業革命
3. フランス革命
4. 社会主義
5. 民衆運動
6. ジェンダーと人種
7. 移民
8. 第一次世界大戦
9. ナチズム
10. 第二次世界大戦と大量虐殺
11. 福祉国家
12. 環境問題
13. 欧州統合
14. 歴史認識問題
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/dsjmpe0k8f8qjzgdw1ub5nqkeikg227>)

## 山本 達夫

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・4 時限 試験時間割：2021/07/29 4 時限

## - - - 概要 - - -

私たちは他との比較をとおして自分自身を客観的に認識する。この講義では、ヨーロッパの歴史を比較対象の事例として、現在に生きる私たちの立ち位置を確認してみたい。古代から中世にいたるヨーロッパ史を概観し、異なる文化・思想の背景にどのような歴史的経緯があり、それが現代に及ぼす影響をおよぼしているのかを理解する。ヨーロッパ史における主要なテーマの考察を通して「現在の歴史性」を認識し、現代の諸問題の歴史的背景を考察する素地をやしなう。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパ文化の背景としてのヨーロッパ史の概要を説明できる。(知識・理解)

偏った情報に依拠することなく、種々の情報を客観的に分析できる。(技能)

現代の歴史性を理解し、さまざまな文化を相対的に評価できる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

この講義では毎回配布するプリント(レジュメ)を講義の基本とする。予習にさいしては、シラバスを見て、世界史の概説書や高校世界史の教科書の該当箇所に目を通しておくとよい。(30分)復習は、プリントに目を通して、自分なりに一貫したストーリーを作してほしい。(30分)課題の取りくみにさいしては、ネット上の「世界史講義録」や「世界史の窓」をはじめ、西洋史関連の各種情報・文献を活用すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験70%(問題の歴史的意義が論理的に説明できているかどうかを評価基準とする)と平常点30%(3回実施する課題の完成度)で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しない。プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

他の受講者に迷惑をかける行為(私語や電話)をしないこと。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.ヨーロッパ文化と日本(スタートアップ授業動画配信)
- 2.ギリシア世界のポリス
- 3.ペルシア戦争とギリシア世界
- 4.ヘレニズム文明
- 5.共和政ローマ(イタリア半島の支配)
- 6.地中海の覇者ローマ
- 7.マリウスの軍制改革(ローマ社会の変容)
- 8.パックス・ロマーナとローマの変質
- 9.ローマの四分統治から滅亡へ
- 10.ゲルマン人へのキリスト教の普及
- 11.キリスト教とヨーロッパ
- 12.ヨーロッパ封建制度と農業革命
- 13.中世ヨーロッパにおける聖権と俗権
- 14.十字軍の背景と影響
- 15.宗教改革とヨーロッパ社会

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/si6x43g56fn1opw5tkww436m1nioipki>)

## 森 丈夫

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、大航海時代以降のヨーロッパと世界の関係史を扱い、グローバルな地域間の接触が人間社会の歴史に何をもたらしたのかという問題を扱っていく。

世界の歴史を変えた大きな変革は、ヨーロッパで起こった産業革命やフランス革命がしばしばあげられる。ところが、15世紀末以来のヨーロッパ人によるアジア、アフリカ、アメリカ大陸への進出、いわゆる大航海は、それらに先行して人類史を変えた大きな変革だと言えよう。というのも、この現象は、単にヨーロッパ人がグローバルに商業進出を果たしただけでなく、世界各地の社会・経済・政治に劇的な変化をもたらし、なおかつ、新たなグローバルな経済、文化、社会のネットワークを作り上げたからである。もっとも、このプロセスを考えるには、ヨーロッパの世界進出の影響が各地で異なることを重視せねばならない。アメリカ大陸では、既存の社会が壊滅的な被害を受け、ヨーロッパの支配に組み込まれたが、他方で、アジアでは、ヨーロッパの進出によって、19世紀になるまで、既存の政治体制がゆらぐことはなかった。またグローバルな接触は、同時にヨーロッパ自身にも多大な変革をもたらしたのである。

授業では、以上のような大航海以後のヨーロッパと世界の間を15世紀から18世紀まで、時代をおって講義する。講義に際しては、アジア、アメリカ、アフリカなど地域ごとにテーマを設ける。

初回は動画配信によるスタートアップ授業とし、残りの14回は対面とする。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパの世界進出がもたらしたグローバルな変化について説明できるようになる。(知識・理解)

現代世界の形成過程を複眼的な視点から論じることができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前に前回の授業ノートを復習しておくこと。30分程度の時間を必要とする。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

ヨーロッパ人の世界進出と近代世界の形成に関する基本的な理解を説明できるかどうかを評価の基準とする。定期試験の成績で100%評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 2 他の世界に対する視線
- 3 大航海時代(1)
- 4 大航海時代(2)
- 5 アメリカ大陸との出会い(1)
- 6 アメリカ大陸との出会い(2)
- 7 人・モノの交流の開始
- 8 近世ヨーロッパ人の生活
- 9 アジアとの出会い
- 10 ヨーロッパの生活革命
- 11 黒人奴隷制度の展開
- 12 近代世界システム
- 13 産業革命の原因
- 14 ヨーロッパと世界の変化
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/4c9acsi119feed0v37od7c4lv7xpbw15>

## 森 丈夫

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：水・2時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

本講義では、大航海時代以降のヨーロッパと世界の関係史を扱い、グローバルな地域間の接触が人間社会の歴史に何をもちたのかという問題を扱っていく。

世界の歴史を変えた大きな変革は、ヨーロッパで起こった産業革命やフランス革命がしばしばあげられる。ところが、15世紀末以来のヨーロッパ人によるアジア、アフリカ、アメリカ大陸への進出、いわゆる大航海は、それらに先行して人類史を変えた大きな変革だと言えよう。というのも、この現象は、単にヨーロッパ人がグローバルに商業進出を果たしただけでなく、世界各地の社会・経済・政治に劇的な変化をもたらし、なおかつ、新たなグローバルな経済、文化、社会のネットワークを作り上げたからである。もっとも、このプロセスを考えるには、ヨーロッパの世界進出の影響が各地で異なることを重視せねばならない。アメリカ大陸では、既存の社会が壊滅的な被害を受け、ヨーロッパの支配に組み込まれたが、他方で、アジアでは、ヨーロッパの進出によって、19世紀になるまで、既存の政治体制がゆらぐことはなかった。またグローバルな接触は、同時にヨーロッパ自身にも多大な変革をもたらしたのである。

授業では、以上のような大航海以後のヨーロッパと世界の間を15世紀から18世紀まで、時代をおって講義する。講義に際しては、アジア、アメリカ、アフリカなど地域ごとにテーマを設ける。

初回は動画配信によるスタートアップ授業とし、残りの14回は対面とする。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパの世界進出がもたらしたグローバルな変化について説明できるようになる。(知識・理解)

現代世界の形成過程を複眼的な視点から論じることができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前に前回の授業ノートを復習しておくこと。30分程度の時間を必要とする。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

ヨーロッパ人の世界進出と近代世界の形成に関する基本的な理解を説明できるかどうかを評価の基準とする。定期試験の成績で100%評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しない。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 2 他の世界に対する視線
- 3 大航海時代(1)
- 4 大航海時代(2)
- 5 アメリカ大陸との出会い(1)
- 6 アメリカ大陸との出会い(2)
- 7 人・モノの交流の開始
- 8 近世ヨーロッパ人の生活
- 9 アジアとの出会い
- 10 ヨーロッパの生活革命
- 11 黒人奴隷制度の展開
- 12 近代世界システム
- 13 産業革命の原因
- 14 ヨーロッパと世界の変化
- 15 総括

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/16r4ab3iwu0bbgkdtpo7lrmek41xkcpz>

## 渡邊 裕一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・1時限 試験時間割：2021/07/29 4時限

## - - - 概要 - - -

中世ヨーロッパの時代的・空間的な特質とは何だろうか？本講義では、中世ヨーロッパの政治・経済・文化のさまざまな面で大きな影響力をもったキリスト教の役割、近代以前における統治と支配のありかた、農業生産と交易の場であった農村と都市、中世に生きた人びとを互いに結び付けていた社会的な絆、かれらが直面した災害や疫病、異端やムスリム、ユダヤ人といった「他者」などに焦点を当てることで、地域も時代も異なる中世ヨーロッパに生きた人びとの生活世界へのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」とは異なり、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判etc.）についても折に触れて取り上げたいと思います。

## - - - 到達目標 - - -

中世ヨーロッパに関する基本知識を身につけ、現代の日本社会との違いを理解できる。(知識・理解)

中世ヨーロッパについて、その歴史や特徴を自らの言葉で説明することができるようになる。(技能)

地域も時代も異なる中世ヨーロッパ社会および人々の生活を知ること、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめなおすことができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習は必要ありませんが、毎回の授業後は、各自で内容の復習を行い(1時間程度)、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート(30%)と定期試験(70%)により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準とします。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるかを評価の重要な基準とします。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

## - - - 参考書 - - -

甚野尚志/堀越宏一編『中世ヨーロッパを生きる』(東京大学出版会、2004年) ISBN 4130230514  
 堀越宏一/甚野尚志編『15のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』(ミネルヴァ書房、2013年) ISBN 978462306459  
 服部良久/山辺規子/南川高志編『大学で学ぶ西洋史 古代・中世』(ミネルヴァ書房、2006年) ISBN 9784623045921  
 その他の文献は授業中に紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

第一回目の授業で注意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 歴史学とは何か？
3. 前提(1) - 地理、自然環境、時代区分
4. 前提(2) - キリスト教
5. 中世ヨーロッパ史の流れ
6. 農業と農民 - 中世の農業革命
7. 都市と市民 - 中世都市の特質
8. 人々の絆(1) - 家族と子ども
9. 人々の絆(2) - 手工業の世界
10. 人々の絆(3) - 老い、死、遺言状
11. 災害と危機(1) - 自然災害
12. 災害と危機(2) - 黒死病
13. 災害と危機(3) - 戦争
14. 中世ヨーロッパにおける「他者」
15. まとめ

受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/nemehnpghv53fdhyv1flm8ylqnhyb0h3>

## 渡邊 裕一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：月・2時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

2011年3月の東日本大震災や2017年7月に九州北部を襲った福岡・大分の豪雨被害など、自然災害の脅威を目の当たりにすることが続いています。たとえ実際に被災していなくても、報道番組やインターネットを通じて、地震や津波が人間の命を無残に奪っていく様子をリアルタイムで体験し、人間の無力さを思い知らされた方も多いでしょう。私たちは、近年の甚大な自然災害については、その記憶を「共有」していると言っようかと思ひます。それでは、1995年の阪神・淡路大震災はどうでしょうか？皆様の多くにとっては、すでに教科書のなかでしか知らない過去に起きた「未知の災害」となっていることでしょうか。

過去の災害を記録・記憶し、それを社会で共有することは、将来に生じうる自然災害に備えるために私たちができる数少ない有効な処方箋の一つです。そのために歴史学が果たすべき役割は決して小さくありません。災害史研究とは、過去に生じた災害の知見をしっかりと蓄積し、現代に生きる私たちがそれを共有し、将来世代にも着実に伝えていくことで、災害リスクから逃れることのできない人類がそれでもなんとか生き延びていくための、ささやかながらも重要な指針を示し得る「生存のための歴史学」であると言えます。新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ近年注目を集めている疫病の歴史についても同様です。

災害の歴史学は、日本だけに限らず、世界的にも大きな注目を集めています。現代の日本から時代も地域も遠く離れた中近世ヨーロッパは、私たちの生きている世界とは異なる全くの別世界です。しかし、中近世ヨーロッパに生きた人びとも、私たちと同様に、いや、それ以上に、自然災害にむきだしのまま晒されていました。中近世ヨーロッパの人びとは、襲い掛かる災害や災難をどのように受け止め、災害後にはいかなる行動に出たのでしょうか？それは、私たちが災害に直面したときと、どのような点で異なっているのでしょうか？

本講義では、中近世ヨーロッパを襲った数々の災害の事例を確認したうえで、さらに世界の各地域、各時代の災害について皆さんとともに考えたいと思ひます。授業はゼミ形式で進めていきますので、受講者は主体的に課題に取り組み、発表・討論を重ねることで、災害の歴史を学ぶことの意義について、理解を深めてください。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパにおける災害の歴史について基本的な知識を身につけ、災害が当時の社会に及ぼした歴史的な影響についての確に理解することができる。(知識・理解)

自分が知らないテーマについて、適切な文献を探し出し、自らで課題を設定することができるようになる。(技能)

自らの問題関心に基ついて課題を設定し、他の履修者が理解できるような発表を行うことができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考に、主体的・積極的な学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識は必要ありませんが、グループ発表前には、グループ単位での予習・発表準備が必要になります。また、授業後は各自で内容の復習を行い(1時間弱)、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、授業への貢献度等の平常点(60%)および発表(40%)により、その到達度を総合的に評価します。平常点については、主体的な取り組みができたか否かが重要な評価基準となります。発表では、自ら問いを立て、適切な文献や映像資料を参考にし、その問いに対する独自の見解を導き出し、それを論理的・客観的な言葉で説得的にプレゼンできるかどうかを評価の重要な基準とします。

## - - - テキスト - - -

特になし。必要に応じて資料を配布します。

## - - - 参考書 - - -

渡邊裕一「災難の後に ペストが流行れば金貸しが儲かる？」福岡大学人文学部歴史学科編『18歳からの歴史学入門』(彩流社、2019年) ISBN 9784779125546  
 G.フーケーノ/G.ツァイリッガー『災害と復興の中世ヨーロッパの人びとは惨禍をいかに生き延びたか』(八坂書房、2015年) ISBN 9784896941869  
 その他の文献は、授業中に適宜紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

特別な予備知識は必要ありませんが、主体的・積極的に授業に参加してください。無断欠席はやめてください。第1回目の授業で、その他の留意点について述べます。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 災害とは？
3. 過去の災害を調べる
4. 中近世ヨーロッパの事例
5. ペスト
6. 自然災害
7. 気候悪化
8. 課題の設定
9. 文献調査
10. 文献調査
11. 文献調査
12. 発表
13. 発表
14. 発表
15. まとめ

\* 受講者の希望や授業の進度に応じて変更の可能性があり  
 ます

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/gjwukndtzahnqsv0c03s9ulz9ohzgp2i>

## 渡邊 裕一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・2 時限 試験時間割：2022/01/25 4 時限

## - - - 概要 - - -

中世はいつ終わり、近代はいつ始まったのだろうか？ 本講義では、新大陸の発見やルネサンス、そして宗教改革など、これまで「近代の始まり」と評されてきた歴史的な出来事を、中世後期から近世にいたる一連の流れのなかで捉え直し、ヨーロッパ史の連続性と断絶の両側面について考えてみたいと思います。いわゆる「中世後期の危機」、当時の医療技術と疫病の流行、深まる人々の不安と救済へのあこがれ、ルターの登場と社会への影響、政治問題化した宗教改革とその帰結としての30年戦争、小氷期の影響と魔女裁判など多様なトピックを取り上げ、上記の問いへのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」ではなく、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判etc.）についても折に触れて取り上げる予定です。

## - - - 到達目標 - - -

中世後期から近世に至るヨーロッパ史の基本知識を身につけ、その歴史の流れを正確に理解することができる。（知識・理解）

中世後期～近世ヨーロッパ史について、その歴史や特徴を自らの言葉で論理的・客観的に説明することができるようになる。（技能）

地域も時代も異なる中世後期～近世ヨーロッパの社会および人々の生活を知ること、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめ直すことができるようになる。（態度・志向性）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習はとくに必要ありませんが、毎回の授業後は、各自で内容の復習を行い（1時間程度）、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準とします。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるかを評価の重要な基準とします。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

## - - - 参考書 - - -

甚野尚志 / 踊共二編 『中近世ヨーロッパの宗教と政治 キリスト教世界の統一性と多元性』（ミネルヴァ書房、2014年） ISBN 9784623069453  
 R・W・スクリプナー / C・スコット・ディクスン（森田安一訳） 『ドイツ宗教改革』（岩波書店、2009年） ISBN 9784000272032  
 踊共二編 『記憶と忘却のドイツ宗教改革』（ミネルヴァ書房、2017年） ISBN 978-4623081332  
 その他の文献は授業中に紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

第一回目の授業で留意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1．イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
  - 2．中世後期から近世へ 見取り図
  - 3．ルネサンスの三大発明？
  - 4．大航海時代の幕開け
  - 5．戦争技術の変化 騎士から傭兵へ
  - 6．印刷術と識字率
  - 7．ルターと宗教改革
  - 8．宗教改革と農民戦争
  - 9．急進派からみた宗教戦争
  - 10．宗派化の時代
  - 11．カトリックの動向
  - 12．宗教改革500周年
  - 13．魔女裁判（1）
  - 14．魔女裁判（2）
  - 15．まとめ
- 受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/adlvm5cv3cdhartv7k35qf3xezv47bs6>



## 福元 健之

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・3時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって気づかされるまでもなく、人類の歴史はつねに病み患うこととともに進んできました。

ペストやコレラ、天然痘、インフルエンザといった流行病に直面した人類のうち、夥しい犠牲を払いつつも免疫や対処法を獲得し、文明を築いてきたものもあれば、逆に抵抗空しく滅亡した文明もあります。現代世界はグローバル化したといわれますが、すでに14世紀のヨーロッパにおけるペスト（「黒死病」）の流行には、ユーラシア大陸規模の病原菌の移動があったことが明らかになっています。病原菌はそれ自体では長距離を移動できません。その背景には、軍事的・商業的ルートの開拓が不可欠でした。やがて近代医学を確立した西欧諸国は、医学知をもってアジアやアフリカでの植民地支配を正当化することにもなり、このことは現代のグローバル・ヘルスを考える上で重要です。

また他方では、伝染病ではないような精神疾患やアルコール依存症も、各地の公衆衛生制度や社会政策を発展させ、変容させる重要な契機になってきました。これらの疾患は遺伝として子孫にまで受け継がれると考えられたため、人種の問題と結びつけられ、事例によっては強制的な不妊手術の対象ともなりました。

本講義では、19世紀以降の西洋世界を中心に、「病」に曝される身体と健康の諸問題から歴史を学びます。一見風変わりなテーマにみえるかもしれませんが、文学作品から統計資料までを幅広く活用し、身体と健康をめぐる歴史の諸問題について考察します。

## - - - 到達目標 - - -

西洋史における身体観や健康観の歴史的な変化を理解できる(知識・理解)

事実や文脈に照らして論理的に考えることができる(技能)

身体や健康に関する現代の考え方を相対視できる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義内容の復習をしてください(目安は1時間)。疑問点がなくならないようでしたら、ミニッツ・ペーパーに書いてください。また、講義中に関連する文献などを紹介しますので、興味をもったものについて各自で読んでみてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

下記 から成績は評価します。

ミニッツ・ペーパーの内容(30%)：ミニッツ・ペーパーでは、講義内容の理解度と、質問などによる積極的な受講態度を重視します。

定期試験(70%)：定期試験では、いくつかの設問から任意のものを選択し、論述する方式の試験をします。講義で扱った出来事や概念の理解度、論理的な記述、独創的な発想、明晰な文章にするための表現の工夫などを重視します。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中に資料を配布します。

## - - - 参考書 - - -

適宜指示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

他の履修者の迷惑になるような私語などはしないでください。詳しいことは、イントロダクションで説明します。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 「神罰」? 中近世のペスト
3. コレラと公衆衛生の展開
4. 天然痘と反種痘運動
5. 多元的医療システム
6. アルコールとモラル
7. 精神医学 「閉じこめ」から「包摂」へ
8. 梅毒と人種
9. 結核と社会政策
10. インフルエンザ・パンデミック
11. アフリカ眠り病
12. コロニアリズムとグローバル・ヘルス
13. 近現代史におけるアヘン
14. 「リスクの医学」
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/r0qqg37x5hej0hiqgwt6vt765c0nx7y6>)

## 山本 達夫

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・4時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

ヨーロッパにおける代表的な被差別者集団として知られるユダヤ人とその迫害の歴史を通して、ヨーロッパおよびドイツの近代を考える。「人種迫害を理解するために、私たちは人種をくわしく知る必要はなく、むしろ迫害をくわしく知る必要がある」(R・ベネディクト)というように、差別は差別される側ではなく、差別する側の社会の問題である。ホロコースト(ユダヤ人大量殺戮)に行き着いたドイツの反ユダヤ主義は、いかなる歴史的経緯の中で成立したのか。近代ヨーロッパの成立過程を概観し、国民国家の形成過程における統合と排除の論理における反ユダヤ主義の問題を検討する。また、ナチのユダヤ人政策の分析を通して「ユダヤ人問題」とは何であったのかを考察する。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパ文化の背景としてのヨーロッパ史の概要を説明できる。(知識・理解)

偏った情報に依拠することなく、種々の情報を客観的に分析できる。(技能)

現代の歴史席を理解し、さまざまな文化を相対的に評価できる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習にあたっては、世界史の概説書や高校世界史の教科書に目を通しておくとよい。(30分)復習にさいしては、授業で配布するプリントを活用してほしい。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験90%(問題の歴史的意義が論理的に説明できているかを評価基準とする)と平常点10%(講義への感想と質問)で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しない。プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

他の受講者に迷惑をかける行為(私語や電話)をしないこと。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.ヨーロッパ社会とユダヤ人(スタートアップ授業動画配信)
- 2.地理上の発見
- 3.近代世界システム
- 4.ヘゲモニー国家1
- 5.ヘゲモニー国家2
- 6.工業化の諸問題1
- 7.工業化の諸問題2
- 8.近代独仏関係とユダヤ人問題1
- 9.近代独仏関係とユダヤ人問題2
- 10.近代独仏関係とユダヤ人問題3
- 11.東欧ユダヤ人ザメンホフの夢
- 12.ナチとユダヤ人1(アリア条項とニュルンベルク法)
- 13.ナチとユダヤ人2(四カ年計画と第三帝国の経済社会体制)
- 14.ナチとユダヤ人3(経済の脱ユダヤ化とアリア化)
- 15.ナチとユダヤ人4(六月行動とポグロム1938年)

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/sb8ss8wsuvrz5wp61bbpgifco6f6mpm4>)

## 福元 健之

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって気づかされるまでもなく、人類の歴史はつねに病み患うこととともに進んできました。

ペストやコレラ、天然痘、インフルエンザといった流行病に直面した人類のうち、夥しい犠牲を払いつつも免疫や対処法を獲得し、文明を築いてきたものもあれば、逆に抵抗空しく滅亡した文明もあります。現代世界はグローバル化したといわれますが、すでに14世紀のヨーロッパにおけるペスト(「黒死病」)の流行には、ユーラシア大陸規模の病原菌の移動があったことが明らかになっています。病原菌はそれ自体では長距離を移動できません。その背景には、軍事的・商業的ルートの開拓が不可欠でした。やがて近代医学を確立した西欧諸国は、医学知をもってアジアやアフリカでの植民地支配を正当化することにもなり、このことは現代のグローバル・ヘルスを考える上で重要です。

また他方では、伝染病ではないような精神疾患やアルコール依存症も、各地の公衆衛生制度や社会政策を発展させ、変容させる重要な契機になってきました。これらの疾患は遺伝として子孫にまで受け継がれると考えられたため、人種の問題と結びつけられ、事例によっては強制的な不妊手術の対象ともなりました。

本講義では、19世紀以降の西洋世界を中心に、「病」に曝される身体と健康の諸問題から歴史を学びます。一見風変わりなテーマにみえるかもしれませんが、文学作品から統計資料までを幅広く活用し、身体と健康をめぐる歴史の諸問題について考察します。

## - - - 到達目標 - - -

西洋史における身体観や健康観の歴史的な変化を理解できる(知識・理解)

事実や文脈に照らして論理的に考えることができる(技能)

身体や健康に関する現代の考え方を相対視できる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義内容の復習をしてください(目安は1時間)。疑問点がなくならないようでしたら、ミニッツ・ペーパーに書いてください。また、講義中に関連する文献などを紹介しますので、興味をもったものについて各自で読んでみてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

下記 から成績は評価します。

ミニッツ・ペーパーの内容(30%)：ミニッツ・ペーパーでは、講義内容の理解度と、質問などによる積極的な受講態度を重視します。

定期試験(70%)：定期試験では、いくつかの設問から任意のものを選択し、論述する方式の試験をします。講義で扱った出来事や概念の理解度、論理的な記述、独創的な発想、明晰な文章にするための表現の工夫などを重視します。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中に資料を配布します。

## - - - 参考書 - - -

適宜指示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

他の履修者の迷惑になるような私語などはしないでください。詳しいことは、イントロダクションで説明します。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 「神罰」? 中近世のペスト
3. コレラと公衆衛生の展開
4. 天然痘と反種痘運動
5. 多元的医療システム
6. アルコールとモラル
7. 精神医学 「閉じこめ」から「包摂」へ
8. 梅毒と人種
9. 結核と社会政策
10. インフルエンザ・パンデミック
11. アフリカ眠り病
12. コロニアリズムとグローバル・ヘルス
13. 近現代史におけるアヘン
14. 「リスクの医学」
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/dr7kgnrx2bk18dshxlfvx4ek38fav25>)

## 山本 達夫

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・4時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

ヨーロッパにおける代表的な被差別者集団として知られるユダヤ人とその迫害の歴史を通して、ヨーロッパおよびドイツの近代を考える。「人種迫害を理解するために、私たちは人種をくわしく知る必要はなく、むしろ迫害をくわしく知る必要がある」(R・ベネディクト)というように、差別は差別される側ではなく、差別する側の社会の問題である。ホロコースト(ユダヤ人大量殺戮)に行き着いたドイツの反ユダヤ主義は、いかなる歴史的経緯の中で成立したのか。近代ヨーロッパの成立過程を概観し、国民国家の形成過程における統合と排除の論理における反ユダヤ主義の問題を検討する。また、ナチのユダヤ人政策の分析を通して「ユダヤ人問題」とは何であったのかを考察する。

## - - - 到達目標 - - -

ヨーロッパ文化の背景としてのヨーロッパ史の概要を説明できる。(知識・理解)

偏った情報に依拠することなく、種々の情報を客観的に分析できる。(技能)

現代の歴史席を理解し、さまざまな文化を相対的に評価できる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習にあたっては、世界史の概説書や高校世界史の教科書に目を通しておくとよい。(30分)復習にさいしては、授業で配布するプリントを活用してほしい。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験90%(問題の歴史的意義が論理的に説明できているかを評価基準とする)と平常点10%(講義への感想と質問)で総合的に評価する。

## - - - テキスト - - -

使用しない。プリントを配布する。

## - - - 参考書 - - -

授業中に適宜指示する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

他の受講者に迷惑をかける行為(私語や電話)をしないこと。

## - - - 授業計画 - - -

- 1.ヨーロッパ社会とユダヤ人(スタートアップ授業動画配信)
- 2.地理上の発見
- 3.近代世界システム
- 4.ヘゲモニー国家1
- 5.ヘゲモニー国家2
- 6.工業化の諸問題1
- 7.工業化の諸問題2
- 8.近代独仏関係とユダヤ人問題1
- 9.近代独仏関係とユダヤ人問題2
- 10.近代独仏関係とユダヤ人問題3
- 11.東欧ユダヤ人ザメンホフの夢
- 12.ナチとユダヤ人1(アリア条項とニュルンベルク法)
- 13.ナチとユダヤ人2(四カ年計画と第三帝国の経済社会体制)
- 14.ナチとユダヤ人3(経済の脱ユダヤ化とアリア化)
- 15.ナチとユダヤ人4(六月行動とポグロム1938年)

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/gsqb8vn72hu71tmq1o53iwoh194sw>

## 渡邊 裕一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・1時限 試験時間割：2022/01/25 4時限

## - - - 概要 - - -

中世はいつ終わり、近代はいつ始まったのだろうか？ 本講義では、新大陸の発見やルネサンス、そして宗教改革など、これまで「近代の始まり」と評されてきた歴史的な出来事を、中世後期から近世にいたる一連の流れのなかで捉え直し、ヨーロッパ史の連続性と断絶の両側面について考えてみたいと思います。いわゆる「中世後期の危機」、当時の医療技術と疫病の流行、深まる人々の不安と救済へのあこがれ、ルターの登場と社会への影響、政治問題化した宗教改革とその帰結としての30年戦争、小氷期の影響と魔女裁判など多様なトピックを取り上げ、上記の問いへのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」ではなく、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判etc.）についても折に触れて取り上げる予定です。

## - - - 到達目標 - - -

中世後期から近世に至るヨーロッパ史の基本知識を身につけ、その歴史の流れを正確に理解することができる。（知識・理解）

中世後期～近世ヨーロッパ史について、その歴史や特徴を自らの言葉で論理的・客観的に説明することができるようになる。（技能）

地域も時代も異なる中世後期～近世ヨーロッパの社会および人々の生活を知ること、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめ直すことができるようになる。（態度・志向性）

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習はとくに必要ありませんが、毎回の授業後は、各自で内容の復習を行い（1時間程度）、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準とします。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるかを評価の重要な基準とします。

## - - - テキスト - - -

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

## - - - 参考書 - - -

甚野尚志 / 踊共二編 『中近世ヨーロッパの宗教と政治 キリスト教世界の統一性と多元性』（ミネルヴァ書房、2014年） ISBN 9784623069453  
 R・W・スクリプナー / C・スコット・ディクスン（森田安一訳） 『ドイツ宗教改革』（岩波書店、2009年） ISBN 9784000272032  
 踊共二編 『記憶と忘却のドイツ宗教改革』（ミネルヴァ書房、2017年） ISBN 978-4623081332  
 その他の文献は授業中に紹介します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

第一回目の授業で留意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1．イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
  - 2．中世後期から近世へ 見取り図
  - 3．ルネサンスの三大発明？
  - 4．大航海時代の幕開け
  - 5．戦争技術の変化 騎士から傭兵へ
  - 6．印刷術と識字率
  - 7．ルターと宗教改革
  - 8．宗教改革と農民戦争
  - 9．急進派からみた宗教戦争
  - 10．宗派化の時代
  - 11．カトリックの動向
  - 12．宗教改革500周年
  - 13．魔女裁判（1）
  - 14．魔女裁判（2）
  - 15．まとめ
- 受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/fdw15ds6gog6dqp4fqxfnzqcqh2wvp62>

森 丈夫

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -

誰でも知っているように「アメリカ合衆国」という国は、今の日本にとってもなく大きな影響を及ぼしている国です。最大の貿易相手の一つというだけでなく、日本の経済・外交・内政を大きく左右し、文化的規範ともなってきました。

しかし、アメリカとの付き合いは今に始まったことではありません。19世紀半ばのペリーの来航以来、時に近代化の模範として、時に敵国として、時に移民の送り先として、時に・・・と、日本とアメリカは数多くの面で密接な関係を結んできました。現在の日本とアメリカが結んでいる経済・外交・軍事・文化の関係は、こうした歴史発展の中から生まれてきたものといっているでしょう。

本ゼミでは、このような日本とアメリカの関係の歴史を学びたいと思います。授業では、まず現在の日本を観察して、どのような形で日本の政治・文化・経済にアメリカが影響を与えているかを考えます。以降、明治から現代までの日米関係史に関する勉強を行います。

授業では、受講生全員が参考文献の読解やビデオ鑑賞を行い、共通の知識を身に着けた上で意見交換を行います。半期を通じて、およそ全体の7割の授業で、受講者全員に参考文献の読解が求められます。文献は論文や本の一部です。

初回は動画配信によるスタートアップ授業とし、残りの14回は対面とする。

- - - 到達目標 - - -

日米関係史の理解から、現代の日本社会においてアメリカが持つ意味を説明できるようになる。(知識・理解)

日米関係史の理解から、現在の日本社会の問題点を論じることができるようにする。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

受講生は毎回の授業の準備として、必ず参考文献の読解とミニツツペーパーの作成を行うこと。1時間程度の時間を必要とする。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

参考文献を読解する、ないしはビデオを鑑賞するなどし、その内容を理解した上で、意見を形成できたかどうかを評価の基準とする。配点は、ミニツツペーパー(課題のテキストを予習し、指定した問いについて意見を述べる、ビデオを鑑賞し、指定した問いについて意見を述べる)6割、授業中の意見発表4割。

- - - テキスト - - -

使用しない。

- - - 参考書 - - -

授業中に指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

・およそ半期全体の7割の授業で、受講者全員に参考文献の読解が義務づけられます。

・ゼミは、学生が主体となって行うので、出席は必須となります。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)

2. 日米関係を理解する

3. 日本人にとってのアメリカ

4. 在日米軍基地問題

5. 戦前の日米関係

6. 戦前の日米関係 大衆社会

7. 戦前の日米関係 アメリカのイメージ

8. 太平洋戦争

9. 占領期の日米関係

10. 占領期の日米関係

11. 占領期の日米関係

12. 安保と日米関係 安保条約

13. 安保と日米関係 安保闘争

14. 戦後の日米関係 アメリカと大衆文化

15. 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/s/](https://fukuoka-u.box.com/s/j4fhwujuh0wwsfp5z8hzfc1nfrprjdl)

[j4fhwujuh0wwsfp5z8hzfc1nfrprjdl](https://fukuoka-u.box.com/s/j4fhwujuh0wwsfp5z8hzfc1nfrprjdl))

## 松原 岳行

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・4時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

## - - - 概要 - - -

古代から中世までの教育思想を概観した後、教育史上に名を残したさまざまな人物に目を向け、西洋において目覚ましく発展した近代教育思想の特質や意義を明らかにしていく。具体的には、コメニウス、ロック、ルソー、コンドルセ、ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト、デューイらを取りあげる予定である。授業は主に講義形式で進めるが、少しでも受講生の関心や理解度に応じた双方向型の授業にするため、授業時間内にミニレポートや感想文の提出を求める。場合によっては講義テーマを変更するなど授業計画に若干の修正を加えることもあるので、その点も了承してもらいたい。

## - - - 到達目標 - - -

古代から近代にいたる西洋の教育家や教育思想の特質について説明することができる。(知識・理解)

授業の要点を踏まえて西洋教育史に関するミニレポートを作成することができる。(技能)

現代教育の礎を築いたとされる西洋の近代教育思想を学ぶことによって、現代日本の教育問題について関心を持つことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

指定した教科書を事前に読んで予習を行うとともに(30分)、講義後には授業ノートの内容をよく復習し、現代の教育思想や学校制度について主体的に考えること(60分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋教育史に興味を示し、近代教育思想の特質や意義について正しく説明できることを、主な評価基準とする。その際、受講態度20%・期末試験80%を目安として総合的に評価する方法をとる。欠席・遅刻によるミニレポートの未提出は減点対象とするので注意すること。ただし、やむを得ない理由により遅刻・欠席した場合は、公的な証明書等の提出をもって減点処分を免除する。

## - - - テキスト - - -

勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版 ISBN978-4-901903-47-9 本体2,000円＋税

## - - - 参考書 - - -

小笠原道雄他編『教育学概論』福村出版 本体2,800円＋税 ISBN 978-4-571-10140-3

その他、講義中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

私語、携帯電話やスマートフォン等の使用、無用な教室の出入りなど、受講態度として相応しくない行動は慎むこと。とくに他の学生の学習権を侵害するような行為や不正行為に対しては厳しく対処する。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業（動画配信）
2. 古代の教育
3. 中世の教育
4. 中世から近代へ
5. コメニウス 教育方法学の萌芽
6. ルソー 「子ども」の発見者
7. コンドルセ 公教育の理念
8. ペスタロッチ 人類の教育者
9. フレーベル 幼稚園の創設者
10. ヘルバルト 教育学の体系化
11. デュルケム 社会化としての教育
12. デューイ 児童中心主義
13. シュタイナー 自由な学校
14. イリイチ 脱学校論
15. 総括 現代に生きる教育思想

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/9a7i3fhm7fm09dei092mpusyuqeylx2>)

## 松原 岳行

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

## - - - 概要 - - -

古代から中世までの教育思想を概観した後、教育史上に名を残したさまざまな人物に目を向け、西洋において目覚ましく発展した近代教育思想の特質や意義を明らかにしていく。具体的には、コメニウス、ロック、ルソー、コンドルセ、ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト、デューイらを取りあげる予定である。授業は主に講義形式で進めるが、少しでも受講生の関心や理解度に応じた双方向型の授業にするため、授業時間内にミニレポートや感想文の提出を求める。場合によっては講義テーマを変更するなど授業計画に若干の修正を加えることもあるので、その点も了承してもらいたい。

## - - - 到達目標 - - -

古代から近代にいたる西洋の教育家や教育思想の特質について説明することができる。(知識・理解)

授業の要点を踏まえて西洋教育史に関するミニレポートを作成することができる。(技能)

現代教育の礎を築いたとされる西洋の近代教育思想を学ぶことによって、現代日本の教育問題について関心を持つことができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

指定した教科書を事前に読んで予習を行うとともに(30分)、講義後には授業ノートの内容をよく復習し、現代の教育思想や学校制度について主体的に考えること(60分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

西洋教育史に興味を示し、近代教育思想の特質や意義について正しく説明できることを、主な評価基準とする。その際、受講態度20%・期末試験80%を目安として総合的に評価する方法をとる。欠席・遅刻によるミニレポートの未提出は減点対象とするので注意すること。ただし、やむを得ない理由により遅刻・欠席した場合は、公的な証明書等の提出をもって減点処分を免除する。

## - - - テキスト - - -

勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版  
 ISBN978-4-901903-47-9 本体2,000円＋税

## - - - 参考書 - - -

小笠原道雄他編『教育学概論』福村出版 本体2,800円＋税  
 ISBN 978-4-571-10140-3

その他、講義中に適宜紹介する。

## - - - 履修上の留意点 - - -

私語、携帯電話やスマートフォン等の使用、無用な教室の出入りなど、受講態度として相応しくない行動は慎むこと。とくに他の学生の学習権を侵害するような行為や不正行為に対しては厳しく対処する。

## - - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業（動画配信）
2. 古代の教育
3. 中世の教育
4. 中世から近代へ
5. コメニウス 教育方法学の萌芽
6. ルソー 「子ども」の発見者
7. コンドルセ 公教育の理念
8. ペスタロッチ 人類の教育者
9. フレーベル 幼稚園の創設者
10. ヘルバルト 教育学の体系化
11. デュルケム 社会化としての教育
12. デューイ 児童中心主義
13. シュタイナー 自由な学校
14. イリイチ 脱学校論
15. 総括 現代に生きる教育思想

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/wfu1u331habpbyxo1rv3hijf1qmi2vyw>)



## 勝山 吉章

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・2時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

## - - - 概要 - - -

私たちは一定の年齢に達したなら小学校へ行き、中学・高校へと進めることを当然のこととしてとらえている。学校には教室があり、教師がいて教科書がある。高校の卒業=大学入学資格であり、誰もが教育を受ける権利を有する。

だが、今日私たちが「当然」と思っている教育という営みも、数百年前までは夢想さえされなかったことが多い。富める親の子どもと、貧しい親の子どもが机を並べるために、人類は数世紀にわたる歳月を費やした。

また、歴史の新しい担い手が常にそうであるように、教育史上においても新しい教育の探求者は常に迫害と抑圧のなかにおかれた。

本講義では、このように私たちにとっては「当然」ととらえている教育を、その起源にまで遡って論じるものである。そのなかでとくに、大学の誕生や教養教育（リベラル・アーツ）がどのような経緯で生まれてきたのかを知ることによって、大学で学ぶ意味を考えていきたい。

## - - - 到達目標 - - -

西洋の教育の成り立ちについて理解する。(知識・理解)

テキストだけでなくいろいろな文献資料を使って教育の歴史を知ることが出来る。(技能)

西洋の教育の歴史を知ることで、教育とは何か、教育の在り方を探究するようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・ 授業計画に即して指定したテキストの授業相応内容を事前に読んでおくこと(30分)。
- ・ 授業計画に即して高校の世界史の教科書(参考書等)の授業相応内容を事前に読んでおくこと(30分)。
- ・ 講義終了後に授業内容をノートに整理しておくこと(30分)。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

「知識・理解」としては、西洋の教育の成り立ち、その制度や思想などについて知り得たかどうかを定期試験で評価し、「技能」「態度・志向性」については授業中に課す課題において評価する。

評価の方法は、定期試験の結果(70%)、授業中の課題等(30%)で総合的に評価する。なお、近年の成績評価の厳格化の動向もあり、単位認定にあたっては厳しい姿勢で臨む所存である。

## - - - テキスト - - -

勝山他『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版  
 ISBN978-4-901903-47-9 定価2000円+税

## - - - 参考書 - - -

乙訓稔編『教育の論究(改訂版)』東信堂  
 江藤恭二他編『子どもの教育の歴史』(名古屋大学出版会)  
 ・ 江藤恭二他編『西洋近代教育史』(学文社)  
 ・ 乙訓稔『西洋近代幼児教育思想史』(東信堂)

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業中の私語、居眠り、スマホ等の遊戯は減点の対象となり、不合格の理由ともなりうる。  
 テキストを中心に授業を行う。従って、テキストを持参しない学生の受講は認められない。  
 本講義は、教育原論(教育の原理・過程論)の講義とリンクしているので、両者の講義の受講を勧める。  
 なお担当者は、視覚に障害をもっているため学生諸君の理解をお願いしたい。

## - - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス(スタートアップ授業)
2. 古代ギリシャの教育
3. ソクラテス・プラトン・アリストテレスの教育思想
4. 古代ローマの教育
5. 中世僧院の教育
6. 大学と都市国家の誕生
7. ルネッサンスと教育
8. 宗教改革と教育
9. 科学革命と教育
10. ルソーの教育思想
11. コンドルセの教育思想
12. ペスタロッチの教育思想
13. ヘルバルトの教育思想
14. フレーベルの教育思想
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/y0br3kprjc1ev4iy5u2msnrtrjoybw1u>

## 江玉 睦美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・2時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

## - - - 概要 - - -

近年、わが国の教育にはさまざまな問題がみられる。すべてのものに誕生から現在に至るまでの歴史があるように、教育もまた、誕生から長い歴史を経て現在に至っている。今日、教育が抱える諸問題はこうした歴史の中で起きているものである。そこで本講義では、教育の歴史を辿ることによって、教育の諸問題の背景や構造について考えていくことを目的とする。

講義内容は、古代から現代までの流れを追い、その中からそれぞれの時代において今日に影響を与えている教育思想や、今日の教育の源流となっている教育思想、今日の教育課題を考える視点となる教育思想を取り上げていく。

## - - - 到達目標 - - -

西洋における教育の歴史の流れを説明することができる(知識・理解)

代表的な教育の思想について説明することができる(知識・理解)

今日の教育の諸問題について歴史的背景を視点として考えることができる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・講義終了時に、次回講義のテキスト範囲を連絡するので、必ず読んでおくこと。(30分)

・講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること(試験に向けても重要となる)。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 1 西洋教育の歴史の流れについて説明することができるか。
- 2 講義で取り上げた代表的な教育の思想について説明することができるか。
- 3 今日の教育の諸問題について、歴史的背景から再確認し、自分の考えを述べるることができるか。

以上の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

## - - - テキスト - - -

勝山吉章他著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版、2011年  
 ISBN978-4-901903-47-9 (2000円+税)

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎時間、質問カードを配布します。携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業（動画配信）  
 第2回 人間における教育の必要性 カントなど  
 第3回 スパルタ教育とは ギリシャの教育  
 第4回 近代的教科書の誕生 コメニウス  
 第5回 「子ども」の発見 ルソー  
 第6回 環境と教育  
 第7回 近代教育における学校教育 ペスタロッチー  
 第8回 生活と教育  
 第9回 幼児教育の源流 フレーベル  
 第10回 遊びと教育 フレーベル  
 第11回 近代学校制度 ヘルバルト  
 第12回 「子ども中心主義」教育  
 第13回 経験と教育 デューイ  
 第14回 学校と教育 イリイチ  
 第15回 歴史に学ぶこれからの教育

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/u0vo8uzyyg7qg90nc0d2o7zskx4ig1kw>)

## 江玉 睦美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

## - - - 概要 - - -

近年、わが国の教育にはさまざまな問題がみられる。すべてのものに誕生から現在に至るまでの歴史があるように、教育もまた、誕生から長い歴史を経て現在に至っている。今日、教育が抱える諸問題はこうした歴史の中で起きているものである。そこで本講義では、教育の歴史を辿ることによって、教育の諸問題の背景や構造について考えていくことを目的とする。

講義内容は、古代から現代までの流れを追い、その中からそれぞれの時代において今日に影響を与えている教育思想や、今日の教育の源流となっている教育思想、今日の教育課題を考える視点となる教育思想を取り上げていく。

## - - - 到達目標 - - -

西洋における教育の歴史の流れを説明することができる(知識・理解)

代表的な教育の思想について説明することができる(知識・理解)

今日の教育の諸問題について歴史的背景を視点として考えることができる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・講義終了時に、次回講義のテキスト範囲を連絡するので、必ず読んでおくこと。(30分)
- ・講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること(試験に向けても重要となる)。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 1 西洋教育の歴史の流れについて説明することができるか。
- 2 講義で取り上げた代表的な教育の思想について説明することができるか。
- 3 今日の教育の諸問題について、歴史的背景から再確認し、自分の意見を述べるることができるか。

以上の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

## - - - テキスト - - -

勝山吉章他著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版、2011年  
 ISBN978-4-901903-47-9 (2000円+税)

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎時間、質問カードを配布します。携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回 人間における教育の必要性 カントなど
- 第3回 スパルタ教育とは ギリシャの教
- 第4回 近代的教科書の誕生 コメニウス
- 第5回 「子ども」の発見 ルソー
- 第6回 環境と教育
- 第7回 近代教育における学校教育 ペスタロッチー
- 第8回 生活と教育
- 第9回 幼児教育の源流 フレーベル
- 第10回 遊びと教育 フレーベル
- 第11回 近代学校制度 ヘルバルト
- 第12回 「子ども中心主義」教育
- 第13回 経験と教育 デューイ
- 第14回 学校と教育 イリイチ
- 第15回 歴史に学ぶこれからの教育

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/7jzrmknirzaxbqseqvu0vjwgbzx1g42)

## 江玉 睦美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

## - - - 概要 - - -

近年、わが国の教育にはさまざまな問題がみられる。すべてのものに誕生から現在に至るまでの歴史があるように、教育もまた、誕生から長い歴史を経て現在に至っている。今日、教育が抱える諸問題はこうした歴史の中で起きているものである。そこで本講義では、教育の歴史を辿ることによって、教育の諸問題の背景や構造について考えていくことを目的とする。

講義内容は、古代から現代までの流れを追い、その中からそれぞれの時代において今日に影響を与えている教育思想や、今日の教育の源流となっている教育思想、今日の教育課題を考える視点となる教育思想を取り上げていく。

## - - - 到達目標 - - -

西洋における教育の歴史の流れを説明することができる(知識・理解)

代表的な教育の思想について説明することができる(知識・理解)

今日の教育の諸問題について歴史的背景を視点として考えることができる(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・講義終了時に、次回講義のテキスト範囲を連絡するので、必ず読んでおくこと。

(30分)

・講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること(試験に向けても重要となる)。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 1 西洋教育の歴史の流れについて説明することができるか。
- 2 講義で取り上げた代表的な教育の思想について説明することができるか。
- 3 今日の教育の諸問題について、歴史的背景から再確認し、自分の意見を述べるることができるか。

以上の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

## - - - テキスト - - -

勝山吉章他著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版、2011年

ISBN978-4-901903-47-9 (2000円+税)

## - - - 履修上の留意点 - - -

毎時間、質問カードを配布します。携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

## - - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 第2回 人間における教育の必要性 カントなど
- 第3回 スパルタ教育とは ギリシャの教
- 第4回 近代的教科書の誕生 コメニウス
- 第5回 「子ども」の発見 ルソー
- 第6回 環境と教育
- 第7回 近代教育における学校教育 ペスタロッチー
- 第8回 生活と教育
- 第9回 幼児教育の源流 フレーベル
- 第10回 遊びと教育 フレーベル
- 第11回 近代学校制度 ヘルバルト
- 第12回 「子ども中心主義」教育
- 第13回 経験と教育 デューイ
- 第14回 学校と教育 イリイチ
- 第15回 歴史に学ぶこれからの教育

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/k32il3jo1600o22o2wwkh4zanujyvchm>)

## 光富 省吾

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・3時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることが大切である。今年度はミュージカル映画を題材に、ミュージカルで提示された問題を考えて行く。

授業：鑑賞のポイントなどの資料を配布する（あるいはスクリーンに提示する）ので、それを参考にしながら、作品を鑑賞する。後で感想をまとめるためにメモを取るのも良い方法。アンドルー・ロイド・ウェバーの作品を中心にヨーロッパのミュージカルを対象とする。

## - - - 到達目標 - - -

文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることができるようになる。(態度・志向性)

ミュージカルで歌われる曲はただ単に歌うのではなく、ストーリーの進行や登場人物の心理と密接な関係があるので、歌詞の意味を考えながら、鑑賞できるようになる。(知識・理解)

ミュージカル映画の鑑賞を通して、批評能力、論理的思考力、洞察力、考えの異なる他者を思いやる力を養成できるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：授業で扱われる作品のテーマなどのポイントを教科書を読みながら、印をつけたり、ノートに抜き書きしておく。(30分～1時間程度)

復習：もう一度作品のテーマについて考え、自分なりの意見をメモしたり、感想をまとめておく。ストーリーの展開に従って曲の内容を整理しておく。(30分～1時間程度)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

それぞれのミュージカル作品によって提示されたテーマや問題点をどの程度論理的に理解しているか、代表曲の歌詞をどの程度理解しているか、作者や作品のバックグラウンドをどの程度理解しているかを定期試験の成績評価基準とする。定期試験100%.

## - - - テキスト - - -

小山内伸『進化するミュージカル』論創社  
ISBN 9784846006310

## - - - 参考書 - - -

池田雅之『猫たちの舞踏会：エリオットとミュージカル「キャッツ」』角川ソフィア文庫 ISBN 9784044093013

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業中の居眠り、私語と携帯電話使用は厳禁。

## - - - 授業計画 - - -

- (1) イントロダクション(スタートアップ授業)
- (2) キャッツ 1
- (3) キャッツ 2
- (4) ジーザス・クライスト・スーパースター 1
- (5) ジーザス・クライスト・スーパースター 2
- (6) エヴィータ 1
- (7) エヴィータ 2
- (8) オペラ座の怪人 1
- (9) オペラ座の怪人 2
- (10) エリザベート 1
- (11) エリザベート 2
- (12) エリザベート 3
- (13) レ・ミゼラブル 1
- (14) レ・ミゼラブル 2
- (15) レ・ミゼラブル 3

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/454uh5r4djiyesc448racdfcw7n1paw>

## 山中 博心

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・5 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

## - - - 概要 - - -

この講義では特にドイツ古典主義とロマン主義に代表される18世紀及び19世紀の詩人を取り扱う。予定調和的なものを前提とする時代であり、具体的には主としてゲーテ、ヘルダーリン、ハイネの詩を取り扱う。単に詩を概説するだけでなく、音、リズムや抑揚などにも注意を払い、日常使う言葉とは違った魂の込められた言葉が人間にとって如何に不可欠であるかを感じ取っていく。講義形式で毎回2つぐらいの詩を読み進めるが、授業の終わりに与えられたテーマについて200字ぐらいの小文を書いてもらう。事前・事後学習として該当する詩及び解説に眼を通しておくことが望ましい。

## - - - 到達目標 - - -

言葉の多義的な意味についての認識が深まる。(知識・理解)

詩的表現を通して自分の世界像を膨らますことができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

自分なりにイメージを膨らませておくことが授業での関心を高めることになるので事前に詩に目を通しておくこと。また自分が抱いていたイメージの修正を事後学習ですること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標の(知識・理解)および(技能)について毎回提出してもらう小文を小課題点とし、定期試験の結果と合わせて評価する。小文、定期試験とも自分の意見を詩人の言葉を手がかりにしてどれほど客観性を持たせているかで判断する。平常点30点、定期試験70点である。

## - - - テキスト - - -

庄野幸吉・檜山哲彦編 『ドイツ名詩選』(岩波文庫)  
900円 ISBN4-00-324601-2

## - - - 履修上の留意点 - - -

自分で感じ、考えることを旨とする。借りてきた説明書を写すようなことはこの講義の目的にそぐわない。自分の個人的な感性を如何にして他者と共有出来るかを心がけると。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン：スタートアップ授業
- 2 クロップシュトック
- 3 ゲーテ
- 4 ゲーテ
- 5 ゲーテ
- 6 ゲーテ
- 7 シラー
- 8 ヘルダーリン
- 9 ヘルダーリン
- 10 ハイネ
- 11 ハイネ
- 12 ハイネ
- 13 メーリケ
- 14 マイヤー
- 15 まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/qxz60l9vmpggxiechegeu0h1y3tydkv0>

## 鈴木 隆美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：月・1 時限 試験時間割：2021/07/27 4 時限

## - - - 概要 - - -

古代ギリシャ、ローマから連綿と続く西洋文学の伝統の中で、恋愛は中心的なテーマの一つでありました。しかしながら時代ごとの恋愛のイメージは、古代と現在では天と地ほども違います。本講義では、古代ギリシャ、ローマから、フランス、ドイツ、イギリスなどの文学作品の抜粋を読むことによって、時代ごとの恋愛表象の変遷を見ていきます。その中で、どのように制度としての恋愛（恋愛とはこうあるべき、という時代ごとの規範）が変わっていったのかを見ていきます。前期は中世までを取り扱います。

そうした作業を通じて、西洋文化の中に深く根を下ろした恋愛という文化現象に対する理解を深めると同時に、それがどのように日本に受容されたのか、ということも考えていきます。具体的には、講義の内容と関係するような、現代日本のヒット曲の歌詞を取り上げ、学生の意見、感想を取り上げながら分析していく、ということを行います。

また近年のジェンダー論、クイア研究の視点からも、文学作品を読み直す、ということも実践していきます。現代は、男はこうあるべき、女はこうあるべき、というジェンダー規範がひどく揺らいでいる時代だと言えるでしょう。そのような視点から、過去の文学作品を読み直すことにより、得られる知見は馬鹿にできないものです。

そのように様々な文学作品の読解を通じて、文学の魅力、文学の持つ力を少しでも感じてもらえれば、あるいはその小さなきっかけになれば、講義担当者としてはうれしく思います。

## - - - 到達目標 - - -

西洋文学に見られる恋愛観念に関する基本的知識を身につけ、説明することができる  
 (知識・理解)

人間性と社会との関係を考慮した相対的思考を行うことができる  
 (技能)

問題意識をもって文学と社会の在り方を考える態度を身につける  
 (態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義では、特定の作家の特定の時代を取り上げますので、あらかじめテキストの該当ページを読んでおいて講義の内容が理解しやすいようにしておいてください。(60分)

授業後には、講義内容を踏まえ、自分の意見を作り上げてください(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

期末におこなう定期試験では西洋文学における恋愛表象の基礎知識について問います。また、講義中に複数回提出するミニツツペーパーでは講義のテーマに沿った論述が論理的に展開されているかどうかを評価します。定期試験を5割、ミニツツペーパーを5割として成績評価します。

## - - - テキスト - - -

鈴木隆美『恋愛制度、束縛の2500年史—古代ギリシャから現代日本まで』光文社新書

## - - - 履修上の留意点 - - -

現在のジェンダー規範（男はこうあるべき、女はこうあるべき）から逃れようと思っていない人に対しては、不快な要素があるかもしれません。そのような人には履修をお勧めしません。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 古代ギリシャの恋愛1
3. 古代ギリシャの恋愛2
4. 古代ギリシャの恋愛3
5. 古代ローマの恋愛1
6. 古代ローマの恋愛2
7. 古代ローマの恋愛3
8. まとめ、フォローアップと意見交換
9. 中世宮廷恋愛1
10. 中世宮廷恋愛2
12. 中世宮廷恋愛3
13. 中世宮廷恋愛4
14. フォローアップと意見交換
15. まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/t4a033ljz1nfjwbk5dqjlpqzaihawmk>)

## 野田 康文

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

この科目は、西洋文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、19世紀に活躍した2人の作家の作品 前期はハーディの短編小説、後期はメリメの『カルメン』 を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

前期はイギリスの作家・トマス・ハーディの短編小説を「グリーブ家のバーバラ」という作品を中心に読みます。「グリーブ家のバーバラ」は、19世紀のイギリスの貴婦人の恋愛と結婚をテーマとする作品で、日本では1927年に谷崎潤一郎が日本語に翻訳し、彼自身の小説『春琴抄』に大きな影響を与えたことでよく知られています。大事な場面を中心に、設問付きの配布テキストで読んでいきます。また、授業の進行状況に応じて、ハーディの他の小説もいくつか読んでいきます。

ハーディとメリメは、どちらも19世紀の西洋文学を代表する作家です。作家の死後長い年月を経過した今日でも読み継がれている彼の文学作品を読み解いていくことは、現代日本に生きる皆さんにとっても、自分と異なる時代や文化に生きる人々を理解する柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

## - - - 到達目標 - - -

20世紀の西洋文学の一端にふれることを通して、異文化に対する知識と教養を深める。(知識・理解)

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。(態度・志向性)

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の授業で配布する設問付きのテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと(15~30分程度)。

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること(30分程度)。試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業では毎回、読解すべき本文を設問付きで配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことがありますので、それを平常点として扱います。提出した解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出物と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「異文化に対する知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

## - - - テキスト - - -

毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

## - - - 履修上の留意点 - - -

設問の解答を提出する時は、解答用紙の配布時に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。

他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

## - - - 授業計画 - - -

第1回：トマス・ハーディの短編小説を読む1  
 シラバスに沿った講義ガイダンス&イントロダクション、作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き(スタートアップ授業)

第2回： トマス・ハーディの短編小説を読む2  
 テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第3回： トマス・ハーディの短編小説を読む3  
 テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第4回： トマス・ハーディの短編小説を読む4  
 テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第5回： トマス・ハーディの短編小説を読む5  
 テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第6回： トマス・ハーディの短編小説を読む6  
 テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第7回： トマス・ハーディの短編小説を読む7  
 テキスト7の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第8回： トマス・ハーディの短編小説を読む8  
 テキスト8の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第9回： トマス・ハーディの短編小説を読む9  
 テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第10回： トマス・ハーディの短編小説を読む10  
 テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第11回： トマス・ハーディの短編小説を読む11  
 テキスト10の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第12回： トマス・ハーディの短編小説を読む12  
 テキスト11の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第13回： トマス・ハーディの短編小説を読む13  
 テキスト12の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第14回： トマス・ハーディの短編小説を読む14  
 テキスト13の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第15回： トマス・ハーディの短編小説を読む15  
 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き、全体まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/yccsnsdhn6do7tnfj124jo9xieunmjrf>)



## 林 信蔵

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・4時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

この授業では、19世紀フランスを代表する小説家で、明治の日本の文学にも多くの影響を与えたエミール・ゾラ（1840-1902）の代表的シリーズ小説『ルーゴン＝マッカール叢書』中の『制作』（1886）を読みながら、ゾラの文学作品の面白さを味わうとともに、その中で題材とされる19世紀フランスの文化・芸術の特徴を学ぶことを目的とします。

ゾラの『制作』では、画家のエドゥアール・マネ（1832-1883）やポール・セザンヌ（1839-1906）をモデルとしたと考えられる人物が主人公として登場します。また、彼らと交流関係があったゾラ自身をモデルとしたと考えられる人物も登場します。これらの人物が織りなす人間関係や、背景となる都市文化の発展のありようも考察することで、ゾラの芸術観と同時に、フランスの文化の特徴も理解することを目指します。

具体的な授業の進め方としては、授業開始一週間前に読んでくるべき資料をFU\_boxにアップロードします。皆さんがそれを読んできているのを前提として、ポイントを解説していきます。その上で授業内でポータルアンケート機能を用いて小テストを行い、その場で解説を行い質問にも答えます。

## - - - 到達目標 - - -

ゾラの文学の文学観・芸術観が理解でき、説明できる。(知識・理解)

19世紀後半のフランスの文化・芸術の特徴が理解でき、説明できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習に関しては、60分ほどの時間で、授業開始一週間前にFU\_boxにアップロードされる資料を授業が始まる前までに読んでおく必要があります。また、授業内で提示される参考文献等を読んでいただくことが望ましいです。

復習に関しては、30分ほどの時間で、小テストの復習をし、理解が難しかった点を洗い直し、次回の授業で質問できるようにしてください。また、小テストの内容の復習をして定期試験の対策としてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回授業内で行われる小テストの点を20%で評価します。また、2回1000字ほどの小レポートを課します。小レポートは各15%で評価され、全体で30%の割合で評価されます。定期試験の得点は50%の割合となります。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しません。  
 毎回資料をFU\_boxにアップロードします。

## - - - 参考書 - - -

『いま、なぜゾラか』 ISBN 4-89434-306-1

## - - - 履修上の留意点 - - -

新型コロナウイルス感染拡大を予防するために、着席する位置を指定します。座り間違いのないようにしてください。

また、授業内でFUポータルのアンケート機能を用いた小テストを行いますので、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかを持参するようお願いいたします。ただし、念のためミニッツペーパーによる小テストを準備します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1) イントロダクション：スタート・アップ授業（動画配信）
- 2) ゾラの美術批評
- 3) 『制作』第1章
- 4) 『制作』第2章
- 5) 『制作』第3章
- 6) 『制作』第4章
- 7) 『制作』第5章
- 8) 『制作』第6章
- 9) 『制作』第7章
- 10) 『制作』第8章
- 11) 『制作』第9章
- 12) 『制作』第10章
- 13) 『制作』第11章
- 14) 『制作』第12章
- 15) まとめ・授業アンケート

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/zsx7it6qtziso2tgtrhmmbolqvshxb>

## 林 信蔵

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：2021/07/27 4時限

## - - - 概要 - - -

この授業では、19世紀フランスを代表する小説家で、明治の日本の文学にも多くの影響を与えたエミール・ゾラ（1840-1902）の代表的シリーズ小説『ルーゴン＝マッカール叢書』中の『制作』（1886）を読みながら、ゾラの文学作品の面白さを味わうとともに、その中で題材とされる19世紀フランスの文化・芸術の特徴を学ぶことを目的とします。

ゾラの『制作』では、画家のエドゥアール・マネ（1832-1883）やポール・セザンヌ（1839-1906）をモデルとしたと考えられる人物が主人公として登場します。また、彼らと交流関係があったゾラ自身をモデルとしたと考えられる人物も登場します。これらの人物が織りなす人間関係や、背景となる都市文化の発展のありようも考察することで、ゾラの芸術観と同時に、フランスの文化の特徴も理解することを目指します。

具体的な授業の進め方としては、授業開始一週間前に読んでくるべき資料をFU\_boxにアップロードします。皆さんがそれを読んできているのを前提として、ポイントを解説していきます。その上で授業内でポータルアンケート機能を用いて小テストを行い、その場で解説を行い質問にも答えます。

## - - - 到達目標 - - -

ゾラの文学の文学観・芸術観が理解でき、説明できる。(知識・理解)

19世紀後半のフランスの文化・芸術の特徴が理解でき、説明できる。(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習に関しては、60分ほどの時間で、授業開始一週間前にFU\_boxにアップロードされる資料を授業が始まる前までに読んでおく必要があります。また、授業内で提示される参考文献等を読んでいただくことが望ましいです。

復習に関しては、30分ほどの時間で、小テストの復習をし、理解が難しかった点を洗い直し、次回の授業で質問できるようにしてください。また、小テストの内容の復習をして定期試験の対策としてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回授業内で行われる小テストの点を20%で評価します。また、2回1000字ほどの小レポートを課します。小レポートは各15%で評価され、全体で30%の割合で評価されます。定期試験の得点は50%の割合となります。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しません。  
 毎回資料をFU\_boxにアップロードします。

## - - - 参考書 - - -

『いま、なぜゾラか』 ISBN 4-89434-306-1

## - - - 履修上の留意点 - - -

新型コロナウイルス感染拡大を予防するために、着席する位置を指定します。座り間違いのないようにしてください。

また、授業内でFUポータルのアンケート機能を用いた小テストを行いますので、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかを持参するようお願いいたします。ただし、念のためミニッツペーパーによる小テストを準備します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1) イン트로ダクション：スタート・アップ授業（動画配信）
- 2) ゾラの美術批評
- 3) 『制作』第1章
- 4) 『制作』第2章
- 5) 『制作』第3章
- 6) 『制作』第4章
- 7) 『制作』第5章
- 8) 『制作』第6章
- 9) 『制作』第7章
- 10) 『制作』第8章
- 11) 『制作』第9章
- 12) 『制作』第10章
- 13) 『制作』第11章
- 14) 『制作』第12章
- 15) まとめ・授業アンケート

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (https://fukuoka-u.box.com/s/beai54iv642qm9kz5xua4d5itruudbas0)

## クロス, ティモシー

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：月・5 時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

Reading literature helps you understand your world.  
 Talking about the different meanings of each piece of literature helps you develop your thinking and discussion skills.  
 You will be developing your own opinion as you practice agreeing and disagreeing, partially agreeing, and partially disagreeing.

You will be given a short test at the beginning of every class, so you can show that you have successfully completed the homework and understood the basic themes of each story.

You will study how to read and discuss short stories.  
 You will take part in discussion activities.  
 By the end of the course, you will be able to agree and disagree with other students as you about the main themes of a short story.

We will talk about the way Japan is imagined in the Speculative Japan stories. As we imagine the future possibilities of Japan, we will think about Japan now.

Group activities will include:  
 Participating in discussions  
 Helping other students when they do not understand  
 Asking questions when you do not understand  
 Working together to score the individual presentation of other students

Individual activities will include:  
 Preparing a powerpoint set of discussion questions  
 Making a brief presentation about some aspect of Japanese life that is thematically connected to the weekly reading

Although the class is taught in English, some students might mix Japanese and English at the beginning of the course. As the course goes on, hopefully more English will be spoken. It is also possible that exchange students will take this course. Fukuoka University students and exchange students should help each other.

## - - - 到達目標 - - -

You will read the stories in Japanese or English. (態度・志向性)

You will talk about each story in Japanese or English. (態度・志向性)

You will talk about the stories in Japanese or English using the frameworks developed in class. (知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

Please complete your homework BEFORE class: 90 minutes preparation per week.

You will read the stories in Japanese or English.  
 You will make notes comparing the various stories.  
 Reading the homework: checking anything you do not understand.  
 Preparing for presentations and discussions.

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

Punctual class attendance, with the reading homework finished before coming to class, and with the textbook ready to actively participate in discussions 70%  
 Individual presentation 20%  
 Individual role in group 10%

I will not explain the evaluation system in class. You must read it for yourself.

## - - - テキスト - - -

Speculative Japan 第二巻  
 "The Man Who Watched the Sea" and Other Tales of Japanese Science Fiction and Fantasy

ISBN-13: 978-4-902075-18-2

## - - - 参考書 - - -

<http://www.kurodahan.com/mt/j/catalog/j0025cate.html>  
<http://www.kurodahan.com>

## - - - 履修上の留意点 - - -

Theoretically, this should be fun for you.

## - - - 授業計画 - - -

- 1 Course overview: individual presentations, group evaluation of individual presentations (Score and reasons for that score). (スタートアップ授業)
- 2 安房 直子  
"A Gift from the Sea" 海からの贈り物  
翻訳：Sheryl A. HOGG
- 3 円城 塔  
"Freud" Freud  
翻訳：Kevin STEINBACH
- 4 大原 まり子  
"The Whale that Sang on the Milky Way Network" 銀河ネットワークで歌を歌ったクジラ  
翻訳：Nancy H. ROSS
- 5 小川 一水  
"Old Vohl's Planet" 老ヴォールの惑星  
翻訳：Jim HUBBERT
- 6 恩田 陸  
"The Big Drawer" 大きな引き出し  
翻訳：Nora Stevens HEATH
- 7 梶尾 真治  
"Emanon: A Reminiscence" おもいでエマノン  
翻訳：Edward LIPSETT
- 8 北國 浩二  
"Midst the Mist" 霧の中  
翻訳：Rossa O'MUIREARTAIGH
- 9 小林 泰三  
"The Man Who Watched the Sea" 海を見る人  
翻訳：Anthea MURPHY
- 10 高樹 のぶ子  
"Melk's Golden Acres" メルクの黄金畑  
翻訳：Dink TANAKA
- 11 2009 黒田藩プレス翻訳賞受賞作  
谷甲 州  
"Q-Cruiser Basilisk" 仮装巡洋艦バシリスク  
翻訳：Simon VARNAM
- 12 中井 紀夫  
"Mountaintop Symphony" 山の上の交響楽  
翻訳：Terry GALLAGHER
- 13 堀 晃  
"Open Up" 開封  
翻訳：Roy BERMAN
- 14 山尾 悠子  
"Perspective" 遠近法  
翻訳：Ginny Tapley TAKEMORI
- 15 Course review

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/as3u92e9vap91bw2b835up0zd71zgcii>)

## 鶴田 学

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：金・5 時間 試験時間割：2021/07/27 4 時間

## - - - 概要 - - -

この講義では、イギリス文学を代表するウィリアム・シェイクスピアの演劇を通じて、イギリス・ルネサンスの文学について学びます。シェイクスピアは実に多才な作家で喜劇、悲劇、歴史劇、ロマンス劇といった様々なジャンルの作品を残していますが、ここでは特に『ロミオとジュリエット』や『ハムレット』などが有名な悲劇と『ヘンリー五世』などの英国史劇、『ジュリアス・シーザー』などのローマ史劇に焦点を当てます。文学に親しむことと平行して、イギリスの歴史・文化に関するトピックにも言及します。講義には、シェイクスピア研究に関する国内外の最新の情報も盛り込んでいきます。

## - - - 到達目標 - - -

劇作家シェイクスピアとその悲劇、歴史劇についての一般教養を身につけている。(知識・理解)

シェイクスピアの作品や歴史について自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：次回の授業で扱う作品のあらすじをテキストで確認し、必要に応じて日本語訳でシェイクスピアの原作を読むことが求められる。毎週ではないが、作品を読むには2, 3時間は要するであろう。(各週平均60分)

復習：時代や歴史背景についてノートを整理し、作品の有名な一節を日本語・英語で音読したり、場合によっては日本語(出来る人は英語)で暗唱することが求められる。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績評価の80%は、定期試験期間中に実施する筆記試験によります。残り20%は小テストを含む授業参加によります。定期試験では「劇作家シェイクスピアとその悲劇、歴史劇についての一般教養」を記号式の客観問題と記述を織り交ぜて評価します(到達目標)。合格の基準は、シェイクスピアについての基礎知識の理解ができていること、代表的な悲劇、歴史劇の内容、背景、舞台表象などを押さえていることです。小テストはタームの中で抜き打ち的に数回行います。そこでは、シェイクスピアについて「自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる」技能を記述式によって測ります(到達目標)。もしも、平素、出席が良好な受講者が偶発的に小テストの回に休んでしまった場合には、成績評価が不利にならないように配慮することもあり得ます。

## - - - テキスト - - -

『あらすじで読むシェイクスピア全作品』  
 河合祥一郎著 価格 ¥ 864  
 ISBN 9784396113490

## - - - 参考書 - - -

『シェイクスピアの驚異の成功物語』 ISBN  
 9784560027486

## - - - 履修上の留意点 - - -

講義や試験は原則として日本語で行われますが、シェイクスピアの特徴を正しく理解するために一部に英語を読むことがあります。直接英語力を問うような問題や英文和訳の出題はありませんが、英語という言葉や英国文化に興味があることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 『ロミオとジュリエット』
3. 『ハムレット』
4. 主人公ハムレットの独白
5. 『マクベス』
6. 悲劇のまとめ
7. 『ヘンリー六世』三部作
8. 『リチャード三世』
9. 『リチャード二世』
10. 『ヘンリー四世』二部作
11. 『ヘンリー五世』
12. 歴史劇のまとめ
13. 『ジュリアス・シーザー』
14. 『コリオレイナス』
15. 全体のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/n8yku0aruzznr4k4k7ye86vlniahz13d>)

## 野田 康文

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：火・二部 2 時間 試験時間割：2021/07/27 夜 2 限

## - - - 概要 - - -

この科目は、西洋文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、19世紀に活躍した2人の作家の作品 前期はハーディの短編小説、後期はメリメの『カルメン』 を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

前期はイギリスの作家・トマス・ハーディの短編小説を「グリーン家のバーバラ」という作品を中心に読みます。「グリーン家のバーバラ」は、19世紀のイギリスの貴婦人の恋愛と結婚をテーマとする作品で、日本では1927年に谷崎潤一郎が日本語に翻訳し、彼自身の小説『春琴抄』に大きな影響を与えたことでもよく知られています。大事な場面を中心に、設問付きの配布テキストで読んでいきます。また、授業の進行状況に応じて、ハーディの他の小説もいくつか読んでいきます。

ハーディとメリメは、どちらも19世紀の西洋文学を代表する作家です。作家の死後長い年月を経過した今日でも読み継がれている彼の文学作品を読み解いていくことは、現代日本に生きる皆さんにとっても、自分と異なる時代や文化に生きる人々を理解する柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

## - - - 到達目標 - - -

20世紀の西洋文学の一端にふれることを通して、異文化に対する知識と教養を深める。(知識・理解)

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。(態度・志向性)

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の授業で配布する設問付きのテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと(15~30分程度)。

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること(30分程度)。試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業では毎回、読解すべき本文を設問付きで配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出していただくことがありますので、それを平常点として扱います。提出した解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出物と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「異文化に対する知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

## - - - テキスト - - -

毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

## - - - 履修上の留意点 - - -

設問の解答を提出する時は、解答用紙の配布時に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。

他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

## - - - 授業計画 - - -

第1回：トマス・ハーディの短編小説を読む1  
シラバスに沿った講義ガイダンス&イントロダクション、作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き(スタートアップ授業)

第2回： トマス・ハーディの短編小説を読む2  
テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第3回： トマス・ハーディの短編小説を読む3  
テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第4回： トマス・ハーディの短編小説を読む4  
テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第5回： トマス・ハーディの短編小説を読む5  
テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第6回： トマス・ハーディの短編小説を読む6  
テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第7回： トマス・ハーディの短編小説を読む7  
テキスト7の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第8回： トマス・ハーディの短編小説を読む8  
テキスト8の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第9回： トマス・ハーディの短編小説を読む9  
テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き1

第10回： トマス・ハーディの短編小説を読む10  
テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き2

第11回： トマス・ハーディの短編小説を読む11  
テキスト10の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第12回： トマス・ハーディの短編小説を読む12  
テキスト11の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第13回： トマス・ハーディの短編小説を読む13  
テキスト12の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第14回： トマス・ハーディの短編小説を読む14  
テキスト13の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第15回： トマス・ハーディの短編小説を読む15  
テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き、全体まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
(<https://fukuoka-u.box.com/s/y2ncuhb0bkh75jvmj96vvd1xmerlx239>)

## 光富 省吾

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることが大切である。今年度はミュージカル映画を題材に、ミュージカルで提示された問題を考えて行く。

授業：鑑賞のポイントなどの資料を配布する（あるいはスクリーンに提示する）ので、それを参考にしながら、作品を鑑賞する。後で感想をまとめるためにメモを取るのも良い方法。

1990年代以降のブロードウェイ復興後のアメリカのミュージカル作品を対象とする。

## - - - 到達目標 - - -

文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることができるようになる。(態度・志向性)

ミュージカルで歌われる曲はただ単に歌うのではなく、ストーリーの進行や登場人物の心理と密接な関係があるので、歌詞の意味を考えながら、鑑賞できるようになる。(知識・理解)

ミュージカル映画の鑑賞を通して、批評能力、論理的思考力、洞察力、考えの異なる他者を思いやる力を養成できるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：授業で扱われる作品のテーマなどのポイントを教科書を読みながら、印をつけたり、ノートに抜き書きしておく。(30分～1時間程度)

復習：もう一度作品のテーマについて考え、自分なりの意見をメモしたり、感想をまとめておく。ストーリーの展開に従って曲の内容を整理しておく。(30分～1時間程度)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

それぞれのミュージカル作品によって提示されたテーマや問題点をどの程度論理的に理解しているか、代表曲の歌詞をどの程度理解しているか、作者や作品のバックグラウンドをどの程度理解しているかを定期試験の成績評価基準とする。定期試験100%.

## - - - テキスト - - -

小山内伸『進化するミュージカル』論創社  
 ISBN 978-4-8460-0631-0

## - - - 履修上の留意点 - - -

授業中の私語と携帯電話は厳禁。

## - - - 授業計画 - - -

- (1) イントロダクション(スタートアップ授業)
- (2) マンマ・ミーア! 1
- (3) マンマ・ミーア! 2/ライオンキング(概略のみ)
- (4) レント 1
- (5) レント 2
- (6) シカゴ 1
- (7) シカゴ 2
- (8) プロデューサーズ 1
- (9) プロデューサーズ 2
- (10) ヘアスプレー 1
- (11) ヘアスプレー 2
- (12) 美女と野獣 1
- (13) 美女と野獣 2
- (14) ウィキッド(概略のみ) アナと雪の女王 1
- (15) アナと雪の女王 2

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/454oensttcp3qrd6qre9k74kzi0g9yt4>

## 山中 博心

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・5時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

この講義では19世紀末から20世紀への世紀転換期に詩人たちが抱えた言語危機の問題と、それまでの予定調和的な世界（神の世界）の喪失から如何にして自己を取り戻していくのか、またナチスによるユダヤ人虐殺という未曾有の出来事の後にも詩を書くことが可能なのか、その場合それまでとは違った言語の生産性とは何かを考える。講義形式であるが毎回テーマに沿った200字程度の小文を書いてもらう。事前・事後学習として該当する詩及び解説に眼を通しておくことが望ましい。

## - - - 到達目標 - - -

言語の多義的な意味についての認識が深まる。(知識・理解)

詩的表現を通して自分の世界像を膨らますことができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

自分なりにイメージを膨らませておくことが授業での関心を高めることになるので事前に詩に目を通しておくこと。また自分が抱いていたイメージの修正を事後学習ですること。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

達成目標の(知識・理解)および(技能)について  
 毎回提出してもらう小文を小課題点とし、定期試験の結果と合わせて評価する。小文、定期試験とも自分の意見を詩人の言葉を手がかりにどれだけ客観性を持たせているかで判断する。平常点30点、定期試験70点とする。

## - - - テキスト - - -

庄野幸吉・檜山哲彦編『ドイツ名詩選』（岩波文庫）900円 ISBN4-00324601-2

## - - - 履修上の留意点 - - -

自分で感じ、考えることを旨とする。借りてきた説明書を写すようなことはこの講義の目的にそぐわない。自分の個的な感性を如何にして他者と共有できるかを心がけること。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン：スタートアップ授業 2 ニーチェ
- 3 ヴェデキント
- 4 ゲオルゲ
- 5 ホフマンスタール
- 6 ホフマンスタール
- 7 リルケ
- 8 リルケ
- 9 リルケ
- 10 ヘッセ
- 11 ツェラン
- 12 ツェラン
- 13 ツェラン
- 14 ツェラン
- 15 終わりに

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/m752hmgodbbwgvk1oxzsz078lige1qwl>)

## 鈴木 隆美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

古代ギリシャ、ローマから連綿と続く西洋文学の伝統の中で、恋愛は中心的なテーマの一つでありました。しかしながら時代ごとの恋愛のイメージは、古代と現代では天と地ほども違います。本講義では、古代ギリシャ、ローマから、フランス、ドイツ、イギリスなどの文学作品の抜粋を読むことによって、時代ごとの恋愛表象の変遷を見ていきます。その中で、どのように制度としての恋愛（恋愛とはこうあるべき、という時代ごとの規範）が変わっていったのかを見ていきます。後期は近代から現代までを取り扱います。

そうした作業を通じて、西洋文化の中に深く根を下ろした恋愛という文化現象に対する理解を深めると同時に、それがどのように日本に受容されたのか、ということも考えていきます。具体的には、講義の内容と関係するような、現代日本のヒット曲の歌詞を取り上げ、学生の意見、感想を取り上げながら分析していく、ということを行います。

また近年のジェンダー論、クイア研究の視点からも、文学作品を読み直す、ということも実践していきます。現代は、男はこうあるべき、女はこうあるべき、というジェンダー規範がひどく揺らいでいる時代だと言えるでしょう。そのような視点から、過去の文学作品を読み直すことにより、得られる知見は馬鹿にできないものです。

そのように様々な文学作品の読解を通じて、文学の魅力、文学の持つ力を少しでも感じてもらえれば、あるいはその小さなきっかけになれば、講義担当者としてはうれしく思います。

## - - - 到達目標 - - -

西洋文学に見られる恋愛観念に関する基本的知識を身につけ、説明することができる(知識・理解)

人間性と社会との関係を考慮した相対的思考を行うことができる(技能)

人間の多様な姿を見ることによって、人間とは何かを考える態度を身につける(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義では、特定の作家の特定の時代を取り上げますので、あらかじめテキストの該当ページを読んでおいて講義の内容が理解しやすいようにしておいてください。(60分)

授業後には、講義内容を踏まえ、自分の意見を作り上げてください(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

期末におこなう定期試験では西洋文学における恋愛表象の基礎知識について問います。また、講義中に複数回提出するミニッツペーパーでは講義のテーマに沿った論述が論理的に展開されているかどうかを評価します。定期試験を5割、ミニッツペーパーを5割として成績評価します。

## - - - テキスト - - -

鈴木隆美 『恋愛制度、束縛の2500年史—古代ギリシャから現代日本まで』光文社新書

## - - - 履修上の留意点 - - -

後期のみも履修可能ですが、その際はテキストをよく読み、対応する内容を理解してから受講してください。

現在のジェンダー規範（男はこうあるべき、女はこうあるべき）から逃れようと思っていない人に対しては、不快な要素があるかもしれません。そのような人には履修をお勧めしません。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. ロマンティックラブ1
3. ロマンティックラブ2
4. ロマンティックラブ3
5. ロマンティックラブ4
6. ロマンティックラブ5
7. まとめとフォローアップ、意見交換
8. 現代の恋愛1
9. 現代の恋愛2
10. 現代の恋愛3
11. 現代の恋愛4
12. 現代の恋愛5
13. 現代の恋愛6
14. 現代の恋愛7
15. まとめとフォローアップ、意見交換

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/j3ce7kufm1ena8oa6abks7h5rs2wyy04>



## 野田 康文

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## --- 概要 ---

この科目は、西洋文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、19世紀に活躍した2人の作家の作品 前期はハーディの短編小説、後期はメリメの『カルメン』 を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

後期はフランスの作家・メリメの『カルメン』という中編小説を読みます。ビゼーの作曲で有名な同名のオペラの原作で、メリメの代表作です。「宿命の女（ファム・ファタル）」の典型ともいわれるヒロインのカルメンをめぐる恋愛小説です。大事な場面を中心に、設問を考えながら読んでいきます。

ハーディとメリメは、どちらも19世紀の西洋文学を代表する作家です。死後長い年月を経過した今日でも読み継がれている彼等の文学作品を読み解いていくことは、現代日本に生きる皆さんにとっても、自分と異なる時代や文化に生きる人たちを理解する柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

## --- 到達目標 ---

19世紀の西洋文学の一端にふれることを通して、異文化に対する知識と教養を深める。(知識・理解)

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。(態度・志向性)

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。(技能)

## --- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

毎回の授業で配布する設問と指定のテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと（15～30分程度）。

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること（30分程度）。試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

## --- 成績評価基準および方法 ---

授業では毎回、読解すべきテキストの範囲を指示し、設問を配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことがありますので、それを平常点として扱います。提出した解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出物と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「異文化に対する知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

## --- テキスト ---

メリメ著・工藤庸子訳『カルメンノタマンゴ』（光文社古典新訳文庫）

## --- 履修上の留意点 ---

設問の解答を提出する時は、解答用紙の配布時に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。

他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

## --- 授業計画 ---

第1回：『カルメン』を読む1  
 シラバスに沿った授業ガイダンス&イントロダクション、作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き（スタートアップ授業）

第2回：『カルメン』を読む2  
 テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第3回：『カルメン』を読む3  
 テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第4回：『カルメン』を読む4  
 テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第5回：『カルメン』を読む5  
 テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第6回：『カルメン』を読む6  
 テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第7回：『カルメン』を読む7  
 テキスト7の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第8回：『カルメン』を読む8  
 テキスト8の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第9回：『カルメン』を読む9  
 テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第10回：『カルメン』を読む10  
 テキスト10の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第11回：『カルメン』を読む11  
 テキスト11の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第12回：『カルメン』を読む12  
 テキスト12の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第13回：『カルメン』を読む13  
 テキスト13の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第14回：『カルメン』を読む14  
 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き1

第15回：『カルメン』を読む15  
 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き2、全体まとめ

## --- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ru3qkc2xjrj3gmy30vrst8zjbhc0xm8jb>)

## 林 信蔵

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・4時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

この授業では、文学と音楽の要素が融合して成り立っている演劇であるオペラを題材とし、文学と音楽の融合という観点からオペラを鑑賞する面白さを学ぶとともに、ヨーロッパにおいてオペラが占めた文化的な役割も併せて学習します。

まず、オペラの起源や歴史、基本的な成り立ちや構成、詩と音楽の合わせ方、ミュージカルとの共通点や差異などを総論として学びます。その上で、19世紀の後半のフランス・オペラに大きな影響を与えたドイツの作曲家ヴァーグナーの《タンホイザー》を鑑賞します。そして、ヴァーグナーの影響を受けたフランス・オペラとしてマスネの《タイス》とドビュッシーの《ペレアスとメリザンド》を鑑賞して行きます。

音楽的特徴の説明も一部しますが、楽譜が読めるなど専門的な知識がなければ授業内容が理解できないというものではありません。

基本的な授業の進め方としては、授業の前半で資料やDVDを鑑賞し、ポイントを説明します。そのうえで、授業内でポータルのアンケート機能を活用した小テストを行います。そして、内容を解説し、質問にも答えます。

## - - - 到達目標 - - -

19世紀後半のフランス文学およびオペラの特徴を理解し、説明できる。(知識・理解)

オペラ作品を生み出す背景となる文化の特徴を理解し、説明できる(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習に関しては、60分ほどの時間で、授業日一週間前までにFU\_boxにアップロードされる資料を参照してくる必要があります。

復習に関しては、30分ほどの時間で小テストの内容を復習し、疑問点を明確にし、次の授業で質問できるようにしてください。また、小テストの内容を復習し期末テスト対策としてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回授業内で行われる小テストの点を20%で評価します。また、2回1000字ほどの小レポートを課します。小レポートは各15%で評価され、全体で30%の割合で評価されます。定期試験の得点は50%の割合となります。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しません。  
 毎回資料(データ)をFU\_boxにアップします。

## - - - 参考書 - - -

必要に応じて授業内で提示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

新型コロナウイルス感染拡大を予防するために、着席する位置を指定します。座り間違いのないようにしてください。

また、授業内でFUポータルのアンケート機能を用いた小テストを行いますので、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかを持参するようお願いいたします。ただし、念のためミニッツペーパーによる小テストを準備します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 2 オペラの歴史とヨーロッパ文化
- 3 番号オペラ
- 4 詩と散文
- 5 ミュージカルとの違い
- 6 《タンホイザー》
- 7 《タンホイザー》
- 8 《タンホイザー》
- 9 《タイス》
- 10 《タイス》
- 11 《タイス》
- 12 《ペレアスとメリザンド》
- 13 《ペレアスとメリザンド》
- 14 《ペレアスとメリザンド》
- 15 まとめ・授業アンケート

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/0uo3uqtxi0pu0tdhmj7aajx6o7eysz9a>

## 林 信蔵

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/21 4時限

## - - - 概要 - - -

この授業では、文学と音楽の要素が融合して成り立っている演劇であるオペラを題材とし、文学と音楽の融合という観点からオペラを鑑賞する面白さを学ぶとともに、ヨーロッパにおいてオペラが占めた文化的な役割も併せて学習します。

まず、オペラの起源や歴史、基本的な成り立ちや構成、詩と音楽の合わせ方、ミュージカルとの共通点や差異などを総論として学びます。その上で、19世紀の後半のフランス・オペラに大きな影響を与えたドイツの作曲家ヴァーグナーの《タンホイザー》を鑑賞します。そして、ヴァーグナーの影響を受けたフランス・オペラとしてマスネの《タイス》とドビュッシーの《ペレアスとメリザンド》を鑑賞して行きます。

音楽的特徴の説明も一部しますが、楽譜が読めるなど専門的な知識がなければ授業内容が理解できないというものではありません。

基本的な授業の進め方としては、授業の前半で資料やDVDを鑑賞し、ポイントを説明します。そのうえで、授業内でポータルのアンケート機能を活用した小テストを行います。そして、内容を解説し、質問にも答えます。

## - - - 到達目標 - - -

19世紀後半のフランス文学およびオペラの特徴を理解し、説明できる。(知識・理解)

オペラ作品を生み出す背景となる文化の特徴を理解し、説明できる(知識・理解)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習に関しては、60分ほどの時間で、授業日一週間前までにFU\_boxにアップロードされる資料を参照してくる必要があります。

復習に関しては、30分ほどの時間で小テストの内容を復習し、疑問点を明確にし、次の授業で質問できるようにしてください。また、小テストの内容を復習し期末テスト対策としてください。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回授業内で行われる小テストの点を20%で評価します。また、2回1000字ほどの小レポートを課します。小レポートは各15%で評価され、全体で30%の割合で評価されます。定期試験の得点は50%の割合となります。

## - - - テキスト - - -

特定のテキストは使用しません。  
 毎回資料(データ)をFU\_boxにアップします。

## - - - 参考書 - - -

必要に応じて授業内で提示します。

## - - - 履修上の留意点 - - -

新型コロナウイルス感染拡大を予防するために、着席する位置を指定します。座り間違いのないようにしてください。

また、授業内でFUポータルのアンケート機能を用いた小テストを行いますので、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかを持参するようお願いいたします。ただし、念のためミニッツペーパーによる小テストを準備します。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 オペラの歴史とヨーロッパ文化
- 3 番号オペラ
- 4 詩と散文
- 5 ミュージカルとの違い
- 6 《タンホイザー》
- 7 《タンホイザー》
- 8 《タンホイザー》
- 9 《タイス》
- 10 《タイス》
- 11 《タイス》
- 12 《ペレアスとメリザンド》
- 13 《ペレアスとメリザンド》
- 14 《ペレアスとメリザンド》
- 15 まとめ・授業アンケート

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/yuz9lu6ju7c55fv5gxrkqegxprbw4pf4>

## クロス, ティモシー

期別: 後期 単位数: 2 開講年次: 1 授業の種類: 対面授業科目 授業形態: 演習 実務経験: 無し 科目水準: 入門 試験実施: 無し  
 授業時間割: 後期: 月・5 時限 試験時間割: 定期試験なし

## - - - 概要 - - -

Reading literature helps you understand your world.  
 Talking about the different meanings of each piece of literature helps you develop your thinking and discussion skills.

You will be developing your own opinion as you practice agreeing and disagreeing, partially agreeing, and partially disagreeing.

You will be given a short test at the beginning of every class, so you can show that you have successfully completed the homework and understood the basic themes of each story.

You will study how to read and discuss short stories.  
 You will take part in discussion activities.  
 By the end of the course, you will be able to agree and disagree with other students as you about the main themes of a short story.

We will talk about the way Japan is imagined in the Speculative Japan stories. As we imagine the future possibilities of Japan, we will think about Japan now.

Group activities will include:  
 Participating in discussions  
 Helping other students when they do not understand  
 Asking questions when you do not understand  
 Working together to score the individual presentation of other students

Individual activities will include:  
 Preparing a powerpoint set of discussion questions  
 Making a brief presentation about some aspect of Japanese life that is thematically connected to the weekly reading

Although the class is taught in English, some students might mix Japanese and English at the beginning of the course. As the course goes on, hopefully more English will be spoken. It is also possible that exchange students will take this course. Fukuoka University students and exchange students should help each other.

## - - - 到達目標 - - -

Reading literature helps you understand your world. (知識・理解)

Talking about the different meanings of each piece of literature helps you develop your thinking and discussion skills. (技能)

You will be developing your own opinion as you practice agreeing and disagreeing, partially agreeing, and partially disagreeing. (態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

Please complete your homework BEFORE class: 90 minutes preparation per week.  
 You will read the stories in Japanese or English.  
 You will make notes comparing the various stories.  
 Reading the homework: checking anything you do not understand.  
 Preparing for presentations and discussions.

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

There is no end of term exam (teiki shiken) during the official term examination period. There will also be no reexamination (sai shiken). Each week, the class is the exam.

Students who arrive late, or without their student ID, will be treated as absent.  
 Missing the beginning of each class means not understanding what has happened in the previous week and not understanding the goals for that particular class.

Punctual class attendance, with the reading homework finished before coming to class, and with the textbook ready to actively participate in discussions 70%  
 Individual presentation 20%  
 Individual role in group 10%

I will not explain the evaluation system in class. You must read it for yourself.

## - - - テキスト - - -

Speculative Japan 3  
 ISBN: 978-4-902075-30-4  
<http://www.kurodahan.com>  
 Kurodahan Press Book No. FG-JP0024-L  
 For Japanese versions of this collection of short stories, please go to the Speculative Japan 2 webpage and click on the Japanese link for each story. Please buy the Japanese book from amazon.co.jp (Some books are ¥1より).

## - - - 参考書 - - -

<http://www.kurodahan.com/mt/e/catalog/jp0024cate.html>  
<http://www.kurodahan.com/>

## - - - 履修上の留意点 - - -

It is very important that you attend EVERY class. If you must be absent, please email me before class. It is also very important that you complete the READING HOMEWORK before class.

Remember the main points of every class: what is new for you?

If you do not understand the direction of the class, ask questions.

When giving your presentation, do not read. You must speak to your audience and make eye contact.

Remember spinach: 報告、連絡、相談.

Being late for class is calculated as an absence.

Forgetting your textbook is calculated as an absence.

Forgetting your student card is calculated as an absence.

You must attend class to pass the course.

注意 Certain levels of misconduct are unacceptable.

tim@fukuoka-u.ac.jp

## - - - 授業計画 - - -

- 1 Course introduction (スタートアップ授業)
- 2 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
- 3 朝松 健  
"A White Camellia in a Vase" 立華 白椿  
翻訳: Joe EARLE  
綾辻行人
- "Heart of Darkness" 心の闇  
翻訳: Daniel JACKSON
- 4 小川 一水  
"To the Blue Star" 青い星まで飛んでいけ  
翻訳: Edward LIPSETT
- 5 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
- 6 恩田 陸  
"The Warning" 忠告  
翻訳: Mikhail S. IGNATOV  
2010年黒田藩プレス翻訳賞受賞作品
- 7 加門七海  
"A Piece of Butterfly's Wing" 蝶の断片  
翻訳: Angus TURVILL  
2011年黒田藩プレス翻訳賞課題作品
- 8 菅 浩江  
"Five Sisters" 五人姉妹  
翻訳: Ginny Tapley TAKEMORI
- 8 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
- 9 高野 史緒  
"Lest You Remember" 空忙の鉢  
翻訳: Jim HUBBERT
- 10 藤田 雅矢  
"Angel French" エンゼルフレンチ  
翻訳: Pamela IKEGAMI
- 11 松崎 有理  
"The Finish Line" あがり (第1回創元SF短編賞受賞)  
翻訳: Nora Stevens HEATH  
皆川 博子
- "Sunset" 夕陽が沈む  
翻訳: Karen SANDNESS
- 9 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
- 10 森 奈津子  
"It's All Thanks to Saij Hideki" 西城秀樹のおかげです  
翻訳: Anthea MURPHY
- 11 山田 正紀  
"Silver Bullet" 銀の弾丸  
翻訳: Stephen CARTER
- 12 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
- 13 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
- 14 Discussion as course review: what have you learned this semester? What was important for you?
- 15 Course review: how has your way of reading literature changed?

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/hoqah6twdb1o4k411b5xhium9epp6ffa>

## 鶴田 学

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：金・5時間 試験時間割：2022/01/21 4時間

## - - - 概要 - - -

この講義では、イギリス文学を代表するウィリアム・シェイクスピアの演劇を通じて、イギリス・ルネサンスの文学について学びます。シェイクスピアは実に多才な作家で喜劇、悲劇、歴史劇、ロマンス劇といった様々なジャンルの作品を残していますが、ここでは特に『ヴェニスの商人』や『夏の夜の夢』などが有名な喜劇とロマンス劇（『あらし』）に焦点を当てて行きます。文学に親しむことと平行して、イギリスの歴史・文化に関するトピックにも言及します。また、シェイクスピアの本質を理解するためには詩を読む体験が必要です。そのためにシェイクスピアの『ソネット集』を採り上げます。講義には、シェイクスピア研究に関する国内外の最新の情報も盛り込んでいく予定です。

## - - - 到達目標 - - -

劇作家シェイクスピアとその喜劇、ロマンス劇について的一般教養を身につけている。(知識・理解)

シェイクスピアの作品や歴史について自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：次回の授業で扱う作品のあらすじをテキストで確認し、必要に応じて日本語訳でシェイクスピアの原作を読むことが求められる。毎週ではないが、作品を読むには2, 3時間は要するであろう。(各週平均60分)

復習：時代や歴史背景についてノートを整理し、作品の有名な一節を日本語・英語で音読したり、場合によっては日本語(出来る人は英語)で暗唱することが求められる。(30分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

成績評価の80%は、定期試験期間中に実施する筆記試験によります。残り20%は小テストを含む授業参加によります。定期試験では「劇作家シェイクスピアとその喜劇、ロマンス劇について的一般教養」を記号式の客観問題と記述を織り交ぜて評価します(到達目標)。合格の基準は、シェイクスピアについての基礎知識の理解ができていること、代表的な喜劇、ロマンス劇の内容、背景、舞台表象などを押さえていることです。小テストはタームの中で抜き打ち的に数回行います。ここでは、シェイクスピアについて「自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる」技能を記述式によって測ります(到達目標)。もしも、平素、出席が良好な受講者が偶発的に小テストの回に休んでしまった場合には、成績評価が不利にならないように配慮することもあり得ます。

## - - - テキスト - - -

『あらすじで読むシェイクスピア全作品』  
河合祥一郎著 価格 ¥864  
ISBN 9784396113490

## - - - 参考書 - - -

『シェイクスピアの驚異の成功物語』 ISBN  
9784560027486

## - - - 履修上の留意点 - - -

講義や試験は原則として日本語で行われますが、シェイクスピアの特徴を正しく理解するために一部に英語を読むことがあります。直接英語力を問うような問題や英文和訳の出題はありませんが、英語という言葉や英国文化に興味があることが望ましい。

前期開講の同じ担当教員による西洋文学Aと連動しているが、セメスター制であることを重視し、Aを受講しなくとも不利になることはないように考慮されている。

## - - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 『間違いの喜劇』
3. 『恋の骨折り損』
4. 『じゃじゃ馬馴らし』
5. 『夏の夜の夢』
6. オウィディウスの影響
7. 『ヴェニスの商人』
8. 近代初期のロンドン市
9. 『十二夜』
10. 『お気に召すまま』
11. 『から騒ぎ』
12. 初中期喜劇のまとめ
13. 『ソネット集』
14. 『あらし』
15. 全体のまとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
(<https://fukuoka-u.box.com/s/kmdc8ouehta9etjwjsdvtthogmdgntmvu>)

## 野田 康文

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：火・二部2時限 試験時間割：2022/01/25 夜2限

## - - - 概要 - - -

この科目は、西洋文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、19世紀に活躍した2人の作家の作品 前期はハーディの短編小説、後期はメリメの『カルメン』 を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

後期はフランスの作家・メリメの『カルメン』という中編小説を読みます。ピゼーの作曲で有名な同名のオペラの原作で、メリメの代表作です。「宿命の女(ファム・ファタル)」の典型ともいわれるヒロインのカルメンをめぐる恋愛小説です。大事な場面を中心に、設問を考えながら読んでいきます。

ハーディとメリメは、どちらも19世紀の西洋文学を代表する作家です。死後長い年月を経過した今日でも読み継がれている彼等の文学作品を読み解いていくことは、現代日本に生きる皆さんにとっても、自分と異なる時代や文化に生きる人たちを理解する柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

## - - - 到達目標 - - -

19世紀の西洋文学の一端にふれることを通して、異文化に対する知識と教養を深める。(知識・理解)

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。(態度・志向性)

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の授業で配布する設問と指定のテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと(15~30分程度)。

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらかじめ自分の言葉で作成すること(30分程度)。試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

授業では毎回、読解すべきテキストの範囲を指示し、設問を配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことがありますので、それを平常点として扱います。提出した解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出物と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「異文化に対する知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

## - - - テキスト - - -

メリメ著・工藤庸子訳『カルメンノタマンゴ』(光文社古典新訳文庫)。

## - - - 履修上の留意点 - - -

設問の解答を提出する時は、解答用紙の配布時に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。

他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

## - - - 授業計画 - - -

第1回：『カルメン』を読む1  
 シラバスに沿った授業ガイダンス&イントロダクション、作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き(スタートアップ授業)

第2回：『カルメン』を読む2  
 テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第3回：『カルメン』を読む3  
 テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第4回：『カルメン』を読む4  
 テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第5回：『カルメン』を読む5  
 テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第6回：『カルメン』を読む6  
 テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第7回：『カルメン』を読む7  
 テキスト7の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第8回：『カルメン』を読む8  
 テキスト8の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第9回：『カルメン』を読む9  
 テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第10回：『カルメン』を読む10  
 テキスト10の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第11回：『カルメン』を読む11  
 テキスト11の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第12回：『カルメン』を読む12  
 テキスト12の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第13回：『カルメン』を読む13  
 テキスト13の黙読及び作品解説、設問解法の手引き

第14回：『カルメン』を読む14  
 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き1

第15回：『カルメン』を読む15  
 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き2、全体まとめ

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/b9ie3rt3486vz71njez3oes1cg9xwry2>)

## 林 誓雄

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：火・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

この授業では、「論理の力」の基礎を鍛える。「論理の力」とは、最も簡単に言うならば(1)自分の考えを相手にきちんと伝え、そして(2)伝えられたものをきちんと受け取る力のことであり、ひとりで「言葉を自在に扱う力」、「日本語の力」のひとつである。

もちろん、すでにわれわれは「日本語を話す」ことができているわけだから、日本語について(ほぼ完璧に)マスターしている、そう思われるかもしれない。しかしながら、日本語を「話す」ことができるからといって、優秀なレポートや(卒業)論文を「書く」ことができるということにはならない。レポートや論文を書く上では、資料となる本や論文を論理的に読み解き、筆者の議論の論理構造をきちんと把握し、自分なりに咀嚼・再構成した上で、その意見に対する是非を論理的に証明しながら述べるということが求められる。このときに必要となるものこそ、「論理の力」である。

この授業ではまず、論理学の基礎中の基礎である接続表現や指示表現の使い方を一から確認し直すことにする。そして毎回の演習を通して「論理の力」の基礎を鍛錬しながら、最終的に研究書や研究論文を論理的に読み解き、なおかつ自分で議論を論理的な仕方で作成できる力を養うことに繋げる。

## - - - 到達目標 - - -

- (1) 接続表現や指示表現の使い方をマスターする。(知識・理解)
- (2) 議論の構造を的確につかまえることができるようになる。(技能)
- (3) 論理的に文章を読み解き、論理的に文章を書くことができるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く(演習をする)ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次の回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その日に学んだことについて、毎回少なくとも30分は復習をすること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中間確認テスト(30%)、最終確認テスト(30%)、および授業ごとの演習への参加と点数報告(40%)で評価する。確認テストでは、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。

なお、本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

使用しない。適宜レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006年  
 ISBN 978-4782802113

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。

論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと(練習問題を数多く解くこと)である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

なお、この授業では「受講確認・点数報告」および「確認テストの解答送信」の際に、webフォームによる集計を行う。そのため、ネット接続でき、なおかつQRコードを読み取ることのできるスマートフォンやタブレット端末、あるいはPCなどの用意があることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

01. イントロダクション(スタートアップ授業)
02. 接続表現の使い方-1
03. 接続表現の使い方-2
04. 議論の接続
05. 議論の構造をつかまえる-1
06. 議論の構造をつかまえる-2
07. 議論の構造をつかまえる-3
08. 中間確認テスト
09. 中間確認テストの解答・解説
10. 論証構造の分析-1
11. 論証構造の分析-2
12. 論証構造の分析-3
13. 演繹と推測
14. 最終確認テスト
15. 最終確認テストの解答・解説, まとめ

この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/zjods2erz9lmt5z8qvvc11lu9w23cnlc>

## 林 誓雄

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：水・2 時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

この授業では、「論理の力」の基礎を鍛える。「論理の力」とは、最も簡単に言うならば(1)自分の考えを相手にきちんと伝え、そして(2)伝えられたものをきちんと受け取る力のことであり、ひとりで「言葉を自在に扱う力」、「日本語の力」のひとつである。

もちろん、すでにわれわれは「日本語を話す」ことができているわけだから、日本語について(ほぼ完璧に)マスターしている、そう思われるかもしれない。しかしながら、日本語を「話す」ことができるからといって、優秀なレポートや(卒業)論文を「書く」ことができるということにはならない。レポートや論文を書く上では、資料となる本や論文を論理的に読み解き、筆者の議論の論理構造をきちんと把握し、自分なりに咀嚼・再構成した上で、その意見に対する是非を論理的に証明しながら述べるということが求められる。このときに必要となるものこそ、「論理の力」である。

この授業ではまず、論理学の基礎中の基礎である接続表現や指示表現の使い方を一から確認し直すことにする。そして毎回の演習を通して「論理の力」の基礎を鍛錬しながら、最終的に研究書や研究論文を論理的に読み解き、なおかつ自分で議論を論理的な仕方で作成できる力を養うことに繋げる。

## - - - 到達目標 - - -

- (1) 接続表現や指示表現の使い方をマスターする。(知識・理解)
- (2) 議論の構造を的確につかまえることができるようになる。(技能)
- (3) 論理的に文章を読み解き、論理的に文章を書くことができるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く(演習をする)ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次の回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その日に学んだことについて、毎回少なくとも30分は復習をすること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中間確認テスト(30%)、最終確認テスト(30%)、および授業ごとの演習への参加と点数報告(40%)で評価する。確認テストでは、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。

なお、本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

使用しない。適宜レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006年  
 ISBN 978-4782802113

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。

論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと(練習問題を数多く解くこと)である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

なお、この授業では「受講確認・点数報告」および「確認テストの解答送信」の際に、webフォームによる集計を行う。そのため、ネット接続でき、なおかつQRコードを読み取ることのできるスマートフォンやタブレット端末、あるいはPCなどの用意があることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

01. イントロダクション(スタートアップ授業)
02. 接続表現の使い方-1
03. 接続表現の使い方-2
04. 議論の接続
05. 議論の構造をつかまえる-1
06. 議論の構造をつかまえる-2
07. 議論の構造をつかまえる-3
08. 中間確認テスト
09. 中間確認テストの解答・解説
10. 論証構造の分析-1
11. 論証構造の分析-2
12. 論証構造の分析-3
13. 演繹と推測
14. 最終確認テスト
15. 最終確認テストの解答・解説, まとめ

この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/4salz5v8nn00r4zx3zuidf1ewlr76sjr>)



## 林 誓雄

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

この授業では、「論理の力」の基礎を鍛える。「論理の力」とは、最も簡単に言うならば(1)自分の考えを相手にきちんと伝え、そして(2)伝えられたものをきちんと受け取る力のことであり、ひとりで「言葉を自在に扱う力」、「日本語の力」のひとつである。

もちろん、すでにわれわれは「日本語を話す」ことができているわけだから、日本語について(ほぼ完璧に)マスターしている、そう思われるかもしれない。しかしながら、日本語を「話す」ことができるからといって、優秀なレポートや(卒業)論文を「書く」ことができるということにはならない。レポートや論文を書く上では、資料となる本や論文を論理的に読み解き、筆者の議論の論理構造をきちんと把握し、自分なりに咀嚼・再構成した上で、その意見に対する是非を論理的に証明しながら述べるということが求められる。このときに必要となるものこそ、「論理の力」である。

この授業ではまず、論理学の基礎中の基礎である接続表現や指示表現の使い方を一から確認し直すことにする。そして毎回の演習を通して「論理の力」の基礎を鍛錬しながら、最終的に研究書や研究論文を論理的に読み解き、なおかつ自分で議論を論理的な仕方で作成できる力を養うことに繋げる。

## - - - 到達目標 - - -

(1) 接続表現や指示表現の使い方をマスターする。(知識・理解)

(2) 議論の構造を的確につかまえることができるようになる。(技能)

(3) 論理的に文章を読み解き、論理的に文章を書くことができるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く(演習をする)ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次の回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その日に学んだことについて、毎回少なくとも30分は復習をすること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中間確認テスト(30%)、最終確認テスト(30%)、および授業ごとの演習への参加と点数報告(40%)で評価する。確認テストでは、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。

なお、本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

使用しない。適宜レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006年  
 ISBN 978-4782802113

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。

論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと(練習問題を数多く解くこと)である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

なお、この授業では「受講確認・点数報告」および「確認テストの解答送信」の際に、webフォームによる集計を行う。そのため、ネット接続でき、なおかつQRコードを読み取ることのできるスマートフォンやタブレット端末、あるいはPCなどの用意があることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

01. イントロダクション(スタートアップ授業)
02. 接続表現の使い方-1
03. 接続表現の使い方-2
04. 議論の接続
05. 議論の構造をつかまえる-1
06. 議論の構造をつかまえる-2
07. 議論の構造をつかまえる-3
08. 中間確認テスト
09. 中間確認テストの解答・解説
10. 論証構造の分析-1
11. 論証構造の分析-2
12. 論証構造の分析-3
13. 演繹と推測
14. 最終確認テスト
15. 最終確認テストの解答・解説, まとめ

この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/rotdzyczx14eqluafqii58v5ze8269gv>)

## 岩田 直也

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：月・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた論証（argument）の論理構造を分析しその論証の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた論証を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、論証分析と評価の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の論証に適用する方法を学びます。その過程で、誤った論証の代表的な形式や、定義・真偽・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。この授業で学ぶ事柄は、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションの力を磨くうえでも非常に重要な基礎となるものです。論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみてください。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言葉を用いた論証の基本構造と種類、代表的な誤りの論証の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の論証構造を分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の論証を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎授業後に確認テストを課しますので、このテストを基に復習を行って下さい。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎授業の確認テストの結果(60%)、中間・期末テストの結果によって評価します。(40%)

なお、この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

とくになし。

## - - - 参考書 - - -

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳 ISBN 4569634362  
 新版論理トレーニング ISBN 9784782802113  
 論理トレーニング101題 ISBN 9784782801369

## - - - 履修上の留意点 - - -

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。  
 ・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要で  
 す。  
 ・授業内でもMoodleを活用する予定ですので、できるだけノートパソコン・タブレット・スマートフォンなどを持参してください。

## - - - 授業計画 - - -

1. クリティカル・シンキングとは何か？(スタートアップ授業)
2. 論証と説明
3. 結論と前提
4. 論証の構造分析その1
5. 論証の構造分析その2
6. 言語と言葉の曖昧さ
7. 定義の種類
8. 中間テスト
9. 論証を評価するための方法
10. 論証の前提の評価その1
11. 論証の前提の評価その2
12. 前提の関連性の評価その1
13. 前提の関連性の評価その2
14. 総合演習
15. 期末テスト

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/86z78dr8nk12o7j6fg85hb46gvbe727i>

## 岩田 直也

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：水・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた論証（argument）の論理構造を分析しその論証の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた論証を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、論証分析と評価の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の論証に適用する方法を学びます。その過程で、誤った論証の代表的な形式や、定義・真偽・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。この授業で学ぶ事柄は、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションの力を磨くうえでも非常に重要な基礎となるものです。論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみてください。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言葉を用いた論証の基本構造と種類、代表的な誤りの論証の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の論証構造を分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の論証を思いやりをもって検討し、建設的な仕方での批判することができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎授業後に確認テストを課しますので、このテストを基に復習を行ってください。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎授業の確認テストの結果(60%)、中間・期末テストの結果によって評価します。(40%)

なお、この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

とくになし。

## - - - 参考書 - - -

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳 ISBN 4569634362  
 新版論理トレーニング ISBN 9784782802113  
 論理トレーニング101題 ISBN 9784782801369

## - - - 履修上の留意点 - - -

- ・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。
- ・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要で
- す。
- ・授業内でもMoodleを活用する予定ですので、できるだけノートパソコン・タブレット・スマートフォンなどを持参してください。

## - - - 授業計画 - - -

1. クリティカル・シンキングとは何か？(スタートアップ授業)
2. 論証と説明
3. 結論と前提
4. 論証の構造分析その1
5. 論証の構造分析その2
6. 言語と言葉の曖昧さ
7. 定義の種類
8. 中間テスト
9. 論証を評価するための方法
10. 論証の前提の評価その1
11. 論証の前提の評価その2
12. 前提の関連性の評価その1
13. 前提の関連性の評価その2
14. 総合演習
15. 期末テスト

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/hqur3iov87uv60hmuq333d9rcv5km48s>

## 岩田 直也

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：前期：水・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた論証（argument）の論理構造を分析しその論証の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた論証を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、論証分析と評価の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の論証に適用する方法を学びます。その過程で、誤った論証の代表的な形式や、定義・真偽・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。この授業で学ぶ事柄は、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションの力を磨くうえでも非常に重要な基礎となるものです。論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみてください。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言葉を用いた論証の基本構造と種類、代表的な誤りの論証の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の論証構造を分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の論証を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎授業後に確認テストを課しますので、このテストを基に復習を行って下さい。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎授業の確認テストの結果(60%)、中間・期末テストの結果によって評価します。(40%)

なお、この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

とくになし。

## - - - 参考書 - - -

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳 ISBN 4569634362  
 新版論理トレーニング ISBN 9784782802113  
 論理トレーニング101題 ISBN 9784782801369

## - - - 履修上の留意点 - - -

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。  
 ・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。  
 ・授業内でもMoodleを活用する予定ですので、できるだけノートパソコン・タブレット・スマートフォンなどを持参してください。

## - - - 授業計画 - - -

1. クリティカル・シンキングとは何か？(スタートアップ授業)
2. 論証と説明
3. 結論と前提
4. 論証の構造分析その1
5. 論証の構造分析その2
6. 言語と言葉の曖昧さ
7. 定義の種類
8. 中間テスト
9. 論証を評価するための方法
10. 論証の前提の評価その1
11. 論証の前提の評価その2
12. 前提の関連性の評価その1
13. 前提の関連性の評価その2
14. 総合演習
15. 期末テスト

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/emg6hf8zfeg523o66vvgkfalscpusco8j>

## 末吉 康幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・1時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

書物や会話に現れる証明や推論の論理的構造を分析し、その合理性を評価するスキルをトレーニングするため、例題や練習問題を解説し、そこに含まれるスキルを定式化する。

学期前半では、特に論証の中核である演繹的論証を支える基本構造について学ぶ。学期後半では、論証の前提と帰結の関係を分析し、論証全体の帰納的確率を評価し、さらに、既知の情報から新たな知見を導き出すスキルを学ぶ。

## - - - 到達目標 - - -

既知の情報から新たな知見を導き出せるようになる。(技能)

推論や論証の妥当性を評価できるようになる。(技能)

議論や論説の構造を理解できるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は、45分程度。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験によって、文章の論理構造の理解度や、帰納的確率を評価する能力を測る。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。FUポータル 授業関連 授業支援 課題提出のプリントを各自プリントアウトして準備すること。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『論理トレーニング』産業図書  
 野矢茂樹『論理トレーニング100題』産業図書  
 坂井秀久『日本語の文法と論理』勁草書房

## - - - 履修上の留意点 - - -

思考の技術は、自分の間違いに自覚的になることによって獲得されます。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってきてください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：論証と推論の構造（スタートアップ授業）
- 2 否定の構造(1)  
日本語における否定
- 3 否定の構造(2)  
両立可能と両立不可能
- 4 否定の構造(3)  
多重量化の否定
- 5 条件構造(1)  
逆、裏、対偶
- 6 条件構造(2)  
非存在（全称）と存在（特称）
- 7 条件構造(3)  
条件構造に基づく論証
- 8 論証できること、できないこと(1)  
何ものかの存在を論証すること
- 9 論証できること、できないこと(2)  
消去法と条件構造
- 10 論証の構造  
前提と帰結
- 11 論証図式(1)  
複合論証
- 12 論証図式(2)  
省略のある論証
- 13 論証の評価(1)  
演繹的論証と帰納的論証
- 14 論証の評価(2)  
複合論証の評価
- 15 論証の評価(3)  
練習問題

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/ek9we3q3nufnh4xjupx0o57fijub32j0>

## 末吉 康幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：前期：木・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

## - - - 概要 - - -

書物や会話に現れる証明や推論の論理的構造を分析し、その合理性を評価するスキルをトレーニングするため、例題や練習問題を解説し、そこに含まれるスキルを定式化する。

学期前半では、特に論証の中核である演繹的論証を支える基本構造について学ぶ。学期後半では、論証の前提と帰結の関係を分析し、論証全体の帰納的確率を評価し、さらに、既知の情報から新たな知見を導き出すスキルを学ぶ。

## - - - 到達目標 - - -

既知の情報から新たな知見を導き出せるようになる。(技能)

推論や論証の妥当性を評価できるようになる。(技能)

議論や論説の構造を理解できるようになる。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は、45分程度。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験によって、文章の論理構造の理解度や、帰納的確率を評価する能力を測る。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。FUポータル 授業関連 授業支援 課題提出のプリントを各自プリントアウトして準備すること。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『論理トレーニング』産業図書  
 野矢茂樹『論理トレーニング100題』産業図書  
 坂井秀久『日本語の文法と論理』勁草書房

## - - - 履修上の留意点 - - -

思考の技術は、自分の間違いに自覚的になることによって獲得されます。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってきてください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：論証と推論の構造（スタートアップ授業）
- 2 否定の構造(1)  
日本語における否定
- 3 否定の構造(2)  
両立可能と両立不可能
- 4 否定の構造(3)  
多重量化の否定
- 5 条件構造(1)  
逆、裏、対偶
- 6 条件構造(2)  
非存在（全称）と存在（特称）
- 7 条件構造(3)  
条件構造に基づく論証
- 8 論証できること、できないこと(1)  
何ものかの存在を論証すること
- 9 論証できること、できないこと(2)  
消去法と条件構造
- 10 論証の構造  
前提と帰結
- 11 論証図式(1)  
複合論証
- 12 論証図式(2)  
省略のある論証
- 13 論証の評価(1)  
演繹的論証と帰納的論証
- 14 論証の評価(2)  
複合論証の評価
- 15 論証の評価(3)  
練習問題

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/i65v0urvfaoawjzb4n48vwj4b1dgtay>

## 林 誓雄

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：火・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

この授業では、本や論文を論理的に読み解き、そしてそこで述べられている主張の是非について考え、最終的に自分の意見を相手に正確に伝える技術の習得を目指す。その技術習得の一環として、前半のパートでは特に演繹的推論の技術を正確に使いこなす訓練を行なう。後半のパートでは前半で学んだことを踏まえ、自分で議論を構築できるようになることを目指し、本や論文で書かれている主張に対して論理的に批判する力を養う。

## - - - 到達目標 - - -

- (1) 演繹と帰納がそれぞれどのような意味なのかを理解し、それらの間の区別ができるようになる。(技能)
- (2) 議論の構造を的確につかまえることができるようになる。(技能)
- (3) 批判的な視点から文章を読み解き、疑問点などを挙げることができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く(演習をする)ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次の回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも30分は復習をすること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中間確認テスト(30%)、最終確認テスト(30%)、および授業ごとの演習への参加と点数報告(40%)で評価する。確認テストでは、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。なお、本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

使用しない。適宜レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006年  
 ISBN 978-4782802113

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。

論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと(練習問題を数多く解くこと)である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

なお、この授業では「受講確認・点数報告」および「確認テストの解答送信」の際に、webフォームによる集計を行う。そのため、ネット接続でき、なおかつQRコードを読み取ることのできるスマートフォンやタブレット端末、あるいはPCなどの用意があることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

01. イントロダクション(スタートアップ授業)
02. 二種類の導出：演繹と推測
03. 仮説形成と暗黙の前提
04. 他の仮説の消去
05. 逆・裏・対偶-1
06. 逆・裏・対偶-2
07. 中間確認テスト
08. 中間確認テストの解答・解説
09. 否定
10. 全称文と存在文
11. 複合問題の演習
12. 存在文を含む論証と消去法
13. 背理法
14. 最終確認テスト
15. 最終確認テストの解答・解説、まとめ

この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/mq23fy80lfpulmyf2e5pe9sx8qu3sbov>

## 林 誓雄

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

この授業では、本や論文を論理的に読み解き、そしてそこで述べられている主張の是非について考え、最終的に自分の意見を相手に正確に伝える技術の習得を目指す。その技術習得の一環として、前半のパートでは特に演繹的推論の技術を正確に使いこなす訓練を行なう。後半のパートでは前半で学んだことを踏まえ、自分で議論を構築できるようになることを目指し、本や論文で書かれている主張に対して論理的に批判する力を養う。

## - - - 到達目標 - - -

- (1) 演繹と帰納がそれぞれどのような意味なのかを理解し、それらの間の区別ができるようになる。(技能)
- (2) 議論の構造を的確につかまえることができるようになる。(技能)
- (3) 批判的な視点から文章を読み解き、疑問点などを挙げることができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く(演習をする)ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次の回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも30分は復習をすること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中間確認テスト(30%)、最終確認テスト(30%)、および授業ごとの演習への参加と点数報告(40%)で評価する。確認テストでは、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。

なお、本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

使用しない。適宜レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006年  
 ISBN 978-4782802113

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。

論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと(練習問題を数多く解くこと)である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

なお、この授業では「受講確認・点数報告」および「確認テストの解答送信」の際に、webフォームによる集計を行う。そのため、ネット接続でき、なおかつQRコードを読み取ることのできるスマートフォンやタブレット端末、あるいはPCなどの用意があることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

01. イントロダクション(スタートアップ授業)
02. 二種類の導出：演繹と推測
03. 仮説形成と暗黙の前提
04. 他の仮説の消去
05. 逆・裏・対偶-1
06. 逆・裏・対偶-2
07. 中間確認テスト
08. 中間確認テストの解答・解説
09. 否定
10. 全称文と存在文
11. 複合問題の演習
12. 存在文を含む論証と消去法
13. 背理法
14. 最終確認テスト
15. 最終確認テストの解答・解説, まとめ

この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/7mydhvr8rstejt79lnlki4ulgj1jni5y>)



## 林 誓雄

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

この授業では、本や論文を論理的に読み解き、そしてそこで述べられている主張の是非について考え、最終的に自分の意見を相手に正確に伝える技術の習得を目指す。その技術習得の一環として、前半のパートでは特に演繹的推論の技術を正確に使いこなす訓練を行なう。後半のパートでは前半で学んだことを踏まえ、自分で議論を構築できるようになることを目指し、本や論文で書かれている主張に対して論理的に批判する力を養う。

## - - - 到達目標 - - -

- (1) 演繹と帰納がそれぞれどのような意味なのかを理解し、それらの間の区別ができるようになる。(技能)
- (2) 議論の構造を的確につかまえることができるようになる。(技能)
- (3) 批判的な視点から文章を読み解き、疑問点などを挙げることができるようになる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く(演習をする)ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次の回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも30分は復習をすること。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

中間確認テスト(30%)、最終確認テスト(30%)、および授業ごとの演習への参加と点数報告(40%)で評価する。確認テストでは、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。なお、本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

使用しない。適宜レジュメを配布する。

## - - - 参考書 - - -

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006年  
 ISBN 978-4782802113

## - - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。

論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと(練習問題を数多く解くこと)である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

なお、この授業では「受講確認・点数報告」および「確認テストの解答送信」の際に、webフォームによる集計を行う。そのため、ネット接続でき、なおかつQRコードを読み取ることのできるスマートフォンやタブレット端末、あるいはPCなどの用意があることが望ましい。

## - - - 授業計画 - - -

01. イントロダクション(スタートアップ授業)
02. 二種類の導出：演繹と推測
03. 仮説形成と暗黙の前提
04. 他の仮説の消去
05. 逆・裏・対偶-1
06. 逆・裏・対偶-2
07. 中間確認テスト
08. 中間確認テストの解答・解説
09. 否定
10. 全称文と存在文
11. 複合問題の演習
12. 存在文を含む論証と消去法
13. 背理法
14. 最終確認テスト
15. 最終確認テストの解答・解説、まとめ

この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/dv28rwq91m0xe2bqfp95byb9vqd1ps6d>

## 岩田 直也

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：月・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた論証（argument）の論理構造を分析しその論証の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた論証を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、論証分析と評価の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の論証に適用する方法を学びます。その過程で、誤った論証の代表的な形式や、定義・真偽・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。この授業で学ぶ事柄は、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションの力を磨くうえでも非常に重要な基礎となるものです。論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみてください。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言葉を用いた論証の基本構造と種類、代表的な誤りの論証の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の論証構造を分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の論証を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎授業後に確認テストを課しますので、このテストを基に復習を行って下さい。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎授業の確認テストの結果(60%)、中間・期末テストの結果によって評価します。(40%)

なお、この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

とくになし。

## - - - 参考書 - - -

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳 ISBN 4569634362  
 新版論理トレーニング ISBN 9784782802113  
 論理トレーニング101題 ISBN 9784782801369

## - - - 履修上の留意点 - - -

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。  
 ・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。  
 ・授業内でもMoodleを活用する予定ですので、できるだけノートパソコン・タブレット・スマートフォンなどを持参してください。  
 ・前期のクリティカル・シンキング基礎編を履修していることが望ましいですが、必須ではありません。

## - - - 授業計画 - - -

1. 様々な論証の種類(スタートアップ授業)
2. 演繹的論証の分析と評価その1
3. 演繹的論証の分析と評価その2
4. 帰納的論証の分析と評価その1
5. 帰納的論証の分析と評価その2
6. 科学的論証の分析と評価その1
7. 科学的論証の分析と評価その2
8. 中間テスト
9. 類推的論証の分析と評価その1
10. 類推的論証の分析と評価その2
11. 収斂的論証の分析と評価その1
12. 収斂的論証の分析と評価その2
13. 倫理的論証の分析と評価
14. 総合的演習
15. 期末テスト

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/p3mo961ohas684sh0gu9c1j7klu50rwy>

## 岩田 直也

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：水・3時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた論証（argument）の論理構造を分析しその論証の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた論証を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、論証分析と評価の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の論証に適用する方法を学びます。その過程で、誤った論証の代表的な形式や、定義・真偽・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。この授業で学ぶ事柄は、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションの力を磨くうえでも非常に重要な基礎となるものです。論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみてください。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言葉を用いた論証の基本構造と種類、代表的な誤りの論証の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の論証構造を分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の論証を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎授業後に確認テストを課しますので、このテストを基に復習を行ってください。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎授業の確認テストの結果(60%)、中間・期末テストの結果によって評価します。(40%)

なお、この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

とくになし。

## - - - 参考書 - - -

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳 ISBN 4569634362  
 新版論理トレーニング ISBN 9784782802113  
 論理トレーニング101題 ISBN 9784782801369

## - - - 履修上の留意点 - - -

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。  
 ・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。  
 ・授業内でもMoodleを活用する予定ですので、できるだけノートパソコン・タブレット・スマートフォンなどを持参してください。  
 ・前期のクリティカル・シンキング基礎編を履修していることが望ましいですが、必須ではありません。

## - - - 授業計画 - - -

- 1．様々な論証の種類(スタートアップ授業)
- 2．演繹的論証の分析と評価その1
- 3．演繹的論証の分析と評価その2
- 4．帰納的論証の分析と評価その1
- 5．帰納的論証の分析と評価その2
- 6．科学的論証の分析と評価その1
- 7．科学的論証の分析と評価その2
- 8．中間テスト
- 9．類推的論証の分析と評価その1
- 10．類推的論証の分析と評価その2
- 11．収斂的論証の分析と評価その1
- 12．収斂的論証の分析と評価その2
- 13．倫理的論証の分析と評価
- 14．総合的演習
- 15．期末テスト

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/zfk15i46kje0i5sg2m9ojlrep1xauujl>)

## 岩田 直也

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し  
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：定期試験なし

## - - - 概要 - - -

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた論証（argument）の論理構造を分析しその論証の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた論証を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、論証分析と評価の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の論証に適用する方法を学びます。その過程で、誤った論証の代表的な形式や、定義・真偽・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。この授業で学ぶ事柄は、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションの力を磨くうえでも非常に重要な基礎となるものです。論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみてください。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言葉を用いた論証の基本構造と種類、代表的な誤りの論証の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の論証構造を分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の論証を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎授業後に確認テストを課しますので、このテストを基に復習を行って下さい。(60分)

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

毎授業の確認テストの結果(60%)、中間・期末テストの結果によって評価します。(40%)

なお、この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

## - - - テキスト - - -

とくになし。

## - - - 参考書 - - -

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳 ISBN 4569634362  
 新版論理トレーニング ISBN 9784782802113  
 論理トレーニング101題 ISBN 9784782801369

## - - - 履修上の留意点 - - -

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。  
 ・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。  
 ・授業内でもMoodleを活用する予定ですので、できるだけノートパソコン・タブレット・スマートフォンなどを持参してください。  
 ・前期のクリティカル・シンキング基礎編を履修していることが望ましいですが、必須ではありません。

## - - - 授業計画 - - -

1. 様々な論証の種類(スタートアップ授業)
2. 演繹的論証の分析と評価その1
3. 演繹的論証の分析と評価その2
4. 帰納的論証の分析と評価その1
5. 帰納的論証の分析と評価その2
6. 科学的論証の分析と評価その1
7. 科学的論証の分析と評価その2
8. 中間テスト
9. 類推的論証の分析と評価その1
10. 類推的論証の分析と評価その2
11. 収斂的論証の分析と評価その1
12. 収斂的論証の分析と評価その2
13. 倫理的論証の分析と評価
14. 総合的演習
15. 期末テスト

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/c4npg6pljnniivbdjlx1z19bo949fz63>)

## 末吉 康幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・1時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

書物や会話に現れる証明や推論の論理形式を、記号を用いて分析し、そのことによりその形式を形式として明晰にする。

学期前半では、意味論的方法により日常の文の論理構造を分析する。

学期後半では、公理論的方法により、論理的真理の意義、及び証明の構造を学び、ゲーデルの証明を理解するための準備をする。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言説の論理構造を読み取ることが出来るようになる。(技能)

経験的真理と論理的真理・数学的真理の相違を学ぶ。(知識・理解)

公理論的方法を学ぶ。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は45分程度。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験によって、論理的概念の理解度、日本語の文を論理式に翻訳することに論理構造の理解度、公理論的証明の方法の理解度を評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。以下からプリントをプリントアウトして出席すること。プリントの所在：FUポータル 授業関連 授業支援 課題提出

## - - - 参考書 - - -

大窪徳行・田畑博敏『論理学の方法』（北樹出版）  
 清水義夫『記号論理学』（東京大学出版会）  
 野矢茂樹『論理学』（東京大学出版会）  
 E.ナーゲル/J.R.ニューマン『ゲーデルは何を証明したか』（白揚社）

## - - - 履修上の留意点 - - -

論理形式はルールです。ルールの習得は、自分の間違いに自覚的になることによって可能になります。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：論理とは何か（スタートアップ授業）
- 2 日常言語と真理関数・真理表
- 3 推理と可能世界
- 4 妥当性とトートロジー
- 5 伝統的論理学
- 6 述語論理の表記
- 7 関係と多重量化
- 8 関数
- 9 解釈とモデル
- 10 妥当性とモデル
- 11 公理論的方法
- 12 証明と仮定からの演繹
- 13 定理とメタ定理の証明
- 14 健全性の完全性の証明
- 15 述語論理の公理系

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/0mk8tw73ycfqqdg88nv10iy1zi0nhko0>

## 末吉 康幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り  
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

## - - - 概要 - - -

書物や会話に現れる証明や推論の論理形式を、記号を用いて分析し、そのことによりその形式を形式として明晰にする。

学期前半では、意味論的方法により日常の文の論理構造を分析する。

学期後半では、公理論的方法により、論理的真理の意義、及び証明の構造を学び、ゲーデルの証明を理解するための準備をする。

## - - - 到達目標 - - -

日常的な言説の論理構造を読み取ることが出来るようになる。(技能)

経験的真理と論理的真理・数学的真理の相違を学ぶ。(知識・理解)

公理論的方法を学ぶ。(技能)

## - - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は45分程度。

## - - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験によって、論理的概念の理解度、日本語の文を論理式に翻訳することに論理構造の理解度、公理論的証明の方法の理解度を評価する。

## - - - テキスト - - -

テキストは使用しない。以下からプリントをプリントアウトして出席すること。プリントの所在：FUポータル 授業関連 授業支援 課題提出

## - - - 参考書 - - -

大窪徳行・田畑博敏『論理学の方法』（北樹出版）  
 清水義夫『記号論理学』（東京大学出版会）  
 野矢茂樹『論理学』（東京大学出版会）  
 E.ナーゲル/J.R.ニューマン『ゲーデルは何を証明したか』（白揚社）

## - - - 履修上の留意点 - - -

論理形式はルールです。ルールの習得は、自分の間違いに自覚的になることによって可能になります。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

## - - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：論理とは何か（スタートアップ授業）
- 2 日常言語と真理関数・真理表
- 3 推理と可能世界
- 4 妥当性とトートロジー
- 5 伝統的論理学
- 6 述語論理の表記
- 7 関係と多重量化
- 8 関数
- 9 解釈とモデル
- 10 妥当性とモデル
- 11 公理論的方法
- 12 証明と仮定からの演繹
- 13 定理とメタ定理の証明
- 14 健全性の完全性の証明
- 15 述語論理の公理系

## - - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業  
<https://fukuoka-u.box.com/s/zti8g350f3m3swyusq2scycxjradsfnod>